

基本計画書

基本計画書									
事項		記入欄						備考	
計画の区分		大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ設置者		カヅコリキョウインムネノダケイ 学校法人武蔵野大学							
フリガナ大学の名称		ムネノダケイ 武蔵野大学							
大学本部の位置		東京都江東区有明三丁目3番3号							
大学の目的		本学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を育成するとともに、学問の研究を深め、世界の平和と人類の幸福に寄与することをもって目的とする。							
新設学部等の目的		国際情勢の不安定化や感染症のパンデミック、人口減少や高齢化等、先行き不透明で将来の予測が困難な時代において、ウェルビーイングという総合的概念についての社会学・心理学的知見や、新たに創造的なデザインを行うため問題発見・課題解決できる実践的な能力を身につけ、今後のあるべきウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組んでいく人材を養成するため、令和6年4月にウェルビーイング学部ウェルビーイング学科を設置する。これに伴い、収容定員350人を増加する（入学定員80人、2年次編入学定員10人）。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	
	文学部 日本文学文化学科	4年	200人	2年次5人	815人	学士(文学)	平成23年4月第1年次 平成31年4月第2年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	
	グローバル学部 グローバルコミュニケーション学科	4年	165人	3年次3人	666人	学士(グローバルコミュニケーション)	平成28年4月第1年次 令和2年4月第3年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	日本語コミュニケーション学科	4年	80人	3年次5人	330人	学士(日本語コミュニケーション)	平成28年4月第1年次 令和2年4月第3年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	グローバルビジネス学科	4年	55人	3年次7人	234人	学士(グローバルビジネス)	平成28年4月第1年次 令和2年4月第3年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	法学部 法律学科	4年	190人	2年次3人	769人	学士(法学)	平成26年4月第1年次 平成31年4月第2年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	政治学科	4年	100人	2年次3人	409人	学士(政治学)	平成26年4月第1年次 平成31年4月第2年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	経済学部 経済学科	4年	175人	2年次3人	709人	学士(経済学)	平成26年4月第1年次 平成31年4月第2年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	経営学部 経営学科	4年	220人	2年次3人	889人	学士(経営学)	平成31年4月第1年次 令和2年4月第2年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	会計ガバナンス学科	4年	90人	—	360人	学士(会計学)	平成31年4月第1年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科	4年	60人	—	240人	学士(ビジネス)	令和3年4月第1年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	

新設学部等の概要	データサイエンス学部 データサイエンス学科	4	90	—	360	学士(データサイエンス学)	平成31年4月第1年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	※令和5年4月設置届出予定
	人間科学部 人間科学科	4	215	2年次2	866	学士(人間学)	平成11年4月第1年次 平成24年4月第2年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	社会福祉学科	4	145	2年次4	592	学士(社会福祉学)	平成20年4月第1年次 平成24年4月第2年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	
	ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科	4	80(0)	2年次10(0)	350(0)	学士(ウェルビーイング)	令和6年4月第1年次 令和7年4月第2年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	
	工学部 サステナビリティ学科	4	70	—	280	学士(サステナビリティ学)	令和5年4月第1年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	数理工学科	4	60	—	240	学士(工学)	平成27年4月第1年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	建築デザイン学科	4	70	—	280	学士(工学)	平成27年4月第1年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	
	教育学部 教育学科	4	120	—	480	学士(教育学)	平成23年4月第1年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	
	幼児教育学科	4	100	—	400	学士(幼児教育学)	平成30年4月第1年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	
	薬学部 薬学科	6	145	—	870	学士(薬学)	平成16年4月第1年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	
	看護学部 看護学科	4	125	—	500	学士(看護学)	平成18年4月第1年次	東京都江東区有明三丁目3番3号	
	通学課程 計		2,555(2,475)	2年次33(23) 3年次15	10,639(10,289)				
	通信教育部 人間科学部 人間科学科	4	250	3年次700	2,400	学士(人間学)	平成14年4月第1年次 平成14年4月第3年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	
教育課程	教育学部 教育学科	4	15	2年次55	225	学士(教育学)	平成25年4月第1年次 令和3年4月第2年次	東京都西東京市新町一丁目1番20号	同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)
	通信教育課程 計		265	2年次55 3年次700	2,625				
	開設する授業科目の総数								
教育課程	新設学部等の名称							卒業要件単位数	
	—		— 科目	— 科目	— 科目	— 科目	— 単位		

教 員 組 織 の 概 要	学 部 等 の 名 称		専任教員等					兼 任 教 員 等
			教授	准教授	講師	助教	計	
新 設	人	人	人	人	人	人	人	人
教 員 組 織 の 概 要	文学部 日本文学文化学科	12 (12)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	17 (17)	0 (0)	172 (172)
		7 (7)	1 (1)	3 (3)	0 (0)	11 (11)	0 (0)	141 (141)
	グローバル学部 グローバルコミュニケーション学科	4 (4)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	143 (143)
	グローバルビジネス学科	4 (4)	2 (2)	3 (3)	0 (0)	9 (9)	0 (0)	122 (122)
	法学部 法律学科	11 (11)	4 (4)	0 (0)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	165 (165)
	政治学科	7 (7)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	149 (149)
	経済学部 経済学科	7 (7)	5 (5)	3 (3)	0 (0)	15 (15)	0 (0)	142 (142)
	経営学部 経営学科	9 (9)	4 (4)	3 (3)	0 (0)	16 (16)	0 (0)	137 (137)
	会計ガバナンス学科	5 (5)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	146 (146)
	アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科	18 (18)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	154 (154)
	データサイエンス学部 データサイエンス学科	7 (7)	6 (6)	4 (4)	2 (2)	19 (19)	0 (0)	136 (136)
	人間科学部 人間科学科	11 (11)	2 (2)	4 (4)	4 (4)	21 (21)	0 (0)	114 (114)
	社会福祉学科	11 (11)	2 (2)	1 (1)	2 (2)	16 (16)	0 (0)	98 (98)
	ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科	12 (7)	2 (2)	2 (2)	0 (0)	16 (11)	0 (0)	93 (76)
	工学部 サステナビリティ学科	6 (5)	3 (3)	2 (2)	0 (0)	11 (10)	0 (0)	115 (115)
	数理工学科	9 (9)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	12 (12)	0 (0)	146 (146)
	建築デザイン学科	5 (5)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	9 (9)	2 (2)	173 (173)
	教育学部 教育学科	11 (11)	9 (9)	3 (3)	0 (0)	23 (23)	0 (0)	190 (190)
	幼児教育学科	4 (4)	5 (5)	1 (1)	0 (0)	10 (10)	0 (0)	157 (157)
	薬学部 薬学科（6年制）	17 (17)	4 (4)	23 (23)	13 (13)	57 (57)	1 (1)	139 (139)
分 設	看護学部 看護学科	9 (9)	8 (8)	9 (9)	8 (8)	34 (34)	5 (5)	167 (167)
	通信教育部 人間科学部人間科学科	3 (3)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	7 (7)	0 (0)	125 (125)
	通信教育部 教育学部教育学科	9 (9)	8 (8)	2 (2)	0 (0)	19 (19)	0 (0)	91 (91)
	計	198 (192)	83 (83)	74 (74)	32 (32)	387 (381)	8 (8)	— (—)
	該当なし	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
要 求	計	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)
	合 計	198 (192)	83 (83)	74 (74)	32 (32)	387 (381)	8 (8)	— (—)
教員以外の職員の概要	職 種	専 任			兼 任		計	
	事 務 職 員	265 (265)			10 (10)		275 (275)	
	技 術 職 員	0 (0)			0 (0)		0 (0)	
	図 書 館 専 門 職 員	2 (2)			0 (0)		2 (2)	
	そ の 他 の 職 員	2 (2)			0 (0)		2 (2)	
	計	269 (269)			10 (10)		279 (279)	

※通学課程を兼ねる

※通学課程を兼ねる

校 地 等	区 分		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	・武蔵野大学高等学校 (収容定員1,200人、運動 場必要面積8,400㎡) ・武蔵野大学中学校 (収容定員750人、運動場 必要面積8,400㎡)			
	校 舎 敷 地		82,698.59㎡	1,352.00㎡	15,977.44㎡	100,028.03㎡				
	運 動 場 用 地		30,383.01㎡	0.00㎡	4,759.00㎡	35,142.01㎡				
	小 計		113,081.60㎡	1,352.00㎡	20,736.44㎡	135,170.04㎡				
	そ の 他		5,482.84㎡	0.00㎡	0.00㎡	5,482.84㎡				
	合 計		118,564.44㎡	1,352.00㎡	20,736.44㎡	140,652.88㎡				
校 舎			専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	・武蔵野大学高等学校 (収容定員1,200人、校舎 基準面積6,240㎡) ・武蔵野大学中学校 (収容定員750人、校舎基 準面積4,320㎡) ・借用面積 有明4号館 4,735.4㎡ ・借用期間 20年6カ月			
			88,936.94㎡ (88,936.94㎡)	624.78㎡ (624.78㎡)	16,690.59㎡ (15,890.59㎡)	106,252.31㎡ (105,452.31㎡)				
教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
		135室	39室	86室	4室 (補助職員 8人)	0室 (補助職員 0人)				
専 任 教 員 研 究 室			新設学部等の名称		室 数		大学全体			
			大学全体		343 室					
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称		図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	大学全体		450,931 [64,674] (432,323 [63,834])	3,527 [2,346] (3,527 [2,346])	1,981 [1,980] (1,981 [1,980])	7,195 (7,087)	7,543 (7,543)	3,233 (3,233)		
	計		450,931 [64,674] (432,323 [63,834])	3,527 [2,346] (3,527 [2,346])	1,981 [1,980] (1,981 [1,980])	7,195 (7,087)	7,543 (7,543)	3,233 (3,233)		
	図 書 館		面積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			
5,934.14㎡			896		560,600					
体 育 館			面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		4,159.11㎡		テニスコート 3面						
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	大学全体 図書購入費には電子 ジャーナル・データベ ースの整備費(運用コスト含 む)を含む
		教員1人当り研究費等		447千円	447千円	447千円	447千円	― 千円	― 千円	
		共 同 研 究 費 等		21,760千円	21,760千円	21,760千円	21,760千円	― 千円	― 千円	
		図 書 購 入 費	166,936千円	166,936千円	166,936千円	166,936千円	166,936千円	― 千円	― 千円	
		設 備 購 入 費	401,533千円	401,533千円	401,533千円	401,533千円	401,533千円	― 千円	― 千円	
	学生1人当り 納付金		第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	文学部		1,128千円	1,048千円	1,048千円	1,048千円	― 千円	― 千円		
	グローバル学部(グ ローバルコミュニケーション 学科、グローバルヒ umanities学科)		1,300千円	1,220千円	1,220千円	1,220千円	― 千円	― 千円		
	グローバル学部(日 本語コミュニケーション学 科)		1,200千円	1,120千円	1,120千円	1,120千円	― 千円	― 千円		
	法学部		1,178千円	1,098千円	1,098千円	1,098千円	― 千円	― 千円		
	経済学部		1,128千円	1,048千円	1,048千円	1,048千円	― 千円	― 千円		
	経営学部		1,128千円	1,048千円	1,048千円	1,048千円	― 千円	― 千円		
	アトレティック 学部		1,210千円	1,130千円	1,130千円	1,130千円	― 千円	― 千円		
	データサイエンス学部		1,480千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	― 千円	― 千円		
	人間科学部		1,178千円	1,098千円	1,098千円	1,098千円	― 千円	― 千円		
	工学部(システム・ 社会工学科)		1,475千円	1,295千円	1,295千円	1,295千円	― 千円	― 千円		
	工学部(数理工 学科)		1,605千円	1,425千円	1,425千円	1,425千円	― 千円	― 千円		
	工学部(建築デ ザイン学科)		1,500千円	1,370千円	1,440千円	1,440千円	― 千円	― 千円		
	教育学部(教育 学科)		1,272千円	1,182千円	1,182千円	1,182千円	― 千円	― 千円		
	教育学部(幼児 教育学科)		1,222千円	1,132千円	1,132千円	1,132千円	― 千円	― 千円		
	薬学部		2,050千円	2,065千円	2,066千円	2,070千円	2,130千円	2,070千円		
	看護学部		1,810千円	1,770千円	1,790千円	1,790千円	― 千円	― 千円		
	通信教育部		200千円	1,700千円	1,700千円	1,700千円	― 千円	― 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、手数料 等						

基本計画書-4

	大 学 の 名 称		武蔵野大学							備 考	
	学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所 在 地	
			年	人	年次人	人		倍			
既設大学等の状況	文学部										
	日本文学文化学科		4	200	2年次5	835	学士(文学)	0.96 0.96	平成23年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	※令和3年度入学定員減(△20人)
	グローバル学部							0.85			
	グローバルコミュニケーション学科		4	165	3年次3	666	学士(グローバルコミュニケーション)	0.80	平成28年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	日本語コミュニケーション学科		4	80	3年次5	330	学士(日本語コミュニケーション)	0.92	平成28年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	グローバルビジネス学科		4	55	3年次7	234	学士(グローバルビジネス)	0.92	平成28年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	法学部							0.95			
	法律学科		4	190	2年次3	769	学士(法律学)	0.92	平成26年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	政治学科		4	100	2年次3	409	学士(政治学)	0.99	平成26年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	経済学部							1.03			
	経済学科		4	175	2年次3	709	学士(経済学)	1.03	平成26年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	経営学科		4	-	-	-	学士(経営学)	-	平成26年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	※平成31年度より学生募集停止(経営学科)
	会計ガバナンス学科		4	-	-	-	学士(会計学)	-	平成30年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	※平成31年度より学生募集停止(会計ガバナンス学科)
	経営学部							0.96			
	経営学科		4	220	2年次3	889	学士(経営学)	0.96	平成31年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	会計ガバナンス学科		4	90	-	360	学士(会計学)	0.96	平成31年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	政治経済学部							-			
	政治経済学科		4	-	-	-	学士(政治経済学)	-	平成10年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	※平成26年度より学生募集停止(政治経済学科)
	アントレプレナーシップ学部							1.04			
	アントレプレナーシップ学科		4	60	-	180	学士(ビジネス)	1.04	令和3年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	データサイエンス学部							0.99			
	データサイエンス学科		4	90	-	340	学士(データサイエンス学)	0.99	平成31年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	※令和3年度入学定員増(20人)
	人間科学部							0.95			
	人間科学科		4	215	2年次2	866	学士(人間学)	1.01	平成11年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	社会福祉学科		4	145	2年次4	604	学士(社会福祉学)	0.87	平成20年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	※令和3年度入学定員減(△12人)
	工学部							1.02			
	サステナビリティ学科		4	70	-	70	学士(サステナビリティ学)	-	令和5年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	環境システム学科		4	-	-	-	学士(環境システム学)	-	平成27年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	※令和4年度より学生募集停止(環境システム学科)
	数理工学科		4	60	-	240	学士(工学)	1.01	平成27年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	建築デザイン学科		4	70	-	280	学士(工学)	1.04	平成27年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	教育学部							0.97			
	教育学科		4	120	-	480	学士(教育学)	0.98	平成23年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	幼児教育学科		4	100	-	400	学士(幼児教育学)	0.97	平成30年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	薬学部							0.91			
	薬学科		6	145	-	915	学士(薬学)	0.91	平成16年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	※平成30年度入学定員増(15人) ※令和3年度入学定員減(△15人)
	看護学部							0.96			
	看護学科		4	125	-	520	学士(看護学)	0.96	平成18年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	※令和3年度入学定員減(△20人)
	通信教育部										
	人間科学部				3年次			1.28			
	人間科学科		4	250	700	2,400	学士(人間学)	1.28	平成14年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	教育学部				2年次			1.08			
	教育学科		4	15	55	227	学士(教育学)	1.08	平成25年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	※令和3年度入学定員減(△2人) ※令和3年度2年次編入学定員(55人) ※令和3年度3年次編入学定員減(△85人)

	大 学 の 名 称		武蔵野大学大学院							備 考	
	学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又は 称号	定員 超過率	開設 年度	所 在 地	
			年	人	年次 人	人		倍			
既 設 大 学 等 の 状 況	文学研究科 日本文学専攻		2	7	-	14	修士（文学）	0.71	平成26年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	日本文学専攻		3	2	-	6	博士（文学）	0.16	平成29年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	言語文化研究科 言語文化専攻		2	55	-	110	修士（人文科学、ビジネス日 本語）	0.85	平成22年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	言語文化専攻		3	2	-	6	博士（人文科学）	0.83	平成29年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	法学研究科 ビジネス法務専攻		2	10	-	20	修士（法学）	0.15	平成30年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	ビジネス法務専攻		3	3	-	9	博士（法学）	0.50	令和3年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	政治経済学研究科 政治経済学専攻		2	10	-	20	修士（政治経済学）	0.15	平成22年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	政治経済学専攻		3	3	-	9	博士 （政治学、経済学）	0.00	平成25年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	経営学研究科 会計学専攻		2	10	-	20	修士（会計学）	1.10	平成31年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	データサイエンス研究科 データサイエンス専攻		2	10	-	20	修士（データサイエンス 学）	0.50	令和3年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	データサイエンス専攻		3	3	-	6	博士（データサイエンス 学）	1.00	令和4年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	人間社会研究科 人間学専攻		2	30	-	60	修士 （臨床心理学、人間行動学、言 語聴覚学）	0.90	平成11年度	（臨床心理学、 人間行動学） 東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	人間学専攻		3	3	-	9	博士（人間学）	0.77	平成14年度	（言語聴覚学） 東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	実践福祉学専攻		2	7	-	14	修士（社会福祉学）	0.21	平成24年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	仏教学研究科 仏教学専攻		2	5	-	10	修士（仏教学）	0.30	平成28年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	仏教学専攻		3	2	-	6	博士（仏教学）	0.66	平成25年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	工学研究科 数理工学専攻		2	15	-	30	修士（工学）	0.23	平成31年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	数理工学専攻		3	2	-	6	博士（工学）	0.00	令和3年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	建築デザイン専攻		2	15	-	30	修士（工学）	0.30	平成31年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	環境学研究科 環境マネジメント専攻		2	10	-	20	修士（環境学）	0.40	平成22年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	環境システム専攻		3	2	-	6	博士（環境学）	0.16	平成30年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	教育学研究科 教育学専攻		2	10	-	20	修士（教育学）	0.75	平成26年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	薬科学研究科 薬科学専攻		2	5	-	10	修士（薬科学）	0.00	平成24年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	薬科学専攻		3	5	-	15	博士（薬科学）	0.60	平成21年度	東京都西東京市 新町一丁目1番 20号	
	看護学研究科 看護学専攻		2	10	-	20	修士（看護学）	0.75	平成22年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	
	看護学専攻		3	3	-	9	博士（看護学）	1.44	平成25年度	東京都江東区 有明三丁目3番 3号	

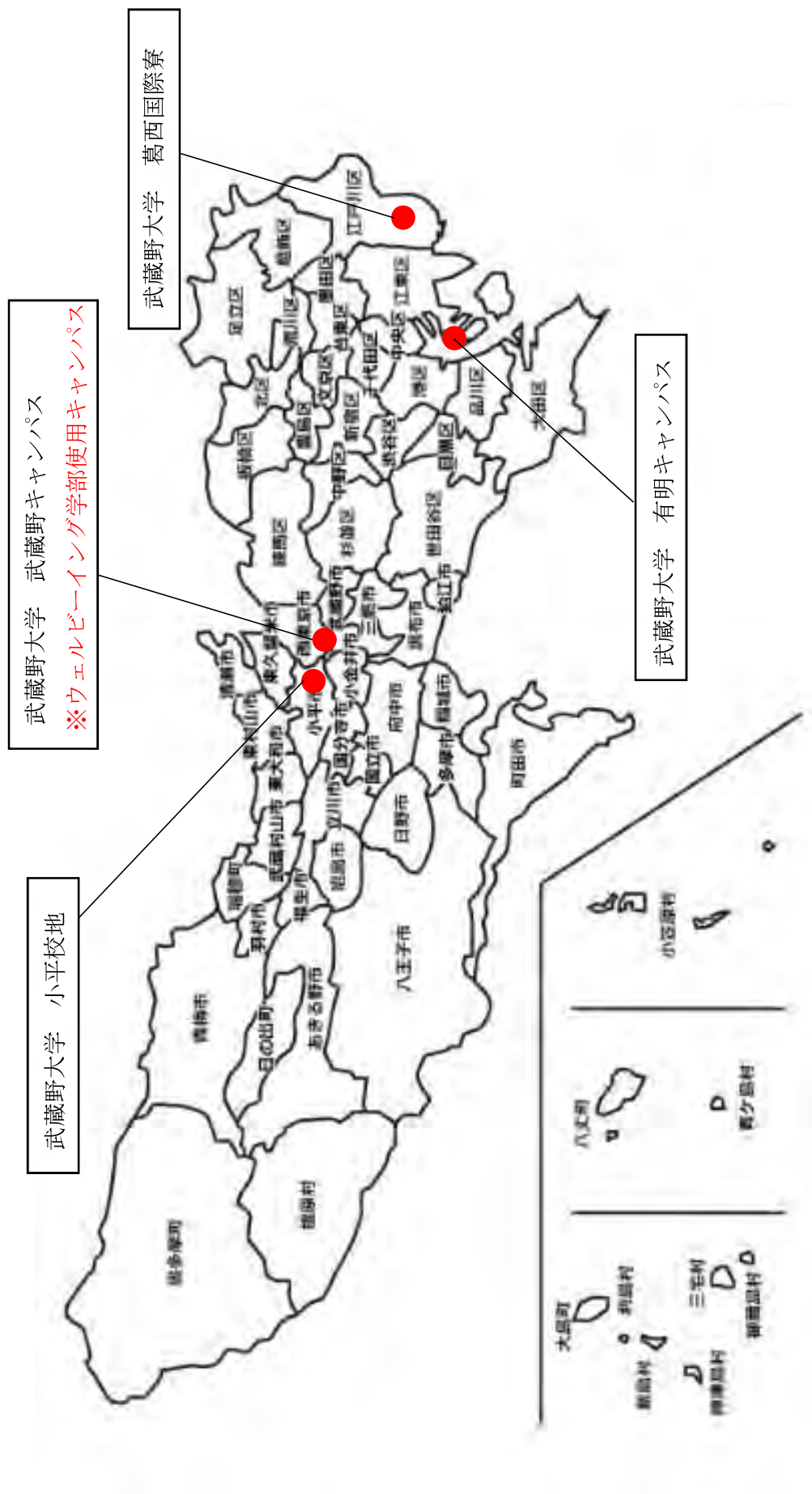
既設大学等の状況	通信教育部 人間社会研究科 人間学専攻	2	60	-	120	修士（人間学）	1.77	平成21年度	東京都江東区 有明三丁目3番3号	
	実践福祉学専攻	2	10	-	20	修士（社会福祉学）	1.05	平成30年度	東京都西東京市 新町一丁目1番20号	
	仏教学研究科 仏教学専攻	2	20	-	40	修士（仏教学）	1.50	平成28年度	東京都江東区 有明三丁目3番3号	
	環境学研究科 環境マネジメント専攻	2	10	-	20	修士（環境学）	2.00	平成26年度	東京都江東区 有明三丁目3番3号	
附属施設の概要		名称：薬用植物園 目的：薬学に関する教育研究 所在地：東京都西東京市新町一丁目1番20号 設置年月：平成16年4月 規模等：土地992㎡、保有植物は68科190種								

学校法人武蔵野大学 設置認可等に関わる組織の移行表

令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由	
武蔵野大学				武蔵野大学					
文学部				文学部					
日本文学文化学科	200	2年次	5	815	200	2年次	5	815	
グローバル学部				グローバル学部					
グローバルコミュニケーション学科	165	3年次	3	666	165	3年次	3	666	
日本語コミュニケーション学科	80	3年次	5	330	80	3年次	5	330	
グローバルビジネス学科	55	3年次	7	234	55	3年次	7	234	
法学部				法学部					
法律学科	190	2年次	3	769	190	2年次	3	769	
政治学科	100	2年次	3	409	100	2年次	3	409	
経済学部				経済学部					
経済学科	175	2年次	3	709	175	2年次	3	709	
経営学部				経営学部					
経営学科	220	2年次	3	889	220	2年次	3	889	
会計ガバナンス学科	90	—	360	会計ガバナンス学科	90	—	360		
アントレプレナーシップ学部				アントレプレナーシップ学部					
アントレプレナーシップ学科	60	—	240	アントレプレナーシップ学科	60	—	240		
データサイエンス学部				データサイエンス学部					
データサイエンス学科	90	—	360	データサイエンス学科	90	—	360		
人間科学部				人間科学部					
人間科学科	215	2年次	2	866	215	2年次	2	866	
社会福祉学科	145	2年次	4	592	145	2年次	4	592	
				<u>ウェルビーイング学部</u>					
				<u>ウェルビーイング学科</u>	<u>80</u>	2年次 <u>10</u>	<u>350</u>	学部の設置(届出)	
工学部				工学部					
サステナビリティ学科	70	—	280	サステナビリティ学科	70	—	280		
数理工学科	60	—	240	数理工学科	60	—	240		
建築デザイン学科	70	—	280	建築デザイン学科	70	—	280		
教育学部				教育学部					
教育学科	120	—	480	教育学科	120	—	480		
幼児教育学科	100	—	400	幼児教育学科	100	—	400		
薬学部				薬学部					
薬学科	145	—	870	薬学科	145	—	870		
看護学部				看護学部					
看護学科	125	—	500	看護学科	125	—	500		
通信教育部				通信教育部					
人間科学部				人間科学部					
人間科学科	250	3年次	700	2,400	250	3年次	700	2,400	
教育学部				教育学部					
教育学科	15	2年次	55	225	15	2年次	55	225	
計	2,740	2年次	78	12,914	計	2,820	2年次	88	13,264
		3年次	715			3年次	715		

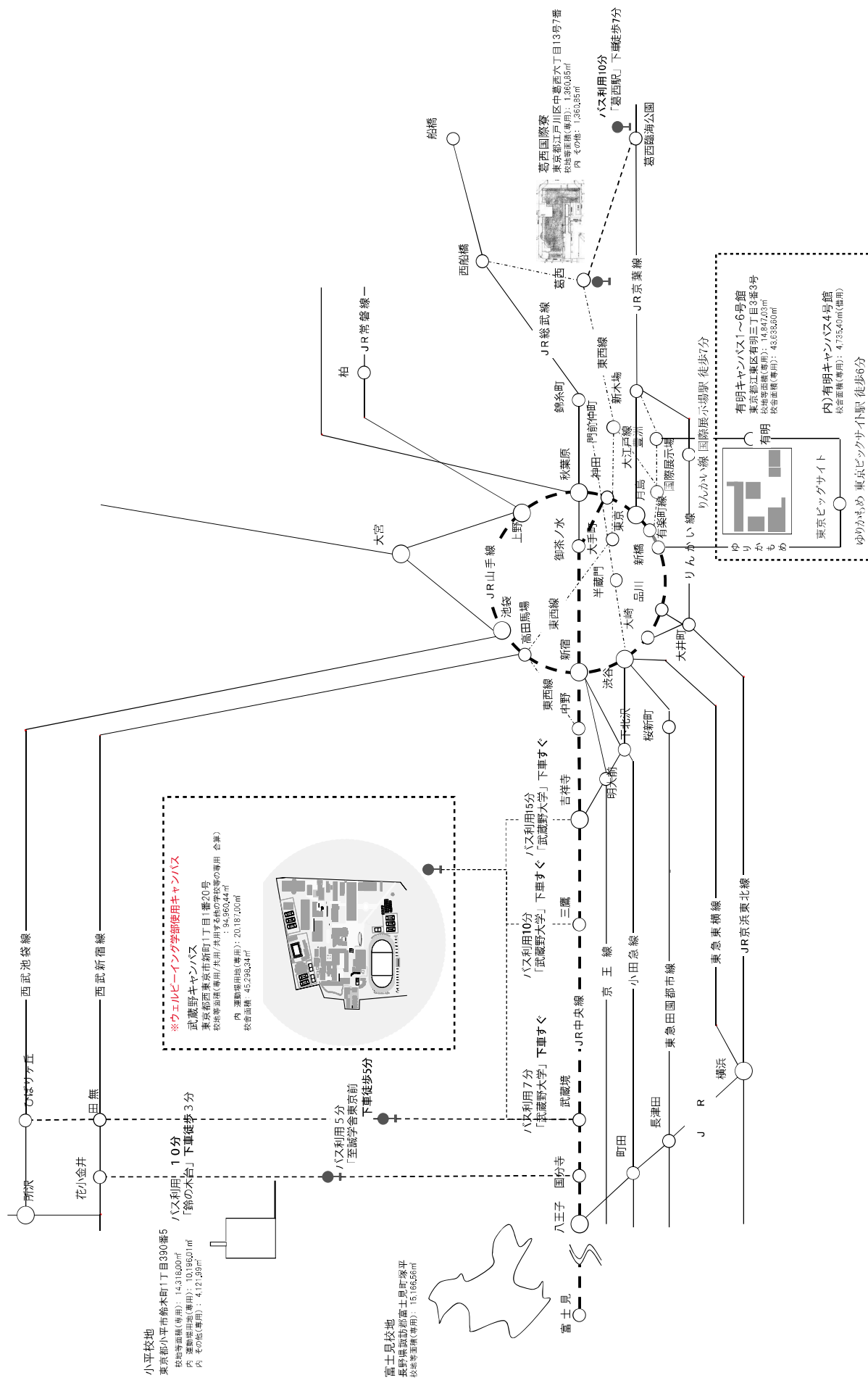
令和5年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和6年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
武蔵野大学大学院				武蔵野大学大学院				
文学研究科				文学研究科				
日本文学専攻(修士課程)	7	—	14	日本文学専攻(修士課程)	7	—	14	
日本文学専攻(博士後期課程)	2	—	6	日本文学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
言語文化研究科				言語文化研究科				
言語文化専攻(修士課程)	55	—	110	言語文化専攻(修士課程)	55	—	110	
言語文化専攻(博士後期課程)	2	—	6	言語文化専攻(博士後期課程)	2	—	6	
法学研究科				法学研究科				
ビジネス法務専攻(修士課程)	10	—	20	ビジネス法務専攻(修士課程)	10	—	20	
ビジネス法務専攻(博士後期課程)	3	—	9	ビジネス法務専攻(博士後期課程)	3	—	9	
政治経済学研究科				政治経済学研究科				
政治経済学専攻(修士課程)	10	—	20	政治経済学専攻(修士課程)	10	—	20	
政治経済学専攻(博士後期課程)	3	—	9	政治経済学専攻(博士後期課程)	3	—	9	
経営学研究科				経営学研究科				
会計学専攻(修士課程)	10	—	20	会計学専攻(修士課程)	10	—	20	
データサイエンス研究科				データサイエンス研究科				
データサイエンス専攻(修士課程)	10	—	20	データサイエンス専攻(修士課程)	10	—	20	
データサイエンス専攻(博士後期課程)	3	—	9	データサイエンス専攻(博士後期課程)	3	—	9	
人間社会研究科				人間社会研究科				
人間学専攻(修士課程)	30	—	60	人間学専攻(修士課程)	30	—	60	
人間学専攻(博士後期課程)	3	—	9	人間学専攻(博士後期課程)	3	—	9	
実践福祉学専攻(修士課程)	7	—	14	実践福祉学専攻(修士課程)	7	—	14	
仏教学研究科				仏教学研究科				
仏教学専攻(修士課程)	5	—	10	仏教学専攻(修士課程)	5	—	10	
仏教学専攻(博士後期課程)	2	—	6	仏教学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
工学研究科				工学研究科				
数理工学専攻(修士課程)	15	—	30	数理工学専攻(修士課程)	15	—	30	
数理工学専攻(博士後期課程)	2	—	6	数理工学専攻(博士後期課程)	2	—	6	
建築デザイン専攻(修士課程)	15	—	30	建築デザイン専攻(修士課程)	15	—	30	
環境学研究科				環境学研究科				
環境マネジメント専攻(修士課程)	10	—	20	環境マネジメント専攻(修士課程)	10	—	20	
環境システム専攻(博士後期課程)	2	—	6	環境システム専攻(博士後期課程)	2	—	6	
教育学研究科				教育学研究科				
教育学専攻(修士課程)	10	—	20	教育学専攻(修士課程)	10	—	20	
薬科学研究科				薬科学研究科				
薬科学専攻(修士課程)	5	—	10	薬科学専攻(修士課程)	5	—	10	
薬科学専攻(博士後期課程)	5	—	15	薬科学専攻(博士後期課程)	5	—	15	
看護学研究科				看護学研究科				
看護学専攻(修士課程)	10	—	20	看護学専攻(修士課程)	10	—	20	
看護学専攻(博士後期課程)	3	—	9	看護学専攻(博士後期課程)	3	—	9	
通信教育部				通信教育部				
人間社会研究科				人間社会研究科				
人間学専攻(修士課程)	60	—	120	人間学専攻(修士課程)	60	—	120	
実践福祉学専攻(修士課程)	10	—	20	実践福祉学専攻(修士課程)	10	—	20	
仏教学研究科				仏教学研究科				
仏教学専攻(修士課程)	20	—	40	仏教学専攻(修士課程)	20	—	40	
環境学研究科				環境学研究科				
環境マネジメント専攻(修士課程)	10	—	20	環境マネジメント専攻(修士課程)	10	—	20	
計	339		708	計	339		708	

都道府県内における位置関係の図面



図面-1

最寄り駅からの距離、交通機関及び所要時間がわかる図面

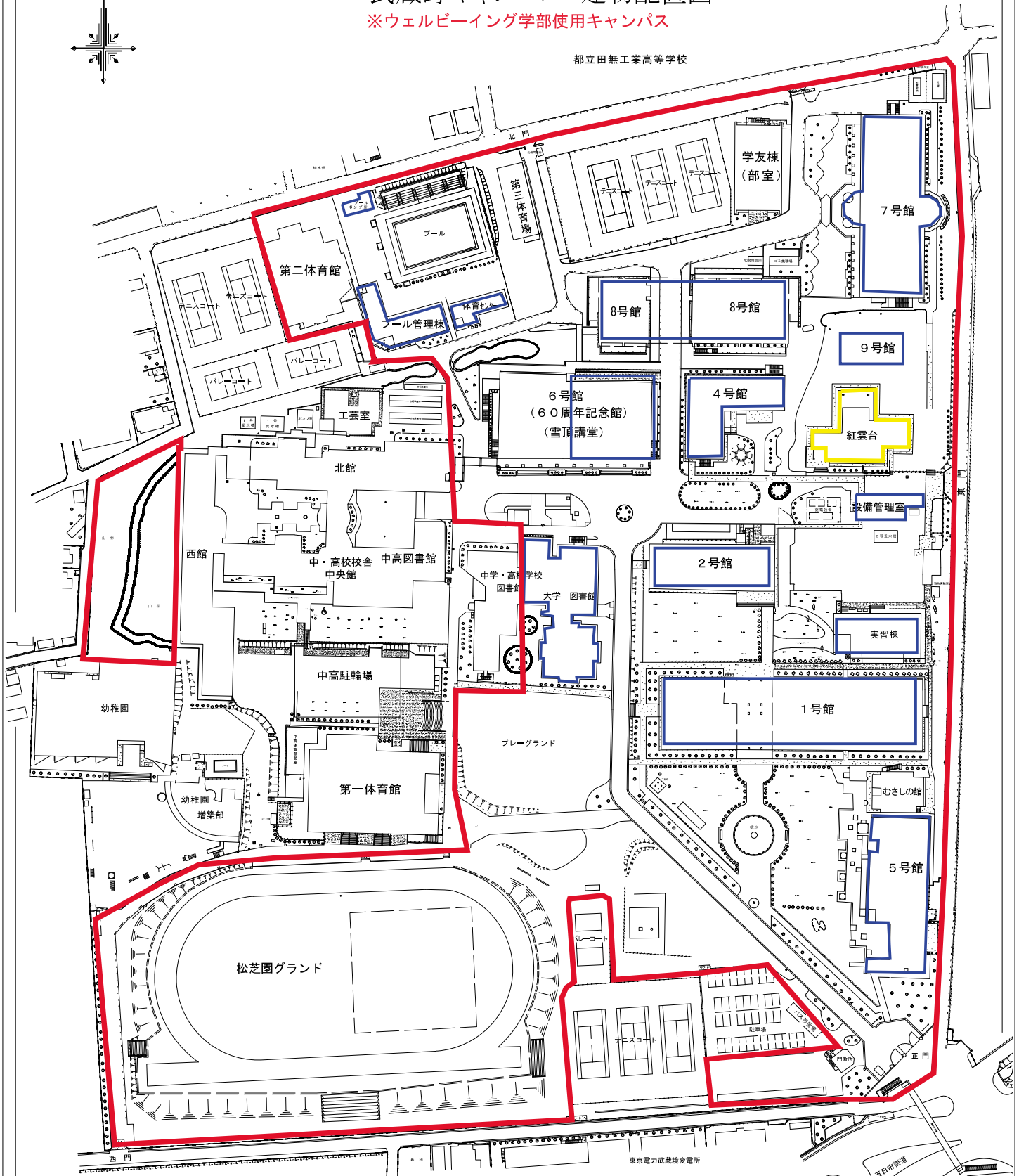


校舎、運動場等の配置図

武蔵野キャンパス 建物配置図

※ウェルビーイング学部使用キャンパス

都立田無工業高等学校



・校地面積（専用/共用）：74,224.00㎡
 内 運動場用地（専用）：20,187.00㎡
 内 校舎敷地（専用）：52,685.00㎡
 内 校舎敷地（共用）：1,352.00㎡

・校舎面積（専用）45,298.34㎡

 ・校舎面積（共用）624.78㎡

平成15年9月一部修正
 平成16年12月一部修正（8号館新築）
 平成18年5月一部修正（学友棟新築）
 平成26年2月一部修正

0m 10m 20m 30m 40m 50m

（この現況図は、1/250の縮小図である）

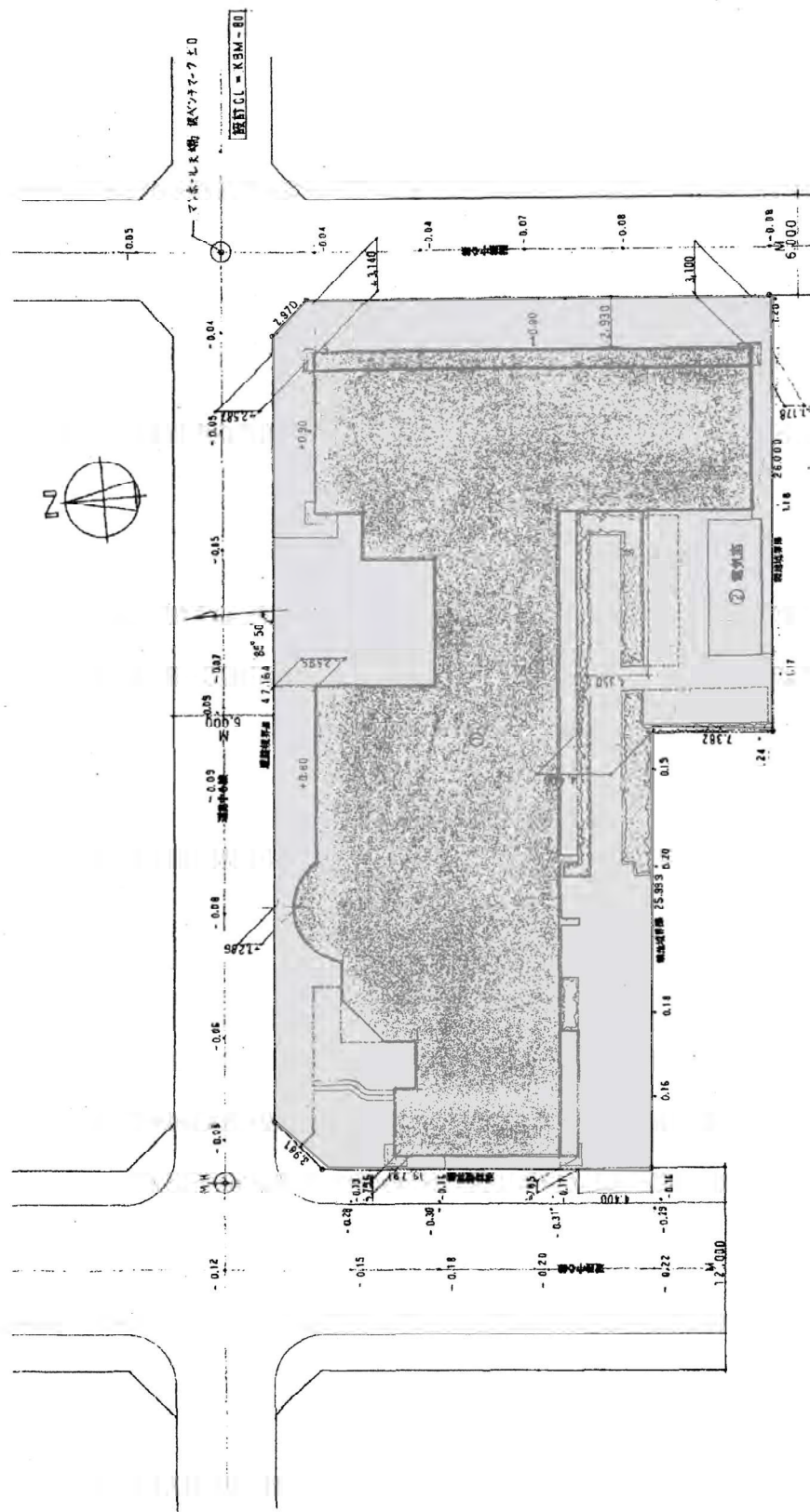
有明キャンパス 建物配置図



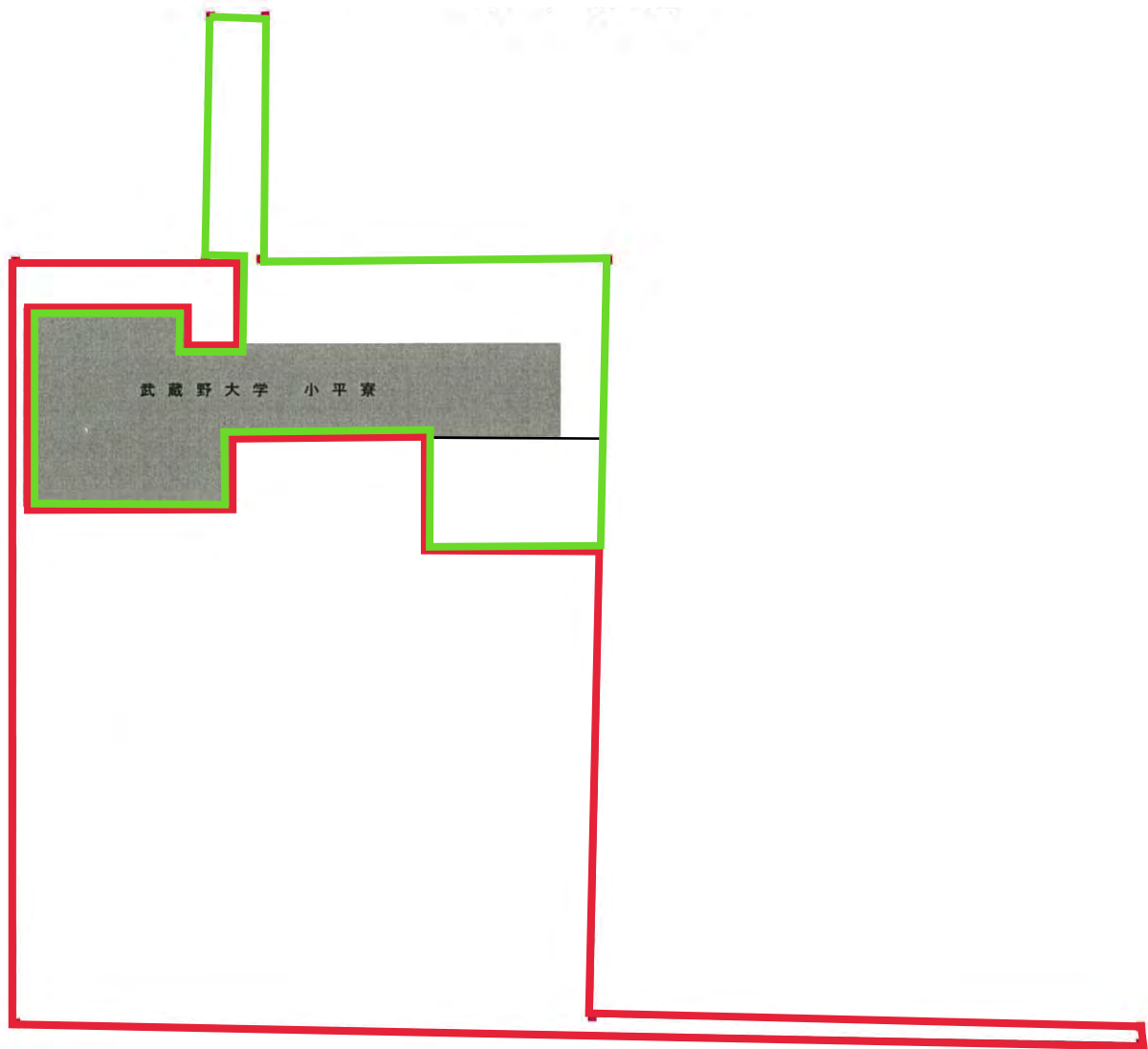
図面-4

葛西国際寮 敷地図

.....校地等面積「その他(専用)」: 1,360.85㎡



小平校地

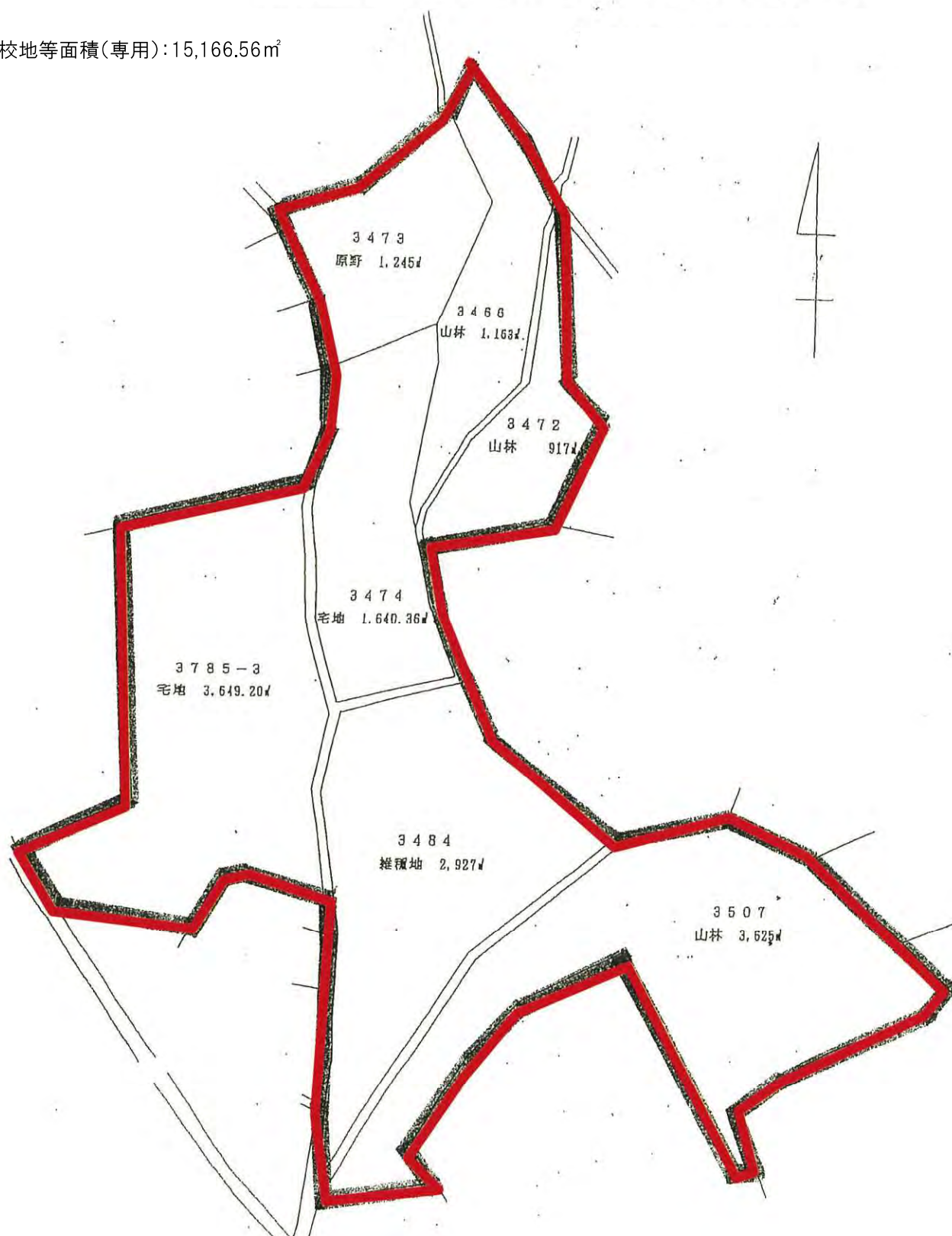


..... 校地等面積「運動場用地（専用）」：10,196.01㎡

..... 校地等面積「その他（専用）」：4,121.99㎡

富士見校地 敷地図

 校地等面積(専用):15,166.56㎡



○武蔵野大学学則（案）

（昭和40年 1月25日）

改正	昭和42年	1月28日	昭和44年	4月1日
	昭和45年	4月10日	昭和46年	4月1日
	昭和47年	4月1日	昭和48年	4月1日
	昭和49年	4月1日	昭和50年	4月1日
	昭和51年	4月1日	昭和52年	4月1日
	昭和53年	4月1日	昭和54年	4月1日
	昭和55年	4月1日	昭和56年	4月1日
	昭和57年	4月1日	昭和58年	4月1日
	昭和59年	4月1日	昭和60年	4月1日
	昭和61年	4月1日	昭和62年	4月1日
	昭和63年	4月1日	平成元年	4月1日
	平成2年	4月1日	平成3年	4月1日
	平成3年	7月1日	平成3年10月	1日
	平成4年	4月1日	平成5年	4月1日
	平成6年	4月1日	平成7年	4月1日
	平成8年	4月1日	平成9年	4月1日
	平成10年	4月1日	平成11年	4月1日
	平成12年	4月1日	平成13年	4月1日
	平成14年	4月1日	平成15年	4月1日
	平成16年	4月1日	平成17年	4月1日
	平成18年	4月1日	平成19年	4月1日
	平成20年	4月1日	平成21年	4月1日
	平成22年	4月1日	平成23年	4月1日
	平成24年	4月1日	平成25年	4月1日
	平成26年	4月1日	平成27年	4月1日
	平成28年	4月1日	平成29年	4月1日
	平成30年	4月1日	平成31年	4月1日
	令和2年	4月1日	令和3年	4月1日
	令和4年	4月1日	令和5年	4月1日
	令和6年	4月1日		

第1章 総則

（名称）

第1条 本学は、武蔵野大学（以下「本学」という。）と称する。

（目的）

第2条 本学は、教育基本法及び学校教育法に準拠し、かつ、仏教精神を根幹として学識、情操、品性ともにすぐれた人格を育成するとともに、学問の研究を深め、世界の平和と人類の幸福に寄与することをもって目的とする。

2 各学部・学科の教育目的は次のとおりとする。

（1） 文学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、文学を学び、文化を理解し、社会で活躍できる表現・伝達能力を身につけた人材の育成を目的とする。

＜日本文学文化学科＞

日本文学及び日本文化を学ぶことを通じて豊かな感性を養い、読解力・表現力・創造力・批評力を身につけ、新しい文化を創造することのできる人材の育成を目的とする。

（2） グローバル学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、複数の言語を駆使し、多様な学生や多文化との関わりの中で、広い視野をもってグローバルな視点から問題発見・課題解決ができる人材の育成を目的とする。

＜グローバルコミュニケーション学科＞

英語、中国語、日本語のうち、母語以外の2言語を駆使し、言語文化を中心とする知識を有し、グローバルな環境で活躍することのできる人材を育成する。

＜日本語コミュニケーション学科＞

日本語の高度なコミュニケーション能力と課題解決能力を有し、国際社会に日本

語と日本文化を発信するなど、グローバルに活躍できる人材を育成する。

<グローバルビジネス学科>

英語を含む複数の言語を駆使し、ビジネス社会でグローバルに活躍できる人材を育成する。

(3) 法学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、法律学又は政治学の専門的な知識を養い、普遍的なものの見方、考え方を身につけ、共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。

<法律学科>

幸福な生活の実現に役立つ実用的な法律知識と考え方を身につけることによって、共生の視点を持って持続可能な社会の形成に貢献できる人材を育成する。

<政治学科>

自分を取り巻く社会環境を理解し、公共精神と共生の視点をもった市民としての能力・技能を身につけることによって、持続可能な社会の形成に貢献できる人材を育成する。

(4) 経済学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、経済学の専門的な知識を養い、普遍的・科学的なものの見方、考え方を身につけ、共生の視点を持って課題発見・解決のできる人材の育成を目的とする。

<経済学科>

国際化した社会の中で、高い倫理観と共生の視点を持ち、社会貢献と自己実現を目指して、経済学の方法と知見によって普遍的・科学的なものの見方・考え方を修得することで、問題発見・解決ができ、国内外の企業や官公庁など幅広い分野での活躍ができる人材を育成する。

(5) 経営学部

仏教精神を根幹として、世界の幸せの実現に向け高い倫理観と共生の視点を育成するとともに、経営学及び会計学における専門知識と技能を修得し、多様で複雑化するビジネス分野及び非営利・公共分野等において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

<経営学科>

変転著しい国際社会の中で、世界の幸せの実現に向け、高い倫理観と共生の視点を持ち、経営学を中心とした社会科学の知識と技能を修得し、組織人として、あるいは個人で、ビジネス分野を中心とした領域及びその他の様々な領域において、多様な諸問題を発見・解決できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

<会計ガバナンス学科>

国際化した社会の中で、高い倫理観と共生の視点を持ち、社会貢献と自己実現を目指して、会計言語を駆使し、営利組織・非営利組織を問わず、組織を批判的見地で分析できる知識を養い、国内外の企業等のビジネス分野及び非営利・公共分野等で活躍できる有為な人材、中小企業の事業承継者や経営幹部、並びに公認会計士、税理士等の専門人材を育成する。

(6)アントレプレナーシップ学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材の育成を目的とする。

<アントレプレナーシップ学科>

変革期を迎え、予測困難で多様性に富んだ現代社会の中で、高い倫理観と好奇心をもって、世界の幸せのために未知なるものに挑戦しようという志、起業家精神（アントレプレナーシップ）を抱き、多様な背景を持つ人を巻き込みながら、既存の枠を超えて新たな価値を創造できる実践的な能力を身につけた人材を育成する。

(7) データサイエンス学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、データ、メディアコンテンツ及びそれらの分析・統合による「知の創造」を対象とする新しい学術を志向し、多くの応用の発展を実現できる人材を養成する。

＜データサイエンス学科＞

ビッグデータ、人工知能・機械学習等の新領域の経済的、技術的基礎と応用を学習し、データ、メディアコンテンツの分析・統合により、ビッグデータの戦略的活用と意思決定が行える人材を養成する。

(8) 人間科学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、人間が直面する歴史的・社会的諸課題を、心理、生命、社会、福祉などの側面から科学的に理解し、実践的に解決できる人材の育成を目的とする。

＜人間科学科＞

人間の心理、生命、社会行動を科学的方法論に基づいて研究し、人間が直面する諸課題を人間尊重の立場にたって実践的に解決できる人材の育成を目的とする。

＜社会福祉学科＞

人と社会の共生を実現しようとする人格を育成するとともに、社会福祉又はこれに関連する実践的で専門的な知識と技術を持つ人材の育成を目的とする。

(9) ウェルビーイング学部

仏法の真理観を根幹として、人間の抱える根源的な苦悩からの解放を見据えつつ、学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、科学や技術の最先端の知見や成果も取り入れた学際的なアプローチによって、幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、人々と世界のウェルビーイングをデザインし、創造していく人材の育成を目的とする。

＜ウェルビーイング学科＞

ウェルビーイングという総合的概念についての社会学・心理学的知見や、新たに創造的なデザインを行うため問題発見・課題解決できる実践的な能力を身につけ、今後のあるべきウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組んでいく人材を養成する。

(10) 工学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、専門的な知識を養い、持続可能な社会構築に向けて主体的に参画し、工学的手法により課題解決のできる人材を養成する。

＜サステナビリティ学科＞

人類社会や地球環境のサステナビリティに対する深い理解に基づき、ソーシャルデザイン及び環境エンジニアリングの知識・方法・技術によって、サステナブルな世界の実現に貢献できる人材を養成する。

＜数理工学科＞

自然現象や社会現象をモデル化して理解し、システム設計に応用することができる人材や、大規模データから問題の本質を見抜くデータサイエンティスト等、数理工学の専門能力を身につけ、持続可能な社会構築に向けて主体的に参画する人材を養成する。

＜建築デザイン学科＞

建築の分野を中心に、持続可能な社会構築に向けてデザインできる専門的能力を活用して現代社会が直面する多様な課題を解決できる人材を育成する。

(11) 教育学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、幅広い視野を持って教育及び教育支援に携わることのできる人材の育成を目的とする。

＜教育学科＞

児童生徒の成長・発達に関する知識を学習し、児童生徒を健やかに育むための技術と実践力を身につけ、教育とその支援活動を行える、高い人格と専門的な実践力・

企画力をもった教育者の育成を目的とする。

＜幼児教育学科＞

人格教育に重きを置き、乳幼児期から児童期・青年期に至る発達全体を見通しながら、特に乳幼児期の子供の成長発達に関しての専門性の高い幼児教育者・保育者の育成を目的とする。

(12) 薬学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、慈悲の心を持ち、多様な薬学関連分野で人々に貢献できる人材の育成を目的とする。

＜薬学科＞

6年一貫教育の趣旨を生かし、教養教育から基礎薬学教育、医療薬学教育へと系統的な教育を行うことで、医療人として高い倫理観と高度な専門知識を兼ね備えた実践力のある薬剤師の育成を目的とする。

(13) 看護学部

仏教精神を根幹として学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、人の「生老病死」と看護は密接に関係することを認識し、人々の健康及び福祉の向上に貢献できる人材の育成を目的とする。

＜看護学科＞

深い人間理解を基盤に、高い倫理観と看護の専門的な知識及び技術を有する看護職の育成を目的とする。

(学長)

第2条の2 学長は、校務をつかさどり、所属職員を統督する。

2 教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定めるものについては、別に定める。

3 学長の任期及び選任については、別に定める。

(自己点検・評価)

第3条 本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検し、評価を行う。

2 点検、評価に関しての事項・体制については、別に定める。

(認証評価)

第3条の2 本学は、学校教育法に則り、文部科学大臣の認証を受けた者（認証評価機関）による評価（認証評価）を受けるものとする。

2 認証評価に関しての事項・体制については、別に定める。

(学部・学科及び学生定員)

第4条 本学に次の学部、学科及び専修を置き、定員は次のとおりとする。人間科学科における精神保健福祉士の定員は（ ）内のとおり定める。

学部	学 科 ・ 専 攻	入学定員	編入学定員		収容定員
			2年次	3年次	
文学部	日本文学文化学科	200名	5名	—	815名
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科	165名	—	3名	666名
	日本語コミュニケーション学科	80名	—	5名	330名
	グローバルビジネス学科	55名	—	7名	234名
法学部	法律学科	190名	3名	—	769名
	政治学科	100名	3名	—	409名
経済学部	経済学科	175名	3名	—	709名

経営学部	経営学科		220名	3名	—	889名
	会計ガバナンス学科		90名	—	—	360名
アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科		60名	—	—	240名
データサイエンス学部	データサイエンス学科		90名	—	—	360名
人間科学部	人間科学科		215名 (20名)	2名	—	866名 (80名)
	社会福祉学科		145名	4名	—	592名
ウェルビーイング学部	ウェルビーイング学科		80名	10名	—	350名
工学部	サステナビリティ学科		70名	—	—	280名
	数理工学科		60名	—	—	240名
	建築デザイン学科		70名	—	—	280名
教育学部	教育学科	初等コース	120名	—	—	480名
		国語コース			—	
		英語コース			—	
		理科コース			—	
	幼児教育学科		100名	—	—	400名
薬学部	薬学科		145名	—	—	870名
看護学部	看護学科		125名	—	—	500名

(大学院)

第4条の2 本学に大学院を置く。

2 大学院に関する事項は、武蔵野大学大学院学則に定める。

(通信教育課程)

第4条の3 本学に通信教育部を置く。

2 通信教育部に関する事項は、武蔵野大学通信教育部学則及び武蔵野大学大学院通信教育部学則に定める。

(別科)

第4条の4 本学に別科（日本語教育課程）及び別科（介護福祉士養成課程）を置く。

2 別科に関する規程は、別に定める。

(専攻科)

第4条の5 本学に専攻科（言語聴覚士養成課程）を置く。

2 専攻科に関する規程は、別に定める。

第5条 (削除)

(修業年限及び在学期間)

第6条 各学科の修業年限は4年とし、在学期間は8年を超えることができない。ただし、薬学部薬学科においては、修業年限は6年とし、在学期間は12年を超えることができない。

第2章 学年、学期及び休業日

(学年)

第7条 学年は、4月1日に始まり翌年3月31日に終る。

(学期)

第8条 学年は、2学期又は4学期に分ける。

2 前項の学期の期間については、別に定める。

3 年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め、35週にわたることを原則とする。

(休業日)

第9条 休業日は、次のとおりとする。

(1) 日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律に定めた日

(3) 本学創立記念日(5月21日)

(4) 夏季休業、冬季休業、春季休業に関しては別に定める。

(5) その他学長が必要と認めたときは、臨時に休業し、又は休業日に授業を行うことがある。

第3章 授業科目及び単位算定基準

(授業科目)

第10条 本学には、次の授業科目を置く。

共通科目・学科科目

2 (削除)

3 前項により開講する授業科目の種類及び単位数は、別表(1)及び教育学部教育学科履修内規のとおりとする。

(資格課程の授業科目)

第11条 前条に定めるほか、教職、司書、司書教諭、日本語教員養成、建築士、保育士、社会福祉士、精神保健福祉士及び保健師に関する授業科目を置く。

2 前項により開講する授業科目の種類及び単位数は、別表(2)～(4)、(6)及び(8)(9)(10)(11)(12)のとおりとする。

(単位)

第12条 各授業科目の単位数は、45時間の学修を必要とする内容をもって1単位とすることを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とする。

(3) 前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究、卒業制作の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することができる。

2 学生が各年次にわたって適切に授業科目を履修するため、卒業の要件として学生が履修すべき単位数について、1年間に履修科目として登録できる単位数の上限を定める。

3 前項に定める単位数の上限は、別表(1)～3に定める。

4 所定の単位を優れた成績をもって修得した学生については、前項に定める上限を超えて履修科目の登録を認めることができる。

(メディアを利用して行う授業)

第12条の2 本学において教育上有益と認めるときは、前条の授業を、多様なメディアを高度に利用して、教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項の授業の方法により修得する単位数は、卒業の要件として修得すべき単位数のうち60単位を超えないものとする。

- 3 メディアを利用して行う授業科目及び授業方法については別に定める。

第4章 試験及び単位の認定

(単位の認定)

第13条 1つの授業科目を履修した者に対しては、試験の上単位を与える。

- 2 各授業科目について授業時数の3分の1以上欠席した者は、その授業科目の単位の認定を受けることができない。

(追、再試験)

第13条の2 病気その他やむを得ない事情により定期試験に欠席した者に対しては、追試験を行うことがある。

- 2 不合格の科目については、再試験を行うことがある。
3 追試験及び再試験の実施については別に定める。

(成績評価)

第14条 試験の成績評価は、次のとおりとする。

- S (100点～90点)、A (89点～80点)、B (79点～70点)、
C (69点～60点)、D (59点～0点)。
C以上を合格とし、Dは不合格とする。

第15条 (削除)

第16条 (削除)

第17条 (削除)

第18条 (削除)

(他大学等における学修)

第19条 本学において教育上有益と認めるときは、他の大学又は短期大学との協議に基づき、学生に当該他大学又は短期大学の授業科目を履修させることができる。

- 2 前項の規定により履修した授業科目については、合計60単位を超えない範囲で卒業要件の単位として認めることができる。
3 前2項は、国内外の大学等へ留学した場合にも適用する。

(大学以外の教育施設における学修)

第19条の2 本学において教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が別に定める学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を認めることができる。

- 2 前項により認めることができる単位数は、前条により本学において修得したものと認める単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定)

第20条 本学において教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位(科目等履修生として修得した単位を含む。)を本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したとみなし単位を認めることができる。

- 2 前項により修得したものとみなして認めることのできる単位数は、編入学、転学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第19条及び前条による単位数と合わせて60単位を超えないものとする。
3 前2項の単位認定の取り扱いについては、別に定める。

(外国人留学生の単位の読み替え)

第21条 (削除)

第5章 卒業・学位授与及び資格の取得

(卒業の要件)

第22条 卒業の要件は、文学部並びにグローバル学部、法学部、経済学部、経営学部、アントレプレナーシップ学部、データサイエンス学部、人間科学部、ウェルビーイング学部、工学部、教育学部、看護学部は合計124単位以上、薬学部は合計205単位

以上を修得していることとする。

(1) 文学部日本文学文化学科

日本文学文化学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、必修46単位を含めて76単位。自由選択単位は、32単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目等の資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

(2) グローバル学部グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科

グローバルコミュニケーション学科の共通科目は、必修12単位。学科科目は、必修24単位及び選択必修単位を含めて75単位。自由選択単位は、37単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

日本語コミュニケーション学科の共通科目は、必修12単位。学科科目は、必修23単位及び選択必修単位を含めて79単位。自由選択単位は、33単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

グローバルビジネス学科の共通科目は、必修11単位。学科科目は、必修28単位及び選択必修単位を含めて84単位。自由選択単位は、29単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

(3) 法学部法律学科、政治学科

法律学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、必修30単位を含めて82単位。自由選択単位は、26単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

政治学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、必修30単位を含めて83単位。自由選択単位は、25単位以上。ただし、卒業論文を履修しない者は、うち6単位は隣接科目群を除く学科科目とする。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

(4) 経済学部経済学科

経済学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、84単位。自由選択単位は、24単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

(5) 経営学部経営学科、会計ガバナンス学科

経営学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、必修22単位を含めて78単位。自由選択科目は、30単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

会計ガバナンス学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、必修22単位を含めて80単位。自由選択単位は、28単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。なお、育成プログラムについては別に定める。

(6) アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

アントレプレナーシップ学科の共通科目は、必修18単位。学科科目は、必修6単位を含めて97単位。自由選択単位は、9単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目から所要単位以上に取得した単位、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

(7) データサイエンス学部データサイエンス学科

データサイエンス学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は必修59単位を含めて96単位。自由選択単位は12単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

(8) 人間科学部人間科学科、社会福祉学科

人間科学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、必修38単位を含めて86単位。自由選択単位は、22単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

社会福祉学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は必修64単位を含めて88単位。自由選択単位は、20単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

(9) ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科

ウェルビーイング学科の共通科目は、必修12単位。学科科目は、必修86単位。自由選択単位は26単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

(10) 工学部 サステナビリティ学科、数理工学科、建築デザイン学科

サステナビリティ学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、必修49単位を含めて87単位。自由選択単位は21単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位、学校教育法施行規則第143条の2に定める教育関係共同利用拠点として認定された他大学の公開授業及び成果に基づき単位認定される科目をあてることができる。

数理工学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、必修40単位を含めて78単位。自由選択単位は、30単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目等の資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

建築デザイン学科の共通科目は、必修16単位。学科科目は、必修48単位を含めて78単位。自由選択単位は、30単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

(11) 教育学部教育学科、幼児教育学科

教育学科の共通科目は、必修15単位。ただし、理科コースの共通科目は、必修15単位を含めて17単位。学科科目は、初等コースが必修54単位を含めて78単位、国語コースが必修66単位を含めて84単位、英語コースが必修64単位を含めて77単位、理科コースが必修70単位を含めて92単位。自由選択単位は、初等コースが31単位以上、国語コースが25単位以上、英語コースが32単位以上、理科コースが15単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

幼児教育学科の共通科目は、必修15単位。学科科目は、必修61単位を含めて84単位。自由選択単位は、25単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、資格取得科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

(12) 薬学部薬学科

薬学科の共通科目は、必修14単位、学科科目は、必修185単位。自由選択単位は6単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。

(13) 看護学部看護学科

看護学科の共通科目は、必修15単位、学科科目は、必修101単位。自由選択単位は8単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、教職課程科目、他学

部・他学科履修許可科目、通信教育部人間科学部の認定心理士科目の単位をあてることができる。

2 (削除)

3 (削除)

4 (削除)

5 第1項の規定にかかわらず、成果に基づき単位認定する科目の単位を卒業要件に含むことができる。これについては別に定める。

(学位)

第22条の2 本学に4年以上（薬学部薬学科は6年以上）在学し（ただし、全ての学年で1年以上在籍すること）、前条第1項各号に定める単位を修得した者には、学長が教授会の意見を聴き、学長が卒業を認定し、次の学位を授与する。

文学部	日本文学文化学科	学士（文学）
グローバル学部	グローバルコミュニケーション学科	学士（グローバルコミュニケーション）
グローバル学部	日本語コミュニケーション学科	学士（日本語コミュニケーション）
グローバル学部	グローバルビジネス学科	学士（グローバルビジネス）
法学部	法律学科	学士（法学）
法学部	政治学科	学士（政治学）
経済学部	経済学科	学士（経済学）
経営学部	経営学科	学士（経営学）
経営学部	会計ガバナンス学科	学士（会計学）
アントレプレナーシップ学部	アントレプレナーシップ学科	学士（ビジネス）
データサイエンス学部	データサイエンス学科	学士（データサイエンス学）
人間科学部	人間科学科	学士（人間学）
人間科学部	社会福祉学科	学士（社会福祉学）
ウェルビーイング学部	ウェルビーイング学科	学士（ウェルビーイング）
工学部	サステナビリティ学科	学士（サステナビリティ学）
工学部	数理工学科	学士（工学）
工学部	建築デザイン学科	学士（工学）
教育学部	教育学科	学士（教育学）
教育学部	幼児教育学科	学士（幼児教育学）
薬学部	薬学科	学士（薬学）
看護学部	看護学科	学士（看護学）

2 前項の定めにかかわらず、3年以上在学し、卒業に必要な単位を優秀な成績で修得したと認める場合（薬学部薬学科を除く）には、前項を準用し、卒業させることができる。

(教員免許状の取得)

第22条の3 教員免許状を取得しようとする者は、教育職員免許法及び同法施行規則に基づく本学所定の別表（2）の単位を修得しなければならない。ただし、教育学科及び幼児教育学科において教員免許状取得に要する単位の修得については、別表（1）の中に定める。

2 取得できる教員免許状の種類は、次のとおりとする。

文学部	日本文学文化学科	高等学校教諭1種免許状（国語・書道）
		中学校教諭1種免許状（国語）
工学部	数理工学科	高等学校教諭1種免許状（数学）
		中学校教諭1種免許状（数学）
教育学部	教育学科	高等学校教諭1種免許状（国語・書道）
		高等学校教諭1種免許状（英語）

		高等学校教諭 1 種免許状（理科）
		中学校教諭 1 種免許状（国語）
		中学校教諭 1 種免許状（英語）
		中学校教諭 1 種免許状（理科）
		小学校教諭 1 種免許状
	幼児教育学科	幼稚園教諭 1 種免許状
看護学部	看護学科	養護教諭 1 種免許状

（司書資格）

第 2 2 条の 4 司書の資格を得ようとする者は、図書館法施行規則に基づく本学所定の別表（3）の単位を修得しなければならない。

（司書教諭資格）

第 2 2 条の 5 司書教諭の資格を得ようとする者は、学校図書館司書教諭講習規程に基づく本学所定の別表（4）の単位を修得しなければならない。

（社会教育主事課程）

第 2 2 条の 6 （削除）

（日本語教員養成課程）

第 2 2 条の 7 日本語教員養成のための、課程の修了の認定を受けようとする者は、本学所定の別表（6）の単位を修得しなければならない。

（一級建築士並びに二級建築士及び木造建築士）

第 2 2 条の 8 一級建築士並びに二級建築士及び木造建築士の受験資格を得ようとする者は、建築士法に基づく本学所定の別表（8）建築デザイン学科の単位を修得しなければならない。

（保育士）

第 2 2 条の 9 保育士の資格を得ようとする者は、児童福祉法施行規則に基づく本学所定の別表（9）の単位を修得し、幼児教育学科を卒業しなければならない。ただし、幼児教育学科卒業までの間に別表（9）の単位を修得できなかった者は、幼児教育学科卒業後、科目等履修生として単位を修得すれば、保育士資格を取得することができる。

（社会福祉士）

第 2 2 条の 1 0 社会福祉士の受験資格を得ようとする者は、社会福祉士及び介護福祉士法に基づく本学所定の別表（10）の単位を修得しなければならない。

（精神保健福祉士）

第 2 2 条の 1 1 精神保健福祉士の受験資格を得ようとする者は、精神保健福祉士法に基づく本学所定の別表（11）の単位を修得しなければならない。

第 6 章 入学、転入学、編入学、復学、再入学・復籍、休学、転部・転科・転専攻、留学、転学・退学及び除籍

（入学の時期）

第 2 3 条 入学は原則として毎年 1 回、時期は学年の始めとする。ただし、必要とされる場合には、年に 2 回とし、時期は別に定める。

（入学資格）

第 2 4 条 本学に入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

- （1） 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
- （2） 通常の課程による 1 2 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む）
- （3） 外国において学校教育における 1 2 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- （4） 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

- (5) 文部科学大臣の指定した者
 - (6) 文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者
 - (7) 本大学において、個別の入学資格審査により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達した者
- (出願)

第25条 入学志願者は、本学所定の入学願書その他の書類に入学検定料を添えて、指定の期日までに提出しなければならない。

(選考)

第26条 入学志願者に対して選考を行う。選考の方法等については、別に定める。

(手続き)

第27条 合格した者は、本学所定の書類に学費を添えて指定の期日までに入学の手続きをしなければならない。

- 2 正当な理由なく前項の手続きをしない者は、合格を取り消すことがある。

(許可)

第28条 合格した者のうちから、前条の手続きを行った者について学長が教授会の意見を聴き、入学を許可する。

- 2 (削除)

(保証人・緊急対応者)

第29条 保証人は、父母又はこれにかわる者とし、他に1名緊急時に対応できる者（以下「緊急対応者」という。）を必要とする。

- 2 保証人は、その学生の在学中に生じた事項について責任を負うものとする。
- 3 緊急対応者は、原則として東京都及びその近県に在住する者とし、緊急時に対応できる者とする。

(氏名・住所等の変更)

第30条 学生、保証人、緊急対応者の氏名、住所等連絡先が変更になったときは、その旨を速やかに届け出なければならない。

(保証人・緊急連絡先の変更)

第31条 保証人、緊急対応者が変更になったときは、速やかに新たな保証人、緊急対応者を届け出なければならない。

(転入学)

第31条の2 本学への転入学又は編入学を希望する者については、選考の上、学長が教授会の意見を聴き、これを許可することがある。

- 2 転入学に関する規程は、別に定める。

(編入学)

第31条の3 編入学することのできる者は、次の各号の一に該当する者でなければならない。

- (1) 短期大学を卒業した者
- (2) 大学の課程1年（31単位以上）若しくは2年（62単位以上）を修了した者
- (3) 学士の学位を有する者
- (4) 大学入学有資格者で、文部科学大臣の定めた基準（修業年限2年以上の課程修了に必要な総時間数1700時間以上）を満たす専修学校の専門課程を修了した者
- (5) 旧専門学校（3年制）を卒業した者
- (6) 高等専門学校（5年制）を卒業した者
- (7) 国立大学養護教諭養成所（3年制課程）国立工業教員養成所を卒業した者
- (8) 短期大学の課程1年（31単位以上）を修了した者
- (9) 3年以上の社会経験を有する者
- (10) 本学別科(日本語教育課程)において、科目等履修生として、所定の35単位を修得し、かつ一定の成績を修めた者
- (11) 高等学校専攻科（修業年限2年以上で、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす）を修了した者

2 編入学に関する規程は別に定める。

(復学)

第31条の4 休学期間が満了した場合は、復学となる。ただし、病気によって休学の許可を受けた者は、医師の診断書を添えて所定の「復学願」を提出しなければならない。

2 復学の時期は、原則として学年始めとする。ただし、修業にさしつかえない場合は、他の時期でも許可することがある。

3 休学期間中に休学の事由がやみ、復学しようとする者は所定の「復学願」を提出しなければならない。

(再入学・復籍)

第31条の5 退学又は除籍した者が3年以内に保証人連署にて再入学又は復籍を願い出たときは、選考の上、学長が教授会の意見を聴き、これを許可することがある。この場合において退学又は除籍以前の在学期間及び修得単位は所定の在学年限及び卒業所要単位に算入する。

2 再入学及び復籍の時期は、原則として学年始めとする。ただし、修業にさしつかえない場合は、他の時期でも許可することがある。

3 再入学及び復籍に関する規程は別に定める。

(休学)

第32条 病気又はやむを得ない理由により2カ月以上修学できない者は、医師の診断書又は詳細な理由を記載した保証人連署の休学願を提出し、学長の許可を得て休学することができる。

2 学長は病気等のため、修学が困難と認められる場合休学を命ずることができる。

(休学期間)

第33条 休学期間は、原則として当該年度内とする。ただし、やむを得ない場合には、その期間を6カ月ごとに延長することができる。

2 休学の期間は、通算して3年を超えることができない。

3 休学期間は、在学年限に算入しない。

(転部・転科・転専攻)

第33条の2 本学の学生が、大学の学部間への転部・転科・転専攻を願い出た場合において、それが教育上有益と認められるときは、学長がこれを許可することがある。

2 転部・転科・転専攻に関する規程は別に定める。

(留学)

第33条の3 本学の学生が、国内外の大学、又はこれに相当する高等教育機関への留学を願い出た場合において、それが教育上有益と認められるときは、学長がこれを許可することがある。

2 留学に関する規程は、別に定める。

第34条 (削除)

(退学・転学)

第35条 退学又は転学を希望する者は、保証人連署の上、その理由を記載した願いを提出して学長の許可を受けなければならない。

第36条 (削除)

第37条 (削除)

(除籍)

第38条 次の各号の一に該当する者は、除籍する。

(1) 在学期間が所定の年数を超えた者

(2) 第33条第2項に定める年数を超えた者

(3) 授業料その他学費を滞納し催告してもなお納付しない者

(4) 薬学部及び看護学部においては、卒業年次を除く同一学年に2年在籍し、なお進級できない者。ただし、休学期間を除く。

(5) 死亡の届け出があった者

(6) 外国人留学生で、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格を喪失した者

第 39 条 (削除)

第 40 条 (削除)

第 7 章 学費

(納入方法及び時期)

第 41 条 本学の学費は、別表 (7) のとおりとする。

特別な事由のある場合は、別に定めるところにより学費の減免を行うことができる。

学費の納入時期及び納入期限、延納については、別に定める。

第 42 条 (削除)

(納入金の返還)

第 43 条 既納の学費は、原則として返還しない。ただし、入学手続完了後、定められた期日までに入学辞退を申し出た者に対しては、入学金以外の納入金を返還することができる。

(休学中の学費)

第 44 条 休学中の学費については、別に定める。

(留学中の学費)

第 45 条 第 33 条の 3 における留学中の学費は別に定める。

(学期途中の退学・転学の学費)

第 46 条 学期の途中において退学又は転学をしようとする者は、その期の学費を納入しなければならない。

第 47 条 (削除)

(転入学・編入学・再入学の学費)

第 48 条 転入学、編入学又は再入学の場合の学費については別に定める。

第 8 章 教職員組織

(副学長及び学部長)

第 49 条 第 2 条の 2 に規定する学長の他、副学長、学部長を置くことができる。

2 副学長の業務については別に定める。

3 学部長は、学部に関する校務をつかさどる。

第 49 条の 2 (削除)

第 49 条の 3 (削除)

(教職員)

第 49 条の 4 本学に次の教職員を置く。

(1) 教授

(2) 准教授

(3) 講師

(4) 助教

(5) 助手

(6) 実習助手

(7) 事務職員

2 前項のほか、必要に応じ、技術職員及びその他必要な職員、非常勤の教職員を置くことができる。

(名誉教授)

第 49 条の 5 本学に名誉教授の称号を設ける。

2 名誉教授に関する規程は別に定める。

(名誉博士)

第 49 条の 6 本学に名誉博士の称号を設ける。

2 名誉博士に関する規程は別に定める。

(客員教員)

第 49 条の 7 本学に客員教員の称号を設ける。

2 客員教員に関する規程は別に定める。

(臨床教員)

第49条の8 本学に臨床教員の称号を設ける。

2 臨床教員に関する規程は別に定める。

(職務)

第50条 教職員の職務は、学校教育法及び本学で定める規程による。

第9章 教授会及び委員会

(教授会の設置及び構成)

第51条 学部に教授会を置く。教授会は学部長、学科長及び教授をもって構成する。ただし、学部長が必要と認めたときは構成員以外の教職員の出席をもとめることができる。

(招集及び議長)

第52条 教授会は、原則としてあらかじめ議案を通知して学部長がこれを招集し、その議長となる。学部長に事故があるときはあらかじめ学部長の指名した者が代行する。

(審議事項)

第53条 教授会は、次に掲げる事項を審議する。

(1) 学生の入学、卒業及び課程の修了に関する事項

(2) 学位の授与に関する事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聴くことが必要なものとして学長が定める事項

(4) 教育及び研究にかかわる規則及び組織に関する事項

(5) 教育課程及び履修方法に関する事項

(6) 学生の試験に関する事項

(7) 学生の休学、転学、退学に関する事項

(8) 学生の賞罰に関する事項

(9) 学生の厚生補導に関する事項

(10) その他教育及び研究に関する重要事項

(11) 上記各号に関する諸規程の制定・改廃に関する事項

(12) 学部運営上学部長が必要と認めた事項

2 前項第1号から第3号については、学長に意見を述べることとし、第4号以降については、学長の求めに応じ学長に意見を述べることができる。

3 教授会運営内規は別に定める。

(委員会)

第54条 本学又は学部に教育、厚生補導、図書施設等に関して委員会を設けることができる。

2 委員会に関する規程は別に定める。

第10章 付属施設

(付属施設)

第55条 本学に付属の図書館を置く。

2 本学には、前項に定めるほか、付属の研究所、センター、その他必要な教育研究施設を置くことができる。

3 付属施設に関する規則は、別に定める。

第11章 厚生、保健施設

(厚生・保健施設)

第56条 本学の教職員、学生の保健医療及び厚生のため、医務室、休養室その他を設ける。

第12章 学生寮

(学生寮)

第57条 本学に学生寮を設ける。

2 学生寮に関する規程は別に定める。

第13章 賞罰

(表彰)

第58条 次の各号の一に該当する者に対し、学長は、これを賞することができる。

(1) 成績特に優秀なる者

(2) 品行方正にして他学生の模範となる者

2 前項以外にも、学長が特別に優秀と認めた者については、これを賞することができる。

(懲戒)

第59条 本学の学則に背き又は本学の秩序を乱し、学生としての本分に反した行為のあるときは、学長はこれを懲戒する。懲戒は、譴責、停学及び退学とする。

2 前項の退学は次の各号の一に該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で改善の見込みがないと認められた者

(2) 学業を怠り成績不良で成業の見込みがないと認められた者

(3) 正当な理由なくして出席が常でない者

(4) 著しく学生の本分に反し、本学の秩序を乱した者

3 第1項の懲戒が正式に決定するまでの期間、学長は当該学生に対し、自宅謹慎を命じることができる。なお、停学の懲戒を受けた場合、自宅謹慎期間を停学期間に含めることができる。

4 懲戒に関しては、別に定める。

第60条 (削除)

第14章 公開講座、研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生

(公開講座)

第61条 本学は、社会人の教養と文化の向上に資するため、公開講座を開催することができる。

(研究生)

第62条 本学において特定の専門事項に関する研究に従事することを願い出た者には、選考の上、研究生として受入れを許可することがある。

2 研究生に関する規程は、別に定める。

3 研究生の研究料は別に定める。

(科目等履修生)

第63条 授業科目の履修を願い出た者には、本学の教育に支障のない限りにおいて科目等履修生として受入れを許可することがある。

2 科目等履修生が履修した授業科目については、第13条及び第14条の規定により所定の単位を与えることができる。

3 科目等履修生に関する規程は、別に定める。

4 科目等履修生の履修料は別に定める。

(特別聴講学生)

第64条 他の大学又は短期大学の学生で、本学において授業科目の履修を願い出た者には、当該他大学又は短期大学との協議に基づき、特別聴講学生として受入れを許可することがある。

2 特別聴講学生に関する規程は、別に定める。

3 特別聴講学生の受講料は別に定める。

(外国人留学生)

第65条 外国人で、大学において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考の上、外国人留学生として入学を許可することがある。

2 外国人留学生に関する規程は、別に定める。

(学則の準用)

第66条 研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び外国人留学生には、別に規定するほか、本学則を準用する。ただし、研究生、科目等履修生及び特別聴講学生については、第6条、第22条の2条第1項及び第2項を準用しない。

2 (削除)

3 (削除)

第15章 奨学金制度

(奨学金)

第67条 本学は、建学の精神に基づき、学生に対してその学資を補助し、将来の大成を助成するために奨学金制度を設ける。

2 奨学金制度の詳細については別に定める。

附 則

昭和40年1月25日

昭和42年1月28日改正

昭和44年4月 1日改正

昭和45年4月10日改正

昭和46年4月1日改正。ただし、昭和46年3月31日以前から在学している者には、第11条及び第37条については、なお従前の例による。

昭和47年4月1日改正。ただし、昭和47年3月31日以前から在学している者には、第37条については、なお従前の例による。

昭和48年4月1日改正。ただし、昭和48年3月31日以前から在学している者には、第37条並びに第38条については、なお従前の例による。

昭和49年4月1日改正。ただし、昭和49年3月31日以前から在学している者には、第37条並びに第38条については、なお従前の例による。また、入学考査料については入学志願時から適用する。

昭和50年4月1日改正。ただし、昭和50年3月31日以前から在学している者には、第37条並びに第38条については、なお従前の例による。

昭和51年4月1日改正。ただし、昭和51年3月31日以前から在学している者には、第37条並びに第38条については、なお従前の例による。

昭和52年4月1日改正。ただし、昭和52年3月31日以前から在学している者には、第37条並びに第38条については、なお従前の例による。

昭和53年4月1日改正。ただし、昭和53年3月31日以前から在学している者には、第37条並びに第38条については、なお従前の例による。

昭和54年4月1日改正。ただし、昭和54年3月31日以前から在学している者には、第36条並びに第37条については、なお従前の例による。

昭和55年4月1日改正。ただし、昭和55年3月31日以前から在学している者には、第36条並びに第37条については、なお従前の例による。

昭和56年4月1日改正。ただし、昭和56年3月31日以前から在学している者には、第36条並びに第37条については、なお従前の例による。

昭和57年4月1日改正。ただし、昭和57年3月31日以前から在学している者には、第36条並びに第37条については、なお従前の例による。

昭和58年4月1日改正。ただし、昭和58年3月31日以前から在学している者には、第36条並びに第37条については、なお従前の例による。

附 則 (第9条第2項、第18条、第19条、第31条第2項追加、第51条改正、第9条第3項、第31条一部改正)

この学則は、昭和59年4月1日から施行する。

昭和59年3月31日以前から在学している者には、第38条並びに第39条については、なお従前の例による。

附 則（第 38 条別表 5 一部改正）

この学則は、昭和 60 年 4 月 1 日から施行する。

昭和 60 年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 38 条並びに第 39 条については、なお従前の例による。

附 則（第 9 条第 3 項別表（1）、別表（2）、第 38 条別表（5） 一部改正）

この学則は、昭和 61 年 4 月 1 日から施行する。

昭和 61 年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 38 条並びに第 39 条については、なお従前の例による。

附 則（第 9 条第 3 項別表（1）、第 38 条別表（5） 一部改正）

この学則は、昭和 62 年 4 月 1 日から施行する。

昭和 62 年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 38 条並びに第 39 条については、なお従前の例による。

附 則（第 18 条、第 59 条、第 63 条第 3 項追加、第 63 条第 3 項一部追加、第 9 条第 3 項別表（1）、別表（2）、第 21 条第 1 項第 2 号、第 4 号、第 39 条別表（5）第 63 条第 1 項一部改正）

この学則は、昭和 63 年 4 月 1 日から施行する。

昭和 63 年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 39 条並びに第 40 条については、なお従前の例による。

附 則（第 8 条、第 9 条第 2 項、第 9 条第 3 項別表（1）及び別表（1）—2、第 13 条、第 20 条、第 39 条別表（5） 一部改正）

この学則は、平成元年 4 月 1 日から施行する。

平成元年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 13 条、第 39 条並びに第 40 条については、なお従前の例による。

第 39 条並びに第 40 条別表（5）のうち、平成元年 3 月 31 日までに入学を許可された者に係る入学金については、なお従前の例による。

附 則（第 21 条の 2 第 2 項一部改正）

この学則は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 2 年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 13 条、第 21 条の 2 第 2 項、第 39 条並びに第 40 条については、なお従前の例による。

附 則（第 9 条第 3 項別表（1）、第 39 条別表（5） 一部改正）

この学則は、平成 3 年 4 月 1 日から施行する。ただし、平成 3 年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 13 条、第 21 条の 2 第 2 項、第 39 条並びに第 40 条については、なお従前の例による。

附 則（第 21 条第 3 項一部改正）

この学則は、平成 3 年 7 月 1 日から施行する。ただし、平成 3 年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 13 条、第 21 条の 2 第 2 項、第 39 条並びに第 40 条については、なお従前の例による。

附 則（第 39 条・第 40 条別表（5） 一部改正）

この学則は、平成 3 年 10 月 1 日から施行する。ただし、平成 3 年 9 月 30 日までに納付する入学金、施設設備資金については、なお従前の例による。また、平成 3 年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 13 条、第 21 条の 2 第 2 項についてはなお従前の例による。

附 則（第 4 条、第 39 条・第 40 条別表（5） 一部改正、第 41 条）

この学則は、平成 4 年 4 月 1 日から施行する。

第 4 条の規定にかかわらず平成 4 年度から平成 11 年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
文 学 部	日 本 文 学 科	200 名
	英 米 文 学 科	200 名

平成 4 年 3 月 31 日以前から在学している者には、第 13 条、第 39 条、第 40 条第

41条については、なお従前の例による。

附 則（第3条追加、第5条、第8条第2項、第24条、第40条・第41条別表（5）、第59条、第60条、第61条、第62条、第63条、第64条一部改正、第39条・第40条別表（5） 一部改正、第41条）

この学則は、平成5年4月1日から施行する。平成5年3月31日以前から在学している者には、第40条、第41条については、なお従前の例による。

附 則（第40条・第41条別表（5）改正）

この学則は、平成6年4月1日から施行する。平成6年3月31日以前から在学している者には、第40条、第41条については、なお従前の例による。

附 則（第4条、第5条、第10条第3項別表（1）及び別表（1）—2、第11条第2項別表（2）（3）（4）、第19条第3項追加、第20条、第21条、第22条、第40条・第41条別表（5） 改正）

この学則は、平成7年4月1日から施行する。

第5条の規定にかかわらず平成7年度から平成11年度までの入学定員は、次のとおりとする。

学 部	学 科	入 学 定 員
文 学 部	日 本 文 学 科	150名
	英 米 文 学 科	150名

また、平成7年3月31日以前から在学している者には、第10条第3項別表（1）及び別表（1）—2、第11条第2項別表（2）（3）（4）、第20条、第21条、第22条については、なお従前の例による。

附 則（第10条・第22条の2別表（2） 一部追加、並びに第2項一部追加及び第22条の5追加）

この学則は、平成8年4月1日から施行する。ただし、平成8年3月31日以前から在学している者には、第41条、第42条については、なお従前の例による。

附 則（第10条第3項別表（1）、第11条、第22条の2別表（2）、第22条の3別表（3）、第22条の4別表（4）、第22条の5別表（5）、第41・第42条別表（7）、第51条、第52条、第54条一部改正、第22条の6及び別表（6）追加）

この学則は平成9年4月1日から施行する。ただし、平成9年3月31日以前から在学している者には、第41条、第42条については、なお従前の例による。

附 則（第4条一部追加、第5条削除、第10条第1項、第10条第3項別表（1）及び別表（1）—2一部追加、第12条改正、第20条第2項、第21条、第22条第1及び3項、第22条の2第2項、第41条別表（7）、第51条一部追加）

この学則は、平成10年4月1日から施行する。ただし、平成10年3月31日以前から在学している者には、第41条、第42条については、なお従前の例による。

附 則（第4条、第10条第1項及び第3項別表（1）—2備考、第20条第2項、第21条、第22条第1項及び第3項、第22条の2別表（2）及び第2項、第22条の4別表（4）、第22条の6別表（6）、第41条別表（7）、第51条一部改正）

この学則は、平成11年4月1日から施行する。ただし、平成11年3月31日以前から在学している者には、第41条、第42条については、なお従前の例による。

附 則（第4条、第10条第1項及び第3項別表（1）、第20条第2項、第21条、第22条第1項、第22条の2第2項一部改正）

この学則は、平成12年4月1日から施行する。ただし、平成12年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条、第42条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

2 第4条の規定にかかわらず、平成15年度までの入学定員は次のとおりとする。

年度等 学科	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
	入 学 定 員	入 学 定 員	入 学 定 員	入 学 定 員

日本語・日本文学科	255名	235名	215名	195名
英語・英米文学科	260名	245名	230名	215名

3 第20条第2項については平成12年度入学生から適用する。平成12年3月31日以前から在学している者については、なお従前の例による。

附 則（第10条第3項別表（1）、第11条第2項別表（2）、第22条第4項、第22条の2第2項一部改正）

この学則は、平成13年4月1日から施行する。ただし、平成13年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条、第42条の規定にかかわらず、なお従前の例による。第22条第3項については、平成13年度入学生から適用し、平成13年3月31日以前から在学している者については、なお従前の例による。

附 則（第3章 授業科目及び履修方法並びに単位算定基準、第10条第3項別表（1）、第7章学費、第41条別表（7）一部改正及び各条文を整理し、簡潔な「項目」の追加）

この学則は、平成14年4月1日から施行する。ただし、平成14年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（第1章第1条、第2条、第4条、第4条の2、第4条の3、第3章第10条第3項別表（1）、第11条、第11条第2項、第5章第22条、第22条第（1）（2）（3）号、第22条の2、第22条の3、第22条の3第2項一部改正、第22条の8、第22条の9追加 改正）

1 この学則は、平成15年4月1日から施行する。ただし、平成15年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条規定にかかわらず、なお従前の例による。

2 武蔵野女子大学は、平成15年3月31日現在、同大学（通信教育部を除く）に在学する者が、在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

3 前項の期間、武蔵野大学の学長、その他の教職員は武蔵野女子大学の学長その他の教職員を兼ねるものとする。

4 第4条の規定にかかわらず、平成16年度までの入学定員は次のとおりとする。

学 科・専 攻		平成15年度	平成16年度
環境学科	環境アメニティ専攻	60名	60名
	住環境専攻	60名	60名

附 則（第1章第4条、第3章第10条第3項別表（1）、第5章第22条、第22条第（4）号、第22条の2、第7章第41条別表（7）一部追加、第6章第24条一部改正）

この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、平成16年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条規定にかかわらず、なお従前の例による

附 則（第1章第4条、第3章第10条第3項別表（1）、別表（1）—2、第11条第2項別表（2）～（6）及び（8）（9）、第12条第2・3項別表（1）—3、別表（7）備考、第4章第21条別表（1）—2備考、第5章22条—22条第（1）（2）（3）（4）号、第22条の2、第7章第41条別表（7）、第9章第53条一部追加及び改正）

この学則は、平成16年4月1日から施行する。ただし、平成16年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（第1章第4条、第5章第22条第（1）・（2）・（3）・（4）号、第6章第24条一部改正）

この学則は、平成17年4月1日から施行する。ただし、平成17年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（第4条、第6条、第10条第3項別表（1）、第12条第3項別表（1）—3、第22条、第22条第（4）号、第22条の2、第22条の3 一部改正、第22条第（5）号、第41条別表（7）一部追加）

- 1 この学則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、平成18年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 2 薬学部薬学科において、平成18年3月31日以前から在学している者は、第6条、第10条第3項別表(1)、第12条第3項別表(1)―3、第22条、第22条第(4)号については、なお従前の例による。

附 則(第4条、第9条、第10条第3項別表(1)、第12条第3項別表(1)―3、第22条、第22条第(3)号、第22条の2、第22条の3別表(2)、及び第2項、第22条の9、及び別表(9)、第41条別表(7)、第49条、第51条 一部改正、第38条第(4)号追加)

- 1 この学則は、平成19年4月1日から施行する。ただし、平成19年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 2 第49条第7号の助手の取扱については、当分の間(平成22年3月31日まで)従前の例による。

附 則(第2条第2項追加、第4条、第10条第3項別表(1)・別表(1)―2、第11条第2項別表(2)(3)(4)(6)(8)(9)、第12条第3項別表(1)―3、第21条、第22条、第22条の2、第22条の3別表(2)、第22条の3第2項、第22条の4別表(3)、第22条の5別表(4)、第22条の7別表(6)、第22条の8別表(8)、第22条の9別表(9)、第41条別表(7) 一部改正)

- 1 この学則は、平成20年4月1日から施行する。ただし、平成20年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 2 平成20年3月31日以前から、現代社会学部現代社会学科に在学している者については、第4条、第10条第3項別表(1)及び別表(1)―2、第11条第2項別表(2)(3)(4)(6)、第12条第3項別表(1)―3、第21条、第22条、第22条第(2)号、第22条の2、第22条の3別表(2)、第22条の3第2項、第41条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。ただし、第2条第2項の学科の教育目的については、次のとおりとする。

〈現代社会学科〉

さまざまな課題をかかえる現代社会で、社会科学の専門的な知識を理解するとともに、他の分野との関わり合いを総合的に学び、自己の確立をめざし、多様な課題発見・解決できる人材の育成を目的とする。

附 則(第2条の2、第4条、第10条第3項別表(1)及び別表(1)―2、第11条第2項別表(2)(3)(4)(6)(9)(10)、第12条第3項別表(1)―3、第21条、第22条、第22条の2、第22条の3別表(2)、第22条の3第2項、第22条の4別表(3)、第22条の5別表(4)、第22条の7別表(6)、第22条の8別表(8)、第22条の9別表(9)、第31条の3、第31条の4、第41条別表(7) 一部改正、第22条の10別表(10)、第31条の5追加)

- 1 この学則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、平成21年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 2 第12条(単位)人間関係学部児童学科については、講義15時間、演習30時間、学内実習30時間、配属実習及び実技45時間をもってそれぞれ1単位とする。

附 則(第2条第2項第(5)号、第4条、第10条第3項別表(1)、別表(1)―2、第11条第2項別表(2)(3)(4)(6)(8)(9)(10)、第12条第3項別表1―(3)、第22条、第22条の3別表(2)、第22条の4別表(3)、第22条の5別表(4)、第22条の7別表(6)、第22条の8別表(8)、第22条の9別表(9)、第22条の10別表(10)、第41条別表(7)、第59条第3項一部改正)

- 1 この学則は、平成22年4月1日から施行する。ただし、平成22年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 2 平成22年3月31日以前から、環境学部環境学科住環境専攻に在学している者については、第2条第2項第(5)号、第4条、第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(2)(3)(4)(6)、第12条第3項別表1―(3)、第22条、第22条の

3別表（2）、第22条の8、第41条別表（7）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則（第4条の4条文追加、第2条第2項、第4条、第10条第3項別表（1）、別表（1）—2、第11条第2項別表（2）（3）（4）（6）（8）（9）、第12条第3項別表（1）—3、第21条、第22条、第22条の2、第22条の3別表（2）、第2項、第22条の4別表（3）、第22条の5別表（4）、第22条の7別表（6）、第22条の8別表（8）、第22条の9別表（9）、第41条別表（7）一部改正）

この学則は、平成23年4月1日から施行する。ただし、平成23年3月31日以前から在学している者の学費は、第41条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（第1条、第2条第2項、第4条、第4条の3第2項、第10条第3項別表（1）（1）—2、第11条第1項、第2項別表（2）（3）（4）（6）（5）（8）（11）、第12条第3項別表（1）—3、第21条、第22条第1項、第22条の2、第22条の3第1項別表（2）、第2項、第22条の4別表（3）、第22条の8別表（8）、第29条、第30条、第31条、第31条の3第10号、第41条別表（7）一部変更、第22条の11追加）

この学則は、平成24年4月1日から施行する。ただし、平成24年3月31日以前から在学している者については、第2条第2項、第4条、第10条第3項別表（1）（1）—2、第11条第1項、第2項別表（2）（3）（4）（5）（6）（8）（11）、第12条第3項別表（1）—3、第21条、第22条第1項、第22条の2、第22条の3第1項別表（2）、第2項、第22条の4別表（3）、第22条の8別表（8）、第31条の3第1項第10号、第41条別表（7）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則（第4条、第10条第3項別表（1）、第11条第2項別表（11）、第41条別表（7）一部変更）

この学則は、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成25年3月31日以前から在学している者については、第4条、第10条第3項別表（1）、第11条第2項別表（11）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則（第4条、第10条第3項別表（1）、第11条第2項別表（11）、第12条第3項別表（1）—3、第22条第1項、第22条の3第1項別表（2）、第2項、第41条別表（7）一部変更、第58条第2項 追加）

- 1 この学則は、平成25年4月1日から施行する。ただし、平成25年3月31日以前から在学している者については、第4条、第11条第2項別表（11）、第22条の3第2項、第41条別表（7）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 2 薬学部の「一般用医薬品学実習」「生薬療法学実習」「病理学」「レギュラトリーサイエンス概論」「卒業研究1」「卒業研究2」「卒業研究3」「卒業研究4」を除き、平成25年3月31日以前から在学している者の授業科目については、第10条第3項別表（1）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 3 平成25年3月31日以前から在学している者の卒業の要件については、第22条第1項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。ただし、薬学部については、下表のとおりとする。

入学年度(平成)	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
卒業所要単位数	204.5	238	238	237	235

附 則（第2条第2項、第4条、第4条の5、第10条第3項別表（1）（1）—2、第11条第2項別表（2）（3）（4）（6）、第12条第3項別表（1）—3、第21条、第22条第1項、第22条の2、第22条の3第1項別表（2）、第2項、第41条別表（7）一部変更、第4条の5 追加）

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日以前から在学している者については、第2条第2項、第4条、第10条第3項別表（1）（1）—2、第11条第2項別表（2）（3）（4）（6）、第12条第3項別表（1）—3、第21条、第22条第1項、第22条の2、第22条の3第1項別表（2）、第2項、第

4 1 条別表（7）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

- 2 政治経済学部政治経済学科及び政治経済学部経営学科は平成26年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（第4条、第10条第3項別表（1）、（1）—2、第11条第2項別表（2）（6）（8）（9）（10）、第12条第3項別表（1）—3、第22条第1項、第22条の3第1項別表（2） 一部変更）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日以前から在学している者については、第4条、第10条第3項別表（1）、（1）—2、第11条第2項別表（2）（6）（8）（9）（10）、第12条第3項別表（1）—3、第22条第1項、第22条の3第1項別表（2）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則（第10条第3項別表（1） 一部変更）

この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日以前から在学している者については、第10条第3項別表（1）の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（第2条、第4条、第10条第3項別表（1）、（1）—2、第12条第3項別表（1）—3、第22条第1項、第22条の3第2項、第44条 一部変更）

- 1 この学則は、平成26年4月1日から施行する。ただし、平成26年3月31日以前から在学している者については、第2条、第4条、第10条第3項別表（1）—2、第12条第3項別表（1）—3、第22条第1項、第22条の3第2項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 2 薬学部の「卒業研究1」「卒業研究2」「卒業研究3」「卒業研究4」を除き、平成26年3月31日以前から在学している者の授業科目については、第10条第3項別表（1）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則（第2条第2項、第4条、第10条第3項別表（1）（1）—2、第11条第2項別表（2）（3）（4）（6）（8）、第12条第3項別表（1）—3、第21条、第22条第1項、第22条の2、第22条の3第1項別表（2）、第2項、第22条の8、第41条別表（7） 一部変更）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、平成27年3月31日以前から在学している者については、第2条第2項、第4条、第10条第3項別表（1）（1）—2、第11条第2項別表（2）（3）（4）（6）（8）、第12条第3項別表（1）—3、第21条、第22条第1項、第22条の2、第22条の3第1項別表（2）、第2項、第22条の8、第41条別表（7）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 2 環境学部環境学科は平成27年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則（第10条第3項別表（1）、第22条第1項 一部変更）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、薬学部薬学科において、平成27年3月31日以前から在学している者については、第10条第3項別表（1）、第22条第1項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 2 グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、法学部法律学科、政治学科、経済学部経済学科、経営学科、人間科学部人間科学科において、平成26年3月31日以前から在学している者については、第10条第3項別表（1）の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則（第2条の2、第8条、第10条第3項別表（1）（1）—2、第11条第2項別表（2）（6）（8）（10）、第22条、第22条の2、第28条、第31条の2、第31条の5、第32条、第33条、第33条の2、第33条の3、第41条別表（7）、第53条、第58条、第59条 一部変更）

- 1 この学則は、平成27年4月1日から施行する。ただし、平成27年3月31日以前から在学している者については、第11条第2項別表（2）（8）（10）、第41条別表（7）（科目等履修生の4学期制の取扱いを除く）の規定にかかわらず、なお、従前

の例による。

- 2 平成26年3月31日以前から在学している者については、第10条第3項別表(1)―2、第11条第2項別表(6)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 3 文学部日本文学文化学科、法学部法律学科、政治学科、経済学部経済学科、経営学科、人間科学部人間科学学科、社会福祉学科、教育学部児童教育学科、薬学部薬学科において、平成27年3月31日以前から在学している者については、第10条第3項別表(1)(共通科目の「オリンピック文化論」を除く)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 4 グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科において、平成26年3月31日以前から在学している者については、第10条第3項別表(1)(共通科目の「オリンピック文化論」を除く)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 5 看護学部看護学科において、平成27年3月31日以前から在学している者については、第10条第3項別表(1)、第22条第1項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。また、第22条第5項は適用しないものとする。
- 6 文学部日本文学文化学科、グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、法学部法律学科、政治学科、人間科学部人間科学学科、社会福祉学科、教育学部児童教育学科、薬学部薬学科において、平成27年3月31日以前から在学している者については第22条第1項(成果に基づき単位認定する科目の取扱いを除く)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 7 経済学部経済学科、経営学科において、平成27年3月31日以前から在学している者については第22条第1項(自由選択科目の他学部・他学科の学科科目の取扱い及び成果に基づき単位認定する科目の取扱いを除く)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則(第2条第2項、第4条、第10条第3項別表(1)(1)―2、第11条第1項、第2項別表(2)(3)(4)(5)(6)、第12条第3項別表(1)―3、第21条、第22条第1項、第22条の2、第22条の3第1項別表(2)、第2項、第22条の6、第38条、第41条別表(7) 一部変更

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、平成28年3月31日以前から在学している者については、第2条第2項、第4条、第10条第3項別表(1)―2、第11条第2項別表(3)(4)(教育学部を除く)(6)、第12条第3項別表(1)―3、第21条、第22条第1項、第22条の2、第22条の3第1項別表(2)(「教職特殊研究A」「教職特殊研究B」を除く)、第2項、第38条、第41条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。
- 2 グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科は平成28年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。
- 3 グローバル・コミュニケーション学部グローバル・コミュニケーション学科、経済学部経営学科、教育学部児童教育学科において、平成28年3月31日以前から在籍している者については、第10条第3項別表(1)の規定にかかわらず、なお従前の例による。
- 4 薬学部薬学科において、平成27年4月1日以降に入学した者については、第10条第3項別表(1)(学科科目の「微生物医薬品学2」を除く)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(第2条第1項、第2項、第4条、第10条第2項、第3項別表(1)、(1)―2、第11条第2項別表(6)、第12条第3項別表(1)―3、第22条第1項第2号、第5号、第6号、第7号、第22条の2第1項、第2項、第23条、第31条の4第1項、第41条別表(7)、第63条第2項 一部変更、第12条第4項、第31条の4第3項 追加)

- 1 この学則は、平成28年4月1日から施行する。ただし、平成28年3月31日以前

から在籍している者については、第2条第2項、第4条、第11条第2項別表(6)、第12条第3項、第22条第1項第5号、第23条、第41条別表(7)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

2 教育学部児童教育学科において、平成27年3月31日以前から在籍している者については、第22条第1項第7号の学校教育専修理科コース及び学校教育専修保健体育コースの必修単位数の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 平成28年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については別に定める。

附 則(第4条、第10条第3項別表(1)、第41条別表(7) 一部変更)

この学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年3月31日以前から在学している者については、第4条、第10条第3項別表(1)、第41条別表(7)の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則(第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(9)、第22条第1項第1号、第3号、第4号、第5号、第6号、第7号、第8号、第9号 一部変更)

1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年3月31日以前から在籍している者については、第11条第2項別表(9)、第22条第1項第1号、第3号、第4号、第5号、第6号、第7号、第8号、第9号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

2 平成29年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については別に定める。

附 則(第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(9)、第12条第3項別表(1)―3、第22条第1項第5号、第7号 一部変更)

1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年3月31日以前から在籍している者については、第11条第2項別表(9)、第12条第3項別表(1)―3、第22条第1項第5号、第7号の規定にかかわらず、なお従前の例による。

2 平成29年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については別に定める。

附 則(第2条第2項、第4条の3第2項、第8条第1項、第10条第3項別表(1)、(1)―2、第11条第2項別表(2)、(3)、(4)、(6)、(8)、(9)、(10)、(11)、第22条第1項、第5項、第22条の2第1項、第22条の9、第24条、第25条、第27条第1項、第29条第1項、第31条の2第1項、第31条の3第1項、第32条第1項、第33条第1項、第35条、第55条第2項 一部変更)

1 この学則は、平成29年4月1日から施行する。ただし、平成29年3月31日以前から在籍している者については、第11条別表(4)、第22条第1項、第22条の7、第22条の9、第22条の10、第22条の11の規定にかかわらず、なお従前の例による。

2 平成29年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については別に定める。

附 則(第10条第3項別表(1)、第41条別表(7) 一部変更)

この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、平成30年3月31日以前から在籍している者については、第10条第3項別表(1)、第41条別表(7)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(第2条第2項、第4条、第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(3)、第12条第3項別表(1)―3、第22条第1項、第22条の2第1項、第41条別表(7)

この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、平成30年3月31日以前から在籍している者については、第2条第2項、第4条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(第2条第2項、第4条、第10条第3項別表(1)、(1)―2、第11条第2項別表(9)、第12条第3項別表(1)―3、第22条第1項、第22条の2第1項、第22条の3、第22条の9、第41条別表(7) 一部改正)

1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。ただし、平成30年3月31日以前から在籍している者については第2条第2項、第4条、第10条第3項別表(1)―2、第11条第2項別表(9)、第22条第1項、第22条の3、第22条の9の規定にかかわらず、なお従前の例による。

2 平成30年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)、第12条第3項別表(1)―3の適用については別に定める。

附 則(第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(9)、第22条の2第1項 一部改正)

1 この学則は、平成30年4月1日から施行する。

2 平成30年3月31日以前から在籍している者についての第22条の2第1項の適用については別に定める。

附 則(第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(2)、(9)、第22条の第1項 一部改正)、第41条別表(7)

この学則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則(第2条第2項、第4条、第10条第3項、第12条第3項別表(1)―3、第22条第1項、第22条の2第1項、第22条の3第1項、第2項、第41条別表(7) 一部改正)

1 この学則は、平成31年4月1日から施行する。ただし、平成31年3月31日以前から在学している者については、第4条(教育学部児童教育学科の名称変更を除く)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

2 平成31年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については、別に定める。

3 第22条の2第1項の在籍要件及び第22条の3第2項の教育学科の取得免許状については、平成30年4月1日に遡って適用する。

附 則(第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(2)、第12条第3項別表(1)―3、第21条、第22条第1項、第22条の3第2項)

1 この学則は平成31年4月1日から施行する。

2 第21条外国人留学生の単位の読み替え及び第22条1項日本事情に関する科目の単位については、平成27年4月1日に遡って適用する。

附 則(第12条の2 追加、第38条 一部変更)

この学則は平成31年4月1日から施行する。

附 則(第3条の2追加、第4条、第4条の4、第10条第3項別表(1)、(1)―2、第11条第2項別表(9)、第12条第3項別表(1)―3、第21条、第22条第1項、第51条 一部変更)

1 この学則は令和2年4月1日から施行する。

2 令和2年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については、別に定める。

附 則(第2条第2項、第4条、第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(9)、第12条第3項別表(1)―3、第22条第1項、第22条の2第1項、第22条の3第1項第2項、第22条の9、第41条別表(7) 一部変更)

この学則は令和2年4月1日から施行する。ただし、令和2年3月31日以前から在学している者については教育学部こども発達学科の名称変更を除き、第4条、第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(9)、第22条第1項、第41条別表(7)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(6)、第22条第1項 一部変更)

1 この学則は令和2年4月1日から施行する。

2 令和2年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(6)の適用については、別に定める。

附 則(第10条第3項別表(1)、第22条第1項 一部変更)

- 1 この学則は令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和2年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については、別に定める。

附 則(第8条、第10条第2項、第3項別表(1)及び別表(1)―2、第11条別表(6)(8)(9)(10)、第12条第3項別表(1)―3一部変更、第21条削除、第22条第1項一部変更)

- 1 この学則は令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については、別に定める。
- 3 令和3年3月31日以前から在籍している者については、第10条第2項、第10条第3項別表(1)―2、第11条別表(6)(8)(9)(10)、第12条第3項別表(1)―3、第21条、第22条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(第2条第2項、第4条、第10条第3項別表(1)、第11条別表(11)、第12条第3項別表(1)―3一部変更、第22条第1項、第22条の2、第41条別表(7)一部変更)

- 1 この学則は令和3年4月1日から施行する。
- 2 令和3年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については、別に定める。
- 3 令和3年3月31日以前から在籍している者については、第4条、第11条別表(11)、第12条第3項別表(1)―3、第41条別表(7)の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(第10条第3項別表(1)、第22条第1項 一部変更、第11条別表(12)追加)

- 1 この学則は令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)、第11条別表(12)の適用については、別に定める。
- 3 令和4年3月31日以前から在籍している者については、第22条第1項の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(12)一部変更)

- 1 この学則は令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(12)の適用については、別に定める。

附 則(第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(2)、(3)、(8)、(9)変更)

- 1 この学則は令和4年4月1日から施行する。
- 2 令和4年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(2)、(3)、(8)、(9)の適用については、別に定める。
- 3 第11条第2項別表(8)備考欄に記載の二級・木造建築士指定科目に係る必要単位数については、令和2年3月1日以降に受験するすべての学生に適用する。

附 則(第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(2)、(6)、(9)、第22条、第49条、第49条の2、第67条 一部変更、第49条の3、4、5、6、7、8 追加)

- 1 この学則は令和5年4月1日から施行する。
- 2 令和5年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(2)、(6)、(9)、第22条の適用については、別に定める。

附 則(第2条第2項、第4条、第10条第3項別表(1)、第11条第2項別表(2)、第12条第3項別表(1)―3、第22条、第22条の2、第22条の3、第41条別表(7)、第49条 一部変更、第2条の2第3項追加、第49条の2、第49条の3削除)

- 1 この学則は令和5年4月1日から施行する。

2 令和5年3月31日以前から在籍している者についての第10条第3項別表(1)の適用については、別に定める。

3 工学部環境システム学科は令和5年度より募集を停止する。ただし、同学科は同学科の学生が在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則(第10条第3項別表(1) 一部変更)

1 この学則は令和5年4月1日から施行する。

2 令和5年3月31日以前から在籍している経営学部経営学科及び経営学部会計ガバナンス学科の学生についての第10条第3項別表(1)の適用については、別に定める。

附 則(第2条第2項、第4条、第10条第3項別表(1)、第12条第3項別表(1)－3、第22条、第22条の2、第41条別表(7) 一部変更)

この学則は令和6年4月1日から施行する。

文学部日本文学文化学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
文学部 日本文学文化学科		【共通科目】			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	
		ドイツ語発展1		1	
		ドイツ語発展2		1	
		ドイツ語総合1		1	
		ドイツ語総合2		1	
		スペイン語基礎1		1	

文学部日本文学文化学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	

文学部日本文学文化学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展4D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール1		2	
		全学教養ゼミナール2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔教職関連〕			
		日本国憲法		2	教職必修
		【学科科目】			
		【学科基礎科目】			
		古代文学	2		
		中古文学	2		
		中世文学	2		
		近世文学	2		
		近代・現代文学	2		
		日本語学概論Ⅰ	2		
		日本語学概論Ⅱ	2		
		入門ゼミA	2		
		入門ゼミB	2		
		漢文学	2		
		日本文学史Ⅰ（古典）	2		
		日本文学史Ⅱ（近現代）	2		
		小説の歴史		2	
		武蔵野学	2		
		【学科展開科目】			
		プレゼミ1A	2		
		プレゼミ1B	2		
		プレゼミ2A	2		
		プレゼミ2B	2		
		ゼミA	2		
		ゼミB	2		
		日本文学文化研究調査実習Ⅰ		1	
		日本文学文化研究調査実習Ⅱ		1	
		日本文学文化研究調査実習Ⅲ		1	
		日本文学文化研究（日本書誌学と文献資料講読）		2	
		【卒業論文・卒業制作】			
		卒論ゼミ	4		
		卒業論文	4		
		【文学・語学コース】			
		日本文学特講Ⅰ（奈良時代の作家と作品）		2	
		日本文学特講Ⅱ（平安時代の作家と作品）		2	
		日本文学特講Ⅲ（鎌倉・室町時代の作家と作品）		2	
		日本文学特講Ⅳ（江戸時代の作家と作品）		2	
		日本文学特講Ⅴ（近代・現代の作家と作品）		2	
		日本文学特講Ⅵ（戦前・戦後の作家と作品）		2	

文学部日本文学文化学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		日本文学特講Ⅶ（児童文学の作家と作品）		2	
		日本文学研究Ⅰ（奈良時代の文学と文化）		2	
		日本文学研究Ⅱ（平安時代の文学と文化）		2	
		日本文学研究Ⅲ（鎌倉・室町時代の文学と文化）		2	
		日本文学研究Ⅳ（江戸時代の文学と文化）		2	
		日本文学研究Ⅴ（近代・現代の文学と文化）		2	
		日本文学研究Ⅵ（児童文学と詩の研究）		2	
		日本文学研究Ⅶ（近代・現代の文学と表現）		2	
		日本文学研究Ⅷ（近代・現代の文学と人生）		2	
		漢文学中国文学特講（漢文訓読学）		2	
		漢文学中国文学研究Ⅰ（和漢比較文学）		2	
		漢文学中国文学研究Ⅱ（日本漢文学）		2	
		日本語学特講（古代の日本語）		2	
		日本語学研究（近代の日本語）		2	
		仏教と日本文学文化		2	
		【文化・創作・芸術コース】			
		創作入門Ⅰ		2	
		創作入門Ⅱ		2	
		日本の演劇（古典芸能）		2	
		書道基礎		2	
		日本文化特講Ⅰ（日本の祭りや民話）		2	
		日本文化特講Ⅱ（日本の生活文化）		2	
		日本文化研究Ⅰ（朗読・語りや舞台演出）		2	
		日本文化研究Ⅱ（演劇実践演習）		2	
		比較文学特講（外国文学）		2	
		創作基礎Ⅰ（小説Ⅰ）		2	
		創作基礎Ⅱ（小説Ⅱ）		2	
		創作基礎Ⅲ（俳句）		2	
		創作基礎Ⅳ（短歌）		2	
		創作基礎Ⅴ（現代詩）		2	
		創作基礎Ⅵ（児童文学）		2	
		創作基礎Ⅶ（絵本）		2	
		創作研究Ⅰ（小説Ⅰ）		2	
		創作研究Ⅱ（小説Ⅱ）		2	
		創作研究Ⅲ（俳句）		2	
		創作研究Ⅳ（短歌）		2	
		創作研究Ⅴ（現代詩）		2	
		書道学特講Ⅰ（書道漢字）		2	
		書道学特講Ⅱ（書道仮名）		2	
		書道学研究（書道応用）		2	
		書論・鑑賞		2	
		日文キャリア演習Ⅰ（編集デザイン）		2	
		日文キャリア演習Ⅱ（編集デザイン）		2	
		【副専攻】			
		日文特別ゼミⅠ		4	
		日文特別ゼミⅡ		4	
		日文特別ゼミⅢ		4	
		日文特別ゼミⅣ		4	

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
グローバル学部 グローバルコ ミュニケーショ ン学科		【共通科目】			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	
		ドイツ語発展1		1	
		ドイツ語発展2		1	
		ドイツ語総合1		1	
		ドイツ語総合2		1	
		スペイン語基礎1		1	
		スペイン語基礎2		1	
		スペイン語発展1		1	
		スペイン語発展2		1	
		スペイン語総合1		1	
		スペイン語総合2		1	
		韓国語基礎1		1	

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール1		2	
		全学教養ゼミナール2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【言語演習科目】			
		＜日本語科目群＞			
		日本語1A		1	8単位選択必修 (留学生のみ)
		日本語1B		1	
		日本語1C		1	
		日本語1D		1	
		日本語2A		1	
		日本語2B		1	
		日本語2C		1	
		日本語2D		1	
		＜中国語科目群＞			
		中国語1A		1	16単位選択必修 (留学生は除く)
		中国語1B		1	
		中国語1C		1	
		中国語1D		1	
		中国語2A		1	
		中国語2B		1	
		中国語2C		1	
		中国語2D		1	
		中国語3A		1	
		中国語3B		1	
		中国語資格試験演習(初級)1		1	
		中国語資格試験演習(初級)2		1	
		中国語資格試験演習(初級)3		1	
		中国語資格試験演習(中級)1		1	
		中国語資格試験演習(中級)2		1	
		中国語資格試験演習(中級)3		1	
		＜英語科目群＞			
		English for Qualifications A	1		
		English for Qualifications B	1		
		English for Qualifications C	1		
		English for Qualifications D	1		
		Practical Communication A	2		
		Practical Communication B	2		
		Integrated Skills for Qualifications A	1		
		Integrated Skills for Qualifications B	1		
		Integrated Skills for Qualifications C	1		
		Integrated Skills for Qualifications D	1		

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		Integrated Skills for Communication A	2		
		Integrated Skills for Communication B	2		
		英語資格試験演習A		2	
		英語資格試験演習B		2	
		英語資格試験演習C		2	
		英語資格試験演習D		2	
		Advanced Skills for Communication A		2	
		Advanced Skills for Communication B		2	
		<English Study Abroad Program>			
		EAP Beginner 1		4	16単位 選択必修
		EAP Beginner 2		4	
		EAP Beginner 3		4	
		EAP Intermediate 1		4	
		EAP Intermediate 2		4	
		EAP Intermediate 3		4	
		EAP Advanced 1		4	
		EAP Advanced 2		4	
		EAP Advanced 3		4	
		EAP Masters 1		4	
		EAP Masters 2		4	
		EAP Masters 3		4	
		EAP Masters 4		4	
		EAP Masters 5		4	
		EAP Masters 6		4	
		EAP Masters 7		4	
		Undergraduate Courses 1		2	
		Undergraduate Courses 2		2	
		Undergraduate Courses 3		3	
		Undergraduate Courses 4		4	
		Undergraduate Courses 5		5	
		Undergraduate Courses 6		10	
		Undergraduate Courses 7		10	
		【学科基礎科目】			
		基礎ゼミ	1		
		プレゼミ	1		
		【多文化共修科目】			
		グローバルスタディーズ/Global Studies	2		
		キャリアデザイン入門	2		
		異文化コミュニケーション概論	2		
		【学科専門科目】			
		<翻訳・通訳科目群>			
		英語翻訳演習A		2	
		英語翻訳演習B		2	
		英語翻訳演習C		2	

グローバルコミュニケーション

4/6

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		英語翻訳演習 D		2	
		英語通訳演習 A		2	
		英語通訳演習 B		2	
		英語通訳演習 C		2	
		英語通訳演習 D		2	
		中国語翻訳演習 A		2	
		中国語翻訳演習 B		2	
		中国語翻訳演習 C		2	
		中国語翻訳演習 D		2	
		中国語通訳演習 A		2	
		中国語通訳演習 B		2	
		中国語通訳演習 C		2	
		中国語通訳演習 D		2	
		＜言語・文化科目群＞			
		中国研究（文化文学）初級 A		2	
		中国研究（文化文学）初級 B		2	
		中国研究（文化文学）中級 A		2	
		中国研究（文化文学）中級 B		2	
		中国研究（文化文学）中級 C		2	
		中国研究（文化文学）中級 D		2	
		中国研究（文化文学）上級 A		2	
		中国研究（文化文学）上級 B		2	
		中国研究（文化文学）上級 C		2	
		中国研究（文化文学）上級 D		2	
		Communication Studies A		2	
		Communication Studies B		2	
		Area Studies US A		2	
		Area Studies US B		2	
		Area Studies UK A		2	
		Area Studies UK B		2	
		Area Studies China A		2	
		Area Studies China B		2	
		Global Media Literacy A		2	
		Global Media Literacy B		2	
		Media English A		2	
		Media English B		2	
		EFL Reading A		2	
		EFL Reading B		2	
		EFL Reading C		2	
		EFL Reading D		2	
		Literary Texts, Critical Methods A		2	
		Literary Texts, Critical Methods B		2	
		English and Film Studies A		2	
		English and Film Studies B		2	
		Academic Reading A		2	
		Academic Reading B		2	

グローバルコミュニケーション

グローバル学部グローバルコミュニケーション学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		Academic Reading C		2	
		Academic Reading D		2	
		Language Acquisition A		2	
		Language Acquisition B		2	
		Sociolinguistics A		2	
		Sociolinguistics B		2	
		World Englishes A		2	
		World Englishes B		2	
		Comparative Culture A		2	
		Comparative Culture B		2	
		Cultural Studies A		2	
		Cultural Studies B		2	
		＜学部隣接科目群＞			
		日本研究（政治・社会）A		2	
		日本研究（政治・社会）B		2	
		日本研究（政治・社会）C		2	
		日本研究（政治・社会）D		2	
		日本研究（文化・文学・サブカルチャー）A		2	
		日本研究（文化・文学・サブカルチャー）B		2	
		日本研究（文化・文学・サブカルチャー）C		2	
		日本研究（文化・文学・サブカルチャー）D		2	
		日本研究（歴史・地域・メディア）A		2	
		日本研究（歴史・地域・メディア）B		2	
		日本研究（歴史・地域・メディア）C		2	
		日本研究（歴史・地域・メディア）D		2	
		＜特別講義＞			
		特別講義 A		1	
		特別講義 B		1	
		特別講義 C		1	
		特別講義 D		1	
		＜ゼミ/Seminar＞			
		ゼミ/Seminar A		2	ゼミ/Seminar（計8単位）又は課題 研究演習（計8単位）のいずれかを 選択必修
		ゼミ/Seminar B		2	
		ゼミ/Seminar C		2	
		ゼミ/Seminar D		2	
		課題研究演習A		2	
		課題研究演習B		2	
		課題研究演習C		2	
		課題研究演習D		2	
		卒業論文/Research Project		4	

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
グローバル学部 日本語コミュニケーション学科		【共通科目】			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	
		ドイツ語発展1		1	
		ドイツ語発展2		1	
		ドイツ語総合1		1	
		ドイツ語総合2		1	
		スペイン語基礎1		1	
		スペイン語基礎2		1	
		スペイン語発展1		1	
		スペイン語発展2		1	
		スペイン語総合1		1	
		スペイン語総合2		1	
		韓国語基礎1		1	

日本語コミュニケーション

1/6

学則-39

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】 日本語リテラシー	1		
		【CHP】 SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】 フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】 インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	

日本語コミュニケーション

別表 (1)

日本語コミュニケーション

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		英語資格試験演習 C		2	
		英語資格試験演習 D		2	
		〈中国語科目群〉			
		中国語 1 A		1	
		中国語 1 B		1	
		中国語 1 C		1	
		中国語 1 D		1	
		中国語 2 A		1	
		中国語 2 B		1	
		中国語 2 C		1	
		中国語 2 D		1	
		中国語 3 A		1	
		中国語 3 B		1	
		中国語 3 C		1	
		中国語 3 D		1	
		中国語資格試験演習 1 A		1	
		中国語資格試験演習 1 B		1	
		中国語資格試験演習 2 A		1	
		中国語資格試験演習 2 B		1	
		【学科基礎科目】			
		基礎ゼミ	1		
		プレゼミ A	1		
		プレゼミ B	1		
		【多文化共修科目】			
		グローバルスタディーズ/Global Studies	2		
		グローバルプロジェクト/Global Project	2		
		海外インターンシップ 1 (基礎)		2	
		海外インターンシップ 2 (基礎)		3	
		海外インターンシップ 3 (基礎)		4	
		海外インターンシップ 4 (発展)		2	
		海外インターンシップ 5 (発展)		3	
		海外インターンシップ 6 (発展)		4	
		【学科専門科目】			
		〈日本語教員養成科目群〉			
		異文化コミュニケーション A		2	
		異文化コミュニケーション B		2	
		日本語学概論	2		
		音声学基礎 A		2	
		音声学基礎 B		2	
		第二言語習得理論 A		2	
		第二言語習得理論 B		2	
		日本語教授法概論 A		2	
		日本語教授法概論 B		2	
		日本語教育実習		4	
		日本語実践教育 A		2	

日本語コミュニケーション

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		日本語実践教育 B		2	
		日本語教育文法 A		2	
		日本語教育文法 B		2	
		日本語学各論 A		2	
		日本語学各論 B		2	
		日本語教育学各論 A		2	
		日本語教育学各論 B		2	
		〈観光・ビジネス日本語科目群〉			
		実用日本語 1 A		1	観光・ビジネス日本語科目群 及び日本語科目群から 16単位選択必修（留学生のみ）
		実用日本語 1 B		1	
		実用日本語 1 C		1	
		実用日本語 1 D		1	
		実用日本語 2 A		1	
		実用日本語 2 B		1	
		実用日本語 2 C		1	
		実用日本語 2 D		1	
		観光学概論	2		
		日本研究（経済・経営） A		2	
		日本研究（経済・経営） B		2	
		日本研究（経済・経営） C		2	
		日本研究（経済・経営） D		2	
		日本研究（政治・社会） A		2	
		日本研究（政治・社会） B		2	
		日本研究（政治・社会） C		2	
		日本研究（政治・社会） D		2	
		日本研究（観光・ビジネス） A		2	
		日本研究（観光・ビジネス） B		2	
		日本研究（観光・ビジネス） C		2	
		日本研究（観光・ビジネス） D		2	
		〈サブカルチャー・メディア科目群〉			
		日本研究（文化・文学・サブカルチャー） A		2	
		日本研究（文化・文学・サブカルチャー） B		2	
		日本研究（文化・文学・サブカルチャー） C		2	
		日本研究（文化・文学・サブカルチャー） D		2	
		日本研究（教育とサブカルチャー） A		2	
		日本研究（教育とサブカルチャー） B		2	
		日本研究（教育とサブカルチャー） C		2	
		日本研究（教育とサブカルチャー） D		2	
		日本研究（歴史・地域・メディア） A		2	
		日本研究（歴史・地域・メディア） B		2	
		日本研究（歴史・地域・メディア） C		2	
		日本研究（歴史・地域・メディア） D		2	
		〈特別講義〉			
		特別講義 A		1	
		特別講義 B		1	
		特別講義 C		1	

日本語コミュニケーション

グローバル学部日本語コミュニケーション学科

別表（1）

学 科 \ 区 分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	特別講義 D		1	
	<ゼミ/S e m i n a r>			
	ゼミ/Seminar A	2		
	ゼミ/Seminar B	2		
	ゼミ/Seminar C	2		
	ゼミ/Seminar D	2		
	卒業論文/Research Project	4		

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
グローバル学部 グローバルビ ジネス学科		〔共通科目〕			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	
		ドイツ語発展1		1	
		ドイツ語発展2		1	
		ドイツ語総合1		1	
		ドイツ語総合2		1	
		スペイン語基礎1		1	
		スペイン語基礎2		1	
		スペイン語発展1		1	
		スペイン語発展2		1	
		スペイン語総合1		1	
		スペイン語総合2		1	
		韓国語基礎1		1	

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー		1	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	

グローバルビジネス

2/6

学則-46

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール1		2	
		全学教養ゼミナール2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【言語演習科目】			
		＜中国語科目群＞			
		中国語1A		1	8単位選択必修(留学生は除く)
		中国語1B		1	
		中国語1C		1	
		中国語1D		1	
		中国語2A		1	
		中国語2B		1	
		中国語2C		1	
		中国語2D		1	
		中国語3A		1	
		中国語3B		1	
		中国語3C		1	
		中国語3D		1	
		中国語資格試験演習1A		1	
		中国語資格試験演習1B		1	
		中国語資格試験演習2A		1	
		中国語資格試験演習2B		1	
		ビジネス中国語A		1	
		ビジネス中国語B		1	
		ビジネス中国語C		1	
		ビジネス中国語D		1	
		＜英語科目群＞			
		English for Qualifications 1A		1	
		English for Qualifications 1B		1	
		English for Qualifications 1C		1	
		English for Qualifications 1D		1	
		English for Qualifications 2A		1	
		English for Qualifications 2B		1	
		English for Qualifications 2C		1	
		English for Qualifications 2D		1	
		English for Qualifications 3A		1	
		English for Qualifications 3B		1	
		English for Qualifications 3C		1	
		English for Qualifications 3D		1	
		Practical Communication 1A		1	
		Practical Communication 1B		1	
		Practical Communication 1C		1	
		Practical Communication 1D		1	

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		Practical Communication 2A		1	16 単位選択必修 (学科の定める基準により、他の学 科科目をもって代えることができ る)
		Practical Communication 2B		1	
		Practical Communication 2C		1	
		Practical Communication 2D		1	
		Practical Communication 3A		1	
		Practical Communication 3B		1	
		Practical Communication 3C		1	
		Practical Communication 3D		1	
		Reading for Business Studies		1	
		Business Writing		1	
		Business Presentation		1	
		Business Meeting		1	
		＜日本語科目群＞			8 単位選択必修 (留学生のみ)
		基礎日本語 1 A		1	
		基礎日本語 1 B		1	
		基礎日本語 1 C		1	
		基礎日本語 1 D		1	
		基礎日本語 1 E		1	
		基礎日本語 1 F		1	
		基礎日本語 1 G		1	
		基礎日本語 1 H		1	
		日本語 1 A		1	
		日本語 1 B		1	
		日本語 1 C		1	
		日本語 1 D		1	
		日本語 2 A		1	
		日本語 2 B		1	
		日本語 2 C		1	
		日本語 2 D		1	
		実用日本語 1 A		1	
		実用日本語 1 B		1	
		実用日本語 1 C		1	
		実用日本語 1 D		1	
		実用日本語 2 A		1	
		実用日本語 2 B		1	
		実用日本語 2 C		1	
		実用日本語 2 D		1	
		日本語資格試験演習 A		1	
		日本語資格試験演習 B		1	
		日本語資格試験演習 C		1	
		日本語資格試験演習 D		1	
		【学科基礎科目】			
		基礎ゼミ/Fundamental Seminar	1		
		プレゼミA/Pre-seminar A	1		
		プレゼミB/Pre-seminar B	1		
		Career Design	1		

グローバルビジネス

4/6

学則-48

グローバル学部グローバルビジネス学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		【多文化共修科目】			
		グローバルスタディーズ/Global Studies	2		
		グローバルプロジェクト/Global Project	2		
		【ビジネス科目】			
		Introduction to Business Studies A	2		
		Introduction to Business Studies B	2		
		Management A	2		
		Management B	2		
		Accounting A		2	
		Accounting B		2	
		Accounting Advanced A		2	
		Accounting Advanced B		2	
		Research Method for Business Studies		2	
		Problem-Solving and Decision-Making		2	
		Finance A		2	
		Finance B		2	
		Management in Japan		2	
		Digital Economy		2	
		Statistics for Business Studies A		2	
		Statistics for Business Studies B		2	
		Managerial Accounting A		2	
		Managerial Accounting B		2	
		Organizational Behavior A		2	
		Organizational Behavior B		2	
		Business Economics A		2	
		Business Economics B		2	
		Global Trading A		2	
		Global Trading B		2	
		Financial Services A		2	
		Financial Services B		2	
		Hospitality A		2	
		Hospitality B		2	
		Marketing in Global Business A		2	
		Marketing in Global Business B		2	
		Advanced Marketing in Global Business A		2	
		Advanced Marketing in Global Business B		2	
		Digital Marketing		2	
		Strategy in Global Business A		2	
		Strategy in Global Business B		2	
		China Business Studies A		2	
		China Business Studies B		2	
		Emerging Markets		2	
		Business Law and Ethics		2	
		Internship A		1	
		Internship B		1	
		Internship C		2	
		Internship D		4	
		Entrepreneurship		2	

3 2 単位選択必修

グローバルビジネス

5/6

学則-49

グローバル学部グローバルビジネス学科
別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		International Lectures 1 (GB)		1	
		International Lectures 2 (GB)		1	
		International Lectures 3 (GB)		1	
		International Lectures 4 (GB)		1	
		【学科専門科目】			
		＜学部隣接科目群＞			
		英語資格試験演習A/Practical Exercises for English Qualifications A		2	
		英語資格試験演習B/Practical Exercises for English Qualifications B		2	
		英語資格試験演習C/Practical Exercises for English Qualifications C		2	
		英語資格試験演習D/Practical Exercises for English Qualifications D		2	
		異文化コミュニケーションA/Cross-cultural Communication A		2	
		異文化コミュニケーションB/Cross-cultural Communication B		2	
		＜特別講義＞			
		特別講義/Special Lectures A		1	
		特別講義/Special Lectures B		1	
		特別講義/Special Lectures C		1	
		特別講義/Special Lectures D		1	
		＜ゼミ/Seminar＞			
		ゼミ/Seminar A	2		
		ゼミ/Seminar B	2		
		ゼミ/Seminar C	2		
		ゼミ/Seminar D	2		
		卒業論文/Research Project for Graduation Thesis	4		

法学部法律学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
法学部 法律学科		【共通科目】			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	

法学部法律学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	

法学部法律学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール1		2	
		全学教養ゼミナール2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【基礎科目群】			
		法学1 (法学の基礎)	2		
		法学2 (法学概論)	2		
		民法1 A (総則)	2		
		民法1 B (総則)	2		
		憲法1 (統治)	2		
		憲法2 (人権)	2		
		刑法1 (総論)	2		
		【基幹科目群】			
		民法2 A (物権)		2	20単位以上選択必修
		民法2 B (担保物権)		2	
		民法3 A (債権各論)		2	
		民法3 B (債権各論)		2	
		民法4 A (債権総論)		2	
		民法4 B (債権総論)		2	
		民法5 A (親族法)		2	
		民法5 B (相続法)		2	
		民事訴訟法1		2	
		民事訴訟法2		2	
		刑法2 (各論)		2	
		刑法3 (各論)		2	
		刑事訴訟法1		2	
		刑事訴訟法2		2	
		会社法1		2	
		会社法2		2	
		企業法総論		2	

別表 (1)

法律
4/6
学則-54

法学部法律学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		【エクスターンシップ】 企業エクスターンシップ	2		
		【資格対策科目群】 資格ガイダンス	2		
		キャリア開発		2	
		地方公務員特殊研究 1		4	
		地方公務員特殊研究 2		4	
		地方公務員特殊研究 3		4	
		地方公務員特殊研究 4		4	
		【アカデミック・スキル科目】 プレゼミ	2		
		プレゼンゼミ		2	
		【最先端研究】 ゼミナール 1	2		
		ゼミナール 2	2		
		ゼミナール 3	2		
		ゼミナール 4	2		
		卒業論文	2		
		【隣接科目群】 ＜政治学＞			
		政治学史 1		2	
		政治学史 2		2	
		現代政治理論 1		2	
		現代政治理論 2		2	
		日本政治論		2	
		立法過程論		2	
		政策過程論		2	
		計量政治学		2	
		行政学		2	
		公共政策論 1		2	
		公共政策論 2		2	
		公共選択論		2	
		地方自治		2	
		公共管理論		2	
		国際関係論		2	
		International Lectures 1(Politics)		1	
		International Lectures 2(Politics)		1	
		International Lectures 3(Politics)		1	
		International Lectures 4(Politics)		1	
		＜経済学＞			
		ミクロ経済学 1		2	平成 2 7 年度以前入学生のみ
		ミクロ経済学 2		2	
		マクロ経済学 1		2	
		マクロ経済学 2		2	
		財政学 1		2	
		財政学 2		2	
		経済政策論		2	
		経済学 S 1 (経済学入門)		2	
		経済学 S 2 (ミクロ経済学)		2	

法学部法律学科

別表（1）

学 科 \ 区 分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	経済学 S 3（ミクロ経済学）		2	
	経済学 S 4（マクロ経済学）		2	
	経済学 S 5（マクロ経済学）		2	
	<経営学・会計学>			
	経営学入門		2	
	会計学入門		2	
	企業と社会		2	
	経営学基礎		2	
	金融論 1		2	
	金融論 2		2	

法学部政治学科

別表（１）

学 科 区 分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
法学部 政治学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展A		1	
	情報技法発展B		1	
	情報技法発展C		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展A		1	
	プログラミング発展B		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用1		1	
	機械学習活用2		1	
	データサイエンス活用1		1	
	データサイエンス活用2		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎A	2		
	英語基礎B		1	
	英語基礎C	2		
	英語基礎D		1	
	英語発展A		1	
	英語発展B		1	
	英語発展C		1	
	英語発展D		1	
	英語総合A		1	
	英語総合B		1	
	中国語基礎1		1	
	中国語基礎2		1	
	中国語発展1		1	
	中国語発展2		1	
	中国語総合1		1	
	中国語総合2		1	
	フランス語基礎1		1	
	フランス語基礎2		1	
	フランス語発展1		1	

法学部政治学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フランス語発展 2		1	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	

法学部政治学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【基礎科目群】			
		政治学原論 1	2		
		政治学原論 2	2		
		日本政治論基礎	2		
		国際政治学基礎	2		
		憲法 1（統治）	2		
		憲法 2（人権）	2		
		地方政府研究 1		1	
		地方政府研究 2		1	
		International Lectures 1(Politics)		1	
		International Lectures 2(Politics)		1	
		International Lectures 3(Politics)		1	
		International Lectures 4(Politics)		1	
		【基幹科目群】			

別表 (1)

政治
4/6
学則-60

法学部政治学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		日本政治・政治過程演習 1		2	
		日本政治・政治過程演習 2		2	
		＜国際政治・地域研究＞			
		国際関係論		2	
		アジア政治論		2	
		中国政治論		2	
		中東政治論		2	
		アフリカ政治論		2	
		国際政治・地域研究演習 1		2	
		国際政治・地域研究演習 2		2	
		＜政治学特殊研究＞			
		政治学特殊研究 1		2	
		政治学特殊研究 2		2	
		政治学特殊研究 3		2	
		【資格対策科目群】			
		キャリア開発		2	
		地方公務員特殊研究 1		4	
		地方公務員特殊研究 2		4	
		地方公務員特殊研究 3		4	
		地方公務員特殊研究 4		4	
		【アカデミック・スキル科目】			
		初年次ゼミ	2		
		プレゼミ	2		
		プレゼンゼミ	2		
		【最先端研究】			
		ゼミナール 1	2		
		ゼミナール 2	2		
		ゼミナール 3	2		
		ゼミナール 4	2		
		卒業論文		6	
		【隣接科目群】			
		＜法律学＞			
		法学 1（法学の基礎）		2	
		法学 2（法学概論）		2	
		民法 1 A（総則）		2	
		民法 1 B（総則）		2	
		民法 2 A（物権）		2	
		民法 2 B（担保物権）		2	
		民法 3 A（債権各論）		2	
		民法 3 B（債権各論）		2	
		民法 4 A（債権総論）		2	
		民法 4 B（債権総論）		2	
		民法 5 A（親族法）		2	
		民法 5 B（相続法）		2	
		行政法 1（総論①）		2	

平成 2 7 年度以前入学生のみ

法学部政治学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		行政法 2（総論②）		2	
		行政救済法		2	
		国際法 1		2	
		国際法 2		2	
		国際機構論		2	
		企業法総論		2	
		労働法 1		2	
		労働法 2		2	
		社会保障法		2	
		刑法 1（総論）		2	
		刑法 2（各論）		2	
		会社法 1		2	
		会社法 2		2	
		刑法 3（各論）		2	
		民法 S 1（総則）		2	
		民法 S 2（物権法・担保物権法）		2	
		民法 S 3（債権各論）		2	
		民法 S 4（債権総論）		2	
		International Lectures 1(Law)		1	
		International Lectures 2(Law)		1	
		International Lectures 3(Law)		1	
		International Lectures 4(Law)		1	
		<経済学>			
		ミクロ経済学 1		2	平成 2 7 年度以前入学生のみ
		ミクロ経済学 2		2	
		マクロ経済学 1		2	
		マクロ経済学 2		2	
		財政学 1		2	
		財政学 2		2	
		経済政策論		2	
		経済学 S 1（経済学入門）		2	
		経済学 S 2（ミクロ経済学）		2	
		経済学 S 3（ミクロ経済学）		2	
		経済学 S 4（マクロ経済学）		2	
		経済学 S 5（マクロ経済学）		2	

経済学部経済学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
経済学部 経済学科		〔共通科目〕			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	

経済学部経済学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フランス語発展 2		1	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	

経済学部経済学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		【学科科目】			
		【基礎科目群】			
		経済学基礎 1		2	
		経済学基礎 2		1	
		初年次ゼミ		1	
		経済学入門		2	
		経済学と数学		1	
		経済学のための数学		2	
		統計学 1		2	
		統計学 2		2	
		データ分析入門		2	
		大学での学び方を考える		1	
		ミクロ経済学入門 1		2	
		ミクロ経済学入門 2		2	
		マクロ経済学入門 1		2	
		マクロ経済学入門 2		2	

別表 (1)

60単位選択必修
(うち30単位は基礎科目群・基幹
科目群より履修)

別表 (1)

平成27年度以前入学生のみ

経済学部経済学科

別表（1）

学 科 \ 区 分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
	政治学原論 2		2	
	日本政治論		2	
	国際政治学 1		2	
	国際政治学 2		2	
	政治学史 1		2	
	政治学史 2		2	
	行政学		2	
	公共政策論 1		2	
	公共政策論 2		2	

経営学部経営学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
経営学部 経営学科		〔共通科目〕			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	

経営学部経営学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	

経営学部経営学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【基礎科目群】			
		経営学入門	2		
		経営学基礎	2		
		経営学への招待	2		
		経営フィールドワーク入門	2		
		グループコミュニケーション 1 A	2		
		グループコミュニケーション 1 B	2		
		戦略データ分析 1		2	
		研究調査のための I C T 基礎		2	
		会計学入門		2	
		経済学入門		2	
		【基幹科目群】			
		経営文献講読 A	1		
		経営文献講読 B	1		
		経営戦略 1		2	
		経営戦略 2		2	
		イノベーションマネジメント		2	

経営学部経営学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		マーケティング1		2	30単位以上選択必修
		マーケティング2		2	
		流通経済		2	
		組織行動		2	
		経営組織		2	
		組織と人のマネジメント		2	
		セルフマネジメント		2	
		ダイバーシティマネジメント		2	
		経営のための会計入門		2	
		財務会計1		2	
		財務会計2		2	
		中小企業マネジメント		2	
		経営史		2	
		企業経営とE S G		2	
		質的研究調査の方法		2	
		量的研究調査の方法		2	
		戦略データ分析2		2	
		アート&テクノロジーA		2	
		アート&テクノロジーB		2	
		グループコミュニケーション2A		2	
		グループコミュニケーション2B		2	
		ワールドビジネス		2	
		【展開科目群】			8単位以上選択必修
		発展・経営戦略A		2	
		発展・経営戦略B		2	
		発展・イノベーションマネジメント		2	
		発展・マーケティングA		2	
		発展・マーケティングB		2	
		発展・流通経済		2	
		発展・組織行動		2	
		組織コミュニケーション		2	
		組織デザイン		2	
		コンフリクトマネジメント		2	
		人材マネジメント		2	
		キャリアマネジメントA		2	
		キャリアマネジメントB		2	
		キャリアマネジメントC		2	
		経営管理と会計		2	
		企業経営とファイナンス		2	
		発展・中小企業マネジメント		2	
		ビジネスデザイン		2	
		経営者と社会課題		2	
		発展・企業経営とE S G		2	
		発展・戦略データ分析		2	
		エリア・観光研究		2	
		観光とホスピタリティ		2	
		観光交通		2	
		エリアマネジメント		2	
		エリア産業		2	

経営学部経営学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		エリアガバナンス		2	
		グローバルマネジメント		2	
		ビジネスイングリッシュ		2	
		経営学と未来		2	
		経営フィールドワーク A		2	
		経営フィールドワーク B		2	
		International Lectures 1[Biz]		1	
		International Lectures 2[Biz]		1	
		International Lectures 3[Biz]		1	
		International Lectures 4[Biz]		1	
		経営特別講義 A		2	
		経営特別講義 B		2	
		【応用科目群】			
		経営学の最前線 1 A		2	隔年開講
		経営学の最前線 1 B		2	隔年開講
		経営学の最前線 2 A		2	隔年開講
		経営学の最前線 2 B		2	隔年開講
		【最先端研究】			
		ゼミナール 1	2		
		ゼミナール 2	2		
		経営研究		2	
		ゼミナール 3	2		
		ゼミナール 4	2		
		卒業研究		4	

経営学部会計ガバナンス学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
経営学部 会計ガバナンス 学科		〔共通科目〕			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	

経営学部会計ガバナンス学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	

経営学部会計ガバナンス学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【基礎科目群】			
		会計人と倫理	4		
		簿記入門 1	2		
		簿記入門 2	2		
		会計学入門	2		
		経営学入門		2	
		経済学入門		2	
		租税法入門		2	
		【基幹科目群】			
		会計人のための法学 1		2	
		会計人のための法学 2		2	
		会計人のための統計学		2	
		会計人のための経営学		2	
		スタンダード商業簿記 1		2	
		スタンダード商業簿記 2		2	
		スタンダード工業簿記 1		2	
		スタンダード工業簿記 2		2	

経営学部会計ガバナンス学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		アドバンス商業簿記 1		2	
		アドバンス商業簿記 2		2	
		アドバンス工業簿記 1		2	
		アドバンス工業簿記 2		2	
		原価計算 1		2	
		原価計算 2		2	
		財務会計 1		2	
		財務会計 2		2	
		管理会計 1		2	
		管理会計 2		2	
		金融論 1		2	
		金融論 2		2	
		コーポレート・ガバナンス論 1		2	
		【展開科目群】			
		応用簿記 1		2	
		応用簿記 2		2	
		財務会計 3		2	
		財務諸表分析 1		2	
		財務諸表分析 2		2	
		連結会計		2	
		管理会計 3		2	
		コーポレート・ファイナンス論		2	
		財務会計応用		2	
		監査論		2	
		非営利会計論 1		2	
		非営利会計論 2		2	
		公会計論		2	
		租税法 1		2	
		租税法 2		2	
		税務会計 1		2	
		税務会計 2		2	
		コーポレート・ガバナンス論 2		2	
		ディスクロージャー論		2	
		会計データ分析 1		2	
		会計データ分析 2		2	
		会計データ分析 3		2	
		会計キャリア研究 1		1	
		会計キャリア研究 2		1	
		フィナンシャル・プランニング論 1		2	
		フィナンシャル・プランニング論 2		2	
		金融システム論		2	
		日本経済論		2	
		税理士による租税講座		2	
		【応用科目群】			
		会計学特殊研究 A		2	
		会計学特殊研究 B		2	
		会計学特殊研究 C		2	
		会計学特殊研究 D		2	

会計ガバナンス

4/5

学則-77

経営学部会計ガバナンス学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		会計学特殊研究E		2	
		【課題研究】			
		プレゼミ 1	2		
		プレゼミ 2	2		
		ゼミナール 1	2		
		ゼミナール 2	2		
		ゼミナール 3	2		
		ゼミナール 4	2		
		卒業論文		4	
		【資格科目群】			
		地方公務員特殊研究 1		4	
		地方公務員特殊研究 2		4	
		地方公務員特殊研究 3		4	
		地方公務員特殊研究 4		4	
		民法 S 1（総則）		2	
		民法 S 2（物権法・担保物権法）		2	
		民法 S 3（債権各論）		2	
		民法 S 4（債権総論）		2	
		経済学 S 1（経済学入門）		2	
		経済学 S 2（ミクロ経済学）		2	
		経済学 S 3（ミクロ経済学）		2	
		経済学 S 4（マクロ経済学）		2	
		経済学 S 5（マクロ経済学）		2	
		キャリア開発		2	

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
アントレプレナーシップ 学部		〔共通科目〕			
アントレプレナーシップ 学科		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎	1		
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎	1		
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科
別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		中国語基礎 1		1	
		中国語基礎 2		1	
		中国語発展 1		1	
		中国語発展 2		1	
		中国語総合 1		1	
		中国語総合 2		1	
		フランス語基礎 1		1	
		フランス語基礎 2		1	
		フランス語発展 1		1	
		フランス語発展 2		1	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展４Ｄ		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール１		2	
		全学教養ゼミナール２		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【マインド科目】			
		キャリアデザイン１	1		
		キャリアデザイン２	1		
		キャリアデザイン３		1	1 単位選択必修
		幸福学		1	
		好奇心醸成		1	
		未来構想	1		
		事業と哲学	2		
		倫理観１	1		
		倫理観２	1		
		女性とアントレプレナーシップ		1	2 単位選択必修
		政治と社会		1	
		地域課題と事業創造		1	
		デザインと事業創造		1	
		科学技術と事業創造		1	
		グローバルアントレプレナー（海外研修）	1		
		情報編集力	1		
		アントレプレナーシップ１Ａ	1		
		アントレプレナーシップ１Ｂ	1		
		アントレプレナーシップ２Ａ	1		
		アントレプレナーシップ２Ｂ	1		
		アントレプレナーシップ２Ｃ	1		
		アントレプレナーシップ２Ｄ	1		
		アントレプレナーシップ３Ａ	1		
		アントレプレナーシップ３Ｂ	1		

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		アントレプレナーシップ 3 C	1		
		アントレプレナーシップ 3 D	1		
		アントレプレナーシップ 4 A	1		
		アントレプレナーシップ 4 B	1		
		アントレプレナーシップ 4 C	1		
		アントレプレナーシップ 4 D	1		
		【事業推進科目】			
		クリティカルシンキング基礎	2		
		クリティカルシンキング 1		2	} 2 単位選択必修
		クリティカルシンキング 2		2	
		課題解決プロセス 1		1	} 1 単位選択必修
		課題解決プロセス 2		1	
		ビジネスモデル研究基礎	1		
		インターネットビジネス基礎	1		
		領域別 T e c h 研究 A		1	} 2 単位選択必修
		領域別 T e c h 研究 B		1	
		領域別 T e c h 研究 C		1	
		領域別 T e c h 研究 D		1	
		アフターデジタルの課題解決	1		
		事業計画 A		2	} 2 単位選択必修
		事業計画 B		2	
		プロトタイピング A		1	} 1 単位選択必修
		プロトタイピング B		1	
		コミュニケーション基礎		1	
		コーチング		1	} 1 単位選択必修
		プレゼンテーション		1	
		チーム・プロジェクトマネジメント		1	
		ファイナンス・アカウンティング基礎		1	
		ファイナンス A	1		} コミュニケーション基礎、ファイナンス・アカウンティング基礎、リーガル基礎、マーケティング基礎から 2 単位選択必修
		ファイナンス B	1		
		リーガル基礎	1		
		マーケティング基礎	1		
		マーケティング A	1		} 1 単位選択必修
		マーケティング B	1		
		マーケティング C	1		
		グローバルマネジメント	1		
		リーダーシップとマネジメント	1		
		組織・人事マネジメント	1		

アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科
別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		【実践科目】			
		プロジェクト入門	1		
		インターンシップ（領域別 T e c h 研究）	1		
		インターンシップ A		2	
		インターンシップ B		3	
		インターンシップ C		4	
		プロジェクト基礎 A	2		
		プロジェクト基礎 B	2		
		プロジェクト基礎 C	2		
		プロジェクト応用 A	4		
		プロジェクト応用 B	4		
		プロジェクト発展 A	4		
		プロジェクト発展 B	4		
		プロジェクト発展 C	4		
		プロジェクト発展 D	4		
		プロジェクト発展 E		1	
		プロジェクト発展 F		2	
		プロジェクト発展 G		3	
		プロジェクト発展 H		4	
		【ゼミナール科目】			
		ゼミナール 1	2		
		ゼミナール 2	2		
		ゼミナール 3	2		
		ゼミナール 4		2	
		ゼミナール 5		2	

データサイエンス学部データサイエンス学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
データサイエンス学部 データサイエンス学科		【共通科目】			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	

データサイエンス学部データサイエンス学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	

データサイエンス学部データサイエンス学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【専門共通科目】			
		データサイエンス学	2		
		人類と人工知能（AI）	2		
		メディアクリエーション・データデザインⅠ	2		
		メディアクリエーション・データデザインⅡ	2		
		データサイエンスプログラミングⅠ	2		
		データサイエンスプログラミングⅡ	2		
		データと数理Ⅰ	2		
		データと数理Ⅱ	2		
		データと経済統計	2		
		データと計量経済学	2		
		ソーシャルイノベーションの起こし方	2		
		サイバーフィジカルシステム	2		
		機械学習と深層学習	2		
		Webエンジニアリングと社会	2		
		機械学習デザインⅠ	2		
		機械学習デザインⅡ	2		
		人工知能(AI)テクノロジーデザインⅠ	2		
		人工知能(AI)テクノロジーデザインⅡ	2		
		データサイエンス特論	2		

データサイエンス学部データサイエンス学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		情報経済特論	2		
		データマイニング	2		
		データベースデザイン	2		
		ビジネスモデル創出	2		
		【専門コース科目】			
		＜AIクリエイション・コース＞			
		人工知能(AI)テクノロジーデプロイメント		2	
		マルチメディア知識ベース		2	
		ロボティクス・IoT		2	
		サイバーセキュリティと人工知能(AI)		2	
		バーチャルリアリティ		2	
		＜AIアルゴリズムデザイン・コース＞			
		機械学習アルゴリズムデザイン		2	
		画像・音声認識システム		2	
		テキストマイニング		2	
		時空間データベース		2	
		リアルワールド解析シミュレータ		2	
		＜ソーシャルイノベーション・コース＞			
		人工知能(AI)社会の情報倫理		2	
		社会・環境デザイン・フィールドワーク		2	
		グローバル・ビジネス・ガバナンス		2	
		テクノロジーマネジメント		2	
		マーケティングデータ分析		2	
		【専門デプロイメントコース科目】			
		専門デプロイメントコースⅠ(人工知能(AI) クリエーション)		2	} 2科目4単位選択必修
		専門デプロイメントコースⅡ(人工知能(AI) アルゴリズムデザイン)		2	
		専門デプロイメントコースⅢ(ソーシャルイノベーション)		2	
		【社会連携型教育】			
		社会連携活動概論	1		
		データサイエンス社会実践学習 A (短期)		1	
		データサイエンス社会実践学習 B (短期)		1	
		データサイエンス社会実践学習 (中期)		2	
		データサイエンス社会実践学習 (長期)		3	
		データサイエンス社会実践学習 (海外)		4	
		【プロジェクト型科目】			
		未来創造PJ-AⅠ		4	
		未来創造PJ-BⅠ		2	
		未来創造PJ-AⅡ		4	
		未来創造PJ-BⅡ		2	
		未来創造PJ-AⅢ		4	
		未来創造PJ-BⅢ		2	
		未来創造PJ-AⅣ		4	
		未来創造PJ-BⅣ		2	
		卒業論文創成課題	4		
		卒業論文Ⅰ	4		
		卒業論文Ⅱ	4		

人間科学部人間科学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
人間科学部 人間科学科		〔共通科目〕			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	

人間科学部人間科学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フランス語発展 2		1	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	

人間科学部人間科学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		【学科科目】			
		【学科基礎科目】			
		人間学入門	2		
		人間科学基礎	2		
		人間論基礎	2		
		基礎ゼミ 1	1		
		基礎ゼミ 2	1		
		心理学概論Ⅰ	2		
		心理学概論Ⅱ	2		
		心理学研究法		2	
		心理学統計法		2	
		メンタルヘルス論Ⅰ	2		
		メンタルヘルス論Ⅱ		2	
		対人コミュニケーション論		2	
		【人間学基幹科目群】			

人間科学

3/6

学則-91

人間科学部人間科学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		論理学		2	【人間学基幹科目群】の中から8単位選択必修
		ロジカルシンキング		2	
		東洋思想論 1		2	
		東洋思想論 2		2	
		西洋思想論 1		2	
		西洋思想論 2		2	
		平和学		2	
		宗教学概論		2	
		死生学		2	
		【臨床心理科目群】			
		心理学実験 1		2	
		心理学実験 2		2	
		知覚・認知心理学	2		
		感情・人格心理学		2	
		学習・言語心理学		2	
		臨床心理学概論	2		
		発達心理学 1	2		
		発達心理学 2		2	
		人格心理学		2	
		司法・犯罪心理学 1		2	
		司法・犯罪心理学 2		2	
		教育・学校心理学		2	
		家族心理学		2	
		心理的アセスメント		2	
		心理療法論（心理学的支援法）		2	
		臨床心理学特殊演習		2	
		精神分析学		2	
		英語文献研究		2	
		カウンセリング演習		1	
		心理演習		1	
		公認心理師の職責		2	
		心理実習 1		1	
		心理実習 2		1	
		【産業・社会科目群】			
		社会学	2		
		地域社会学		2	
		家族社会学		2	
		社会調査法		2	
		社会調査実習		2	
		社会・集団・家族心理学	2		
		社会心理学		2	
		対人行動論 1	2		
		対人行動論 2		2	
		産業・組織心理学		2	
		集団心理学		2	
		産業カウンセリング論		2	
		コミュニティ心理学		2	

人間科学部人間科学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		文化心理学		2	
		マスコミュニケーション論		2	
		社会保障Ⅰ		2	
		社会保障Ⅱ		2	
		地域福祉論Ⅰ		2	
		地域福祉論Ⅱ		2	
		権利擁護を支える法制度		2	
		社会福祉の原理と政策Ⅰ		2	
		社会福祉の原理と政策Ⅱ		2	
		関係行政論		2	
		刑事司法と福祉		2	
		【生命・健康科学科目群】			
		生命科学１	2		
		生命科学２		2	
		生命科学実験演習１		1	
		生命科学実験演習２		1	
		自然人類学１	2		
		自然人類学２		2	
		生理実験演習１		1	
		生理実験演習２		1	
		脳と心１		2	
		脳と心２		2	
		心理統計法演習		2	
		健康・医療心理学	2		
		健康科学		2	
		精神医学(精神疾患とその治療)Ⅰ		2	
		精神医学(精神疾患とその治療)Ⅱ		2	
		医学知識（人体の構造と機能及び疾病）		2	
		心身医学		2	
		障害者・障害児心理学		2	
		福祉心理学		2	
		神経・生理心理学		2	
		スポーツ心理学		2	
		生体適応論		2	
		【精神保健福祉科目群】			
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		2	
		精神障害リハビリテーション論		2	
		精神保健福祉の原理Ⅰ		2	
		精神保健福祉の原理Ⅱ		2	
		精神保健福祉制度論		2	
		ソーシャルワーク論		2	
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ		2	

人間科学部人間科学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ		2	
		ソーシャルワーク演習		1	
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ		1	
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ		1	
		ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ		1	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		1	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		2	
		ソーシャルワーク実習		4	
		障害者福祉論		2	
		【人間論演習】			
		人間論演習 1	1		
		人間論演習 2	1		
		【フィールド・スタディーズ発展（学科）】			
		フィールド・スタディーズ発展 1（人間科学）		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2（人間科学）		3	
		【総合科目】			
		人間科学プロジェクト 1		2	
		人間科学プロジェクト 2		2	
		総合研究 1		2	
		総合研究 2		2	
		International Lectures(Human Sciences)1		1	
		International Lectures(Human Sciences)2		1	
		【卒業研究】			
		卒業論文	2		
		卒業論文演習 1	1		
		卒業論文演習 2	1		

人間科学部社会福祉学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
人間科学部 社会福祉学科		【共通科目】			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	

人間科学部社会福祉学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フランス語発展 2		1	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	

人間科学部社会福祉学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【社会福祉基盤形成科目群】			
		ソーシャルワークの基盤と専門職 1	2		
		ソーシャルワークの基盤と専門職 2	2		
		ソーシャルワークの理論と方法 1	2		
		ソーシャルワークの理論と方法 2	2		
		地域福祉と包括的支援体制 1	2		
		地域福祉と包括的支援体制 2	2		
		コミュニティ・オーガナイズシング論		2	
		ケースマネジメント論		2	
		ソーシャルワークの理論と方法 3	2		
		ソーシャルワークの理論と方法 4	2		
		社会福祉の原理と政策 1	2		
		社会福祉の原理と政策 2	2		
		【社会福祉実践領域科目群】			

人間科学部社会福祉学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		高齢者福祉	2		
		障害者福祉	2		
		児童・家庭福祉	2		
		貧困に対する支援	2		
		保健医療と福祉	2		
		ソーシャルアントレプレナー論		2	
		ファンドレイジング論		2	
		リハビリテーション論		2	
		刑事司法と福祉	2		
		家族福祉論		2	
		女性福祉論		2	
		スクールソーシャルワーク論		2	
		多文化共生ソーシャルワーク論 1		2	
		多文化共生ソーシャルワーク論 2		2	
		【社会福祉制度政策科目群】			
		福祉サービスの組織と経営	2		
		社会保障 1	2		
		社会保障 2	2		
		社会福祉発達史		2	
		【社会福祉関係科目群】			
		社会学と社会システム	2		
		危機介入論		2	
		生と死を考える福祉論		2	
		心理学と心理的支援	2		
		社会福祉調査の基礎	2		
		フィールド実習指導 1		2	
		フィールド実習指導 2		2	
		フィールド実習 1		2	
		フィールド実習 2		2	
		医学概論	2		
		権利擁護を支える法制度	2		
		発達心理学		2	
		児童精神医学		2	
		精神医学総論		2	
		犯罪・非行心理学		2	
		教育社会学		2	
		住環境論		2	
		学校の制度		2	
		生徒指導論		2	
		精神保健の課題と支援		2	
		【社会福祉実践研究力形成科目群】			
		社会福祉基礎ゼミナール	2		
		社会福祉発展ゼミナール	2		
		ソーシャルワーク演習 1	2		
		ソーシャルワーク実習指導 1		2	
		ソーシャルワーク演習 2	2		

社会福祉

4/5

学則-98

人間科学部社会福祉学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		ソーシャルワーク演習 3	2		
		海外ソーシャルワーク実習		1	
		社会福祉専門ゼミナール 1	2		
		ソーシャルワーク演習 4	2		
		ソーシャルワーク実習指導 2		2	
		ソーシャルワーク演習 5		2	
		ソーシャルワーク実習指導 3		2	
		ソーシャルワーク実習		5	
		社会福祉専門ゼミナール 2	2		
		スクールソーシャルワーク演習		2	
		スクールソーシャルワーク実習指導		2	
		スクールソーシャルワーク実習		2	
		卒業研究		2	
		【社会福祉実践力統合科目群】			
		社会福祉職業論		1	
		社会福祉特講 1		1	
		社会福祉特講 2		1	
		社会福祉特講 3		1	
		社会福祉特講 4		1	

ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
ウェルビーイング学部		【共通科目】			
		【スポーツ・身体】			
ウェルビーイング学科		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	
		ドイツ語発展1		1	
		ドイツ語発展2		1	
		ドイツ語総合1		1	
		ドイツ語総合2		1	
		スペイン語基礎1		1	
		スペイン語基礎2		1	

ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	

ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【基盤科目群】			
		<建学の精神>			
		建学の精神入門A(人間観)	1		
		建学の精神入門B(真理観)	1		
		建学の精神入門C(Dharma Dialogue)	1		
		建学の精神入門D(幸福論)	1		
		建学の精神基礎A(死生学)	1		
		建学の精神基礎B(巡礼)	1		
		建学の精神基礎C(縁起・共生)	1		
		建学の精神応用A(文献購読)	1		
		建学の精神応用B(Ancestors' Voices)	1		
		<ウェルビーイングデザイン>			
		WBデザイン入門A(全体像と歴史)	1		
		WBデザイン入門B(健康)	1		
		WBデザイン入門C(心理)	1		
		WBデザイン入門D(教育)	1		
		WBデザイン基礎A(経済・行動科学)	1		
		WBデザイン基礎B(社会)	1		
		WBデザイン基礎C(福祉)	1		
		WBデザイン応用A(社会心理)	1		
		WBデザイン応用B(哲学・倫理学)	1		
		WBデザイン応用C(医療)	1		
		WBデザイン発展(デザイン工学)	1		
		<ウェルビーイングリテラシー>			
		WBリテラシー入門A(ポジティブ心理学基礎)	1		
		WBリテラシー入門B(パーマカルチャー)		1	
		WBリテラシー入門C(アート(書))		1	
		WBリテラシー入門D(アート(身体表現))		1	
		WBリテラシー基礎A(感性工学)	1		
		WBリテラシー基礎B(対人コミュニケーション)	1		
		WBリテラシー基礎C(ロジカル思考)	1		
		WBリテラシー基礎D(システム思考)	1		
		WBリテラシー基礎E(文章)	1		
		WBリテラシー基礎F(プロジェクトマネジメント)	1		
		WBリテラシー基礎G(成人発達理論)		1	
		WBリテラシー基礎H(ビジネス・イノベーション)		1	

ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		WBリテラシー基礎I(アート(書))		1	
		WBリテラシー応用A(論理学)	1		
		WBリテラシー応用B(社会調査法)	1		
		WBリテラシー応用C(対話の場づくり)	1		
		WBリテラシー応用D(コーチング的コミュニケーション)	1		
		WBリテラシー応用E(アート(書))		1	
		WBリテラシー応用F(人類の歴史)		1	
		WBリテラシー応用G(エコシステム)		1	
		WBリテラシー発展A(実践者に聴く1)	1		
		WBリテラシー発展B(実践者に聴く2)	1		
		WBリテラシー発展C(プレゼンテーション)	1		
		WBリテラシー発展D(お金)		1	
		【探究する科目群】			
		<ゼミナール>			
		入門ゼミA	2		
		入門ゼミB	2		
		基礎ゼミA	1		
		基礎ゼミB	2		
		<自己理解>			
		自己理解入門A(自己との対話)	1		
		自己理解入門B(自己肯定感)	1		
		自己理解入門C(他者との対話)	1		
		自己理解入門D(自己受容・他者信頼)	1		
		自己理解基礎A(コンパッション)	1		
		自己理解基礎B(対話)	1		
		自己理解基礎C(セルフ・コンパッション)	1		
		<自然・環境>			
		自然・環境入門A	2		
		自然・環境入門B	2		
		自然・環境基礎A	1		
		自然・環境基礎B	2		
		自然・環境プロジェクト	4		
		<地域・医療・福祉>			
		地域・医療・福祉基礎A(医療・看護)	1		
		地域・医療・福祉基礎B(地域と福祉)	1		
		地域・医療・福祉基礎C(高齢者福祉)	1		
		地域・医療・福祉応用A(社会心理)	1		
		地域・医療・福祉応用B(公共政策)	1		
		<ビジネス>			
		ビジネス基礎A(企業)	1		
		ビジネス基礎B(人事)	1		
		ビジネス基礎C(起業)	1		
		ビジネス応用(社会システム)	1		
		地域・ビジネスプロジェクト	4		
		<国際理解>			
		国際コミュニケーション		1	
		多文化理解		1	
		海外インターンシップ		2	

ウェルビーイング

4/5

学則-103

別表 (1)

ウエルビーイング
5/5
学則-104

工学部サステナビリティ学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
工学部 サステナビリティ学科		【共通科目】			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	

サステナビリティ

1/5

工学部サステナビリティ学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フランス語発展 2		1	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	

工学部サステナビリティ学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【サステナビリティ基幹科目】			
		サステナビリティ学と創造的学び	1		
		アカデミックスキル入門	2		
		サステナビリティ学基礎 A	2		
		サステナビリティ学基礎 B	2		
		環境倫理・環境正義	2		
		環境エネルギー論	2		
		資源循環論	2		
		サステナビリティ思考入門	2		
		環境福祉学	2		
		環境政策論	2		
		環境経済学		2	
		サステナブルライフスタイル論		2	
		環境保全生態学	2		
		環境地球化学	2		

工学部サステナビリティ学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		水とサステナビリティ		2	
		食とサステナビリティ		2	
		【ソーシャルデザイン科目】			
		ソーシャルデザイン事例研究		2	
		サステナブルデザイン思考		2	
		システム思考と学習する組織		2	
		共創型リーダーシップ論		2	
		シビックアクション論		2	
		ファシリテーション演習		2	
		メディア表現演習		2	
		社会調査法		2	
		ソーシャルビジネス論		2	
		サステナブル経営論		2	
		サステナビリティ戦略演習		2	
		コミュニティデザイン論		2	
		持続可能な地域づくり論		2	
		交渉と合意形成		2	
		環境心理学		2	
		E S D 論		2	
		【環境エンジニアリング科目】			
		環境統計学		2	
		環境材料学		2	
		環境気象学		2	
		生物多様性保全特論		2	
		環境分析化学		2	
		C A D 演習		2	
		G I S ・ 測量演習		2	
		環境調査演習 A		2	
		環境調査演習 B		2	
		環境調査演習 C		2	
		サステナビリティリスク学		2	
		ライフサイクルアセスメント論		2	
		カーボンマネジメント演習		2	
		資源循環マネジメント演習		2	
		持続可能技術特論 1		2	
		持続可能技術特論 2		2	
		【プロジェクト科目】			
		サステナビリティプロジェクト入門	2		
		サステナビリティプロジェクト 1	4		
		サステナビリティプロジェクト 2	4		
		サステナビリティプロジェクト 3	4		
		サステナビリティプロジェクト 4	4		
		サステナビリティ研究 1	4		
		サステナビリティ研究 2	4		
		卒業論文		4	

別表（１）

サステナビリティ
5/5

工学部数理工学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
工学部 数理工学科		〔共通科目〕			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	

数理工

1/4

学則-110

工学部数理工学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		ドイツ語発展1		1	
		ドイツ語発展2		1	
		ドイツ語総合1		1	
		ドイツ語総合2		1	
		スペイン語基礎1		1	
		スペイン語基礎2		1	
		スペイン語発展1		1	
		スペイン語発展2		1	
		スペイン語総合1		1	
		スペイン語総合2		1	
		韓国語基礎1		1	
		韓国語基礎2		1	
		韓国語発展1		1	
		韓国語発展2		1	
		韓国語総合1		1	
		韓国語総合2		1	
		留学準備1		1	
		留学準備2		1	
		英語資格・検定試験対策1		1	
		英語資格・検定試験対策2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎B		1	
		日本語基礎C		1	
		日本語基礎D		1	
		日本語発展A		1	
		日本語発展B		1	
		日本語発展C		1	
		日本語発展D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDGs 基礎	1		
		SDGs 発展1	1		
		SDGs 発展2	1		
		SDGs 発展3	1		
		SDGs 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ1		1	
		フィールド・スタディーズ2		2	
		フィールド・スタディーズ3		3	
		フィールド・スタディーズ4		4	
		フィールド・スタディーズ発展1A		1	
		フィールド・スタディーズ発展1B		2	
		フィールド・スタディーズ発展1C		3	
		フィールド・スタディーズ発展1D		4	
		フィールド・スタディーズ発展2A		1	
		フィールド・スタディーズ発展2B		2	
		フィールド・スタディーズ発展2C		3	

数理工

2/4

学則-111

工学部数理工学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔教職関連〕			
		日本国憲法		2	教職必修
		〔学科科目〕			
		【学科基礎科目】			
		数理工学入門	2		
		線形代数 1	2		
		微積分 1	2		
		数学演習 1		1	
		線形代数 2	2		
		線形代数 2 演習		1	
		微積分 2	2		
		微積分 2 演習		1	
		情報処理		2	
		プログラミング演習		1	
		基礎物理 1	2		
		基礎物理 2	2		
		線形代数 3	2		
		微積分 3	2		
		数学演習 2		1	
		微分方程式 1	2		
		数理工学概論 1	2		
		ベクトル解析	2		
		複素解析	2		
		アルゴリズム		2	
		微分方程式 2		2	
		【学科基幹科目】			
		数理工学実験 1		2	

数理工

3/4

学則-112

工学部数理工学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		確率・統計	2		
		応用代数		2	
		数理物理		2	
		数理工学実験 2		2	
		数理統計学		2	
		応用幾何		2	
		情報理論		2	
		数理工学概論 2	2		
		応用複素解析		2	
		グラフ理論入門		2	
		数値解析		2	
		環境・エネルギー工学		2	
		知的財産論		2	
		フーリエ解析		2	
		多変量解析		2	
		最適化理論		2	
		量子力学とナノ工学		2	
		機械学習		2	
		システム工学		2	
		応用微分方程式		2	
		計画工学		2	
		計算幾何学		2	
		信号処理		2	
		【学科展開科目】			
		プロジェクト 1		4	
		保険数学		2	
		離散数理工学		2	
		確率数理工学		2	
		データベースと情報管理		2	
		プロジェクト 2		4	
		連続体力学		2	
		生命情報学		2	
		トポロジーとその応用		2	
		金融工学		2	
		【卒業研究】			
		数理工学研究 1	2		
		数理工学研究 2	2		
		数理工学研究 3	2		
		卒業研究	4		

工学部建築デザイン学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
工学部 建築デザイン学 科		〔共通科目〕			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	

建築デザイン

1/4

学則-114

工学部建築デザイン学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		ドイツ語発展1		1	
		ドイツ語発展2		1	
		ドイツ語総合1		1	
		ドイツ語総合2		1	
		スペイン語基礎1		1	
		スペイン語基礎2		1	
		スペイン語発展1		1	
		スペイン語発展2		1	
		スペイン語総合1		1	
		スペイン語総合2		1	
		韓国語基礎1		1	
		韓国語基礎2		1	
		韓国語発展1		1	
		韓国語発展2		1	
		韓国語総合1		1	
		韓国語総合2		1	
		留学準備1		1	
		留学準備2		1	
		英語資格・検定試験対策1		1	
		英語資格・検定試験対策2		1	
		【教養日本語】			
		日本語リテラシー	1		
		日本語基礎A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎B		1	
		日本語基礎C		1	
		日本語基礎D		1	
		日本語発展A		1	
		日本語発展B		1	
		日本語発展C		1	
		日本語発展D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDGs 基礎	1		
		SDGs 発展1	1		
		SDGs 発展2	1		
		SDGs 発展3	1		
		SDGs 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ1		1	
		フィールド・スタディーズ2		2	
		フィールド・スタディーズ3		3	
		フィールド・スタディーズ4		4	
		フィールド・スタディーズ発展1A		1	
		フィールド・スタディーズ発展1B		2	
		フィールド・スタディーズ発展1C		3	
		フィールド・スタディーズ発展1D		4	
		フィールド・スタディーズ発展2A		1	
		フィールド・スタディーズ発展2B		2	
		フィールド・スタディーズ発展2C		3	

工学部建築デザイン学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展2D		4	
		フィールド・スタディーズ発展2E		5	
		フィールド・スタディーズ発展3A		1	
		フィールド・スタディーズ発展3B		2	
		フィールド・スタディーズ発展3C		3	
		フィールド・スタディーズ発展3D		4	
		フィールド・スタディーズ発展3E		5	
		フィールド・スタディーズ発展4A		1	
		フィールド・スタディーズ発展4B		2	
		フィールド・スタディーズ発展4C		3	
		フィールド・スタディーズ発展4D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール1		2	
		全学教養ゼミナール2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔学科科目〕			
		【学科基礎科目】			
		基礎デザイン1	2		
		空間表現論	2		
		基礎ゼミ	2		
		基礎デザイン2	2		
		デザインテクノロジー1	2		
		デザインテクノロジー2	2		
		【学科基幹科目】			
		設計製図1	4		
		建築計画	2		
		デザインテクノロジー3	2		
		デザインテクノロジー4	2		
		設計製図2	4		
		日本の建築	2		
		設計方法論	2		
		建築構造	2		
		建築材料	2		
		建築施工法	2		
		建築法規	2		
		建築学演習	2		
		建築構造デザイン	2		
		【学科展開科目】			
		住居論		2	
		住居史		2	
		住宅衛生		2	
		プロジェクト1		2	

工学部建築デザイン学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		西洋の建築		2	
		建築と環境		2	
		インテリアデザイン 1		2	
		構造力学 1		2	
		構造力学演習 1		2	
		デザインテクノロジー発展 1		2	
		デザインテクノロジー発展 2		2	
		環境工学		2	
		建築環境行動		2	
		プロジェクト 2		4	
		設計製図 3		4	
		建築景観論		2	
		音環境		2	
		建築設備 1		2	
		構造力学 2		2	
		構造力学演習 2		2	
		デザインテクノロジー発展 3		2	
		デザインテクノロジー発展 4		2	
		インテリアデザイン 2		2	
		都市防災		2	
		都市環境		2	
		設計製図 4		4	
		アジアの建築		2	
		光環境		2	
		建築設備 2		2	
		構造力学 3		2	
		環境デザイン		2	
		空間とデザイン		2	
		ランドスケープデザイン		2	
		プロジェクト 3		4	
		建築環境論		2	
		防災まちづくり論		2	
		建築文化論		2	
		プロジェクト 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1（建築）		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2（建築）		2	
		【卒業研究】 卒業研究	6		

教育学部教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
教育学部 教育学科		〔共通科目〕			学校教育専修理科コースは2単位選択必修
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		体育講義		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	
		ドイツ語基礎2		1	

教育学部教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	

教育学部教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔教職関連〕			
		日本国憲法		2	教職必修
		〔学科科目〕			
		【学科基礎科目】			
		教育学入門ゼミ		2	コースごとの必修科目は教育学部教育学科履修内規の定めによる
		発達心理学		2	
		教育原理		2	
		教育心理学		2	
		【学科基幹科目】			
		教育学基礎ゼミ		2	
		教育学発展ゼミ		2	
		教職論		2	
		教育の制度		2	
		教育課程論		2	
		学級経営論		2	
		【学科展開科目】			
		＜福祉関連科目＞			
		社会福祉		2	
		児童家庭福祉		2	
		＜初等・中等教育関連科目群＞			
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2	
		道徳教育の理論と方法		2	
		教育の方法と技術（情報通信技術の活用含む。）		2	
		生徒指導・進路指導論		2	
		教育相談		2	
		特別支援教育		2	
		＜指導法関連科目群＞			
		初等国語科指導法		2	
		初等社会科指導法		2	

教育

3/6

学則-120

教育学部教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		初等算数科指導法		2	
		初等理科指導法		2	
		初等生活科指導法		2	
		初等音楽科指導法		2	
		初等図画工作科指導法		2	
		初等家庭科指導法		2	
		初等体育科指導法		2	
		初等外国語（英語）指導法		2	
		国語科指導法A		2	
		国語科指導法B		2	
		書道科指導法A		2	
		書道科指導法B		2	
		英語科指導法A		2	
		英語科指導法B		2	
		理科指導法Ⅰ		4	
		国語科教育法A		2	
		国語科教育法B		2	
		書道科教育法		2	
		英語科教育法A		2	
		英語科教育法B		2	
		理科指導法Ⅱ		4	
		<教科・基礎技能関連科目群>			
		国語（書写を含む。）		2	
		社会		2	
		算数		2	
		理科		2	
		生活		2	
		音楽A		2	
		音楽B		2	
		図画工作A		2	
		図画工作B		2	
		家庭		2	
		体育A		2	
		体育B		2	
		初等外国語（英語）		2	
		日本語学概論A		2	
		日本語学概論B		2	
		古代文学		2	
		中古文学		2	
		中世文学		2	
		近世文学		2	
		近代文学		2	
		現代文学		2	
		漢文学		2	
		書道		2	
		書道史		2	
		書論・鑑賞		2	
		英語学A		2	
		英語学B		2	
		英米文学・文化史A		2	
		英米文学・文化史B		2	
		Practical Communication A		2	
		Practical Communication B		2	
		Comprehensive English A		2	

教育

4/6

学則-121

教育学部教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		Comprehensive English B		2	
		Comprehensive English C		2	
		Comprehensive English D		2	
		異文化理解A		2	
		異文化理解B		2	
		物理学概論 1		2	
		物理学概論 2		2	
		物理学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
		化学概論 1		2	
		化学概論 2		2	
		化学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
		生物学概論 1		2	
		生物学概論 2		2	
		生物学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
		地学概論 1		2	
		地学概論 2		2	
		地学実験（コンピュータ活用を含む。）		2	
		理科実験指導論		2	
		<教科・応用科目群>			
		ICT活用論A		2	
		ICT活用論B		2	
		Academic English		2	
		実用英語音声学		2	
		英語プレゼンテーション		2	
		科学基礎 1		2	
		科学基礎 2		2	
		物理学特論 1		2	
		物理学特論 2		2	
		化学特論 1		2	
		化学特論 2		2	
		生物学特論 1		2	
		生物学特論 2		2	
		地学特論 1		2	
		地学特論 2		2	
		環境教育学		2	
		自然環境教育演習 1		2	
		自然環境教育演習 2		2	
		<グローバル教員養成科目群>			
		グローバル教育概説		2	
		グローバル教育特論		2	
		21世紀型スキル		2	
		【実習関係】			
		教育インターンシップゼミ		2	
		教育インターンシップ		2	
		教育海外研修 1		2	
		教育海外研修 2		2	
		教育海外研修 3		4	
		教育プレ実習		1	
		教育実習指導【小学校】		1	
		教育実習【小学校】		4	
		教育実習【中学校・高等学校】		3	
		教育実習【中学校】		2	

教育

5/6

教育学部教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		教職実践演習（小・中・高）		2	
		【卒業研究】 教育学総合ゼミ		2	

教育学部幼児教育学科

別表（1）

学 科	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
教育学部 幼児教育学科	〔共通科目〕			
	【建学】			
	仏教（生き方を考える）基礎	2		
	仏教（生き方を考える）発展	2		
	【スポーツ・身体】			
	スポーツと身体科学		1	
	フィールド・スポーツ		1	
	体育講義		1	
	【情報】			
	データサイエンス基礎	1		
	人工知能基礎	1		
	メディアリテラシー		1	
	情報技法基礎		1	
	情報技法発展A		1	
	情報技法発展B		1	
	情報技法発展C		1	
	プログラミング基礎		1	
	プログラミング発展A		1	
	プログラミング発展B		1	
	人工知能技術と社会		1	
	機械学習活用1		1	
	機械学習活用2		1	
	データサイエンス活用1		1	
	データサイエンス活用2		1	
	メディアデザイン		1	
	サービスデザイン		1	
	人工知能実践プロジェクト		2	
	【外国語】			
	英語基礎A	2		
	英語基礎B		1	
	英語基礎C	2		
	英語基礎D		1	
	英語発展A		1	
	英語発展B		1	
	英語発展C		1	
	英語発展D		1	
	英語総合A		1	
	英語総合B		1	
	中国語基礎1		1	
	中国語基礎2		1	
	中国語発展1		1	
	中国語発展2		1	
	中国語総合1		1	
	中国語総合2		1	
	フランス語基礎1		1	
	フランス語基礎2		1	
	フランス語発展1		1	

幼児教育

1/5

学則-124

教育学部幼児教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フランス語発展 2		1	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【教養日本語】			
		日本語基礎 A		1	留学生または日本語を母語としない学生は、外国語科目群の必修科目に代えることができる
		日本語基礎 B		1	
		日本語基礎 C		1	
		日本語基礎 D		1	
		日本語発展 A		1	
		日本語発展 B		1	
		日本語発展 C		1	
		日本語発展 D		1	
		日本事情		2	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	

教育学部幼児教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		証券ビジネス論		2	
		〔教職関連〕			
		日本国憲法		2	教職必修
		〔学科科目〕			
		【学科基礎科目】			
		幼児教育学入門ゼミ	2		
		発達心理学 1（保・幼）	2		
		保育原理	2		
		教育原理 1（保・幼）	2		
		【学科基幹科目】			
		幼児教育学基礎ゼミ	2		
		幼児教育学発展ゼミ	2		
		教育心理学（幼）	2		
		教職論（保育者論）	2		
		教育課程論（保・幼）	2		
		発達心理学 2（保・幼）		2	
		教育の制度（幼）	2		
		教育原理 2		2	

幼児教育

3/5

学則-126

教育学部幼児教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		幼児教育学総合ゼミ		2	
		【学科展開科目】			
		<保育・幼児教育関連科目群>			
		社会福祉	2		
		子ども家庭福祉	2		
		社会的養護 1	2		
		子どもの保健	2		
		子どもの健康と安全	1		
		子どもの食と栄養	2		
		子ども家庭支援論	2		
		乳児保育 1	2		
		乳児保育 2	1		
		特別支援教育（保・幼）	2		
		社会的養護 2	1		
		教育の方法と技術（幼）	2		
		幼児理解と教育相談（幼）	2		
		仏教保育論		2	
		保幼小接続論		2	
		<発達・子育て支援科目群>			
		地域子育てネットワーク論		2	
		音楽療法		2	
		保育インターンシップ		2	
		児童心理臨床		2	
		子育て支援	1		
		子どもの理解と援助	1		
		発達検査法		1	
		芸術療法		1	
		病児保育論		2	
		<領域及び保育内容指導法関連科目群>			
		保育内容指導法（健康）		2	
		保育内容指導法（人間関係）		2	
		保育内容指導法（環境）		2	
		保育内容指導法（言葉）		2	
		保育内容指導法（身体表現） 1	1		
		保育内容指導法（身体表現） 2		1	
		保育内容指導法（造形表現） 1	1		
		保育内容指導法（造形表現） 2		1	
		保育内容指導法（音楽表現） 1	1		
		保育内容指導法（音楽表現） 2		1	
		保育内容総論	1		
		保育内容（健康）	1		
		保育内容（人間関係）	1		
		保育内容（環境）	1		
		保育内容（言葉）	1		
		保育内容（表現）	1		
		<領域関連専門科目群>			

幼児教育

4/5

学則-127

教育学部幼児教育学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		音楽 1	2		
		音楽 2		2	
		造形 1（保・幼）	1		
		造形 2（保・幼）		1	
		造形 3（保・幼）		1	
		造形 4（保・幼）		1	
		体育 1（保・幼）	1		
		体育 2（保・幼）		1	
		体育 3（保・幼）		2	
		児童文学		2	
		児童文化	1		
		＜グローバル教員養成科目群＞			
		グローバル教育概説	2		
		グローバル教育特論		2	
		21世紀型スキル		2	
		児童英語		1	
		国際保育論		2	
		【実習関係科目】			
		保育・教育海外研修		2	
		プレ実習（保育内容の理解と方法）		1	
		幼児教育プロジェクト 1		2	
		幼児教育プロジェクト 2		2	
		幼児教育プロジェクト 3		2	
		教育実習指導【幼稚園】		1	
		教育実習【幼稚園】		4	
		保育実習指導 1（保育所）		1	
		保育実習指導 1（施設）		1	
		保育実習指導 2		1	
		保育実習指導 3		1	
		保育実習 1（保育所）		2	
		保育実習 1（施設）		2	
		保育実習 2		2	
		保育実習 3		2	
		保育・教職実践演習（幼）		2	
		【卒業研究】			
		卒業研究		2	

薬学部薬学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
薬学部 薬学科		〔共通科目〕			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用1		1	
		機械学習活用2		1	
		データサイエンス活用1		1	
		データサイエンス活用2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎1		1	
		中国語基礎2		1	
		中国語発展1		1	
		中国語発展2		1	
		中国語総合1		1	
		中国語総合2		1	
		フランス語基礎1		1	
		フランス語基礎2		1	
		フランス語発展1		1	
		フランス語発展2		1	
		フランス語総合1		1	
		フランス語総合2		1	
		ドイツ語基礎1		1	

薬学部薬学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ		1	
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	

薬

2/5

薬学部薬学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール1		2	
		全学教養ゼミナール2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		【学科科目】			
		<薬学準備教育科目>			
		基礎物理学	2		
		薬学物理化学	2		
		薬学数学1	2		
		薬学数学2	2		
		薬学統計学	2		
		基礎化学	2		
		薬学化学1	2		
		薬学化学2	2		
		基礎生物学	2		
		薬学生物学	2		
		医療統計学・生物学的試験法		2	
		生命倫理・医療倫理学	2		
		死生学	2		
		<薬学基幹科目>			
		薬学概論・レギュラトリーサイエンス概論	1		
		早期体験実習	1		
		薬学総合演習1	3		
		薬学総合演習2	2		
		薬学総合演習3	4		
		卒業研究1	8		
		卒業研究2	8		
		研究者養成コース薬学研究		2	
		<物理系薬学を学ぶ>			
		医薬品分析化学1	2		
		医薬品分析化学2	2		
		医薬品物理化学	2		
		放射性医薬品学	1		
		物理系実験実習1	1		
		物理系実験実習2	1		
		<化学系薬学を学ぶ>			
		有機化学1	2		
		有機化学2	2		
		有機化学3	2		
		有機化学4	2		
		生薬化学1	1		
		生薬化学2	2		
		化学系実験実習1	1		
		化学系実験実習2	1		
		<生物系薬学を学ぶ>			

薬

3/5

学則-131

薬学部薬学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		解剖学 1	2		
		解剖学 2	2		
		生理学 1	2		
		生理学 2	2		
		生化学 1	2		
		生化学 2	2		
		分子生物学	2		
		微生物医薬品学 1	2		
		微生物医薬品学 2	2		
		生物系実験実習 1	1		
		生物系実験実習 2	1		
		生物系実験実習 3	1		
		＜衛生薬学を学ぶ＞			
		栄養代謝化学	2		
		食品衛生学	2		
		環境衛生学 1	2		
		環境衛生学 2	2		
		公衆衛生学	2		
		衛生薬学実験実習	1		
		＜医療薬学を学ぶ＞			
		薬理学 1	2		
		薬理学 2	2		
		薬理学 3	2		
		薬効安全性学	1		
		薬物療法学 1	2		
		薬物療法学 2	2		
		薬物動態学 1	2		
		薬物動態学 2	2		
		物理薬剤学	2		
		製剤学	2		
		天然薬物学	1		
		一般用医薬品学	2		
		医薬品情報学	1		
		薬業経済学	1		
		病態学 1	2		
		病態学 2	2		
		医薬品開発学	2		
		臨床生化学・臨床検査学	2		
		医療薬学実験実習 1	1		
		医療薬学実験実習 2	1		
		医療薬学実験実習 3	1		
		医療薬学実験実習 4	1		
		漢方治療学		1	
		薬局経営論		1	
		＜薬学臨床を学ぶ＞			
		臨床薬剤学 1	2		
		臨床薬剤学 2	2		
		薬剤疫学	1		
		臨床薬学	2		
		臨床調剤学	2		

薬

4/5

薬学部薬学科

別表(1)

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		臨床薬物治療学	2		
		基礎調剤実習	1		
		臨床調剤学実習	1		
		事前実習	4		
		病院薬局実務実習	12		
		保険薬局実務実習	12		
		<法規・制度を学ぶ>			
		薬事行政(制度)・関係法規	2		
		<香粧薬学系科目を学ぶ>			
		香粧品学概論		1	
		香粧品学 1		2	
		香粧品学 2		2	
		<製薬産業系科目を学ぶ>			
		製薬産業論		1	
		化粧品産業論		1	
		臨床開発各論		1	
		<キャリア開発科目>			
		キャリアデザイン 1	1		
		キャリアデザイン 2		1	
		インターンシップ 1 (企業)		1	
		インターンシップ 2 (病院・薬局)		1	
		<グローバル薬学科目>			
		薬学英语 1		1	
		薬学英语 2		1	
		薬学英语 3		1	
		International Lectures 1(pharm)		1	
		International Lectures 2(pharm)		1	

看護学部看護学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
看護学部 看護学科		【共通科目】			
		【建学】			
		仏教（生き方を考える）基礎	2		
		仏教（生き方を考える）発展	2		
		【スポーツ・身体】			
		スポーツと身体科学		1	
		フィールド・スポーツ		1	
		【情報】			
		データサイエンス基礎	1		
		人工知能基礎	1		
		メディアリテラシー		1	
		情報技法基礎		1	
		情報技法発展A		1	
		情報技法発展B		1	
		情報技法発展C		1	
		プログラミング基礎		1	
		プログラミング発展A		1	
		プログラミング発展B		1	
		人工知能技術と社会		1	
		機械学習活用 1		1	
		機械学習活用 2		1	
		データサイエンス活用 1		1	
		データサイエンス活用 2		1	
		メディアデザイン		1	
		サービスデザイン		1	
		人工知能実践プロジェクト		2	
		【外国語】			
		英語基礎A	2		
		英語基礎B		1	
		英語基礎C	2		
		英語基礎D		1	
		英語発展A		1	
		英語発展B		1	
		英語発展C		1	
		英語発展D		1	
		英語総合A		1	
		英語総合B		1	
		中国語基礎 1		1	
		中国語基礎 2		1	
		中国語発展 1		1	
		中国語発展 2		1	
		中国語総合 1		1	
		中国語総合 2		1	
		フランス語基礎 1		1	
		フランス語基礎 2		1	
		フランス語発展 1		1	
		フランス語発展 2		1	
		フランス語総合 1		1	
		フランス語総合 2		1	
		ドイツ語基礎 1		1	

看護

1/5

看護学部看護学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		ドイツ語基礎 2		1	
		ドイツ語発展 1		1	
		ドイツ語発展 2		1	
		ドイツ語総合 1		1	
		ドイツ語総合 2		1	
		スペイン語基礎 1		1	
		スペイン語基礎 2		1	
		スペイン語発展 1		1	
		スペイン語発展 2		1	
		スペイン語総合 1		1	
		スペイン語総合 2		1	
		韓国語基礎 1		1	
		韓国語基礎 2		1	
		韓国語発展 1		1	
		韓国語発展 2		1	
		韓国語総合 1		1	
		韓国語総合 2		1	
		留学準備 1		1	
		留学準備 2		1	
		英語資格・検定試験対策 1		1	
		英語資格・検定試験対策 2		1	
		【CHP】			
		SDG s 基礎	1		
		SDG s 発展 1	1		
		SDG s 発展 2	1		
		SDG s 発展 3	1		
		SDG s 特講		2	
		【フィールド・スタディーズ】			
		フィールド・スタディーズ	1		
		フィールド・スタディーズ 1		1	
		フィールド・スタディーズ 2		2	
		フィールド・スタディーズ 3		3	
		フィールド・スタディーズ 4		4	
		フィールド・スタディーズ発展 1 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 1 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 1 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 1 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 2 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 2 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 2 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 2 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 3 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 3 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 3 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 3 D		4	
		フィールド・スタディーズ発展 3 E		5	
		フィールド・スタディーズ発展 4 A		1	
		フィールド・スタディーズ発展 4 B		2	
		フィールド・スタディーズ発展 4 C		3	
		フィールド・スタディーズ発展 4 D		4	

看護

2/5

看護学部看護学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		【インターンシップ】			
		インターンシップ		1	
		企業協働プロジェクト		2	
		【全学教養ゼミナール】			
		全学教養ゼミナール 1		2	
		全学教養ゼミナール 2		2	
		【寄付講座】			
		武蔵野市自由講座		2	
		【学科教養科目】			
		日本国憲法		2	教職必修
		社会学		2	
		基礎生物		2	
		基礎化学		2	
		心理学の基礎 1		2	
		心理学の基礎 2		2	
		人間工学		2	
		ケアマネジメント論		2	
		家族関係論		2	
		死生学		2	
		フィールド・スタディーズ発展（看護）		4	
		【学科科目】			
		【専門基礎科目】			
		体の働き 1（形態）	1		
		体の働き 2（機能）	1		
		病理学	2		
		疾病治療論 1（急性期）	2		
		疾病治療論 2（慢性期）	2		
		疾病治療論 3（母子）	2		
		疾病治療論 4（感染と免疫）	1		
		疾病治療論 5（精神）	1		
		栄養学	1		
		薬理学	2		
		公衆衛生学	2		
		疫学総論	2		
		保健統計学	2		
		保健医療福祉行政論	2		
		保健医療福祉行政論 2		1	保健師は必修
		生命倫理・医療倫理学	1		
		健康保健学		2	
		健康環境論		2	
		臨床栄養学		1	養護教諭は必修
		精神保健論		1	
		むさしの I P E（保健医療福祉専門職と社会の連携教育）		1	
		セクシュアリティ論		1	
		【看護学・看護実践の基礎】			
		看護学概論	2		
		看護政策論	1		
		基礎看護実習	3		

看護

3/5

学則-136

看護学部看護学科

別表（1）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		基礎看護実践論 1（看護実践の基礎）	1		
		基礎看護実践論 2（ヘルスアセスメント技術）	2		
		基礎看護実践論 3（基本技術・診療技術）	1		
		基礎看護実践論 4（生活行動援助技術）	2		
		基礎看護実践論 5（シミュレーション）	1		
		看護倫理	1		
		【健康増進・予防と看護】			
		ヘルスプロモーション概論 1（個人・家族・集団・地域）	1		
		ヘルスプロモーション概論 2（リプロダクティブヘルス・小児期）	2		
		ヘルスプロモーション概論 3（成人期・老年期）	2		
		ヘルスプロモーション各論 1（リプロダクティブヘルス）	2		
		ヘルスプロモーション各論 2（家族）	1		
		ヘルスプロモーション演習 1（基本看護技術）	1		
		ヘルスプロモーション演習 2（リプロダクティブヘルス看護技術）	1		
		ヘルスプロモーション演習 3（シミュレーション）	1		
		ヘルスプロモーション実習 1（個人・家族・集団・地域）	3		
		ヘルスプロモーション実習 2（リプロダクティブヘルス）	2		
		【健康段階における看護】			
		＜急性期における看護＞			
		急性期看護概論	1		
		急性期小児看護論	1		
		急性期成人看護論	1		
		急性期老年看護論	1		
		急性期精神看護論	1		
		急性期看護演習 1（成人看護・老年看護）	2		
		急性期看護演習 2（小児看護・精神看護）	1		
		急性期看護演習 3（シミュレーション）	1		
		急性期看護実習 1（成人看護・老年看護）	3		
		急性期看護実習 2（小児看護）	1		
		＜慢性期における看護＞			
		慢性期看護概論	1		
		慢性期小児看護論	1		
		慢性期成人看護論	1		
		慢性期老年看護論	1		
		慢性期精神看護論	1		
		在宅看護論	1		
		慢性期看護演習 1（基本看護技術）	2		
		慢性期看護演習 2（在宅看護技術）	1		
		慢性期看護演習 3（シミュレーション）	1		
		慢性期看護実習 1（成人看護・老年看護）	3		
		慢性期看護実習 2（精神看護）	2		
		慢性期看護実習 3（在宅看護）	1		
		【集団・地域の健康問題に関わる看護】			
		地域看護論	2		
		地域看護論演習	1		
		地域看護論実習	2		
		公衆衛生看護管理論		1	保健師は必修
		公衆衛生看護診断論演習		1	
		公衆衛生看護論実習		4	

看護

4/5

学則-137

看護学部看護学科

別表（１）

学 科	区 分	授業科目	単位数		備考
			必修	選択	
		【看護統合】 看護研究 1 看護研究 2 看護ゼミ 災害看護 1（基礎編） 災害看護 2（実践編） エンドオブライフケア 看護管理・政策論 総合看護演習 統合実習	1 3 1 1 1 1 1 1 1 3		
		【自由選択科目】 [心理コース] 認知心理学 1 認知心理学 2 カウンセリング論 心理療法論		2 2 2 2	} 認定心理士は必修
		[医薬コース] 薬物療法学 臨床医薬品概説 医療美粧論 生薬療法（漢方） 一般用医薬品学		1 2 1 1 1	
		[養護教諭コース] 養護概説 学校保健		2 2	} 養護教諭は必修

別表(1)－3

(第12条関係)

上限単位数

文学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
日本文学文化学科	40	44	44	32	160単位

グローバル学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
グローバルコミュニケーション学科	40	40	40	40	160単位
日本語コミュニケーション学科	40	40	40	40	160単位
グローバルビジネス学科	40	40	40	40	160単位

備考 4月以外に入学した者の履修上限単位数については別に定める。

法学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
法律学科	40	44	44	32	160単位
政治学科	40	40	40	40	160単位

経済学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
経済学科	40	40	40	40	160単位

経営学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
経営学科	40	40	40	40	160単位
会計ガバナンス学科	40	40	40	40	160単位

アントレプレナーシップ学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
アントレプレナーシップ学科	40	40	40	40	160単位

データサイエンス学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
データサイエンス学科	40	42	44	34	160単位

人間科学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
人間科学科	40	42	42	36	160単位
社会福祉学科	44	42	39	35	160単位

ウェルビーイング学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
ウェルビーイング学科	45	45	40	30	160単位

工学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
サステナビリティ学科	40	40	40	40	160単位
数理工学科	40	40	40	40	160単位
建築デザイン学科	36	46	46	32	160単位

教育学部	1年生	2年生	3年生	4年生	合 計
教育学科	50	58	54	32	194単位
幼児教育学科	47	44	44	32	167単位

備考 上限単位数に含めない科目は別に定める。

薬学部薬学科(6年制)及び看護学部看護学科は履修科目の上限を各学年50単位以内とする。

ただし、薬学部薬学科(6年制)の1年生については履修上限を56単位以内とする。

文学部日本文学文化学科及び法学部法律学科に平成30年3月31日以前から在籍している者については、別に定める。

別表(1)－3 上限単位数

1/1

別表(2)

教職関連科目

学 部	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必修	選択	
文学部	教師論	2		
工学部	教職特殊研究A		2	
(数理工学科のみ)	教職特殊研究B		2	
看護学部	教育原理	2		
	発達と学習	2		
	学校の制度	2		
	特別支援教育	2		
	教育課程論	2		
	国語科指導法A		2	必修 (免許状取得科目を履修)
	国語科指導法B		2	
	書道科指導法A		2	
	書道科指導法B		2	
	数学科指導法A		2	
	数学科指導法B		2	
	国語科教育法A		2	一部必修 (免許状取得科目を履修)
	国語科教育法B		2	
	書道科教育法		2	
	数学科教育法A		2	
	数学科教育法B		2	
	道徳教育の理論と方法		2	必修(中1種免)
	道徳教育の理論と方法(総合的な学習の時間及び特別活動を含む)		2	必修(看護学部)
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法		2	必修(看護学部を除く)
	教育方法論(情報通信技術の活用含む)	2		
	生徒指導・進路指導論	2		
	教育相談(カウンセリングを含む)	2		
	教育実習 I		3	必修(中1種免・高1種免)
	教育実習 II		2	必修(中1種免)
	養護実習		5	必修(看護学部)
	教職実践演習(中・高)		2	必修(中1種免・高1種免)
	教職実践演習(養護教諭)		2	必修(看護学部)

別表(2)教職

1/1

別表(3)

司書に関する科目

区分 学部	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必修	選択	
文学部	〔司書に関する科目〕			
グローバル学部	生涯学習概論	2		
(グローバルコミュニケーション学科のみ)	図書館概論	2		
法学部	図書館情報技術論	2		
経済学部	図書館制度・経営論	2		
(経済学科のみ)	図書館サービス概論	2		
人間科学部	情報サービス論	2		
	情報サービス演習Ⅰ	1		
	情報サービス演習Ⅱ	1		
	図書館情報資源概論	2		
	情報資源組織論	2		
	情報資源組織演習Ⅰ	1		
	情報資源組織演習Ⅱ	1		
	児童サービス論	2		
	図書館情報資源特論		2	2科目(4単位) 選択必修
	図書・図書館史		2	
	図書館基礎特論		2	

別表(4)

司書教諭に関する科目

区分 学部	授 業 科 目	単 位 数		備 考
		必修	選択	
文学部	〔司書教諭に関する科目〕			
教育学部	学校経営と学校図書館	2		
	学校図書館メディアの構成	2		
	学習指導と学校図書館	2		
	読書と豊かな人間性	2		
	情報メディアの活用	2		

別表(3)(4) 司書

1/1

別表（6）

区 分 学 部	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
グローバル学部 (日本語コミュニケーション学科のみ)	【日本語教員養成に関する科目】			
	【社会・文化・地域】			
	日本研究（歴史・地域・メディア）A		2	2単位選択必修
	日本研究（歴史・地域・メディア）B		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）C		2	
	日本研究（歴史・地域・メディア）D		2	
	【言語と社会】			
	異文化コミュニケーションA	2		
	異文化コミュニケーションB	2		
	【言語と心理】			
	第二言語習得理論A	2		
	第二言語習得理論B	2		
	【言語と教育】			
	日本語教授法概論A	2		2単位選択必修
	日本語教授法概論B	2		
	日本語実践教育A		2	
	日本語実践教育B		2	
	日本語教育学各論A		2	
	日本語教育学各論B		2	
	日本語教育実習	4		
	【言語】			
	日本語学概論	2		4単位選択必修
	日本語学各論A		2	
	日本語学各論B		2	
	音声学基礎A		2	
	音声学基礎B		2	
	日本語教育文法A		2	
	日本語教育文法B		2	

別表(6)日本語教員養成

1/1

別表 (7) 学費

〔文学部日本文学文化学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	770,000 円
教 育 充 実 費	178,000 円

〔グローバル学部グローバルコミュニケーション学科、グローバルビジネス学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	870,000 円
教 育 充 実 費	250,000 円

〔グローバル学部日本語コミュニケーション学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	770,000 円
教 育 充 実 費	250,000 円

〔法学部法律学科、政治学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	820,000 円
教 育 充 実 費	178,000 円

〔経済学部経済学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	770,000 円
教 育 充 実 費	178,000 円

〔経営学部経営学科、会計ガバナンス学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	770,000 円
教 育 充 実 費	178,000 円

〔アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	770,000 円
教 育 充 実 費	260,000 円

〔データサイエンス学部データサイエンス学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	970,000 円
教 育 充 実 費	260,000 円

〔人間科学部人間科学科、社会福祉学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	820,000 円
教 育 充 実 費	178,000 円

〔ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	1,020,000 円
教 育 充 実 費	275,000 円

別表(7)学費

1/2

学則-143

別表 (7) 学費

〔工学部サステナビリティ学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	1,020,000 円
教 育 充 実 費	275,000 円

〔工学部数理工学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	1,100,000 円
教 育 充 実 費	325,000 円

〔工学部建築デザイン学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	990,000 円
教 育 充 実 費	330,000 円

〔教育学部教育学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	870,000 円
教 育 充 実 費	222,000 円

〔教育学部幼児教育学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	820,000 円
教 育 充 実 費	222,000 円

〔薬学部薬学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	1,400,000 円
教 育 充 実 費	470,000 円

〔看護学部看護学科〕

学 費	金 額
入 学 金	180,000 円
授 業 料	1,220,000 円
教 育 充 実 費	300,000 円

1. 授業料は2年次以降据え置きとし、前期分、後期分の2期に分納する。
2. 教育充実費については、2年次以降 日本文学文化学科、法律学科、政治学科、経済学科、経営学科、会計ガバナンス学科は年額278,000円、グローバルコミュニケーション学科、日本語コミュニケーション学科、グローバルビジネス学科は年額350,000円、アントレプレナーシップ学科、データサイエンス学科は年額360,000円、社会福祉学科は年額278,000円、人間科学科は年額278,000円、ウェルビーイング学科、サステナビリティ学科は年額275,000円、数理工学科は年額325,000円、教育学科、幼児教育学科は年額312,000円、薬学科は年額530,000円、看護学科は400,000円、建築デザイン学科は、2年次に年額380,000円、3年次以降に年額450,000円を前期分、後期分の2期に分納する。
3. 実費弁償分の実験実習料については、別に定める。
4. (削除)
5. 科目等履修生の履修料は、通年1科目について30,000円(半期及び4学期制の科目は半額)とする。
単位(資格)取得の場合は通年1科目について70,000円(半期及び4学期制の科目は半額)とする。
6. 同一法人卒業生の入学金については別に定める。

別表(7)学費

2/2

別表(8)

一級建築士並びに二級建築士及び木造建築士受験資格取得に係る科目

専門分野	授 業 科 目	単位数		備 考
		必修	選択	
建築設計製図	基礎デザイン2 設計製図1 設計製図2 設計製図3 設計製図4	2 4 4	4 4	一級建築士指定科目として7単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として3単位以上修得
建築計画	住居史 住居論 西洋の建築 アジアの建築 日本の建築 建築景観論 設計方法論 建築計画	2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2	一級建築士指定科目として7単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として2単位以上修得
建築環境工学	光環境 音環境 建築と環境		2 2 2	一級建築士指定科目として2単位以上修得
建築設備	建築設備1 建築設備2 建築環境論		2 2 2	一級建築士指定科目として2単位以上修得
構造力学	構造力学1 構造力学演習1 構造力学2 構造力学演習2 構造力学3		2 2 2 2 2	一級建築士指定科目として4単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として3単位以上修得
建築一般構造	建築構造 建築構造デザイン	2 2		一級建築士指定科目として3単位以上修得
建築材料	建築材料	2		一級建築士指定科目として2単位以上修得
建築生産	建築施工法	2		一級建築士指定科目として2単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として1単位以上修得
建築法規	建築法規	2		一級建築士指定科目として1単位以上修得 二級・木造建築士指定科目として1単位以上修得
その他	デザインテクノロジー発展1 デザインテクノロジー発展2 デザインテクノロジー発展3 デザインテクノロジー発展4 住宅衛生 インテリアデザイン1 インテリアデザイン2 都市防災 都市環境 防災まちづくり論 建築文化論		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	一級建築士指定科目として、上記区分ごとの単位を含め、実務経験2年は60単位以上、3年は50～59単位、4年は40～49単位修得 二級・木造建築士指定科目として、上記区分ごとの単位を含め、実務経験0年は40単位以上、1年が30～39単位、2年は20～29単位修得

別表(8)建築士

1/1

保 育 士 資 格 課 程 科 目													
告示※による教科目				授 業 科 目 名	単位数		授業 時間数 (時間)	開講 学年	授業 形態	備 考			
系 列	教科目	単位数			必修	選択							
教 養 科 目	外国語、体育以外の科目	10以上	6以上	仏教（生き方を考える）基礎	2		30	1	講義				
				仏教（生き方を考える）発展	2		30	3	講義				
				データサイエンス基礎	1		30	1	演習				
	外国語（演習）	2以上	英語基礎A	2		30	1	演習					
			英語基礎C	2		30	1	演習					
体育（講義）	1	1	15	1	講義								
体育（実技）	1	1	30	1	実技								
必 修 科 目	保育の本質・目的に関する科目	2		保育原理（講義）	2		30	1	講義				
				教育原理（講義）	2		30	1	講義				
				子ども家庭福祉（講義）	2		30	2	講義				
				社会福祉（講義）	2		30	1	講義				
				子ども家庭支援論（講義）	2		30	3	講義				
				社会的養護Ⅰ（講義）	2		30	2	講義				
				保育者論（講義）	2		30	1	講義				
	保育の対象の理解に関する科目	2		保育の心理学（講義）	2		30	1	講義				
				子ども家庭支援の心理学（講義）	2		30	2	講義				
				子どもの理解と援助（演習）	1		30	3	演習				
				子どもの保健（講義）	2		30	2	講義				
				子どもの食と栄養（演習）	2		60	3	演習				
	保育の内容・方法に関する科目	2		保育の計画と評価（講義）	2		30	2	講義				
				保育内容総論（演習）	1		30	1	演習				
		5		保育内容（健康）	1		30	1	演習				
				保育内容（人間関係）	1		30	2	演習				
				保育内容（環境）	1		30	2	演習				
				保育内容（言葉）	1		30	2	演習				
				保育内容（表現）	1		30	1	演習				
		4		ブレ実習（保育内容の理解と方法）	1		30	1	演習				
				保育内容指導法（身体表現）Ⅰ	1		30	2	演習				
				保育内容指導法（造形表現）Ⅰ	1		30	2	演習				
				保育内容指導法（音楽表現）Ⅰ	1		30	2	演習				
必 修 科 目	保育の内容・方法に関する科目	2		乳児保育Ⅰ（講義）	2		30	2	講義				
				乳児保育Ⅱ（演習）	1		30	3	演習				
				子どもの健康と安全（演習）	1		30	3	演習				
				障害児保育（演習）	2		60	3	演習				
				社会的養護Ⅱ（演習）	1		30	3	演習				
				子育て支援（演習）	1		30	3	演習				
	保育実習	4		保育実習Ⅰ（実習）	2		90	3	実習	配属実習45時間(1単位あたり)			
				保育実習Ⅰ（施設）	2		90	2	実習	配属実習45時間(1単位あたり)			
				保育実習指導Ⅰ（演習）	2		30	3	演習				
保育実習指導Ⅰ（施設）	1		30	2	演習								
総合演習	2		60	4	演習								
選 択 必 修 科 目	保育の本質・目的に関する科目	18以上		仏教保育論		2	30	1	講義	保育実習Ⅱ・保育実習指導Ⅱ（3単位）又は保育実習Ⅲ・保育実習指導Ⅲ（3単位）を含め、9単位以上			
	地域子育てネットワーク論				2	30	4	講義					
	保育の内容・方法に関する科目			児童文学		2	30	3	講義				
				保育内容指導法（健康）	2		30	3	講義				
				保育内容指導法（人間関係）	2		30	3	講義				
				保育内容指導法（環境）	2		30	3	講義				
				保育内容指導法（言葉）	2		30	3	講義				
				保育内容指導法（身体表現）Ⅱ	1		30	2	演習				
				保育内容指導法（造形表現）Ⅱ	1		30	2	演習				
				保育内容指導法（音楽表現）Ⅱ	1		30	2	演習				
				音楽Ⅰ	2		60	1	演習				
				音楽Ⅱ	2		60	3	演習				
				造形Ⅰ（保・幼）	1		30	1	演習				
				造形Ⅱ（保・幼）	1		30	1	演習				
				造形Ⅲ（保・幼）	1		30	3	演習				
				造形Ⅳ（保・幼）	1		30	3	演習				
				体育Ⅰ（保・幼）	1		30	1	演習				
				体育Ⅱ（保・幼）	1		30	2	演習				
				体育Ⅲ（保・幼）	2		30	3	講義				
				保育実習	2以上	保育実習Ⅱ		2	90		3	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
						保育実習Ⅲ		2	90		3	実習	配属実習45時間(1単位あたり)
	1以上					保育実習指導Ⅱ	1		30		3	演習	
				保育実習指導Ⅲ	1		30	3	演習				

※児童福祉法施行規則第6条の2第1項第3号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法（厚生労働省告示第百九十八号）

別表(9)保育士
1/1

別表(10)

社会福祉士受験資格取得に係る科目

指 定 科 目 名	開 講 科 目 名	授業 形態	単位		必要 時間数(h)	備考
			必修	選択		
人・社会・生活と福祉の理解に関する知識と方法						
医学概論	医学概論	講義	2		30	
心理学と心理的支援	心理学と心理的支援	講義	2		30	
社会学と社会システム	社会学と社会システム	講義	2		30	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策1	講義	2		30	
	社会福祉の原理と政策2	講義	2		30	
社会福祉調査の基礎	社会福祉調査の基礎	講義	2		30	
総合的かつ包括的な相談援助の理念と方法に関する知識と技術						
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワークの基盤と専門職1	講義	2		30	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	ソーシャルワークの基盤と専門職2	講義	2		30	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法1	講義	2		30	
	ソーシャルワークの理論と方法2	講義	2		30	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法3	講義	2		30	
	ソーシャルワークの理論と方法4	講義	2		30	
地域福祉の基盤整備と開発に関する知識と技術						
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉と包括的支援体制1	講義	2		30	
	地域福祉と包括的支援体制2	講義	2		30	
福祉サービスの組織と経営	福祉サービスの組織と経営	講義	2		30	
サービスに関する知識						
社会保障	社会保障1	講義	2		30	
	社会保障2	講義	2		30	
高齢者福祉	高齢者福祉	講義	2		30	
障害者福祉	障害者福祉	講義	2		30	
児童・家庭福祉	児童・家庭福祉	講義	2		30	
貧困に対する支援	貧困に対する支援	講義	2		30	
保健医療と福祉	保健医療と福祉	講義	2		30	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	講義	2		30	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	講義	2		30	
実習・演習						
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習1	演習	2		30	
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習2	演習	2		30	
	ソーシャルワーク演習3	演習	2		30	
	ソーシャルワーク演習4	演習	2		30	
	ソーシャルワーク演習5	演習		2	30	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導1	実習		2	30	
	ソーシャルワーク実習指導2	実習		2	30	
	ソーシャルワーク実習指導3	実習		2	30	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習	実習		5	240	

別表(10)社会福祉士

1/1

別表(11)

精神保健福祉士受験資格取得に係る科目

指 定 科 目 名	開 講 科 目 名	授業 形態	単位		必要 時間数(h)	備考
			必修	選択		
共通科目						
医学概論	医学知識(人体の構造と機能及び疾病)	講義	2		30	「心理学概論Ⅰ」 「心理学概論Ⅱ」に ついては両方履修 することで1科目とみ なす ※「心理学概論Ⅰ」 「心理学概論Ⅱ」は 学科指定科目
心理学と心理的支援	心理学概論Ⅰ	講義	2		30	
	心理学概論Ⅱ	講義	2			
社会学と社会システム	社会学	講義	2		30	
社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策Ⅰ	講義	2		30	
	社会福祉の原理と政策Ⅱ	講義	2		30	
地域福祉と包括的支援体制	地域福祉論Ⅰ	講義	2		30	
	地域福祉論Ⅱ	講義	2		30	
社会保障	社会保障Ⅰ	講義	2		30	
	社会保障Ⅱ	講義	2		30	
障害者福祉	障害者福祉論	講義	2		30	
権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度	講義	2		30	
刑事司法と福祉	刑事司法と福祉	講義	2		30	
社会福祉調査の基礎	社会調査法	講義	2		30	
専門科目						
精神医学と精神医療	精神医学(精神疾患とその治療)Ⅰ	講義	2		30	
	精神医学(精神疾患とその治療)Ⅱ	講義	2		30	
現代の精神保健の課題と支援	メンタルヘルス論Ⅰ	講義	2		30	
	メンタルヘルス論Ⅱ	講義	2		30	
ソーシャルワークの基盤と専門職	ソーシャルワーク論	講義	2		30	
精神保健福祉の原理	精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	2		30	
	精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	2		30	
ソーシャルワークの理論と方法	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2		30	
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2		30	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅰ	講義	2		30	
	ソーシャルワークの理論と方法(専門)Ⅱ	講義	2		30	
精神障害リハビリテーション論	精神障害リハビリテーション論	講義	2		30	
精神保健福祉制度論	精神保健福祉制度論	講義	2		30	
実習・演習						
ソーシャルワーク演習	ソーシャルワーク演習	演習	1		30	
ソーシャルワーク演習(専門)	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅰ	演習	1		30	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅱ	演習	1		30	
	ソーシャルワーク演習(専門)Ⅲ	演習	1		30	
ソーシャルワーク実習指導	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	実習	1		30	
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	実習	2		60	
ソーシャルワーク実習	ソーシャルワーク実習	実習	4		210	

別表(11)精神保健福祉士

1/1

別表(12)

保健師受験資格取得に係る科目

指定規則に定める科目	授 業 科 目	単位数		備考
		必修	選択	
公衆衛生看護学概論	地域看護論	2		
公衆衛生看護学	ヘルスプロモーション概論1（個人・家族・集団・地域）	1		
	ヘルスプロモーション概論2(リプロダクティブヘルス・小児期)	2		
	ヘルスプロモーション概論3(成人期・老年期)	2		
	ヘルスプロモーション各論2（家族）	1		
	ヘルスプロモーション演習1（基本看護技術）	1		
	ヘルスプロモーション演習3（シミュレーション）	1		
	在宅看護論	1		
	地域看護論演習	1		
	公衆衛生看護管理論	1		
	公衆衛生看護診断論演習	1		
	災害看護1（基礎編）	1		
	災害看護2（実践編）	1		
疫学	疫学総論	2		
保健統計学	保健統計学	2		
保健医療福祉行政論	保健医療福祉行政論	2		
	保健医療福祉行政論2	1		
臨地実習	公衆衛生看護論実習	4		
	地域看護論実習	2		

別表(12)保健師
1/1

学則の変更の趣旨等を記載した書類

目次

ア．学則変更（収容定員変更）の内容・・・・・・・・・・・・・・・・	p．2
イ．学則変更（収容定員変更）の必要性・・・・・・・・・・・・・・・・	p．2
ウ．学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容・・・・・・・・	p．3
（ア）教育課程の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・	p．3
（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容・・・・・・・・	p．6
（ウ）教員組織の変更内容・・・・・・・・・・・・・・・・	p．7
（エ）大学全体の施設・設備の変更内容・・・・・・・・	p．7
■学則を変更する学科等の教育課程等の概要・・・・・・・・	p．8

ア. 学則変更（収容定員変更）の内容

VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代と称されるよう、先行きが不透明かつ将来の予測が困難な未来を迎えている中、経済先進国において、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいをつめるウェルビーイング（Well-being）の考え方が重視されてきている。このような時代において、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せを実現するウェルビーイングという総合的概念についての社会学・心理学的知見や、新たに創造的なデザインを行うため問題発見・課題解決できる実践的な能力を身につけ、今後のあるべきウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組んでいく人材を養成するため、令和6年度より武蔵野キャンパス（東京都西東京市）にウェルビーイング学部ウェルビーイング学科（以下「本学部」という。）を設置し、入学定員 80 人、2 年次編入学定員 10 人、収容定員 350 人とする。

これにより、全体の収容定員を 10,289 人から 10,639 人に増加する。なお、有明キャンパス（東京都江東区）の収容定員に変更はないことから、特定地域内学部収容定員に変更は生じない。

（単位：人）

【変更前（令和5年度）】

対象 学部学科	入学定員	編入学 定員	収容定員
ウェルビー イング学部 ウェルビー イング学科	—	—	—
武蔵野キャン パス （東京都西東 京市）計	840	2 年次 9	3,677
有明キャン パス （東京都江東 区）計	1,635	2 年次 14 3 年次 15	6,612
大学全体 合計	2,475	2 年次 23 3 年次 15	10,289

【変更後（令和6年度）】

入学定員 （増減）	編入学 定員（増減）	収容定員 （増減）
80	2 年次 10	350
920 （80）	2 年次 19 （10）	4,027 （350）
1,635	2 年次 14 3 年次 15	6,612
2,555 （80）	2 年次 33 （10） 3 年次 15	10,639 （350）



イ. 学則変更（収容定員変更）の必要性

経済協力開発機構（OECD）の「OECD ラーニング・コンパス 2030（学びの羅針盤 2030）」においては、個人と社会のウェルビーイングは「私たちの望む未来」であり、社会のウェルビーイングは共通の目的地とされている【資料1】。また、次期教育振興

基本計画（令和５年度～令和９年度）の答申において、社会の現状や変化への対応と今後の展望として「社会の多様化が進む中、障害の有無や年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残すことなく、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会の実現を目指し、その実現に向けた社会的包摂を推進する必要がある」と言われている。さらに、今後の教育政策に関する基本的な方針として、「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」が次期計画のコンセプトの一つとして掲げられており、概念整理の中で「ウェルビーイングの実現とは、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなることであり、教育を通じて日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図っていくことが求められる。」と述べられていることから【資料２】、今後、多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる良い状態、すなわちウェルビーイングな状態を、個人、地域、企業等で創造することが求められており、ウェルビーイングの向上に寄与するために、ウェルビーイングを理解、推進し、ウェルビーイング社会を創造できる人材の育成が重要であると考えられる。

実際に、企業・自治体においては、従業員のウェルビーイングを高める健康経営や、ウェルビーイングを成長戦略の中心に位置づけるところが出てきており、今後、ウェルビーイングに関連した様々なビジネスを新たに創出する人材、ウェルビーイング産業の創造に基づきそれぞれの地域の特徴を活かした地域活性化をリードする人材、ウェルビーイングの研究者、教員等の人材需要は高まっていくと考えられる。

これからの日本や世界の未来において、ウェルビーイングの向上に寄与する人材を育成するため、令和６年４月にウェルビーイング学部ウェルビーイング学科を設置し、入学定員 80 人、２年次編入学定員 10 人、収容定員 350 人とする。これにより、全体の収容定員を 10,289 人から 10,639 人に増加する。

ウ. 学則変更（収容定員変更）に伴う教育課程等の変更内容

（ア）教育課程の変更内容

本学部の教育課程は、全学共通基礎課程である「共通科目」及び専門教育を行う「学科科目」から成る。

① 共通科目の教育課程について

共通科目は大学全体で令和３年度より「武蔵野 I N I T I A L」と呼ばれる全学共通基礎課程を導入しており、本学部も他学部等と同様に「武蔵野 I N I T I A L」を導入する（ただし、後述のとおり一部科目群のみ変更）。「武蔵野 I N I T I A L」は、全学生が１年次から履修し、社会の中核として活躍する 2050 年の未来を想定して、世界の諸課題を担い解決していける人材となるための学びとして展開している。

学科の専門課程の学びと融合されることで、社会で活躍するためのアクティブな知の獲得を目指す。具体的には、主に1年次に『建学』『スポーツ・身体』『情報』『外国語』『CHP (Creating Happiness Program)』『フィールド・スタディーズ』等の科目群を配置し、2年次以降の学科の専門教育の基礎となる能力を育てる。少人数制のゼミナールや授業を通じてグループワークやプレゼンテーション等の訓練を重ね、より実践的なコミュニケーション力やチームワーク形成力等を養う。

本学部は、他学部以上に建学の精神を教学の基盤とする学部であるため、共通科目「武蔵野INITIAL」のうち『建学』科目群の2科目（必修科目4単位）を開講せず、学科科目の『基盤科目群』の『建学の精神』で開講する9科目（9単位）を必修科目とし、仏教の真理観（ブッダ・ダルマ）を根幹とする考え方を体系的に学修する。なお、『建学の精神』の科目は本学部の専任教員で行うため、他学部等への影響はない。

本学部設置に伴い、共通科目の受講者は増加するが、クラス数の増加等により1クラスの人数は現行どおりとするため、他学部等への影響はない。

②学科科目の教育課程について

学科科目は『基盤科目群』『探究する科目群』『創造する科目群』に分類し、学際的な科目構成とするとともに、常にウェルビーイングを中心に置き、どの科目においてもウェルビーイングに立ち返ることのできる教育課程を体系的に編成する。学科科目の教育課程は新規に設置する科目であり、収容定員増により、他学部等の教育課程に影響はない。

『基盤科目群』は、『建学の精神』『ウェルビーイングデザイン』『ウェルビーイングリテラシー』の科目群で構成され、ウェルビーイングの本質を理解し、学科科目の基盤となる基礎的な知識や考え方を修得することを目的としている。『建学の精神』の科目群では、1年次から3年次にかけて、人々が幸せ（平和、安心、生きがい等々）と受け止められるウェルビーイングな世界を創出するための基盤となる考え方を修得する。『ウェルビーイングデザイン』の科目群では、1年次から4年次にかけて、ウェルビーイングを構成する健康、幸せ、福祉を含めたウェルビーイング学の全体像と歴史的な位置づけを学び、社会心理学、哲学・倫理学、医療、デザイン工学などの側面からウェルビーイングな社会をデザインするための学びを展開する。また、『ウェルビーイングリテラシー』の科目群では、ウェルビーイングについて多面的な理解を深めると共に、自分の興味や適性を知り、社会に出た後にウェルビーイングを自らの仕事に活かすために必要な感性工学、対人コミュニケーション、ロジカル思考、システム思考、プロジェクトマネジメント等の手法を学ぶ。

『探究する科目群』は、『ゼミナール』『自己理解』『自然・環境』『地域・医療・福祉』『ビジネス』『国際理解』の科目群で構成され、幸せな自己と世界を探究

するため、ウェルビーイングを学ぶにあたり重要な“自分とは何者なのか”を理解し、農林水産業分野の現場での学外学修、地域・医療・福祉・ビジネスの現場でのインターンシップ体験、さらには海外でのインターンシップ体験等を通じて、自分は世界の関係性のもとに成立していることを体験的に理解することを目的としている。

“自分とは何者なのか”を理解するために、1～2年次の『ゼミナール』の科目群では、学生間の交流を活発化して各科目の理解度・進捗度を相互に確認し、深く知合うことによって、学びについてフォローをし合う関係性を構築する。また、『自己理解』の科目群では、自己と対話する基本的手法、ウェルビーイングの高い自己を形成するために必要な自己受容・他者信頼、対人援助や自分が困難を乗り越えるために必要なセルフ・コンパッション等を学ぶ。

自分は世界の関係性のもとに成立していることを体験的に理解するために、学外学修での実践を中心に事前学修での計画立案、学外学修での実践、事後学習での成果発表を実践的・体験的に学修し、仮説立案からアウトプットまでの能力を修得する。具体的には、1～2年次の『自然・環境』の科目群の「自然・環境プロジェクト」科目にて自然の中で感性、感覚を高めるために農林水産業分野の現場において学外学修を行い、人類のウェルビーイングと自然との関係について深く学び、2～3年次の『ビジネス』の科目群の「地域・ビジネスプロジェクト」科目にて地域・医療・福祉・ビジネスの現場にてインターンシップ体験を行い、産業の現場でのビジネス体験や福祉体験、地域活動を通して社会課題を発見するなどして、現代社会の課題と可能性について実践的に理解する。また、卒業後に海外での活躍を希望する学生については、『国際理解』の科目群の「海外インターンシップ」科目にて海外でのインターンシップ体験を行い、多様な価値観を尊重し国際的視野を持った、世界で活躍する力を育成する。

『創造する科目群』は、『未来デザイン』『応用ゼミ・卒業プロジェクト・卒業論文』の科目群で構成され、これまで修得してきたスキル・知識を基に、ウェルビーイングな社会をデザインするために各人がテーマを設定し、4年間の集大成として学修成果をカタチにすることを目的としている。3年次の『未来デザイン』の科目群では、「未来デザインプロジェクト」にて、未来の自分の人生のデザイン、未来の製品・サービスのデザイン、未来の地域社会のデザイン等を対象に、創造的なデザインの方法を学び、実践的に新たな提案を行う。具体的には、地域や企業の未知の課題の発見・解決や、自らの起業アイデアを考える中で、ウェルビーイングな未来をデザインする方法を学ぶ。3～4年次の『応用ゼミ・卒業プロジェクト・卒業論文』の科目群では、3年次の学科科目「応用ゼミA」「応用ゼミB」にて、4年次の学科科目「卒業論文」で何を創造的にデザインするかを明確化するための活動を行い、4年次前期の学科科目「卒業プロジェクト」にて、各教員のゼミに所属した学生が、少人数のチームでウェルビーイングな人生のデザイン、製品・サービスのデザイン、コミュ

ニティーのデザインまたは教育のデザイン等、チームで決めたテーマに取り組み、各人の役割の明確化によりプロジェクトマネジメントを徹底のうえ、チームで創造することを目指す。4年次後期の学科科目「卒業論文」では、「卒業プロジェクト」での成果を踏まえ、これまでに学んだことの個人としての総まとめとして研究成果を学術論文にまとめ、卒業論文の発表会にて発表を行う。

（イ）教育方法及び履修指導方法の変更内容

①教育方法について

共通科目は全学共通の教育課程であり、本学部においても『建学』の科目群を除き同じ教育課程である。本学部の設置により、武蔵野キャンパス（東京都西東京市）では入学定員 80 人、編入学定員 10 人、収容定員 350 人が増加するが、他学部等の学生に不利益が生じないよう、クラス増や時間割編成を行うため、変更前と比較しても同等の内容が担保される。

学科科目は、『基盤科目群』『探究する科目群』『創造する科目群』の科目群を履修し、今後のあるべきウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組んでいく人材を養成するための体系的な教育課程を配置している。これらの学科科目は本学部生のみが履修する新設授業科目であり、他学部等の学生は履修しない。また、学科科目は本学部専任教員 16 人及び非常勤講師 14 人（うち他学部の専任教員 3 人）により授業を実施する。他学部の専任教員 3 人が担当する授業科目は、3 人で計 5 科目の担当としているため、大幅な負担増ではなく、他学部等への影響はほぼないと考える。

なお、教育方法については、設置基準上の専任教員数を満たした上で、十分な教育研究業績をもつ教員により教育を行う。大学全体の施設・設備については、後述のとおり、教室稼働率等に支障はないため、設置後も他学部等の学生に不利益はない。

②履修指導方法について

本学では、学生の学修面、生活面において、専任教員がきめ細やかな指導・助言を行う「アドバイザー制度」を設けている。アドバイザーは、担当クラス（ゼミ、卒業研究等を含む）の学生の履修登録と成績を把握し、指導や助言を行うとともに、必要に応じて他の教員や事務局などと連携を取り、学生が有意義で充実した学生生活を送ることができるよう指導を行っている。また、学生が教員に気軽に相談や質問をできるよう、対応が可能な時間「オフィスアワー」をあらかじめ設定している。

本アドバイザー制度及びオフィスアワーは、全学的に実施しているため、履修指導方法に変更はなく、本学部でも同様に実施する。

(ウ) 教員組織の変更内容

本学部の教員組織は16人（うち教授12人）であり、設置基準上の専任教員数11人を満たし、且つ、十分な教育研究業績を有する専任教員を配置している。そのうち新規採用は13人、既設の学部学科からの異動は3人となるが、専任教員3人の異動元となる既設の学部学科（経済学部経済学科、アントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科、人間科学部人間科学科）には既に設置基準を上回る人数の専任教員（教授）を配置しているため、教員異動後も設置基準教員数を満たしており、継続して細やかな専門教育・指導ができる。従って、本学部の設置後も他学部等の教育研究にほぼ影響はないと考える。

【表】当該3学部学科の教員数

学部学科	設置基準上の 専任教員数 (教授数)	変更前 ＜令和5年度＞ 専任教員数 (教授数)	変更後 ＜令和6年度＞ 専任教員数 (教授数)
経済学部経済学科	14人（7人）	15人（8人）	14人（7人）
アントレプレナーシップ学部 アントレプレナーシップ学科	12人（6人）	20人（19人）	19人（18人）
人間科学部人間科学科	11人（6人）	23人（12人）	22人（11人）

(エ) 大学全体の施設・設備の変更内容

本学部は、4年間を通して武蔵野キャンパス（東京都西東京市）において教育研究を行う。今回の収容定員変更により武蔵野キャンパスのキャンパス収容定員は350人増加し4,027人となる。

通常の授業で使用する教室については、武蔵野キャンパスにおいては、令和5年度予測では、4学期中最も稼働率の高い1学期の教室稼働率は平均44.5%で5割を下回っており、収容定員後も教育に支障はない【資料3】。

ただし、本学部の設置に伴い、新規で採用する専任教員の研究室の整備が必要となるため、武蔵野キャンパス2号館3階を研究室として整備し、必要研究室数を確保する予定である。

以上

教 育 課 程 等 の 概 要																
(ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科)																
科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		授業形態			専任教員等の配置					備考		
				必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手	
ツ ス 体・ボ 身	スポーツと身体科学 フィールド・スポーツ	1①～②		1				○							兼6	オムニバス
		2休		1				○						兼1	集中	
	小計(2科目)	—	0	2	0	—		0	0	0	0	0	0	兼6	—	
情 報	データサイエンス基礎	1①	1					○							兼1	メディア
	人工知能基礎	1②	1					○							兼1	メディア
	メディアリテラシー	1③・④		1				○							兼3	メディア
	情報技法基礎	1③・④		1				○							兼3	メディア
	情報技法発展A	2①・②		1				○							兼1	メディア
	情報技法発展B	2②～③		1				○							兼1	メディア
	情報技法発展C	2②～③		1				○							兼1	メディア
	プログラミング基礎	1③・④		1				○							兼3	メディア
	プログラミング発展A	2①・②		1				○							兼2	メディア
	プログラミング発展B	2②～③		1				○							兼1	メディア
	人工知能技術と社会	2③～④		1				○							兼1	メディア
	機械学習活用1	2④		1				○							兼1	メディア
	機械学習活用2	2④		1				○							兼1	メディア
	データサイエンス活用1	2④		1				○							兼1	メディア
	データサイエンス活用2	2④		1				○							兼1	メディア
	メディアデザイン	2④		1				○							兼1	メディア
	サービスデザイン	2④		1				○							兼1	メディア
人工知能実践プロジェクト	3①～②		2				○							兼1	メディア	
小計(18科目)	—	2	17	0	—		0	0	0	0	0	0	兼9	—		
共 通 科 目	外国語	英語基礎A	1①～②	2				○							兼6	
		英語基礎B	1①～②		1				○						兼4	
		英語基礎C	1③～④	2					○						兼6	
		英語基礎D	1③～④		1				○						兼4	
		英語発展A	2①～②		1				○						兼1	
		英語発展B	2①～②		1				○						兼3	
		英語発展C	2③～④		1				○						兼1	
		英語発展D	2③～④		1				○						兼3	
		英語総合A	3①～②		1				○						兼2	
		英語総合B	3③～④		1				○						兼2	
		中国語基礎1	1①～②		1				○						兼4	
		中国語基礎2	1③～④		1				○						兼4	
		中国語発展1	2①～②		1				○						兼1	
		中国語発展2	2③～④		1				○						兼1	
		中国語総合1	3①～②		1				○						兼1	
		中国語総合2	3③～④		1				○						兼1	
		フランス語基礎1	1①～②		1				○						兼1	
		フランス語基礎2	1③～④		1				○						兼1	
		フランス語発展1	2①～②		1				○						兼1	
		フランス語発展2	2③～④		1				○						兼1	
		フランス語総合1	3①～②		1				○						兼1	メディア
		フランス語総合2	3③～④		1				○						兼1	メディア
		ドイツ語基礎1	1①～②		1				○						兼2	
		ドイツ語基礎2	1③～④		1				○						兼2	
		ドイツ語発展1	2①～②		1				○						兼1	
		ドイツ語発展2	2③～④		1				○						兼1	
		ドイツ語総合1	3①～②		1				○						兼1	メディア
		ドイツ語総合2	3③～④		1				○						兼1	メディア
		スペイン語基礎1	1①～②		1				○						兼2	
		スペイン語基礎2	1③～④		1				○						兼2	
		スペイン語発展1	2①～②		1				○						兼1	
		スペイン語発展2	2③～④		1				○						兼1	
		スペイン語総合1	3①～②		1				○						兼1	メディア
		スペイン語総合2	3③～④		1				○						兼1	メディア
		韓国語基礎1	1①～②		1				○						兼3	
		韓国語基礎2	1③～④		1				○						兼3	
		韓国語発展1	2①～②		1				○						兼1	
		韓国語発展2	2③～④		1				○						兼1	
		韓国語総合1	3①～②		1				○						兼1	メディア
		韓国語総合2	3③～④		1				○						兼1	メディア
		留学準備1	1①～②		1				○						兼1	
		留学準備2	1①～②		1				○						兼1	
		英語資格・検定試験対策1	1①・②		1				○						兼1	
		英語資格・検定試験対策2	1①・②・③		1				○						兼1	
小計(44科目)	—	4	42	0	—		0	0	0	0	0	0	兼25	—		
教 養 日 本 語	日本語	日本語リテラシー	1②	1				○							兼5	メディア
		日本語基礎A	1①		1				○						兼2	
		日本語基礎B	1②		1				○						兼2	
		日本語基礎C	1③		1				○						兼2	
		日本語基礎D	1④		1				○						兼2	
		日本語発展A	2①		1				○						兼1	
		日本語発展B	2②		1				○						兼1	
		日本語発展C	2③		1				○						兼1	
		日本語発展D	2④		1				○						兼1	
		日本事情	1③～④		2				○						兼1	
		小計(10科目)	—	1	10	0	—		0	0	0	0	0	0	兼9	—

科目 区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
学科科目	基礎科目群	WBリテラシー発展B(実践者に聴く2)	4③	1			○				1	1				オムニバス
		WBリテラシー発展C(プレゼンテーション)	4③	1			○				1					
		WBリテラシー発展D(お金)	4③		1		○								兼1	
		小計(44科目)	—	34	10	0	—	—	9	2	2	0	0	兼8	—	
	ナールゼミ	入門ゼミA	1①～②	2				○			1	1	2			
		入門ゼミB	1③～④	2				○			1	1	2			
		基礎ゼミA	2①	1				○			5	1	2			
		基礎ゼミB	2③～④	2				○			5	1	2			
	自己理解	自己理解入門A(自己との対話)	1①	1			○					1				兼1
		自己理解入門B(自己肯定感)	1②	1			○									
		自己理解入門C(他者との対話)	1③	1			○					1				兼1
		自己理解入門D(自己受容・他者信頼)	1④	1			○									
		自己理解基礎A(コンパッション)	2①	1			○			1						
		自己理解基礎B(対話)	2③	1			○				1					
		自己理解基礎C(セルフ・コンパッション)	2④	1			○			1						
	探究する科目群	自然・環境入門A	1①～②	2				○			2					オムニバス
		自然・環境入門B	1③～④	2				○				1	1			オムニバス
		自然・環境基礎A	2①	1				○				1				
		自然・環境基礎B	2③～④	2				○			2					オムニバス
		自然・環境プロジェクト	2②・休	4				○			2	2	1			集中
	療・域・福祉	地域・医療・福祉基礎A(医療・看護)	2①	1				○			1					
		地域・医療・福祉基礎B(地域と福祉)	2③	1				○					1			
		地域・医療・福祉基礎C(高齢者福祉)	2④	1				○			1					
		地域・医療・福祉応用A(社会心理)	3①	1				○			1					
		地域・医療・福祉応用B(公共政策)	3③	1				○			1					
	ビジネス	ビジネス基礎A(企業)	2①	1				○				1				
		ビジネス基礎B(人事)	2③	1				○			1					
		ビジネス基礎C(起業)	2④	1				○			1					
		ビジネス応用(社会システム)	3④	1				○			1					
		地域・ビジネスプロジェクト	3②・休	4				○			3		1			兼1 集中
	理国解	国際コミュニケーション	2①		1			○			1					兼1
		多文化理解	3④		1			○			1					
		海外インターンシップ	2・3・4②～休		2			○			3					兼3 集中
		小計(29科目)	—	38	4	0	—	—	—	8	2	2	0	0	兼5	—
	創造する科目群	ザ未来インデ	未来デザイン方法論A(イノベーション論)	3①	1			○			1					
			未来デザイン方法論B(手法1)	3③	1			○								兼1
			未来デザイン方法論C(手法2)	3④	1			○								兼1
			未来デザインプロジェクト	3③～④	4				○		2		1			兼1
		ト・業・卒・業・文・卒	応用ゼミA	3①	1				○		7	1	2			
			応用ゼミB	3③～④	2				○		7	1	2			
			卒業プロジェクト	4①～②	2				○		12	2	2			
			卒業論文	4③～④	2				○		12	2	2			
	小計(8科目)	—	14	0	0	—	—	—	12	2	2	0	0	兼1	—	
合計(189科目)			—	98	158	0	—	—	12	2	2	0	0	兼93	—	
学位又は称号		学士(ウェルビーイング)		学位又は学科の分野			文学関係、社会学・社会福祉学関係									
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
共通科目は、必修12単位。学科科目は、必修86単位。自由選択単位は26単位以上。自由選択単位は、共通科目、学科科目、5大学単位認定科目、他学部・他学科の学科科目の単位をあてることができる。							1学年の学期区分				4学期					
							1学期の授業期間				7週					
							1時限の授業時間				100分					

学則の変更の趣旨等を記載した書類

資料目次

資料 1	OECD Learning Compass 仮訳・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 2
資料 2	中央教育審議会「次期教育振興基本計画について（答申）（中教審第 241 号）」・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 3
資料 3	武蔵野キャンパス教室稼働率（令和 5 年度見込み）・・・・・・・・	p. 10

概要

OECD ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030

OECD ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030（訳注：以下、ラーニング・コンパス）は OECD Future of Education and Skills 2030 プロジェクトの成果であり、教育の未来に向けての望ましい未来像を描いた、進化し続ける学習の枠組みです。教育の幅広い目標を支えるとともに、私たちの望む未来(Future We Want)、つまり個人のウェルビーイングと集団のウェルビーイングに向けた方向性を示します。

ラーニング・コンパスという比喻は、生徒が教師の決まりきった指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中を自力で歩みを進め、意味のある、また責任意識を伴う方法で、進むべき方向を見出す必要性を強調する目的で採用されました。

この枠組みは生徒が 2030 年以降も活躍するために必要なコンピテンシーの種類に関する幅広いビジョンを提供しています。この枠組みはまた、ローカルな文脈に合わせて調整できる余地を残しながら、グローバルに妥当で、情報交換のできる共通の言語と理解を育んでいくものです。

ラーニング・コンパスの構成要素には学びの中核的な基盤（訳注：エージェンシーと変革を起こすコンピテンシーを育む土台となる主な力）、知識、スキル、態度と価値、より良い未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシー、そして見通し (Anticipation)、行動 (Action)、振り返り (Reflection) の AAR サイクル（これらの構成要素に関しては各要素の concept notes を参照）が含まれます。ラーニング・コンパスは、生徒が周囲の人々、事象、そして状況をより良いものにすることを学ぶ上で、責任ある有意義な行動を取るための方向性を決めるために生徒が使うことができるツールであることから、生徒エージェンシー (concept note を参照) はラーニング・コンパスの中心的な概念です。

キー・ポイント

- ・ ラーニング・コンパスは評価の枠組みでもカリキュラムの枠組みでもありません。大きな構造における学習の幅広い範囲と種類を明確にすることで学習そのものが持つ価値を認めています。そして、学習が学校の中だけで起きているわけではないことも示しています。
- ・ この学習の枠組みは、教育システムをより良いものへと変革することに貢献する意思をもった世界の政府代表者、研究者、学校のリーダー、教師、生徒、そしてソーシャル・パートナーの協働によって生み出された成果物です。
- ・ 社会的ウェルビーイングという概念は、年月の経過により、これまでの経済や物質的な豊かさよりも多くの意味を含むようになりました。私たちが望む未来には数多くのビジョンが存在するかもしれませんが、社会のウェルビーイングは共通の目的地です。

OECD ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030

歴史的に見て、教育は社会変革の波に乗り遅れることがほとんどでした。19 世紀と 20 世紀における教育システムは突発的な拡大と再構築を時折行うことで変化してきました。しかしこれらの突発的な時期を外せば、カリキュラムは往々にして静的であり、直線的で固定的な構造を持っていました。また産業形態としての学校教育では、生徒が授業を受動的に受けることが期待されていました（[OECD Future of Education and Skills 2030 project background](#) を参照）。しかし我々の世界を変革し、数多くの分野で現状の制度を覆す深淵かつ広域な変化に直面する今日、教育の目標や活躍するために必要な生徒のコンピテンシーを再考する必要があるという認識が広がっています。地球規模のトレンドである、デジタル化、気候変動、人工知能の発展の 3 つの要因だけとて、これらは教育の目標や方法を根本的に見直す必要性を呼び起こしているといえます。

2015 年、OECD の教育政策委員会は、客観的な立場から俯瞰し、教育が直面する長期的な課題を検討するとともにカリキュラムの設計や開発をより体系的かつ根拠に基づいたものにするため、OECD Future of Education and Skills 2030 プロジェクトを立ち上げることに合意しました。このプロジェクトの目的は、世界の国々が次の 2 つの大きな問いへの答えを見つけられるようにすることです：

- 現代の生徒が成長して、世界を切り拓いていくためには、どのような知識や、スキル、態度及び価値が必要か。
- 学校や授業の仕組みが、これらの知識や、スキル、態度及び価値を効果的に育成していくことができるようにするためには、どのようにしたらよいか。

これらの問いに対するひとつの答えとして、OECD Future of Education and Skills 2030 プロジェクトは **2030 年の教育に求められている未来像を描いた、進化し続ける学習の枠組みである OECD ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030（図 1 を参照）**を開発しました。このラーニング・コンパスは、個人や社会のウェルビーイング：私たちの望む未来（Future We Want）に向けた方向性を示しています。ラーニング・コンパスは、学習者個人、教育実践者、システム・リーダー、政策立案者、組織の意思決定者といった複数のレベルで利用できるように、共有する未来に含まれる中核的な目標や要素を言語化することによって、彼らの努力を明確にし、結びつけ、また方向づけることを目標としています。

ラーニング・コンパスは様々なステークホルダーが形成する幅広いコミュニティにより時間と共に改良される「進化し続ける枠組み」です。この学習の枠組みは、教育システムをより良いものへと変革することに貢献する意思をもった政府代表者、研究者、学校のリーダー、教師、生徒、そしてソーシャル・パートナーの協働によって生み出された成果物です。これらのステークホルダーの出身国は多様です。そのため、この枠組みはまた、ローカルな文脈に合わせて調整できる余地を残しながら、グローバルに妥当で、かつ情報交換のできる共通の言語と理解を育んでいくものです。

ラーニング・コンパスは評価の枠組みでもカリキュラムの枠組みでもない

ラーニング・コンパスが提示するのは「評価の枠組み」ではなく、「学習の枠組み」です。この枠組みでは、どのようなコンピテンシーが評価されるべきか、あるいは評価できるのかではなく、生徒が 2030 年に活躍するために必要なコンピテンシーの種類に関する幅広いビジョンを提示しています。「測定されるものは大切にされる」と一般的に言われますが、この学習の枠組みは（少なくとも現段階では）測定できないものに価値を認められるようにします。つまりラーニング・コンパスは、大きな構造のもとで幅広い範囲と種類の学習があることを明確にし、学習そのものに価値があることを認めます。それと同時に、評価を主導するものとして学習の枠組みを使うこともできます。例えば生徒の進捗状況を確認しながら支援するために、どのような文脈においてどのような学習を優先させるべきかを話し合うことができます。

層推進していく必要がある。

- 学校施設については、老朽化の進行や多様な教育内容・方法等への対応が依然課題となっていることから、安全・安心で質の高い教育研究環境の整備を継続的に行っていく必要がある。

(3) 社会の現状や変化への対応と今後の展望

- 現代は将来の予測が困難な時代であり、その特徴である変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の頭文字⁵を取って「VUCA」の時代とも言われている。これまでの3回にわたる計画の中で、少子化・人口減少や高齢化、グローバル化の進展と国際的な地位の低下、地球規模の課題、子供の貧困、格差の固定化と再生産、地域間格差、社会のつながりの希薄化などは、社会の課題として継続的に掲げられてきた。こうした中、第3期計画期間中に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響及びロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化は、正に予測困難な時代を象徴する事態であったと言えよう。このような危機に対応する強靱さ（レジリエンス）を備えた社会をいかに構築していくかという観点はこれからの重要な課題である。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響としては、国際経済の停滞、グローバルな人的交流の減少、体験活動の機会の減少などの事態が生じた。また、学校の臨時休業により、学校の居場所やセーフティネットとしての福祉的役割を再認識するきっかけとなった。感染拡大当初はICTの活用が十分ではなく、デジタル化への対応の遅れが浮き彫りとなったが、これを契機として遠隔・オンライン教育が進展し、学びの変容がもたらされた。こうした社会状況もあいまって、デジタルトランスフォーメーション（DX）の進展は社会により良い変化をもたらす可能性のある変革として注目されている。
- 2040年以降の社会を見据えたとき、現時点で予測される社会の課題や変化に対応して人材を育成するという視点と、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点の双方が必要となる。
- 予測できる社会の変化としてはまず、人口減少が挙げられ、現在の生産年齢人口である15～64歳の人口は、2050年には現在の2／3に減少すると推計されている。我が国の労働生産性は国際的に見て低く、このままでは社会経済の活力や水準の維持が危ぶまれる状況にある。また、人口減少・高齢化は特に地方において深刻であり、地方創生の観点からの対応も必要である。加えて、長寿化が進展する中での対応も求められる。
- デジタルトランスフォーメーションや地球温暖化と関連して、デジタル人材やグリーン（脱炭素）人材が不足するとの予測がある。また、AIやロボットの

⁵ Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）。

発達により、特定の職種では雇用が減少し、今後は問題発見力や的確な予測、革新性といった能力が一層求められることが予測されており、労働市場の在り方や働く人に必要とされるスキルが今後変容していくことが見通される。

- 経済先進諸国においては、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいを捉える「ウェルビーイング（Well-being）」の考え方が重視されてきており、経済協力開発機構（OECD）の「ラーニング・コンパス 2030（学びの羅針盤 2030）」⁶では、個人と社会のウェルビーイングは「私たちの望む未来（Future We Want）」であり、社会のウェルビーイングは共通の「目的地」とされている。
- 社会の多様化が進む中、障害の有無や年齢、文化的・言語的背景、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残すことなく、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会の実現を目指し、その実現に向けた社会的包摂を推進する必要がある。
- 成年年齢や選挙権年齢が 18 歳に引き下げられ、若者の自己決定権の尊重や積極的な社会参画が図られるとともに、こども基本法及びこども家庭庁設置法が成立し、子供の権利利益の擁護及び意見表明などについて規定されたことを踏まえた対応が必要である。
- また、予測できない未来に向けて自らが社会を創り出していくという視点からは、「持続可能な社会の創り手」という学習指導要領前文に定められた目指すべき姿を実現することが求められる。その際、教育基本法の理念・目的・目標について規定されている普遍的価値を共有した上で、主体的な社会の創り手となる考え方が重要である。
- 今後目指すべき未来社会像として、第 6 期科学技術・イノベーション基本計画⁷において、持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人一人が多様な幸せを実現できる、人間中心の社会としての「Society 5.0（超スマート社会）」が示されている。
- これら社会の現状や変化を踏まえて 2040 年以降の社会を展望したとき、教育こそが、社会をけん引する駆動力の中核を担う営みであり、人間中心の社会を支えるシステムとなる時代が到来していると言えよう。将来の予測が困難な時代において、一人一人の豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展を実現するために、教育の果たす役割はますます大きくなっている。
- こうした認識の下、目指すべき社会像の中での教育の在り方を本計画において示すものである。

⁶ OECD「ラーニング・コンパス 2030（学びの羅針盤 2030）」（2019 年 5 月）（原文 OECD Future of Education and Skills 2030, Conceptual learning framework: Learning Compass 2030, OECD, 2019）

⁷ 「第 6 期科学技術・イノベーション基本計画」（令和 3 年 3 月 26 日閣議決定）

（４）教育政策に関する国内外の動向

- 第３期計画期間中には、中央教育審議会において、「学校における働き方改革」答申^８、「令和の日本型学校教育」答申^９、「高等教育のグランドデザイン」答申、「第３次学校安全の推進に関する計画の策定」答申^{１０}、「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方」答申^{１１}が示された。また、生涯学習分科会、初等中等教育分科会、大学分科会において、各政策分野の審議まとめ等が取りまとめられるとともに、文部科学省に設置された各種の有識者会議において教育政策に係る提言がなされた。
- また、教育未来創造会議第一次提言^{１２}、総合科学技術・イノベーション会議の教育・人材育成に関する政策パッケージ^{１３}、経済産業省の未来人材ビジョン^{１４}など、関係省庁においても、教育政策に関する議論・提言が行われている。
- 国外では、経済協力開発機構（OECD）において、2030年の教育を見据えた「ラーニング・コンパス 2030（学びの羅針盤 2030）」が示されるとともに、ユネスコでは「教育の未来」グローバルレポート^{１５}が取りまとめられている。

Ⅱ. 今後の教育政策に関する基本的な方針

（総括的な基本方針・コンセプト）

- 上述の我が国の教育をめぐる現状・課題・展望を踏まえ、本計画では2040年以降の社会を見据えた教育政策におけるコンセプトとも言うべき総括的な基本方針として「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げる。両者は今後我が国が目指すべき社会及び個人の在り様として重要な概念であり、これらの相互循環的な実現に向けた取組が進められるよう教育政策を講じていくことが必要である。

^８ 「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について（答申）」（平成31年1月中央教育審議会）

^９ 「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月中央教育審議会）

^{１０} 「第３次学校安全の推進に関する計画の策定について（答申）」（令和4年2月中央教育審議会）

^{１１} 「『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について～『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）」（令和4年12月中央教育審議会）

^{１２} 「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言）」（令和4年5月10日教育未来創造会議）

^{１３} 「Society 5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ」（令和4年6月総合科学技術・イノベーション会議）

^{１４} 「未来人材ビジョン」（令和4年5月経済産業省）

^{１５} UNESCO 教育の未来に係る国際委員会『教育の未来』国際レポート（2021年11月）（原文 UNESCO International Commission on the Futures of Education. Reimagining our futures together: a new social contract for education, UNESCO, 2021）

(1) 2040 年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- グローバル化や気候変動などの地球環境問題、少子化・人口減少、都市と地方の格差などの社会課題やロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化の中で、一人一人のウェルビーイングを実現していくためには、この社会を持続的に発展させていかなければならない。特に我が国においては少子化・人口減少が著しく、将来にわたって財政や社会保障などの社会制度を持続可能なものとし、現在の経済水準を維持しつつ、活力あふれる社会を実現していくためには、一人一人の生産性向上と多様な人材の社会参画を促進する必要がある。また、社会課題の解決と経済成長を結び付けて新たなイノベーションにつながる取組を推進することが求められる。Society 5.0においてこれらを実現していくために不可欠なのは「人」の力であり、「人への投資」を通じて社会の持続的な発展を生み出す人材を育成していかなければならない。
- こうした社会の実現に向けては、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、「持続可能な社会の創り手」になることを目指すという考え方が重要である。将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていくことが求められる。
- Society 5.0においては、「主体性」、「リーダーシップ」、「創造力」、「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」、「表現力」、「チームワーク」などの資質・能力を備えた人材が期待されている。こうした要請も踏まえ、個々人が自立して自らの個性・能力を伸長するとともに、多様な価値観に基づいて地球規模課題の解決等をけん引する人材を育成していくことも重要である。

(2) 日本社会に根差したウェルビーイングの向上

- ウェルビーイングとは身体的・精神的・社会的に良い状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など将来にわたる持続的な幸福を含むものである。また、個人のみならず、個人を取り巻く場や地域、社会が持続的に良い状態であることを含む包括的な概念である。
- ウェルビーイングの捉え方は国や地域の文化的・社会的背景により異なり得るものであり、一人一人の置かれた状況によっても多様なウェルビーイングの求め方があり得る。
- すなわち、ウェルビーイングの実現とは、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなることであり、教育を通じて日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図っていくことが求められる。

- ウェルビーイングの国際的な比較調査においては、自尊感情や自己効力感が高いことが人生の幸福をもたらすとの考え方が強調されており、これは個人が獲得・達成する能力や状態に基づくウェルビーイング（獲得的要素）を重視する欧米的な文化的価値観に基づく側面がある。同調査によると日本を含むアジアの文化圏の子供や成人のウェルビーイングは低いとの傾向が報告されることがあるが、我が国においては利他性、協働性、社会貢献意識など、人とのつながり・関係性に基づく要素（協調的要素）が人々のウェルビーイングにとって重要な意味を有している。このため、我が国においては、ウェルビーイングの獲得的要素と協調的要素を調和的・一体的に育む日本発のウェルビーイングの実現を目指すことが求められる。こうした「調和と協調（Balance and Harmony）」に基づくウェルビーイングの考え方は世界的にも取り入れられつつあり、我が国の特徴や良さを生かすものとして国際的に発信していくことも重要である。
- 日本社会に根差したウェルビーイングの要素としては、「幸福感（現在と将来、自分と周りの他者）」、「学校や地域でのつながり」、「協働性」、「利他性」、「多様性への理解」、「サポートを受けられる環境」、「社会貢献意識」、「自己肯定感」、「自己実現（達成感、キャリア意識など）」、「心身の健康」、「安全・安心な環境」などが挙げられる。これらを、教育を通じて向上させていくことが重要であり、その結果として特に子供たちの主観的な認識が変化したかについてエビデンスを収集していくことが求められる。なお、協調的幸福については、「同調圧力」につながるような組織への帰属を前提とした閉じた協調ではなく、他者とのつながりやかかわりの中で共創する基盤としての協調という考え方が重要であるとともに、物事を前向きに捉えていく姿勢も重要である。
- ウェルビーイングと学力は対立的に捉えるのではなく、個人のウェルビーイングを支える要素として学力や学習環境、家庭環境、地域とのつながりなどがあり、それらの環境整備のための施策を講じていくという視点が重要である。また、社会情動的スキルやいわゆる非認知能力を育成する視点も重要である。さらに、組織や社会を優先して個人のウェルビーイングを犠牲にするのではなく、個人の幸せがまず尊重されるという前提に立つことが必要である。
- 子供たちのウェルビーイングを高めるためには、教師のウェルビーイングを確保することが必要であり、学校が教師のウェルビーイングを高める場となることが重要である。子供の成長実感や保護者や地域との信頼関係があり、職場の心理的安全性が保たれ、労働環境などが良い状態であることなどが求められる。加えて、職員や支援人材など学校の全ての構成員のウェルビーイングの確保も重要である。こうしたことが学びの土壌や環境を良い状態に保ち、学習者のウェルビーイングを向上する基盤となり、結果として家庭や地域のウェルビ

ーイングにもつながるものとなる。

- さらに、生涯学習・社会教育を通じて、地域コミュニティを基盤としてウェルビーイングを実現していく視点も大切である。
- ウェルビーイングが実現される社会は、子供から大人まで一人一人が担い手となって創っていくものである。社会全体のウェルビーイングの実現に向けては、個人のウェルビーイングが様々な場において高まり、個人の集合としての場や組織のウェルビーイングが高い状態が実現され、そうした場や組織が社会全体に増えていくことが必要となる。子供たち一人一人が幸福や生きがいを感じられる学びを保護者や地域の人々とともにつくっていくことで、学校に携わる人々のウェルビーイングが高まり、その広がりが一人一人の子供や地域を支え、更には世代を超えて循環していくという在り方が求められる。
- 第2期教育振興基本計画において掲げられるとともに、第3期教育振興基本計画においてもその理念が継承された「自立」、「協働」、「創造」については、「自立」と「協働」は個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実に対応する方向性であり、「創造」は主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を通じてもたらされるものである。これまでの計画の基軸を発展的に継承し、誰もが地域や社会とのつながりや国際的なつながりを持つことができるような教育を推進することで、個人と社会のウェルビーイングの実現を目指すことが重要である。

（5つの基本的な方針）

- 本計画においては、上述の総括的な基本方針の下、以下の5つの基本的な方針を定める。
 - ①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
 - ②誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
 - ③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
 - ④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
 - ⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成 （社会の持続的な発展に向けて）

- 将来の予測が困難な VUCA と言われる時代の中で、個人と社会のウェルビーイングを実現していくためには、社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成が必要である。グローバル化やデジタルトランスフォーメーションは労働市場に変容をもたらしており、これからの時代の働き手に必要となる能力は変

武蔵野キャンパス教室稼働率（令和 5 年度見込み）

（単位：室）

	1 学期							2 学期						
	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限	平均	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限	平均
月	20.4%	57.4%	77.8%	57.4%	29.6%	27.8%	45.1%	9.3%	42.6%	64.8%	57.4%	25.9%	24.1%	37.4%
火	44.4%	61.1%	53.7%	68.5%	46.3%	11.1%	47.5%	44.4%	63.0%	51.9%	68.5%	44.4%	11.1%	47.2%
水	42.6%	31.5%	44.4%	33.3%	13.0%	7.4%	28.7%	37.0%	22.2%	42.6%	29.6%	13.0%	7.4%	25.3%
木	48.1%	90.7%	74.1%	50.0%	13.0%	1.9%	46.3%	48.1%	90.7%	72.2%	50.0%	9.3%	3.7%	45.7%
金	11.1%	24.1%	48.1%	42.6%	29.6%	1.9%	26.2%	13.0%	27.8%	48.1%	40.7%	29.6%	3.7%	27.2%
平均	33.3%	53.0%	59.6%	50.4%	26.3%	10.0%	44.5%	30.4%	49.3%	55.9%	49.2%	24.4%	10.0%	41.8%

	3 学期							4 学期						
	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限	平均	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限	平均
月	1.9%	31.5%	59.3%	46.3%	16.7%	18.5%	29.0%	0.0%	29.6%	57.4%	44.4%	18.5%	18.5%	28.1%
火	40.7%	63.0%	68.5%	59.3%	59.3%	18.5%	51.6%	50.0%	74.1%	77.8%	68.5%	55.6%	16.7%	57.1%
水	38.9%	29.6%	55.6%	33.3%	14.8%	11.1%	30.6%	37.0%	27.8%	59.3%	25.9%	18.5%	13.0%	30.3%
木	48.1%	88.9%	70.4%	37.0%	9.3%	3.7%	42.9%	46.3%	88.9%	70.4%	40.7%	13.0%	3.7%	43.8%
金	11.1%	31.5%	61.1%	50.0%	20.4%	3.7%	29.6%	11.1%	33.3%	59.3%	48.1%	22.2%	5.6%	29.9%
平均	28.1%	48.9%	63.0%	45.2%	24.1%	11.1%	41.9%	28.9%	50.7%	64.8%	45.5%	25.6%	11.5%	43.1%

	年間平均						
	1 限	2 限	3 限	4 限	5 限	6 限	平均
月	7.9%	40.3%	64.8%	51.4%	22.7%	22.2%	34.9%
火	44.9%	65.3%	63.0%	66.2%	51.4%	14.4%	50.9%
水	38.9%	27.8%	50.5%	30.5%	14.8%	9.7%	28.7%
木	47.7%	89.8%	71.8%	44.4%	11.2%	3.3%	44.7%
金	11.6%	29.2%	54.2%	45.4%	25.5%	3.7%	28.2%
平均	30.2%	50.5%	60.8%	47.6%	25.1%	10.7%	42.8%

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	p. 2
ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析	p. 2
イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析	p. 4
ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等	p. 5
エ 学生確保の見通し	p. 7
A. 学生確保の見通しの調査結果	p. 7
B. 新設学部等の分野の動向	p. 15
C. 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等	p. 16
D. 競合校の状況	p. 16
E. 既設学部等の学生確保の状況	p. 17
F. その他、申請者において検討・分析した事項	p. 17
オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	p. 18
(2) 人材需要の動向等社会の要請	p. 19
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	p. 19
② 上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客 的な根拠	p. 19

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

ア 設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

武蔵野大学（以下「本学」という。）は、大正 13 年に東京都中央区の本願寺築地別院（現在の築地本願寺）境内に武蔵野女子学院として創設された。建学の精神である「仏教の根本精神の四弘誓願（しぐぜいがん／ほとけのねがい）を基礎とする人格教育」に基づき昭和 40 年度に文学部を設置して以来、時代とともに変遷する多様な社会ニーズに対応しながら、専門的知識・能力を有する人材を養成し、社会貢献を行ってきた。平成 16 年度には男女共同参画社会の実現に向けて、全学部を男女共学とした。平成 24 年 4 月 1 日には法人名を学校法人武蔵野大学に変更し、東京都江東区有明の臨海副都心に有明キャンパスを開設。その立地を活かして企業や官公庁との産官学連携や国内外の教育研究機関との交流等を推進している。

近年は、令和元年度にデータサイエンス学部データサイエンス学科、令和 3 年度にアントレプレナーシップ学部アントレプレナーシップ学科、そして令和 5 年度に工学部サステナビリティ学科を設置し、現在は通学制 12 学部 13 研究科、通信制 2 学部 3 研究科を擁する総合大学として、更なる教育研究の充実に向けた改革を進めている。

平成 28 年度には、仏教の根本精神である四弘誓願の第一の願い「生きとし生けるものが幸せになるために」を受けて、ブランドステートメント「世界の幸せをカタチにする。」を発表している。このブランドステートメントは、2050 年の未来に向けて本学に課された使命を果たしていく決意の表明であり、ブランドの具現化として同年「しあわせ研究所」を設置し、以後、国際シンポジウムの開催等を推進している。平成 31 年 3 月には「武蔵野大学 SDGs 宣言」を発表し、SDGs の 17 の目標のうち、各学部・研究科・研究所において、それぞれが担当する領域に根差した活動を街や現場に出て意識的かつ具体的に行うことで、「世界の幸せをカタチにする。」の実現を目指している。

また、2024 年の創立 100 周年を見据えながら 2050 年の未来を眺望した「武蔵野大学 2050VISION 5 つのチャレンジ」を掲げ、中長期計画[2020 年度～2030 年度]において具体的な施策とアクションプランに基づいた実践及び教育改革を推進している。

「武蔵野大学 2050VISION 5 つのチャレンジ」	
①チャレンジ 1	自己と世界を問う
自ら考え、課題を設定し、国内外の他者を巻き込み主体的に取り組むマインドの醸成	
②チャレンジ 2	未来の世界を創る Creative な実践者の輩出
教育の質向上と研究力強化による未来の世界を創る実践者、研究者の育成	
③チャレンジ 3	A I 世界を先導する M U S I C（※）（Smart Intelligence）

最先端の科学・技術・システムを駆使するスキルを修得するプログラムの提供と支援
④チャレンジ4 Global & Universal
世界の全ての他者と響創するための人格の育成
⑤チャレンジ5 MU-GEN (Musashino University GENerations) につながる Infinite Linking
在学生、教職員、卒業生、関係する他者との繋がり深化

※MUSIC (Musashino University Smart Intelligence Center) :

本学における情報・メディア教育推進組織のこと。全ての学生がAIの基礎知識を学び、いつでもどこでも自分にあった学びを可能とし、”AI-Ready-University”を実現するというビジョンのもと、先進的な情報教育を推進していくために平成31年1月に設立。

以上のような改革のもと、本学は幅広い分野の教育研究を推進する総合大学として充実が図られてきた。しかし、現代社会は米中対立、ロシアのウクライナへの軍事侵攻等による国際情勢の不安定化、感染症のパンデミック、大規模災害や環境破壊、人口減少と少子高齢化、富の一極集中とその歪み等、多くの予測困難な社会的変化や複雑な問題を抱えている。これまで確かに強固な価値とされてきた民主主義や資本主義、成長主義や個人主義等にはほころびが生じ、人々はどう生きていけばいいのか、どうすれば幸福になれるのか、どのように社会や世界と向き合うべきかという切実な悩みを抱えており、経済的な豊かさのみならず、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいをつめるウェルビーイングの考え方が重視されてきている。

「教育振興基本計画（令和5年6月16日閣議決定）」においても、「我が国の教育をめぐる現状・課題・展望」として、「社会や時代の変化への対応」が教育の普遍的な使命であり、「新型コロナウイルス感染症の拡大」や「VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）」等と並び、「精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）」が「社会の現状や変化」に該当する事項の1つとして掲げられている

【資料1】。

本学では、時代によって変遷する高等教育機関としての社会的使命や国際情勢の変化への対処等、本学を取り巻く将来環境の見通しを踏まえ、各教学主体の持続可能性を視座に、学部等の設置構想について審議する「設置検討委員会」を置き、時代のニーズにあった学部学科の改編計画の検討を行っている。また、設置検討委員会にて設置計画の妥当性を検討し、理事会にて設置準備が認められた際には、その開設準備のために学部等ごとに「設置準備委員会」を置き、学部等の設置に係る教員組織に関する事項、教育課程の編成に関する事項、教室その他の施設、器具、備

品及び図書等の整備又は配置に関する事項、学生・大学院生の入学に関する事項、認可申請又は設置届出に関する事項、及びその他設置に関する事項を審議している。

本設置検討委員会及び設置準備委員会での議論を踏まえ、現代の精神的豊かさを重視する時代背景において、「生きとし生けるものが幸せになるために」という仏の願いを受けた本学のブランドステートメント「世界の幸せをカタチにする。」を実現するため、ウェルビーイングという総合的概念についての社会学・心理学的の知見や、新たに創造的なデザインを行うため問題発見・課題解決できる実践的な能力を身につけ、今後のあるべきウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組んでいく人材を養成することを目的とするウェルビーイング学部ウェルビーイング学科を、令和6年度に武蔵野キャンパス（東京都西東京市）に設置する。

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

前述のとおり、産業革命以来、経済的成長を第一に目指してきた人類が、紛争問題、パンデミックの問題、環境問題、貧困と格差の問題等に直面し、精神的豊かさ（ウェルビーイング）が重視され始めている。総務省の「令和3年度 情報通信白書」第3章第1部の「我が国及び世界が乗り越えるべき社会課題」によると、「新型コロナウイルスの流行によって、経済的な成功よりも生きがいや健康に楽しく生きることを優先させる「ウェルビーイング」への志向が個人に高まっていると言われる。その志向の高まりが日常生活や経済活動に変化をもたらし、ひいては社会構造の変革へとつながる可能性が考えられる。」と述べられている【資料2】。また、内閣府は、内閣府省庁が連携して Well-being に関する取組を推進するため、令和3年7月に「Well-being に関する関係府省庁連絡会議」を設置し【資料3】、令和4年10月には連絡会議に参加する関係府省庁の Well-being 関連の基本計画等の K P I、取組・予算が暫定的に取り纏められたことから【資料4】、今後、ウェルビーイングに関する取組が推進され、社会的認知度が向上していくとともにその重要性が高まっていくと考えられる。

また、次期教育振興基本計画（令和5年度～令和9年度）の諮問においても、超スマート社会（Society5.0）とともにウェルビーイングが創り上げていくべき社会像の中心に据えられ、それに基づいた教育政策が推進されようとしており【資料5】、「ウェルビーイング」をキーコンセプトとした社会・産業・教育の在り方が注目されはじめている。

さらに、令和5年5月に開催予定のG7広島サミット（主要国首脳会議）の関係閣僚会合として、G7教育大臣会合がウェルビーイングを推進する富山県及び石川県で開催されることが決まった【資料6】。永岡桂子文部科学大臣は、ウェルビーイング教育などのポストコロナ教育を意識した両県の招致提案を評価したと令和4年9

月 16 日文部科学大臣記者会見で述べており【資料 7】、G 7 教育大臣会合でウェルビーイング教育が話題になる可能性も大いにあることから、自治体等におけるウェルビーイングの取り組みについても重要性が高まっていると考えられる。

これらのウェルビーイングに関する社会的な高まりを踏まえると、今後、ウェルビーイングの向上に寄与するために、ウェルビーイングを理解、推進し、ウェルビーイング社会を創造できる人材の育成が重要であると考えられる。そこで、「ウェルビーイング」を冠した学部・学科・学位を持つ大学を調査すると、現状、学科及び学位の名称に「ウェルビーイング」を含む海外大学はいくつかあるが、日本国内においては実例がない状況である【資料 8】。しかし、国内においても「ウェルビーイング」と題した研究所については、慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター、神戸大学ウェルビーイング推進本部・先端研究センター、同志社大学 Well-being 研究センター、九州大学ウェルビーイング研究部門、東京都市大学ウェルビーイング・リビングラボ研究ユニット、関西国際大学 Well-being 研究所、東北工業大学 Well-being 研究所等が設置され、ウェルビーイングに関する研究が推進されている。また、一般社団法人ウェルビーイングデザイン、公益財団法人 Well-being for Planet Earth といった団体も設置され、人々のウェルビーイング向上のためのコミュニティー運営、情報収集、情報提供、人材育成、人材交流、学術研究への助成及び普及啓発等を推進している。これらの研究所や団体の取組は、今後より推進、発展していくと考えられる。

以上のウェルビーイングに関する地域・社会的動向及び教育研究の推進状況を踏まえると、今後のあるべきウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組んでいける人材の育成がより一層必要になると考え、令和 6 年度にウェルビーイング学部ウェルビーイング学科を設置する。

ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

新設学科等の趣旨目的については、VUCA（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）の時代と称され、先行きが不透明かつ将来の予測が困難な未来を迎えている中、精神的な豊かさや健康までを含めて幸福や生きがいをつめるウェルビーイング（Well-being）な社会の創造に貢献することを目指し、本学部を設置する。本学部は、仏法の真理観を根幹として、人間の抱える根源的な苦悩からの解放を見据えつつ、学識、情操、品性にすぐれた人格を育成するとともに、科学や技術の最先端の知見や成果も取り入れた学際的なアプローチによって、幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、人々と世界のウェルビーイングをデザインし、創造していく人材を育成していくことを目的とする。

なお、今、本学部を設置する理由については、前述のとおり、令和 5 年から令和 9 年を対象期間と定める「教育振興基本計画」において、「日本社会に根差したウェル

ビーイングの向上」が計画のコンセプトの一つとして掲げられていること【資料1】、経済協力開発機構 (OECD) の「OECD ラーニング・コンパス 2030 (学びの羅針盤 2030)」においても、2030 年度 (令和 12 年度) の未来像を描きながら方向性を示していることから【資料9】、令和 6 年度から学部を設置し、社会に貢献できる人材を出来る限り早期に輩出することが重要であると考えます。

本学部の教育内容については、前述の趣旨目的を実現するために、社会で活躍するためのアクティブな知の獲得を目指す全学共通基礎課程に加え、学科科目『基盤科目群』『探究する科目群』『創造する科目群』を配置し、学際的な科目構成とするとともに、常にウェルビーイングを中心に置き、どの科目においてもウェルビーイングに立ち返ることのできる教育課程を体系的に編成する。具体的には、『基盤科目群』では、ウェルビーイングの本質を理解し、学科科目の基盤となる基礎的な知識や考え方を修得する。『探究する科目群』では、幸せな自己と世界を探究するため、自然、地域・福祉・ビジネスの現場、海外等での学外学修を通じて、自分は世界の関係性のもとに成立していることを体験的に理解する。『創造する科目群』では、これまで修得してきたスキル・知識をもとに、ウェルビーイングな社会をデザインするために各人がテーマを設定し、4 年間の集大成として学修成果を卒業論文にまとめる。

定員設定については、本学部では、ウェルビーイングな社会を実現するための具体的な課題を用いたプロジェクト型授業や、実習等の実践を中心とした教育活動を行うことから、学外学修等を展開できる高度の実務能力及び実経験を有する実務家教員 5 人を含めた専任教員を 16 人置き、きめ細やかな学生指導や相談に乗る体制を取る。そこで、入学定員 80 人、2 年次編入学定員 10 人、収容定員 350 人とすることで、専任教員 1 人あたり一学年 5～6 人を担当することになり、きめ細やかな指導や相談を実施することができると考えた。この定員を充足する見込みについては、後述のとおり、既設の学部等の定員充足状況が過去 5 年において十分であること、地域の人口動態調査、同分野を有する近隣大学の志願動向、及び受験対象者等へのアンケート調査で一定数の志願者数が確保できる予測であることから、定員充足の見込みは立っている。

本学部の入学金、授業料等の学生納付金の設定については、収容定員による学納金収入の見込みに対する教育研究費や施設設備費、教員人件費等の支出の見込みを踏まえ、学部としての採算性及び持続性を考慮している。また、他大学及び本学他学部等の学費の状況を踏まえ、受験生や保護者に無理のない設定を行っている。

具体的には、本学部は初年次納入金を 1,475,000 円 (入学金 180,000 円、授業料等 1,295,000 円) と設定している。後述の「近隣競合校」及び「偏差値上位校」の 1,299,000～1,460,000 円と比べるとやや高いが【資料10】、本学部は学外学修やプロジェクト型授業等を中心に教育を展開しており、同様に学外学修等を中心に教育を展開している本学工学部サステナビリティ学科 (学位の分野に「社会学・社会福祉学関係」を

含む)を参考に学費を設定しているため、適切な学費設定であると考える。

エ 学生確保の見通し

A. 学生確保の見通しの調査結果

(ア) 入学定員の確保について

本学部への受験生の志願動向を調査するため、令和4年12月～令和5年1月にアンケート調査を実施した。

アンケート調査対象校の抽出にあたっては、次の観点から行った。本学の過去3年間の新入生の出身高校のうち、平均 65.3%が1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に位置している。特に東京都の出身が 33.8%と最も割合が高い【資料11】。このことから、アンケートは、本学への進学実績がある東京都の私立及び都立高校の高校2年生（令和6年度大学入学生）を対象に実施することとした。

該当する60校にアンケート調査実施の依頼を行い、そのうち7,638人から有効回答を得ることができた。

アンケートの内容は、本学部についての説明を読んだ上で、入学意向を選択するものとした【資料12】。

有効回答7,638人のうち、本学部への入学意思のある人数を明確にするため、集計にあたっては、高校2年生のうち①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味、②興味のある学問分野、③進学希望、④受験意向、⑤入学意向の回答結果をクロス集計し、調査結果を踏まえた分析を行った。クロス集計結果によると、以下①～⑤のすべての条件を充たす回答をした生徒は合計23人であった【資料13】。

- ①ウェルビーイングについて大学で学ぶことに「とても興味がある」または「興味がある」と回答した生徒（2,502人）
- ②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野に興味があると回答した生徒（931人）
- ③高校卒業後に4年制大学への進学を「希望する」と回答した生徒（818人）
- ④本学部を「ぜひ受験したい」と回答した生徒（33人）
- ⑤本学部に合格した場合、「ぜひ入学したい」と回答した生徒（23人）

上記アンケート結果により、本学部の入学定員80人に対して、クロス集計結果により「ぜひ入学したい」と回答した生徒が23人であったことから、本学部への入学意向を更に把握するために、令和5年6月～7月に、前回のアンケート調査を実施していない高校6校の高校3年生（令和6年度大学入学生）、本学部のオープンキャンパス等に参加した高校3年生、及び本学部に興味を持って資料請求した高校3年生に対してアンケート調査を実施した。前回のアンケート調査では受験及び入学意思を確認する際の設定で「やや受験したい」及び「やや入学したい」と

いった表現の選択項目があり、受験及び入学の意思を明確に確認できるものではなかったため、今回のアンケートでは入学意向を明確に確認できるよう選択項目を修正したうえで調査を実施した【資料 14】。

調査の結果、高校 6 校の高校 3 年生については 622 人から、本学部のオープンキャンパス等に参加した高校 3 年生については 27 人から、本学部に興味を持って資料請求した高校 3 年生については 16 人から有効回答を得ることができた。

有効回答 665 人について、上述の令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月に実施したアンケート調査の回答者（当時 2 年生）と重複がないことを確認し、集計を行った。本学部への入学意思のある人数を明確にするため、高校 3 年生のうち①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味、②興味のある学問分野、③進学希望、④受験意向、⑤入学意向の回答結果をクロス集計し、分析を行った。クロス集計結果によると、以下①～⑤のすべての条件を充たす回答をした高校 3 年生は 24 人であった【資料 15】。

- ①ウェルビーイングについて大学で学ぶことに「興味がある」と回答した生徒（243 人）
- ②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野に興味があると回答した生徒（104 人）
- ③高校卒業後に 4 年制大学への進学を「希望する」と回答した生徒（98 人）
- ④本学部を「受験したい」と回答した生徒（48 人）
- ⑤本学部合格した場合、「入学したい」と回答した生徒（24 人）

また、外国人留学生の入学意向を確認するために、令和 5 年 6 月～7 月に本学の外国人留学生入学試験で志願者が 2 年連続 2 人以上あった日本語学校（以下「日本語学校」という。）61 校の生徒に対してアンケート調査を実施した。アンケートの内容は、本学部についての説明を読んだ上で、入学意向を選択するものとした【資料 16】。

日本語学校 61 校の生徒の有効回答 79 人について、本学部への入学意思のある人数を明確にするため、集計にあたっては、回答結果をクロス集計し、分析を行った。クロス集計結果によると、以下①～⑤のすべての条件を充たす回答をした生徒は 20 人であった【資料 17】。

- ①ウェルビーイングについて大学で学ぶことに「興味がある」と回答した生徒（64 人）
- ②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野に興味があると回答した生徒（30 人）
- ③卒業後に 4 年制大学への進学を「希望する」と回答した生徒（25 人）
- ④本学部を「受験したい」と回答した生徒（23 人）

⑤本学部に合格した場合、「入学したい」と回答した生徒（20人）

上述の調査のクロス集計結果をまとめると【表1】、興味のある学問分野、進路希望、受験意向及び入学意向の回答結果をクロス集計したうえで、入学意向を示した生徒は、入学定員80人に対して67人となった。

【表1】クロス集計結果（興味のある学問分野、進路希望、受験意向及び入学意向）
で入学意向を示した生徒数

区分	クロス集計結果で入学意向を示した生徒数
東京都の私立及び都立高校の高校生 （令和4年12月～令和5年1月実施）	23人
高校6校、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生、本学部に興味を持って資料請求した高校生 （令和5年6月～7月実施）	24人
日本語学校の生徒（令和5年6月～7月実施）	20人
合計	67人

次に、令和4年12月～令和5年1月で実施した東京都の私立及び都立高校の高校2年生（令和6年度大学入学生）を対象としたアンケート調査結果（クロス集計結果）について、④受験意向の設問で本学部を「ぜひ受験したい」または「やや受験したい」と回答した生徒420人のうち、⑤入学意向の設問で本学部を「ぜひ入学したい」または「やや入学したい」と回答した373人の入学の可能性について、分析を行った。

「ぜひ受験したい」と回答した者のうち、「ぜひ入学したい」が23人、「やや入学したい」が9人であり、「やや受験したい」と回答した者のうち「ぜひ入学したい」が25人、「やや入学したい」が316人であった【表2】。

【表2】東京都の私立及び都立高校の高校2年生（令和6年度大学入学生）を対象としたアンケート調査結果（クロス集計結果）④受験意向の回答内訳

	ぜひ 入学したい	やや 入学したい	合計
ぜひ受験したい	23人	9人	32人
やや受験したい	25人	316人	341人
合計	48人	325人	373人

このうち、「ぜひ受験したい」かつ「やや入学したい」と回答した9人と、「やや受験したい」かつ「ぜひ入学したい」、及び「やや受験したい」かつ「やや入学したい」と回答した生徒341人の合計350人の生徒は、「ぜひ受験したい」と回答した生徒の受験意向までには達してはいないが、受験を検討している段階の生徒であり、一部の生徒は今後受験をする可能性があると考え。この350人について、本学部の受験を検討して大学案内等を請求する資料請求者と同等とみなし、受験の可能性を検討すると、同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科の資料請求者（高校3年生）に対する受験者数比率は過去5ヶ年平均17.2%であるため【表3】、本学部においても350人のうちの17.2%である60人が今後受験することが想定される。

【表3】人間科学部人間科学科の資料請求数及び受験者数（実人数）（単位：人）

	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	平均
資料請求者(a)	5,597	6,887	8,519	12,338	10,969	8,862
受験者(b)	1,143	1,696	1,713	1,639	1,412	1,521
受験者/資料請求者(b/a)	20.4%	24.6%	20.1%	13.3%	12.9%	17.2%

さらに、この受験想定60人について、「ぜひ受験したい」かつ「ぜひ入学したい」と回答した層よりも入学意向が弱いと考え、併願者（本学の入試において本学他学科を第一希望とし、本学部を第二希望以降で出願する者）の受験者と同等とみなす。併願者の受験者は、合格した場合でも併願先の可否により入学しない可能性があるため、合格した場合の入学率、すなわち歩留率を踏まえた入学の可能性を検討すると、同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科の併願者の歩留率（入学者数／合格者数）は過去5ヶ年平均33.6%【表4】であるため、60人のうちの33.6%である20人は入学意向があると想定される。

【表4】人間科学部人間科学科併願者（実人数）の歩留率について

	志願者数(a)	受験者数(b)	合格者数(c)	入学者数(d)	歩留率(d/c)
平成30年	499人	484人	154人	57人	37.0%
令和元年	757人	727人	143人	54人	37.8%
令和2年	825人	781人	169人	65人	38.5%

令和3年	712人	701人	186人	58人	31.2%
令和4年	649人	627人	220人	59人	26.8%
合計	3,442人	3,320人	872人	293人	33.6%

以上の分析・検討により、令和6年度に本学部に入学者意向のある生徒について、東京都の私立及び都立高校の高校生へのアンケート調査でクロス集計のうえ入学意向を示した生徒が23人、高校6校、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生及び本学部に興味を持って資料請求した高校生へのアンケート調査でクロス集計のうえ入学意向を示した生徒が24人、日本語学校の生徒へのアンケート調査でクロス集計のうえ入学意向を示した生徒が20人、東京都の私立及び都立高校の高校生で「やや受験したい」「やや入学したい」と回答した生徒から想定される入学意向者が20人、これらを合わせて87人の入学意向者が考えられる【表5】。従って、アンケート調査実施対象以外の高校等にも入学意向者がいることが想定されることから、入学定員80人に対して学生確保の見通しはあると考えられる。

【表5】分析・検討結果による入学意向者について

区分	入学意向者
東京都の私立及び都立高校の高校生 (令和4年12月～令和5年1月実施)	23人
高校6校、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生、本学部に興味を持って資料請求した高校生 (令和5年6月～7月実施)	24人
日本語学校の生徒(令和5年6月～7月実施)	20人
東京都の私立及び都立高校の高校生(令和4年12月～令和5年1月実施)のうち「やや受験したい」「やや入学したい」と回答した生徒から想定される入学意向者	20人
合計	87人

なお、実際の本学部の資料請求者数から受験者数を想定すると、現在の資料請求者数は、令和5年5月末までの約3ヶ月間(令和5年3月より資料請求開始)で、高校3年生1,117人となっている。同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科の高校3年生の資料請求者数については、令和5年5月末までで6,721人であり、上述の「【表3】人間科学部人間科学科の資料請求数及び受験者数(実人数)」で示した資料請求者数の過去5ヶ年平均が8,862人であることから、5月末までの資料請求数は全体の75.8%(6,721人/8,862人)程度と想定することができる。本学部の5月末までの資料請求者数が1,117人であるため、最終的な資料請求者数

は、上述の 75.8%を割り返すと合計 1,473 人となる。さらに、上述の「【表 3】人間科学部人間科学科の資料請求数及び受験者数（実人数）」で示した資料請求者数に対する受験者数（b/a）が 17.2%であることから、本学部の最終的な想定資料請求者数 1,473 人の 17.2%である 253 人が受験すると想定することもできる。

また、実際のオープンキャンパスの学科説明会参加者数から受験者数を想定すると、本学部の令和 5 年度初回（6 月開催）のオープンキャンパスの学科説明会参加者数は 118 人となっている。同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科については、初回のオープンキャンパスの学科説明会参加者数の過去 5 ヶ年平均が 208 人、受験者の過去 5 ヶ年平均が 1,521 人であり【表 6】、初回のオープンキャンパスの学科説明会参加者から、過去 5 ヶ年平均で 7.3 倍の受験者を想定することができる。したがって、本学部の令和 5 年度初回（6 月開催）のオープンキャンパスの学科説明会参加者数 118 人の 7.3 倍である 861 人が受験する可能性が考えられ、上述の資料請求者数から想定される受験者数 253 人について十分確保できると考えられる。

上述のとおり、実際の PR 活動である資料請求者数やオープンキャンパスの学科説明会参加者数からも、学生確保の見通しがあると言える。

また、PR 活動におけるウェルビーイングの認知度について、自由民主党政務調査会の日本 Well-being 計画推進特命委員会が令和 5 年 5 月 11 日に取りまとめた「日本 Well-being 計画推進特命委員会 第六次提言」においても、「近い将来、Well-being の認知度も大きく上昇する可能性がある。」「Well-being に特化した人材育成が期待される。」と述べられており【資料 18】、認知度向上により、将来に向けても学生確保の見通しがあると考えられる。

【表 6】人間科学部人間科学科の各年度初回のオープンキャンパスの学科説明会参加者及び各年度の受験者について

	平成30年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	平均
学科説明 会参加者 (a)	223 人	341 人	137 人	139 人	201 人	208 人
受験者 (b)	1,143 人	1,696 人	1,713 人	1,639 人	1,412 人	1,521 人
受験者/ 学科説明 会参加者 (b/a)	5.1	5.0	12.5	11.8	7.0	7.3

本学部は、外国人留学生の入学も想定している。近年、本学の留学生の志願者数及び入学者数は、コロナ禍の令和4年度を除き増加傾向であり、過去5年間の入学者数平均が179人、全入学者数のうち外国人留学生が占める割合が平均7.5%となっている。同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科においても、安定的に外国人留学生が入学しており（外国人留学生比率5ヶ年平均7.0%）、本学部も含め本学では今後も一定数の外国人留学生の安定的な確保が見込まれる【資料19】。また、上述の令和5年6月～7月に日本語学校生徒に実施した本学部への入学意向を調査するアンケートにおいても、興味のある学問分野、進路希望、受験意向及び入学意向の回答結果をクロス集計したうえで、入学意向を示した生徒は、20人いたことから、本学部においても一定数の外国人留学生の確保の見通しがあると考えられる。

（イ）編入学定員の確保について

本学部への編入学の志願動向を調査するため、令和5年6月～7月にアンケート調査を実施した。

アンケートは、編入学の該当者となる1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に位置する短期大学、高等専門学校及び専修学校（以下「短期大学等」という。）95校の学生、本学別科（日本語教育課程）に在籍する学生、並びに平成18年に廃止となった武蔵野女子大学短期大学部卒業生を対象にアンケート調査を実施した。アンケートの内容は、本学部についての説明を読んだ上で、入学意向を選択するものとした【資料20、21、22】。

短期大学等の学生については54人から、本学別科（日本語教育課程）に在籍する学生については6人から、武蔵野女子大学短期大学部卒業生については181人から、合計241人から有効回答を得ることができた。

有効回答241人について、本学部への入学意向のある人数を明確にするため、集計にあたっては、①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味、②興味のある学問分野、③4年制大学への編入学希望、④受験意向、⑤入学意向の回答結果をクロス集計し、分析を行った。クロス集計結果によると、以下①～⑤のすべての条件を充たす回答をした者は合計10人であった【資料23】。

- ①ウェルビーイングについて大学で学ぶことに「興味がある」と回答した者（157人）
- ②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野に興味があると回答した者（76人）
- ③4年制大学への編入学を「希望する」と回答した者（13人）
- ④本学部の編入学受験を「受験したい」と回答した者（12人）
- ⑤本学部に合格した場合、「入学したい」と回答した者（10人）

上記アンケート結果により、本学部の2年次編入学定員10人に対して、クロス集計結果により「入学したい」と回答した者が10人であり、編入学定員の学生確保の見通しはあると考えられる。

また、クロス集計のうえ「入学したい」と回答した者10人のうち、7人が武蔵野女子大学短期大学部卒業生であったことから、短期大学等を卒業した社会人についても、本学部の需要があることが考えられる。

さらに、編入学定員10人の確保の可能性について、アンケート結果の分析を進めると、上述のクロス集計結果の②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味について、「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」以外の分野を選択したが、①ウェルビーイングについて学ぶことに「興味がある」③4年制大学への編入学を「希望する」④本学部の編入学試験を「受験したい」⑤本学部合格した場合「入学したい」と回答した者が11人いた【表7】。本学部は「文学関係」及び「社会学・社会福祉学関係」の学問分野を中心に、ウェルビーイングに関するデザイン学、自然環境学等の自然科学や教育学、経済学等の分野からもウェルビーイングを学際的に学ぶことで、人々がウェルビーイング（幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など）を感じられる新たな世界をデザインする学問分野として「ウェルビーイング学」を新たに構築していくとしているため、②興味のある学問分野で「経済学関係」、「教育学・保育学関係」を選択した5人（下表の回答者A～E）については【表7】、2年次編入学が開始する令和7年度入試に向けて、PR活動を更に強化することで、入学意向になる可能性があると考えられる。

【表7】「①ウェルビーイングに興味がある」「③編入学を希望する」「④受験したい」「⑤入学したい」と回答した者の②興味のある学問分野について

回答者	②興味のある学問分野
回答者A	経済学関係
回答者B	教育学・保育学関係、農学関係、家政学関係
回答者C	経済学関係
回答者D	教育学・保育学関係、獣医学関係、医学関係、美術関係
回答者E	教育学・保育学関係、医学関係、薬学関係、家政関係、保健衛生学関係
回答者F	理学関係
回答者G	医学関係
回答者H	農学関係
回答者I	医学関係、美術関係
回答者J	保健衛生学関係
回答者K	医学関係

また、上述のクロス集計結果の③4年制大学への編入学希望について、「希望する」が13人、「希望しない」が23人、「わからない」が34人、「その他」が6人であった。「わからない」と回答した34人は、今後受験を検討する層となる可能性があるため、④受験意向及び⑤入学意向を【表8】のとおり分析した。④本学部の編入学受験を「受験したい」と回答した者が14人、「受験したくない」と回答した者が19人であった。この「受験したい」と回答した14人について、⑤本学部に合格した場合、「入学したい」と回答した者が12人であった。この12人についても、2年次編入学が開始する令和7年度入試に向けて、PR活動を更に強化することで、入学意向になる可能性があると考えられる。

【表8】クロス集計結果③4年制大学への編入学希望で「わからない」と回答した者の④受験意向及び⑤入学意向について

	入学したい	入学したくない (併願校の可否により入学を検討する者も含む)	合計
受験したい	12人	2人	14人
受験したくない			20人
	合計		34人

以上のことから、興味のある学問分野、進路希望、受験意向及び入学意向の回答結果をクロス集計したうえで、入学意向を示した者が10人いることに加えて、「受験したい」かつ「入学したい」と回答し、学問分野及び進路希望において条件は満たしていないが入学意向に近い回答をしている17人については、本学から適切なPR活動を行うことで、入学意向に変わる可能性があり、アンケート調査実施対象者以外にも入学意向者がいることが想定されることから、編入学定員10人に対して学生確保の見通しはありと考えられる。

B. 新設学部等の分野の動向

同分野を有する近隣大学の志願動向の調査として、本学部と同じ学位分野である「文学関係」、「社会学・社会福祉学関係」を有する首都圏の近隣大学の志願動向を調べた。

本学部と同分野を有する近隣大学の過去3年間の志願者倍率をみると、文学関係の学位分野を持つ大学の志願者倍率は8～16倍程度、社会学・社会福祉学関係の学位分野を持つ大学は3～25倍程度であった【資料24】。この結果より、本学部においても同程度の志願者倍率が想定され、定員を充足できる見込みがある

と考えられる。

C. 中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等

本学の学生の出身高校の都道府県所在地をみると、令和 2 年度から令和 4 年度の 3 年間で新入生の平均 65.3%が 1 都 3 県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）の出身であり、割合が高い【資料 11】。また、令和 4 年度学校基本調査から抜粋した人口動態によると、本学部を開設する令和 6 年度大学入学予定者である現高校 2 年生の生徒数は、1 都 3 県計 271,777 人である。また、本学部開設 4 年後の令和 10 年度大学入学予定者である現中学 1 年生の生徒数は 1 都 3 県計 292,406 人であり、令和 6 年度比約 108%となっている。さらに、本学部開設 8 年後となる令和 14 年度大学入学予定者である現小学 3 年生の児童数は 1 都 3 県計 286,800 人である【資料 25】。これらのデータから、少子化の中でも 1 都 3 県については 18 歳人口が学部開設 8 年後においても、開設年度より減らないことが予想されている。以上のことから、大学進学率が現状維持であっても、開設時と同様の受験者数が想定され、定員を充足できる見込みがあると考えられる。

また、令和 4 年度学校基本調査の「関係学科別大学入学状況」によると、本学部が該当する分野である「人文科学・その他」「社会科学・社会学」の令和 4 年度入学志願者数は、それぞれ 206,985 人、235,171 人、合計 442,156 人であった。平成 30 年度から令和 4 年度の 5 年間の入学志願者数は令和元年度の 559,406 人をピークに減少傾向がみられるが、全志願者数に占める「人文科学・その他」「社会科学・社会学」の志願者数の割合は 10%以上を維持していることから【資料 26】、本学部が該当する分野の学科を志願する受験生の動向は安定的に推移しており、定員を充足できる見込みがあると考えられる。

D. 競合校の状況

近隣の競合大学を設定し、志願状況を調べた。

国内においては「ウェルビーイング」を冠した学部学科又は学位を持つ大学がないため、「ウェルビーイング」を学べる大学、及び学位の分野が類似する大学を中心に、「偏差値」「キャンパスの場所」を考慮し以下の方法で抽出した。まず、偏差値について、「私立大 2023 年度入試難易予想一覧表」（令和 5 年 1 月 21 日付河合塾発表）において、本学部の学位の分野と類似する学位の分野を持つ本学人間科学部人間科学科（学位の分野「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」）の偏差値は 50.0、と予想されている。したがって、本学の近隣競合校としては、偏差値 45.0～55.0 と予想されている大学を抽出した。次に、キャンパスの場所について、本学部は東京都西東京市にある武蔵野キャンパスで学ぶことから、本学と同様に首都圏にキャンパスを有する大学を、近隣競合校候補として絞り込みを行った。そしてその中

から、教育の特徴が類似する大学を「近隣競合校」として3大学抽出した。また、本学の目指すところとなる偏差値 60.0 前後で、教育の特徴が類似する大学を「偏差値上位校」として2大学抽出した。

「近隣競合校」の過去3年間の入学志願状況等を見てみると、入学定員に対する志願者倍率は安定的に5～13倍程度となっており、「偏差値上位校」においても8～14倍程度となっている【資料27】。また、入学者数を公表している大学については、定員充足率が0.95～1.05であり、安定的に入学者を確保できている。

以上のことから、首都圏にキャンパスを有し、偏差値帯が近く、学位の分野が類似している本学部についても定員を充足できる見込みがあると考えられる。

E. 既設学部等の学生確保の状況

本学の既設学部等の過去5年間の入学志願状況等（志願者数、受験者数、合格者数、入学者数、定員充足率）は【資料28】のとおりである。

本学部は学位の分野が「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」であるが、学位の分野が「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」である本学人間科学部人間科学科の実志願者数（入学定員215人（平成30年度は235人））は、平成30年度に1,193人、令和元年度に1,783人、令和2年度に1,808人、令和3年度に1,716人、令和4年度に1,486人と、過去5年間の平均は1,597人である。実質倍率についても平成30年度に5.08倍、令和元年度に8.29倍、令和2年度に8.41倍、令和3年度に7.98倍、令和4年度に6.91倍と、過去5年間の平均は7.33倍である。また、入学定員充足率は平成30年度0.95倍、令和元年度0.99倍、令和2年度1.00倍、令和3年度1.06倍、そして令和4年度1.11倍と、過去5年間平均は1.02であり安定的に入学者を確保できている。

以上のとおり、過去5年間の本学の入学志願状況等を踏まえると、本学部と同じ学位の分野を持つ本学人間科学部人間科学科では、安定的に入学者を確保できていることから、本学部についても安定的に志願者数を確保できる見込みがあると考えられる。

F. その他、申請者において検討・分析した事項

本学部の社会的ニーズや進学ニーズを調査するために、本学への進学実績がある東京都の私立及び都立高校の162校の進路指導担当教員に対してアンケート調査を依頼し【資料29】、154人から回答を得ることができた。

回答集計結果【資料30】によると、本学部の養成する人材像を「評価する」または「やや評価する」と回答した教員が128人（83.1%）、本学部における学修について社会的ニーズが「ある」または「ややある」と回答した教員が117人（76.0%）、本学部への進学を「勧める」または「やや勧める」と回答した教員が105人（68.2%）、

受験生の進学ニーズが「ある」または「ややある」と回答した教員が 107 人 (69.5%) であった。この結果より、進路指導担当教員の視点からも社会的ニーズや高校生の進学ニーズは概ねあるといえる。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

本学では、令和 3 年 1 月に「学校法人武蔵野大学入試戦略策定委員会」を設置し、構成員は理事長を委員長とし、学長、経営企画担当常務理事、大学経営担当常務理事、中等経営担当常務理事及び事務局長とした。本委員会において、入学志願者募集に関する基本方針、入学者選抜に関する基本方針、その他関連する重要事項の調整を審議・決定している。また、「学校法人武蔵野大学入試戦略策定委員会」のもとに、「武蔵野大学入試検討委員会」を設け、各学部等の入試戦略の推進に関する施策、入学志願者募集及び入試広報に関する事項、並びに各学部等の入学者選抜に関する事項を審議し、学科等の協力を得て大学入試センター事務課が入学者選抜・入学志願者募集の事務、入試広報を行っている。

本学部の学生募集及び広報活動は、一般的な取り組みとして、大学WEBサイトでの告知、受験生向け大学パンフレット等の配布、各種受験情報誌やWEBサイト、SNSサイトへの学部情報・入試情報の掲載、説明会等を行う予定である。また、本学部独自の取り組みとして、高校生向けのオンラインイベントの実施、学科特設サイトの開設、プレスリリース発信等、より訴求力の高い募集広報を展開していく。

主たる広報物の受験生向け大学パンフレットには、学部・学科の概要やカリキュラムをはじめ、担当教員、進路先イメージ等を掲載し、入学後から卒業までの具体的なイメージが湧くように工夫する。

学内においては、例年 6 回 (令和 4 年度実績) のオープンキャンパス (対面及び Web 開催) を実施している。また、Web オープンキャンパスサイトでは、大学・入試説明や模擬授業の動画、学科紹介サイト等を掲載し、年間通じて大学の学びに触れる機会を提供する。

この他、本学教員による出張授業や教職員による高校訪問、進学相談会等も実施している。出張授業や進学相談会は、高校生の視野を広げ、学びへの動機づけや進路に対する意識を高める機会として活用している。新型コロナウイルスの流行により一時控えていたが、新しい生活様式での学校教育活動の継続の指針に則り、令和 4 年度からは、主に 1 都 3 県の高等学校を対象に積極的に実施している。

以上の取り組みにより、直近 5 年間の入試において、大学全体の実志願者数が 16,367~22,185 人、実質倍率が 6.65~9.01、定員充足率が 0.93~1.03 で推移しており、学生を安定的に確保している【資料 28】。今後は、資料請求者やオープンキャンパス参加者等の本学の接触者に対し、継続的なアプローチを図り出願への行動喚起を促進する施策を取り入れ、より効果的な学生募集を行う予定である。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

①人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学部では、ウェルビーイングという総合的概念についての社会学・心理学的知見や、新たに創造的なデザインを行うため問題発見・課題解決できる実践的な能力を身につけ、今後のあるべきウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組んでいく人材を養成することを目的とする。また、人文科学、自然科学、社会科学の分野からウェルビーイングに関連する項目を学際的に学ぶことによって、ウェルビーイングについての理解を多面的に深め、社会学・心理学的知見や、新たに創造的なデザインを行うための工学的・デザイン学的手法を学ぶことにより、ウェルビーイング社会の実現のために問題発見・課題解決できる実践的な能力を身につけることを教育研究上の目的とする。

②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

ア 各種統計調査

我が国の経済社会の構造を人々の満足度 (Well-being) の観点から多面的に把握し、政策運営に活かしていくことを目的に内閣府が行っている「満足度・生活の質に関する調査報告書 2022 (令和4年7月)」において、政策課題の検証等に直結する指標群と活用が紹介されている。各国政府の事例として、ドイツの Well-being 指標システムやアイルランドの Well-being フレームワークの開発等の指標群が紹介され、国内における事例として、岩手県の「いわて幸福関連指標」、東京都荒川区の「荒川区民総幸福度 (GAH)」、三重県の「15 の幸福実感指標」が紹介されている【資料 31】。また、富山県では、経済成長による物質的な幸せを実感することが難しい時代、収入や健康といった外形的な価値に囚われず、自分らしく生きられる、そんな「ウェルビーイング」の向上を目指し、次世代の価値を産む人が育ち集まる富山となるため、成長戦略「幸せ人口 1000 万 ウェルビーイング先進地域、富山を目指して」を掲げ、6つの柱『①真の幸せ (ウェルビーイング)、②まちづくり、③ブランディング (広報・観光・移住)、④新産業支援、⑤スタートアップ支援、⑥県庁オープン化』のもと、県内人口 100 万人の幸せではなく、富山で暮らす人、仕事する人、よく訪れる人、生まれ育った人など富山に愛着を持って関わるすべての人 1000 万人が幸せになる社会形成を目指し、今後スピード感を持って取り組むこととしている【資料 32】。

企業においては、HR 総研が企業の人事責任者・担当者を対象に令和4年9月～10月に実施した調査「「ウェルビーイングと健康経営」に関するアンケート」(有効回答 221 件)によると、ウェルビーイングの実施状況については、大企業 (1,001 名以上) では、「実施している」と回答した企業の割合は 40%ではあるものの、「実施に向けて検討中／準備中」まで含めると 78%となっており、今後、実施企業の拡大が期待される状況である。また、ウェルビーイングが経営戦略や経営方針に位置づけられているかについ

ては、「位置づけられている」と回答した企業の割合は 27%ではあるものの、「位置づける予定である」まで含めると 69%となっており、今後、ウェルビーイングの取り組みを開始する企業が増加することで、「位置づけられる予定」から「位置づけられている」にボリューム層が移行していくだろうと述べられている【資料 33】。

このような社会的、地域的な動向を踏まえると、今後、企業、自治体等において、ウェルビーイングを推進し、ウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組む人材の需要が高まっていくことが考えられる。

したがって、本学部の養成する人材である「ウェルビーイングという総合的概念についての社会学・心理学的知見や、新たに創造的なデザインを行うため問題発見・課題解決できる実践的な能力を身につけ、今後のあるべきウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組んでいく人材」については、社会的、地域的人材需要の動向等を踏まえたものであると考えられる。

イ 企業・関係機関等への採用意向調査

本学部を卒業した学生の進路は、主に企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体・企業・NPO 法人等の推進担当者、国内外の大学院、研究機関・シンクタンク職員等を想定している。そこで、令和 5 年 1 月～2 月に本学部の育成する人材が活用できると考えられる企業・関係機関等の新卒採用人事担当者向けにアンケートを実施した【資料 34】。ウェルビーイング・健康経営に積極的に取り組む企業や自治体、就職実績がある企業等を中心に 122 社にアンケートを依頼し、36 人から回答を得られた。回答結果によると、本学部の養成する人材像を「評価する」と回答した人事担当者が 36 人中 22 人（61.1%）であった。また、本学部で育成する人材を「採用したい」と回答した人事担当者が 36 人中 17 人（47.2%）であった【資料 35】。その他、「ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科で育成する人材は、特にどの地域で必要だ考えるか」との質問には、17 人中 3 人（17.6%）が「東京及び首都圏」、14 人（82.4%）が「地域は問わない」と回答している。

上記アンケート結果により、本学部の入学定員 80 人及び 2 年次編入学定員 10 人に対して、「採用したい」と回答した人事担当者が 17 人であったこと、「やや採用したい」と回答した人事担当者 19 人の採用意向がどの程度か不明瞭であったことから、本学部が育成する人材の採用意向を更に把握するために、令和 5 年 6 月～7 月に、本学部の育成する人材が活用できると考えられる企業・関係機関等（令和 5 年 1 月～2 月にアンケートを実施した企業等は除く）の新卒採用人事担当者向けに追加でアンケートを実施した。前回のアンケートでは人材像評価及び採用意向を確認する際の設問で「やや評価する」及び「やや採用したい」といった表現の選択項目があり、人材像評価及び採用意

向を明確に確認できるものではなかったため、今回のアンケートでは採用意向を明確に確認できるよう選択項目を修正したうえで調査を実施した【資料 36】。

ウェルビーイング・健康経営に積極的に取り組む企業や自治体、就職実績がある企業等を中心に 578 社にアンケートを依頼し、278 人から回答を得られた。回答結果によると、本学部の養成する人材像を「評価する」と回答した人事担当者が 271 人であった。また、本学部で育成する人材を「採用したい」と回答した人事担当者が 253 人であった【資料 37】。その他、「ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科で育成する人材は、特にどの地域で必要だと考えるか」との質問には、171 人が「地域は問わない」と回答している。

また、年間単位での本学部卒業生への人材需要を確認するため、令和 5 年 6 月～7 月の調査では、新たにアンケート項目に「本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で年単位で何人程度採用したいですか。」を追加した。「採用したい」と回答した 253 人のうち、「1 人」採用したいと回答した人事担当者が 145 人、「2 人」採用したいと回答した人事担当者が 47 人、「3 人」採用したいと回答した人事担当者が 26 人、「4 人」採用したいと回答した人事担当者が 3 人、「5 人以上」採用したいと回答した人事担当者が 32 人であった。「5 人以上」採用したいと回答した人事担当者については「5 人」採用すると試算した場合【表 9】、年間で合計 489 人の人材需要が見込まれる結果となった【資料 37】。

【表 9】年単位の採用希望人数

年単位の採用希望数	回答数	年単位の採用希望人数計	
1 人	145 人	$1 \times 145 =$	145 人
2 人	47 人	$2 \times 47 =$	94 人
3 人	26 人	$3 \times 26 =$	78 人
4 人	3 人	$4 \times 3 =$	12 人
5 人以上	32 人	$5 \times 32 =$	160 人
合計	253 人		489 人

以上の調査結果により、「採用したい」と回答した人事担当者が、令和 5 年 1 月～2 月に実施した調査では 17 人、令和 5 年 6 月～7 月に実施した調査では 253 人、合計 270 人となり、本学部の入学定員 80 人及び 2 年次編入学定員 10 人を上回る採用意向があると考えられる。

また、本学部で育成する人材が必要となる地域について、「地域は問わない」と回答した人事担当者が、令和 5 年 1 月～2 月に実施した調査では 17 人中 14 人、令和 5 年 6 月～7 月に実施した調査では 253 人中 171 人、合計 270 人中 185 人（68.5%）であり、「東京及び首都圏」と回答した人事担当者が、令和 5 年 1 月～2 月に実施した調査

では17人中3人、令和5年6月～7月に実施した調査では253人中69人、合計270人中72人（26.7%）であったことから、ウェルビーイングを推進する人材は地域を問わず必要とされているが、特に本学部のキャンパスがある東京及び首都圏でも必要とされていると考えられる。

ウ 現在又は将来における人材需給に関する調査・研究等

内閣府は、令和3年7月に「Well-beingに関する関係省庁連絡会議」を設置し、Well-beingに関する取組の推進に向けて情報共有・連携強化・優良事例の横展開をはかることとしている。令和4年10月に公表された「関係府省庁におけるWell-being関連の基本計画等のKPI、取組・予算（概要）」では、教育振興基本計画（文部科学省）、子供・若者育成支援推進大綱（内閣府）、住生活基本計画（国土交通省）、スポーツ基本計画（文部科学省）等において、Well-beingに関連するKPIがすでに策定されていることが示されている。また、Well-being関連の個別分野の事業・取組として、地域毎にWell-being指標を定期的に測定し、KPIを設けて恒常的な改善につなげることを目的としたデジタル庁の「Well-Being指標管理システム」、健康寿命を延伸するためのライフステージに応じた健康づくりの取り組みを総合的に推進する厚生労働省の「健康日本21」、従業員の健康保持・増進に向けた企業の取り組みである健康経営について実施状況を調査する経済産業省の「健康経営度調査」、妊娠・出産等のライフイベントと仕事の両立やヘルスリテラシーの向上等、個人のWell-being実現に向け、働く女性に対しフェムテックを活用したサポートサービスを提供する実証事業を実施する経済産業省の「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」が紹介されており、各事業の令和5年概算要求額は億円単位となっていることから【資料4】、今後も各関係府省庁のもと、ウェルビーイングに関する取り組みが推進され、企業・自治体等においてもウェルビーイングを推進していくことが求められると考える。

学術界においては、前述のとおり、慶應義塾大学ウェルビーイングリサーチセンター、神戸大学ウェルビーイング推進本部・先端研究センター、同志社大学Well-being研究センター、九州大学ウェルビーイング研究部門等において研究が進んでいる。具体的には、令和4年10月に神戸大学が、誰もが心豊かで幸せを実感できる社会を実現するため、各学部・研究科で行われるウェルビーイング関連研究を横断的に支援し連携を強化する「ウェルビーイング推進本部」と、健康・発達・環境の3領域において最先端の研究を行い、国内外に向けて情報発信する「ウェルビーイング先端研究センター」を設置し、人生100年時代のいずれのステージにおいても、疾病や障害の有無に関係なく、心豊かで幸せを実感できる社会の実現を目指している【資料38】。

これらの動向等を踏まえると、本学部の養成する人材像であるウェルビーイングに関連した様々なビジネスを新たに創出する人材、ウェルビーイング産業の創造に基づきそれぞれの地域の特徴を活かした地域活性化をリードする人材、ウェルビーイング

の研究者等については人材需給があると考えられる。

エ 外国人留学生に関する卒業後の進路を踏まえた人材需要

2008年に日本政府により「留学生 30 万人計画」が策定されたこともあり【資料 39】、本学においては、コロナ禍の令和 4 年度を除き、外国人留学生が増加傾向にある。本学の外国人留学生の過去 5 年間における志願者数の平均は 706 人、入学者数の平均は 179 人となっており【資料 19】、全入学者数のうち留学生を占める比率が 5 年間平均で 7.5% となっている。同時に外国人留学生の学部卒業生も増えており、令和元年度に 90 人、令和 2 年度に 95 人、令和 3 年度に 129 人が卒業し、うち令和元年度に 40 人 (44.4%)、令和 2 年度に 41 人 (43.2%)、令和 3 年度に 37 人 (28.7%) が就職又は起業している。進学は令和元年度に 12 人 (13.3%)、令和 2 年度に 9 人 (9.5%)、令和 3 年度に 25 人 (19.4%) であった。帰国を含む国外での就職・起業・進学は令和元年度 6 人 (6.7%)、令和 2 年度 8 人 (8.4%)、そして令和 3 年度は 5 人 (3.9%) であった【資料 40】。

外国人留学生に関する卒業後の想定される進路について、朝日新聞デジタル「藤田康人のウェルビーイング解体新書【6】」によると、アメリカの健康産業として注目されているウェルネス産業では、「ウェルネス領域の調査研究を進める米 NPO「GLOBAL WELLNESS INSTITUTE」の調査によると、その市場規模は令和 4 年時点で約 4.4 兆ドル、日本円で約 600 兆円」と言われている。さらに、「令和 2 年には、ウェルビーイング分野へのスタートアップに対する投資が 1 兆円を突破し、企業向け遠隔メンタルヘルスケア、瞑想アプリ、ビデオ診療など、投資を受けた企業は 350 社を超え、5 年前より 2 割以上増えており、アメリカのウェルビーイングビジネスは、すでに成長モードに入っているといえると」述べられていることから【資料 41】、今後、米国を中心に他国を含む海外のウェルビーイングビジネスが大きく展開され、ウェルビーイングに関連した様々なビジネスを新たに創出する人材が求められると考える。

また、ウェルビーイングを専門に学ぶ海外の進学先として、ポジティブ心理学創始者のマーティン・セリグマン氏が在籍するペンシルベニア大学（アメリカ）や、人の幸せを前提に考える新しい経済学が学べる大学院として、シューマッハ・カレッジ（イギリス）等も考えられる。

なお、国際連合が掲げる持続可能な開発目標 SDGs の 3 番目の項目である「GOOD HEALTH AND WELLBEING（すべての人に健康と福祉）」や 8 番目の項目である「DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH（働きがいも経済成長も）」においても、ウェルビーイングに関わる内容が世界的な目標として定められていることから、目標を達成するにあたって、本学部が育成するウェルビーイング社会の創造に主体的に取り組んでいく人材は、日本国内のみならず海外においても就職・進学の需要があり、外国人留学生の卒業後の進路も踏まえたものであると考えられる。

以上のことから、本学部において育成する人材は社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであるといえる。

以 上

学生の確保の見通し等を記載した書類

資料目次

資料 1	「新たな教育振興基本計画【概要】（令和 5 年度～9 年度）」・・・	p. 3
資料 2	「令和 3 年版 情報通信白書 第 1 部特集 デジタルで支える暮らしと経済」（総務省）・・・	p. 6
資料 3	令和 3 年 7 月 30 日第 1 回 Well-being に関する関係府省庁連絡会議 「資料 1 Well-being に関する関係府省庁連絡会議」・・・	p. 8
資料 4	「関係府省庁における Well-being 関連の基本計画等の K P I、取組・予算（概要）」（2022 年 10 月、内閣府）・・・	p. 9
資料 5	「次期教育振興基本計画（令和 5（2023）年度～令和 9（2027）年度） 諮問の概要」（文部科学省）・・・	p. 1 2
資料 6	G 7 富山・金沢教育大臣会合（文部科学省）・・・	p. 1 3
資料 7	永岡桂子文部科学大臣記者会見録（令和 4 年 9 月 16 日）（文部科学省）・・・	p. 1 6
資料 8	「ウェルビーイング」を冠した学部・学科・学位を持つ大学・・・	p. 2 1
資料 9	OECD Learning Compass 仮訳・・・	p. 2 2
資料 10	近隣競合校及び偏差値上位校の初年次納入金等・・・	p. 2 4
資料 11	武蔵野大学 令和 2 年度～4 年度 出身高校都道府県別新入生数・・・	p. 2 5
資料 12	武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート（高校生）・・・	p. 2 6
資料 13	高校生アンケートの結果・・・	p. 2 8
資料 14	武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート（高校生） （追加）・・・	p. 3 5
資料 15	高校生アンケートの結果（追加）・・・	p. 3 7
資料 16	武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート（日本語学校の生徒）・・・	p. 4 3
資料 17	日本語学校の生徒向けアンケートの結果・・・	p. 4 5
資料 18	「日本 Well-being 計画推進特命委員会 第六次提言」（令和 5 年 5 月 11 日）・・・	p. 5 0
資料 19	武蔵野大学 外国人留学生の志願者数等推移・・・	p. 5 5
資料 20	武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート（短期大学等の学生）・・・	p. 5 6
資料 21	武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート（本学別科（日本語教育課程）に在籍する学生）・・・	p. 5 8

資料 22	武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート（武蔵野女子大学短期大学部卒業生）・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 60
資料 23	編入学該当者へのアンケートの結果・・・・・・・・・・	p. 62
資料 24	同分野を有する近隣大学等の志願動向の調査・・・・・・・・	p. 68
資料 25	人口動態（令和4年度学校基本調査）・・・・・・・・・・	p. 69
資料 26	関係学科別大学入学状況（令和4年度学校基本調査）・・・・・・・・	p. 70
資料 27	近隣競合校及び偏差値上位校・・・・・・・・・・	p. 71
資料 28	武蔵野大学 既設学部等の学生確保の状況（平成30年度～令和4年度）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 72
資料 29	武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート（進路指導の先生方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 73
資料 30	高校 進路指導担当教員向けアンケートの結果・・・・・・・・	p. 75
資料 31	「満足度・生活の質に関する調査報告書 2022～我が国の Well-being の動向～」(内閣府)・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 77
資料 32	富山県成長戦略「幸せ人口1000万」(富山県)・・・・・・・・	p. 86
資料 33	「「ウェルビーイングと健康経営」に関するアンケート」(HR 総研)・・	p. 88
資料 34	武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート（企業等新卒採用責任者及びご担当者様へ）・・・・・・・・・・	p. 90
資料 35	企業等新卒採用担当者向けアンケートの結果・・・・・・・・	p. 92
資料 36	武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート（企業等新卒採用責任者及びご担当者様へ）(追加)・・・・・・・・	p. 94
資料 37	企業等新卒採用担当者向けアンケートの結果（追加）・・・・・・・・	p. 96
資料 38	神戸大学ウェルビーイング推進本部・ウェルビーイング先端研究センターの設置・・・・・・・・・・・・・・・・	p. 99
資料 39	「留学生30万人計画」骨子の概要（文部科学省）・・・・・・・・	p. 101
資料 40	武蔵野大学 外国人留学生の卒業後の進路・・・・・・・・	p. 102
資料 41	「藤田康人のウェルビーイング解体新書【6】」(朝日新聞デジタル)・	p. 103

令和 5 年 6 月 16 日閣議決定「新たな教育振興基本計画【概要】（令和 5 年度～9 年度）」

新たな教育振興基本計画【概要】（令和5年度～9年度）

我が国の教育をめぐる現状・課題・展望

教育の普遍的な使命：学制150年、教育基本法の理念・目的・目標（不易）の実現のための、社会や時代の変化への対応（流行）

▶ 教育振興基本計画は予測困難な時代における教育の方向性を示す羅針盤となるものであり、教育は社会を牽引する駆動力の中核を担う営み

【社会の現状や変化】

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大
- ・ロシアのウクライナ侵略による国際情勢の不安定化
- ・VUCAの時代（変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）
- ・少子化・人口減少や高齢化
- ・グローバル化・地球規模課題
- ・DXの進展、AI・ロボット・グリーン（脱炭素）
- ・共生社会・社会的包摂
- ・精神的豊かさの重視（ウェルビーイング）
- ・18歳成年・こども基本法等

第3期計画期間中の成果

- ・（初等中等教育）国際的に高い学力水準の維持、GIGAスクール構想、教職員定数改善
- ・（高等教育）教学マネジメントや質保証システムの確立、連携、統合のための体制整備
- ・（学校段階横断）教育費負担軽減による進学率向上、教育研究環境整備や耐震化等

第3期計画期間中の課題

- ・コロナ禍でのグローバルな交流や体験活動の停滞
- ・不登校・いじめ等重大事態等の増加
- ・学校の長時間勤務や教師不足
- ・地域の教育力の低下、家庭を取り巻く環境の変化
- ・高度専門人材の不足や労働生産性の低迷
- ・博士課程進学率の低下等

次期計画のコンセプト

2040年以降の社会を見据えた持続可能な社会の創り手の育成

- ・将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自ら社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていく
- ・社会課題の解決を、経済成長と結び付けてイノベーションにつなげる取組や、一人一人の生産性向上等による、活力ある社会の実現に向けて「人への投資」が必要
- ・Society5.0で活躍する、主体性、リーダーシップ、創造力、課題発見・解決力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

今後の教育政策に関する基本的な方針

①グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成

- ・主体的に社会の形成に参画、持続的社会的発展に寄与
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善、大規模教育の質保証
- ・探究・STEAM教育、文理横断・文理融合教育等を推進
- ・グローバル化の中で留学等国際交流や大学等国際化、外国語教育の充実、SDGsの実現に貢献するESD等を推進
- ・リカレント教育を通じた高度人材育成

②誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

- ・子供が抱える困難が多様化・複雑化する中で、個別最適・協働的学びの一体的充実やインクルーシブ教育システムの推進による多様な教育ニーズへの対応
- ・支援を必要とする子供の長所・強みに着目する視点の重視
- ・地域社会の国際化への対応、多様性、公平・公正、包摂性（DE&I）ある共生社会の実現に向けた教育を推進
- ・ICT等の活用による学び、交流機会、アクセシビリティの向上

人生100年時代に複線化する生涯にわたって学び続ける学習者

③地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- ・持続的な地域コミュニティの基盤形成に向けて、公民館等の社会教育施設の機能強化や社会教育人材の養成と活躍機会の拡充
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、家庭教育支援の充実による学校・家庭・地域の連携強化
- ・生涯学習を通じて自己実現、地域や社会への貢献等により、当事者として地域社会の担い手となる

④教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

GIGAスクール構想、情報活用能力の育成、校務DXを通じた働き方改革、教師のICT活用指導力の向上等、DX人材の育成等を推進	教育データの標準化、基盤的ツールの開発・活用、教育データの分析・利活用の推進	デジタルの活用と併せてリアル（対面）活動も不可欠、学習場面等に応じた最適な組合せ

⑤計画の実効性確保のための基盤整備・対話

NPO・企業等多様な担い手との連携・協働、安全・安心で質の高い教育研究環境等の整備、児童生徒等の安全確保

各関係団体・関係者（子供を含む）との対話を通じた計画の策定等

1

今後の教育政策の遂行に当たっての評価・投資等の在り方

教育政策の持続的改善のための評価・指標の在り方

- ・客観的な根拠を重視した教育政策のPDCAサイクルの推進
- ・調査結果（定量・定性調査）に基づく多様な関係者の対話を通じた政策・実践の改善
- ・データ等を分析し、企画立案等を行うことのできる行政職員の育成
- ・教育データ（ビッグデータ）の分析に基づいた政策の評価・改善の促進

教育投資の在り方

「人への投資」は成長の源泉であり、成長と分配の好循環を生み出すため、教育への効果的投資を図る必要。**未来への投資としての教育投資**を社会全体で確保。
公教育の再生は少子化対策と経済成長実現にとっても重要であり、取組を推進する。

- ① 教育費負担軽減の着実な実施及び更なる推進
- ・幼児教育・保育の無償化、高等学校等就学支援金による授業料支援、高等教育の修学支援新制度等による教育費負担軽減を着実に実施
 - ・高等教育の給付型奨学金等の多子世帯や理工農系の学生等の中間層への拡大 等
- ② 各教育段階における教育の質の向上に向けた環境整備
- ・GIGAスクール構想の推進、学校における働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実、教師の育成支援の一体的推進
 - ・国立大学法人運営費交付金・私学助成の適切な措置、成長分野への転換支援の基金創設
 - ・リカレント教育の環境整備、学校施設・大学キャンパスの教育研究環境向上と老朽化対策 等

OECD諸国など諸外国における公財政支出など教育投資の状況を参考とし、必要な予算について財源を措置し、真に必要な教育投資を確保

今後 5 年間の教育政策の目標と基本施策

教育政策の目標		基本施策（例）	指標（例）
1. 確かな学力の育成、幅広い知識・教養、専門的能力・職業実践力の育成	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実 ○新しい時代に求められる資質・能力を育む学習指導要領の実施 ○幼児教育の質の向上 ○高等学校教育改革 ○大学入学者選抜改革 ○学修者本位の教育の推進 ○文理横断・文理融合教育の推進 ○キャリア教育・職業教育の推進 ○学校段階間・学校と社会の接続の推進	○OECDのPISAにおける世界トップレベル水準の維持・到達 ・授業の内容がよく分かる、勉強は好きと思う児童生徒の割合 ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 ・高校生・大学生の授業外学習時間 ・PBL（課題解決型学習）を行う大学等の割合 ・職業実践力育成プログラム（BP）の認定課程数	
2. 豊かな心の育成	○道徳教育の推進 ○発達支持的生徒指導の推進 ○いじめ等への対応、人権教育 ○児童生徒の自殺対策の推進 ○体験・交流活動の充実 ○読書活動の充実 ○伝統や文化等に関する教育の推進 ○文化芸術による子供の豊かな心の推進	・自分にはよいところがあると思う児童生徒の割合 ・人が困っている時は進んで助けていると考える児童生徒の割合 ・自然体験活動に関する行事に参加した青少年の割合	
3. 健やかな体の育成、スポーツを通じた豊かな心身の育成	○学校保健、学校給食・食育の充実 ○生活習慣の確立、学校体育の充実・高度化 ○運動部活動改革の推進と身近な地域における子供のスポーツ環境の整備充実 ○アスリートの発掘・育成支援	・朝食を欠食する児童生徒の割合 ・1 週間の総運動時間が 6 0 分未満の児童生徒の割合 ・卒業後にもスポーツをしたいと思う児童生徒の割合	
4. グローバル社会における人材育成	○日本人学生・生徒の海外留学の推進 ○外国人留学生の受入れの推進 ○高等学校・高等専門学校・大学等の国際化 ○外国語教育の充実	・日本人学生派遣50万人、外国人留学生受入れ40万人（2033まで） ・英語力について、中・高卒業段階で一定水準を達成した割合	
5. インバベーションを担う人材育成	○探究・STEAM教育の充実 ○大学院教育改革 ○高等専門学校の高度化 ○理工系分野をはじめとした人材育成及び女性の活躍推進 ○起業家教育（アントレプレナーシップ教育）の推進 ○大学の共創拠点化	・修士入学者数に対する博士入学者数の割合 ・自然科学（理系）分野を専攻する学生の割合 ・大学等における起業家教育の受講者数	
6. 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成	○子供の意見表明 ○主権者教育の推進 ○消費者教育の推進 ○持続可能な開発のための教育（ESD）の推進 ○男女共同参画の推進 ○環境教育の推進 ○災害復興教育の推進	・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合 ・学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると答える児童生徒の割合	

教育政策の目標	基本施策（例）	指標（例）
7. 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂	○特別支援教育の推進 ○不登校児童生徒への支援の推進 ○ヤングケアラーの支援 ○子供の貧困対策 ○海外で学ぶ日本人・日本で学ぶ外国人等への教育の推進 ○特異な才能のある児童生徒に対する指導・支援 ○大学等における学生支援 ○夜間中学の設置・充実 ○高校定時制・通信制課程の質の確保・向上 ○高等専修学校の教育の推進 ○日本語教育の充実 ○障害者の生涯学習の推進	・個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成状況 ・学校内外で相談・指導等を受けていない不登校児童生徒数の割合 ・不登校特別校の設置数 ・夜間中学の設置数 ・日本語指導が必要な児童生徒で指導を受けている者の割合 ・在留外国人数に占める日本語教育機関等の日本語学習者割合
8. 生涯学び、活躍できる環境整備	○大学等と産業界の連携等によるリカレント教育の充実 ○働きながら学べる環境整備 ○リカレント教育のための経済支援・情報提供 ○現代的・社会的課題に対応した学習 ○女性活躍に向けたリカレント教育の推進 ○高齢者の生涯学習の推進 ○リカレント教育の成果の適切な評価・活用 ○生涯を通じた文化芸術活動の推進	・この1年くらいの間に生涯学習をしたことがある者の割合 ・この1年くらいの間の学修を通じて得た成果を仕事や就職の上で生かしている等と回答した者の割合 ・国民の鑑賞、鑑賞以外の文化芸術活動への参加割合
9. 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域の教育力の向上	○コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 ○家庭教育支援の充実 ○部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境の一体的な整備	・コミュニティ・スクールを導入している公立学校数 ・学校に対する保護者や地域の理解が深まったと認識する学校割合 ・コミュニティ・スクールや地域学校協働活動の住民等参画状況
10. 地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進	○社会教育施設の機能強化 ○社会教育人材の養成・活躍機会拡充 ○地域課題の解決に向けた関係施設・施策との連携	・知識・経験等を地域や社会での活動に生かしている者の割合 ・社会教育士の称号付与数 ・公民館等における社会教育主事有資格者数
11. 教育DXの推進・デジタル人材の育成	○1人1台端末の活用 ○児童生徒の情報活用能力の育成 ○教師の指導力向上 ○校務DXの推進 ○教育データの標準化 ○教育データ分析・利活用 ○デジタル人材育成の推進（高等教育） ○社会教育分野のデジタル活用推進	・児童生徒の情報活用能力（情報活用能力調査能力値） ・教師のICT活用指導力 ・ICT機器を活用した授業頻度 ・数理・データサイエンス・AI教育プログラム受講対象学生数
12. 指導体制・ICT環境の整備、教育研究基盤の強化	○学校における働き方改革、処遇改善、指導・運営体制の充実の一体的推進 ○教師の養成・採用・研修の一体的改革 ○ICT環境の充実 ○地方教育行政の充実 ○教育研究の質向上に向けた基盤の確立（高等教育段階）	・教師の在職等時間の短縮 ・特別免許状の授与件数 ・教員採用選考試験における優れた人材確保のための取組状況 ・児童生徒1人1台端末の整備状況 ・ICT支援員の配置人数 ・大学における外部資金獲得状況 ・大学間連携に取り組む大学数
13. 経済的状況、地理的条件によらない質の高い学びの確保	○教育費負担の軽減に向けた経済的支援 ○へき地や過疎地域等における学びの支援 ○災害時における学びの支援	・住民税非課税世帯等の子供の大学等進学率 ・経済的理由による高等学校・大学等の中途者数・割合 ・高等学校の学びの質向上のための遠隔教育における実施科目数
14. NPO・企業・地域団体等との連携・協働	○NPOとの連携 ○企業との連携 ○スポーツ・文化芸術団体との連携 ○医療・保健機関との連携 ○福祉機関との連携 ○警察・司法との連携 ○関係省庁との連携	・職場見学・職業体験・就業体験活動の実施の割合 ・都道府県等の教育行政に係る法務相談体制の整備状況
15. 安全・安心で質の高い教育研究環境の整備、児童生徒等の安全確保	○学校施設の整備 ○学校における教材等の充実 ○私立学校の教育研究基盤の整備 ○文教施設の官民連携 ○学校安全の推進	・公立小中学校や国立大学等の施設の老朽化対策実施率 ・私立学校施設の耐震化率 ・学校管理下における障害や重度の負傷を伴う事故等の件数
16. 各ステークホルダーとの対話を通じた計画策定・フォローアップ	○各ステークホルダー（子供含む）からの意見聴取・対話	・国・地方公共団体の教育振興基本計画策定における各ステークホルダー（子供含む）の意見の聴取・反映の状況の改善

第3章 「誰一人取り残さない」デジタル化の実現に向けて

コロナ以前から少子高齢化等の深刻な社会課題を抱える我が国において、生産性を向上させ、経済再生を図るにはデジタルを最大限に活用することが必要不可欠と言われてきた。コロナ禍によって社会課題の影響が深刻になる中、社会全体のデジタル化に向けた取組はますます重要となっている。

本章では、我が国が抱える社会課題を整理し、コロナ後に求められる社会像について展望する。コロナ禍を契機として急速に進展するデジタル化は、社会構造にどのような変化をもたらしつつあるか考察する。

そして、コロナ後の我が国において、デジタル化による社会課題の克服と経済再生に向けて必要となる取組について整理する。

1 コロナ後に求められる社会像

コロナ後に求められる社会像について、コロナ禍にある現在、我が国及び世界が直面する乗り越えるべき課題とともに、有識者に行ったヒアリングの結果を基に整理する。

1 我が国及び世界が乗り越えるべき社会課題

ア 新型コロナウイルス感染症への対応

目下、世界規模での最大の社会課題であり、感染症が収束するまでの間は、感染リスクを抑えながら国民生活や経済活動への影響を最小限に食い止めるか、そのために、デジタル技術を活用しながら、非接触・非対面での行動様式や社会全体としての行動変容の在り方などを確立させていくかが重要な課題となっている。

イ 我が国を含む世界的な課題

(ア) 持続可能な社会の構築

2015年に国際連合は持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）を採択し、持続可能な世界を実現するための17のゴールと169のターゲットを掲げた（図表3-1-1-1）。これまでの人間の活動から生じた様々な課題（貧困・飢餓、気候変動、差別、環境破壊等）を解決するために、将来的な持続可能性を考慮した開発の実施が世界的な課題となっている。

(イ) グリーン・カーボンニュートラル

(ア) とも重複するが、途上国も含めた経済発展により生じているCO2排出量の増大は地球温暖化の原因となり、地球規模での生態系の破壊等を招く一因になっていると言われている。そのた

図表 3-1-1-1 持続可能な開発目標（SDGs）



（出典）外務省ホームページ

め、再生可能エネルギーの活用など、温室効果ガスを削減するための様々な取組に注目が集まっている。

(ウ) 災害の激甚化

世界規模での気候変動は、干ばつや水害等の自然災害の激甚化の一要因と考えられており、各国で甚大な人的・物的被害をもたらしている。これらの災害による被害を最小化するための取組（観測、資源管理、情報伝達等）が求められている。

(エ) 情報過多、情報独占への対応

デジタル化の進展により距離等の制約を受けることなく、デジタル化された情報が瞬時にオンライン上で流通・共有され、容易に複製される環境が整っている。情報伝達コストの低減により利便性が上昇する反面、偽情報と呼ばれるフェイクニュースなども瞬時に流通することで社会的混乱を招くほか、情報操作や世論誘導、プライバシーの侵害への懸念もより深刻となっている。情報の真偽を見極めるリテラシーの向上のほか、適切な情報を抽出するマッチングやキュレーションといったサービスが求められている。

(オ) 嗜好の多様化

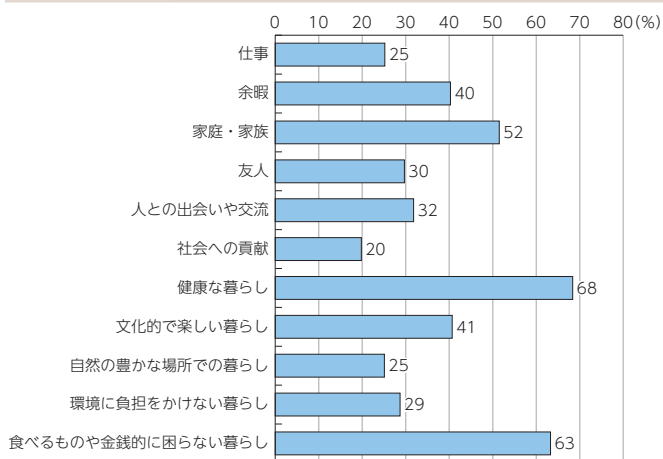
デジタル化の進展により、これまでは一定の規模がなければ成立しなかったミクロの取引の成立が可能となり、利用者の需要にきめ細かく応えることが可能な環境が整うこととなった^{*1}。このいわゆる「市場の細粒化」の進展に伴い、供給側もまた、利用者の嗜好の多様化への対応が必要となってくる。このことは、新たなビジネスチャンスをもたらす一方、行政分野などでは多様化する住民ニーズへの対応はコスト増にもつながり得ることから、最適なサービスのあり方を見直す必要も生じることが考えられる。

(カ) ウェルビーイング志向の高まり

新型コロナウイルスの流行によって、経済的な成功よりも生きがいや健康に楽しく生きることを優先させる「ウェルビーイング」への志向が個人に高まっていると言われる。その志向の高まりが日常生活や経済活動に変化をもたらし、ひいては社会構造の変革へとつながる可能性が考えられる。

なお、我が国の消費者に対して、今後の社会において重視する事項を尋ねたところ、「健康な暮らし」が「食べるものや金銭的に困らない暮らし」を僅かではあるが上回る結果となった（図表3-1-1-2）。

図表3-1-1-2 今後の社会において重視する事項（複数回答）



（出典）総務省（2021）「ウィズコロナにおけるデジタル活用の実態と利用者意識の変化に関する調査研究」

*1 「市場の細粒化」について、詳しくは、令和元年版情報通信白書を参照のこと。

Well-beingに関する関係府省庁連絡会議

1. 趣旨

GDPのような経済統計に加え、社会の豊かさや人々の生活の質、満足度等に注目していくことは極めて有意義である。経済財政運営と改革の基本方針2021（2021年6月閣議決定）において「政府の各種の基本計画等について、Well-beingに関するKPIを設定する」とされたこと等を踏まえ、関係府省庁が連携してWell-beingに関する取組を推進するため、Well-beingに関する関係府省庁連絡会議（以下「会議」という。）を設置する。

2. 検討事項

以下のような観点から、関係府省庁におけるWell-beingに関する取組について情報共有を行い、関係府省庁間の連携を強化するとともに、優良事例の横展開をはかる。

- ・各種基本計画等におけるWell-beingに関するKPIの設定
- ・Well-beingに関する統計・調査、研究・分析、実証事業の推進
- ・その他Well-beingに関する取組の推進

3. 会議の構成

会議の構成員は以下のとおりとし、必要に応じ追加することができるものとする。

内閣官房内閣参事官（成長戦略会議事務局）
内閣府大臣官房企画調整課長
内閣府政策統括官（経済社会システム担当）付参事官（総括担当）
消費者庁消費者政策課長
総務省政策統括官（統計制度担当）付統計企画管理官
外務省国際協力局地球規模課題総括課長
文部科学省大臣官房政策課長
厚生労働省政策統括官（総合政策担当）参事官
農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課長
経済産業省経済産業政策局経済社会政策室長
経済産業省商務・サービスグループヘルスケア産業課長
国土交通省総合政策局政策課長
環境省大臣官房総合政策課長

4. 事務局

内閣府政策統括官（経済社会システム担当）付参事官（総括担当）とする。

5. その他

会議は原則非公開とする。

その他会議の運営等に関し必要な事項は会議において定める。

6. 設置

令和3年7月30日

関係府省庁におけるWell-being関連の 基本計画等のK P I、取組・予算 (概要)

2021年7月に「Well-beingに関する関係府省庁連絡会議」を設置し、Well-beingに関する取組の推進に向けて、情報共有・連携強化・優良事例の横展開をはかることとした。

本資料及び別添 1、別添 2 は、連絡会議に参画する関係府省庁のWell-being関連の基本計画等のK P I、取組・予算について、暫定的に取りまとめるものである。

2022年10月

内閣府 政策統括官（経済社会システム担当）参事官（総括担当）

1. 基本計画等のWell-beingに関するK P I

＜基本計画等のWell-beingに関するK P I の例＞

基本計画名	策定期期	Well-beingに関連するKPI
教育振興基本計画 (文部科学省)	2018. 6	・ 自分には良いところがあると思う児童生徒の割合 ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う児童生徒の割合 ・ 進路について将来の仕事に関することを意識する高校生の割合
子供・若者育成支援 推進大綱（内閣府）	2021. 4	・ 自己肯定感 ・ 今の充実感 ・ 将来への希望 ・ チャレンジ精神 等
住生活基本計画 (国土交通省)	2021. 3	・ 火災・地震・水害などに対する安全への満足率 ・ 近隣の人やコミュニティとの関わりに対する満足率 ・ 新築住宅の建築・購入と既存住宅購入の住宅・居住環境に対する満足率

＜新たに策定された基本計画等のK P I の例＞

基本計画名	策定期期	Well-beingに関連するKPI
スポーツ基本計画 (文部科学省)	2022. 3	【主観的指標】 卒業後にも運動やスポーツをしたいと「思う」「やや思う」児童の割合 等 【客観的指標】 スポーツ実施率、運動習慣者の割合の増加 等

2-1 Well-being関連の統計・調査の例

(1) 調査規模の大きな調査の例

調査名	調査人数	R5概算要求額	Well-beingに関する質問項目の例
全国学力・学習状況調査	約200万人 (全国の小6、中3)	40.0億円 (R4:36.7億円)	挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
全国体力・運動能力、運動習慣等調査	約200万人 (全国の小5、中2)	2.3億円 (R4:2.3億円)	運動・スポーツや体育授業の大切さ、嗜好性、充実感、積極性等
国民生活基礎調査	約70万人	— (R4:7.2億円)	健康上の問題の日常生活への影響 現在の健康状態の自己認識

(2) R4年度に実施(予定)の調査の例

調査名	R5概算要求額	Well-beingに関する質問項目の例
人々のつながりに関する基礎調査 (孤独・孤立の実態把握に関する全国調査)	0.4億円 (R4:0.4億円)	孤独感(人とのつきあいが無い・取り残されている・孤立していると感じるか、孤独であると感じる頻度等)
こども・若者の意識と生活に関する調査(子供・若者総合調査)	— (R4:0.7億円)	自己肯定感、居場所に関する認識等
高齢者の健康に関する調査 (高齢者対策総合調査)	0.1億円 (R4:0.1億円)	高齢者の健康、日常生活における生活満足度、生きがい等
青少年の体験活動等に関する意識調査	84.6億円の内数 (R4:84.1億円の内数)	自己肯定感、道徳観、正義感等

2

2-2 Well-being関連の個別分野の事業・取組

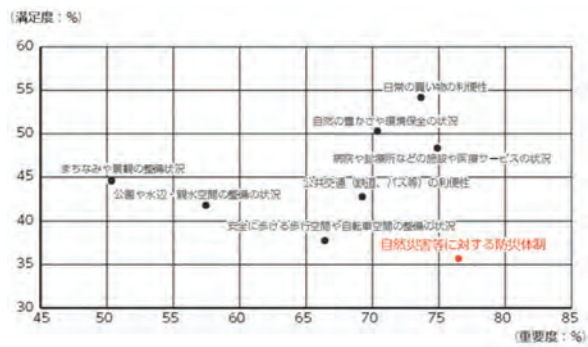
事業名	R5概算要求額	事業・取組の内容
デジタル庁 「Well-Being指標管理システム」	2.6億円	- 地域毎にWell-Being指標を定期的に測定し、KPIを設けて恒常的な改善につなげるため、客観指標と主観指標を整理した上で、基本的なデータや計測ツールについて提供。 「デジタル田園都市国家構想推進交付金」により、採択27自治体のWell-Being指標活用を支援。
厚生労働省 「健康日本21」	16.0億円 (R4:16.0億円)	- 健康寿命を延伸するため、適正な栄養・食生活、適切な運動、禁煙等の具体的な目標を掲げ、ライフステージに応じた健康づくりの取組を総合的に推進。 - 具体的には、民間企業や関係団体等と協力・連携をしながら、取組を推進する「スマート・ライフ・プロジェクト」等を展開。
経済産業省 「健康経営度調査」	9.5億円の内数 (R4:7.5億円の内数)	- 従業員の健康保持・増進に向けた企業の取組である「健康経営」について実施状況を調査。 - 調査結果を活用した「健康経営優良法人認定制度」の運用を通じて、優良な健康経営に取り組む法人を「見える化」し、社会的な評価を受けることができる環境を整備。
経済産業省 「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」	7.9億円の内数 (R4:6.5億円の内数)	- 妊娠・出産等のライフイベントと仕事の両立やヘルスリテラシーの向上等、個人のWell-Being実現に向け、働く女性に対しフェムテックを活用したサポートサービスを提供する実証事業を実施。 - 事業実施の前後で主観的Well-beingの変化を測り、効果検証。

3

2-3 Well-being関連の分析例（白書等）

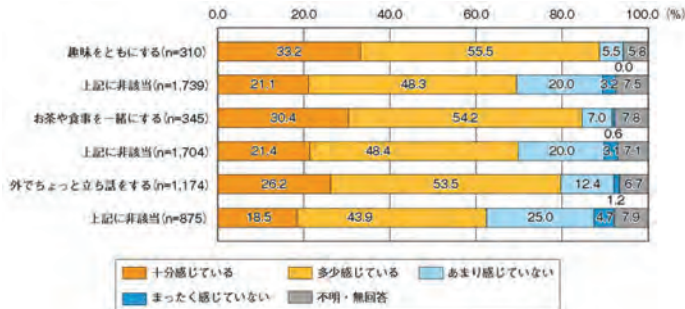
令和4年版国土交通白書

お住まいの地域の生活環境の重要度と満足度の分布



令和4年版 高齢社会白書

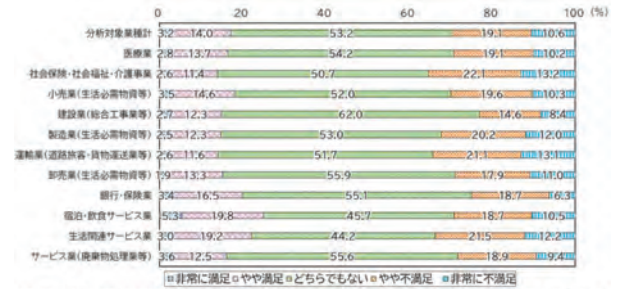
65歳以上の人の生きがいを感じる程度について
(近所の人との付き合い方別)



※ 四捨五入の関係で回答した人の割合の合計が100.0%とならない場合がある。

令和3年版労働経済白書

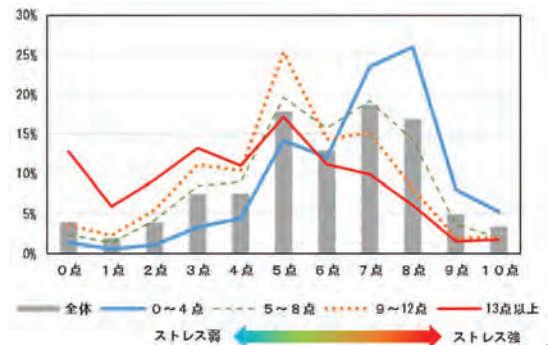
新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の平時の賃金の満足度



資料出所 (独) 労働政策研究・研修機構「新型コロナウイルス感染症の感染拡大下における労働者の働き方に関する調査（労働者調査）」(2021年) をもとに厚生労働省政策統括官付政策統括室にて独自集計
(注) 「あなたの仕事に対する給与（時間外手当を含む）及び賞与への満足度はどの程度でしたか」と尋ねたもの。

令和4年版 満足度・生活の質に関する調査

K6（心の健康状態）と生活満足度の分布



次期教育振興基本計画（令和5(2023)年度～令和9(2027)年度） 諮問の概要

○教育基本法（平成18年法律第120号）第17条第1項（教育振興基本計画）

政府は、教育の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、教育の振興に関する施策についての基本的な方針及び講ずべき施策その他必要な事項について、基本的な計画を定め、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

社会の変化（2040年以降の社会）

- ・人口減少や高齢化、デジタルトランスフォーメーション、グローバル化や多極化、地球環境問題など
- ・変動性、不確実性、複雑性、曖昧性の時代であり、先行き不透明で将来の予測が困難な未来

望む未来を私たち自身で示し、作り上げていくことが求められる時代

超スマート社会（Society 5.0）

一人一人の人間が中心となる社会
労働市場の構造や職業そのものの抜本的な変化

ウェルビーイング

一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の
幸せでもあるウェルビーイング（Well-being）

- ・「変革を起こすコンピテンシー」、新たな価値を創造していく力
- ・幼児教育・義務教育の基礎の上に、高等学校、さらには大学、高等専門学校、専門学校、大学院までが、より一層の連続性・一貫性の中で有機的につながりを持つとともに、これらが産業界や国際社会も含めた幅広い社会のニーズに応えるものとなること
- ・絶えず変化する予測困難な社会における人材移動を支える社会人の学び直し（リカレント教育）
- ・全ての人がお互いを尊重し、誰もが生き生きとした人生を享受することのできる共生社会を目指し、その実現に向けた社会的包摂を推進

- 「令和の日本型学校教育」答申：「個別最適な学び」と「協働的な学び」
 - ・一人一台環境の実現や公立小学校における35人学級の計画的整備など教職員定数の改善 等
- 「グランドデザイン」答申
 - ・「学修者本位」を前提とした制度改正の提言 等

- 新型コロナウイルス感染症を契機として
 - ・デジタルがもたらす学びにおける可能性の提示、学びの在り方の変容
 - ・学校の持つ福祉的機能や教師の存在意義、リアルな体験の持つ価値の再認識

○超スマート社会（Society 5.0）に対応し、幼児教育・義務教育から高等学校、大学、高等専門学校、専門学校、大学院まで全体が連続性・一貫性を持ち、社会のニーズに応えるものとなるよう、教育や学習の在り方も大きく変容が求められる状況。「デジタル」と「リアル」の最適な組合せの観点から、コロナ後の教育や学習の在り方について検討することが必要。

○共生社会を実現していく上で、学習者の背景や特性・意欲の多様性を前提として、学習者視点に立ち、誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学ぶことができ、誰一人取り残されず、一人一人の可能性が最大限に引き出され、一人一人の多様な幸せであるとともに社会全体の幸せでもあるウェルビーイングが実現されるように制度等の在り方を考えていく必要。

諮問事項

- ① 改正教育基本法の基本理念、現行計画の成果と課題、国内状況の変化、国際環境の変化等を踏まえた今後の教育政策に関する基本的な方針について。特に、オンライン教育を活用する観点など「デジタル」と「リアル」の最適な組合せ、及び、幼児教育・義務教育の基礎の上に、高等学校、大学、高等専門学校、専門学校、大学院まで全体が連続性・一貫性を持ち、社会のニーズに応えるものとなる教育や学習の在り方について
- ② 上記の基本的な方針を踏まえた、生涯を通じたあらゆる教育段階における、今後5年間の教育政策の目指すべき方向性と主な施策について
- ③ 学校内外において、生涯を通じて学び成長し、主体的に社会の形成に参画する中で、共生社会の実現を目指した学習を充実するための環境づくりについて
- ④ 第3期教育振興基本計画及びその点検結果を踏まえつつ、多様な教育データをより有効な政策の評価・改善に活用するための方策について

G7富山・金沢教育大臣会合 G7 Education Ministers' Meeting in Toyama and Kanazawa

2023年5月に開催されるG7広島サミット(主要国首脳会議)関係関係会合として、G7富山・金沢教育大臣会合を開催します。

開催まであと68日



富山県(上): 左から「雪の大谷」、「雨晴海岸から望む立山連峰」、「ガラス美術館」
石川県(下): 左から「満開の桜と金沢城」、「ひがし茶屋街と加賀友禅」、「金沢駅もてなしドームと鼓門」

開催概要

- 開催日程 : 令和5年5月12日(金曜日)～15日(月曜日)(5月12日(金)及び13日(土)は富山市、5月14日(日)及び15日(月)は金沢市で開催)
- 開催地 : 富山県富山市、石川県金沢市
- 参加国・機関 : 日本、イタリア、カナダ、フランス、米国、英国、ドイツ、(議長国順)及び欧州連合(EU)
経済協力開発機構(OECD)、国際連合教育科学文化機関(UNESCO)

リンク

- [G7広島サミット\(※首相官邸サイトへリンク\)](#)
- [富山県G7教育大臣会合サイト\(※富山県サイトへリンク\)](#)
- [石川県G7教育大臣会合サイト\(※石川県サイトへリンク\)](#)



G7富山・金沢教育大臣会合概要

G7サミット（主要国首脳会議）とは

G7サミット（主要国首脳会議）とは、フランス、米国、英国、ドイツ、日本、イタリア、カナダ（議長国順）の7か国並びに欧州連合(EU)が参加して、毎年開催される国際会議です。

G7サミットでは、自由、民主主義、人権などの基本的価値を共有するG7首脳が一つのテーブルを囲みながら、世界経済、地域情勢、様々な地球規模課題について、率直な意見交換を行います。

G7サミットの日本での開催は2023年が7回目で、今回は広島サミットが開催されます。

関連リンク

- [G7広島サミット公式HP（外務省）](#)
- [G7広島サミット県民会議（広島県）](#)
- [G7富山・金沢教育大臣会合（文部科学省HP）](#)
- [G7富山・金沢教育大臣会合（石川県HP）](#)

G7富山・金沢教育大臣会合とは

広島サミット（5月19日～21日）に合わせて、関係閣僚会合が各地で開催されます。

本県と石川県では、5月12日～15日に教育大臣会合が開催されます。国内で開催した閣僚会合で、複数自治体による共催は初めてとなります。



↑ 2016年に富山県で開催された、G7環境大臣会合の様子

関係閣僚会合一覧

会合名	開催地	日程
気候・エネルギー・環境大臣会合	北海道札幌市	4月15日（土曜日）～16日（日曜日）
外務大臣会合	長野県軽井沢町	4月16日（日曜日）～18日（火曜日）
労働雇用大臣会合	岡山県倉敷市	4月22日（土曜日）～23日（日曜日）
農業大臣会合	宮崎県宮崎市	4月22日（土曜日）～23日（日曜日）
デジタル・技術大臣会合	群馬県高崎市	4月29日（日曜日）～30日（月曜日）
財務大臣・中央銀行総裁会議	新潟県新潟市	5月11日（木曜日）～13日（土曜日）
科学技術大臣会合	宮城県仙台市	5月12日（金曜日）～14日（日曜日）
教育大臣会合	富山県富山市・石川県金沢市	5月12日（金曜日）～15日（月曜日）
保健大臣会合	長崎県長崎市	5月13日（土曜日）～14日（日曜日）
交通大臣会合	三重県志摩市	6月16日（金曜日）～18日（日曜日）
男女共同参画・女性活躍担当大臣会合	栃木県日光市	6月24日（土曜日）～25日（日曜日）
都市大臣会合	香川県高松市	7月7日（金曜日）～9日（日曜日）
貿易大臣会合	大阪府堺市	10月28日（土曜日）～29日（日曜日）
内務・安全担当大臣会合	茨城県水戸市	12月8日（金曜日）～10日（日曜日）

お問い合わせ

所属課室：経営管理部行政経営室G7教育大臣会合推進班
〒930-8501 富山市新総曲輪1-7 県庁本館2階
電話番号：076-444-3586
ファックス番号：076-444-8694

富山県庁 法人番号 7000020160008

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

電話番号: (代表)076-431-4111

Copyright © Toyama Prefecture All rights reserved.

● 永岡桂子文部科学大臣記者会見録（令和4年9月16日）

令和4年9月16日（金曜日）

永岡桂子文部科学大臣記者会見映像版

令和4年9月16日（金曜日）に行われた、永岡桂子文部科学大臣の記者会見の映像です。



[令和4年9月16日永岡桂子文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）](#)

永岡桂子文部科学大臣記者会見テキスト版

大臣）

おはようございます。それでは、冒頭、私から2件、お話をさせていただきます。

1点目は、**G7教育大臣会合の開催地の決定**についてでございます。本日の閣議で、来年5月19日から21日に広島で開催されるG7サミットの関係閣僚会合の開催地につきまして官房長官からご発言がありました。当省関係では、**教育大臣会合について、富山県と、そして石川県の共同で開催されることになりました。**なお、具体的な開催日程等につきましては、今後、富山県、石川県ともご相談の上、決定していくこととなります。教育は、国際社会におきまして、常に重要なテーマでございます。私も、先日開催されましたG20の教育大臣会合にビデオメッセージを送る形で参加をいたしました。当該会合におきましても、誰もが享受できる質の高い教育、教育におけるデジタル技術の活用等、まさに世界各国が直面する課題につい

て知見を共有したところでございます。日本では、開催する教育大臣会合は、倉敷教育大臣会合に続きまして3回目となります。富山県、石川県とも連携をいたしまして、来年G7教育大臣会合での成果を我が国の今後の教育政策に生かせるよう、しっかりと準備に取り組んでまいりたいと考えております。

2件目でございます。一昨日、14日になりますが、できるだけ早く訪問をしたいと希望しておりました福島県に出張してまいりました。最初に訪問した「なみえ創成小学校・中学校」は、平成28年度末の一部地域の避難指示解除を受けまして、平成30年に新たに開校した学校でございます。今回、様々な授業などを拝見いたしました。特に、「ふるさと創造学」の研究発表では、地域の課題を解決しようと探究学習に取り組む子供たちの姿に触れることができました。ふるさとの未来を自分たちで一生懸命切りひらこうというその力強さというのを味わった感じでした。また、ICTを活用いたしまして、いわき市に避難中の双葉町立双葉中学校と遠隔で交流事業を行うなど、様々な工夫がなされていることも非常に感銘を受けました。次に、伊澤双葉町長と吉田大熊町長を訪問させていただきまして、お話を伺いました。伊澤双葉町長からは、8月の特定復興再生の拠点区域の避難指示の解除を受けまして、これから学校再開に向けた検討の予定などのお話を伺いましたし、また、吉田大熊町長からは、来年4月の開校に向けまして建設中でございます、認定こども園と義務教育学校とが一体となった施設、「学び舎ゆめの森」の概要などのお話を伺いました。さらに、両町長からは、集団訴訟の裁判の確定を踏まえました中間指針の見直しのご要望もいただきました。最後に訪問いたしました、富岡町のJAEA廃炉環境国際共同研究センターでは、廃炉に向けた研究や人材育成の状況を伺いまして、若手研究者や海外からの研究者の方を激励をさせていただきました。この出張で、震災から11年が経ち、復興に向けた歩みが着実に進んでいることを実感したわけでございます。学校の児童生徒の教育環境の充実ですとか、また、東電の福島原発事故の被災者の皆様方に対する迅速・公平・適切な賠償、そして東電福島第一原発の廃炉の現場を支える長期的な取組への支援を、引き続きまして、着実に進めてまいりたいと考えております。今後も、文部科学大臣といたしまして、「東北の復興なくして日本の再生なし」と、その強い思いから、被災地の皆様に寄り添い、そして福島復興・再生に向けて全力で取り組んでまいる所存でございます。私からは、以上でございます。

記者）

1問お伺いします。一昨日、千葉県内の中学生が、起立性調節障害で登校できない児童生徒への教育機会確保のための支援が必要だとして、提言を文科省に提出しました。提言では実態調査の実施などについて求めています。こういった調査や教育機会確保に向けた支援を行うお考えはありますか。大臣の考えをお聞かせください。

大臣）

生徒自身で社会的な課題を発見をして、試行錯誤しながら課題解決方法の、その策をですね、検討し、一つの提言書という形でまとめるといった活動は大変素晴らしい取組だと思います。ご指摘の起立性調節障害につきましては、思春期に発症しやすい、自律神経機能不全の一つで、立ちくらみや倦怠感、動悸、また頭痛などの症状を伴い、朝起きるのが辛くなることも多い疾病でございます。このため、不登校になって、そういう場合もあるということは承知をしているところでございます。文部科学省といたしましては、各学校におきまして、起立性調節障害について、教職員が理解を深め、そして児童生徒に対しまして健康相談や保健指導を行うなど、しっかり対応できるよう、事例を紹介した指導手引きを作成するとともに、指導主事を集めました会議などにおきまして周知を図ってきたところでございます。また、不登校となってしまう児童生徒に対しては、教育相談体制の充実とともに、ICT等も活用した多様な教育機会の確保が図られるように努めているところでございます。引き続きまして、起立性

調節障害を含めた健康課題を抱える児童生徒に対し、各学校におきましてきめ細やかな対応が行われるように取り組んでまいり所存でございます。以上です。

記者）

私、こども基本法と学校教育の件で伺いたいと思います。現在、中教審で、学校教育の方針を示す次の教育振興基本計画が検討されていますけれども、8月下旬の前回会合で示された骨子案の中では、こども基本法ですとかこどもの権利に関する表記というのは見当たりませんでした。昨日、民間団体の方が大臣に要望されているところでもあるんですけれども、こうしたこども基本法と教育基本振興基本計画の在り方をどうお考えなのか。また、この問題ってというのは、どうしても文部科学省とこども家庭庁の2つの役所にまたがる場所なので、どうしても行政の縦割りに陥りやすいという一面があるかと思うんですけども、そうしたこども基本法ですとかこどもの権利に関する考え方を学校現場に浸透させていく方法について、何かしらお考えがありましたら教えてください。

大臣）

いろいろ、今お話しいただきましたが、これは児童の権利に関する条約ということでございます。これは、やはり学校の運用の見直しなどの場面におきまして、児童生徒の意見を聞くなどということは、やはり児童生徒の主体性を養うということにもつながりまして、大変教育的な意義を有するものと考えております。他方、ご指摘の児童の権利に関する条約に関しましては、平成6年度の通知は、年齢や成熟の度合いによりまして、児童生徒の意見が相応に考慮されるべき旨を示しているものでございます。これは、こども基本法の考えと軌を一にするものと考えていることから、やはり現時点におきましては、こども基本法の成立を契機に、通知を廃止することは考えておりませんが、しかしながら、文部科学省といたしましては、こども基本法の周知につきまして、内閣官房の取組も協力するとともに、教育的意義の観点からですね、児童生徒の主体性を育む取組を進めてまいりたいと考えているところでございます。

記者）

すみません、最初に伺った教育振興基本計画のところはいかがでございましょうか。

大臣）

次期の教育振興基本計画につきましてでございますが、現在、中央教育審議会教育振興基本計画部会におきましてご議論をいただいているところでございます。議論の中では、こども基本法を踏まえまして、子供の基本的人権の保障やこどもの権利利益の擁護の観点の重要性についても、委員から指摘をされているところでございます。こうした意見も踏まえつつですね、引き続きまして、審議を行っていただきたいと考えているところでございます。

記者）

新型コロナワクチン接種の関係でお尋ねしたいんですけども、オミクロン株対応の新しいワクチンが承認されて、高齢者等から順次始まっていくと思うんですが、大学を拠点とした接種については、このオミクロン株対応ワクチンはどんなふうに対応されるのかお聞かせください。

大臣）

大学の拠点接種は、職域接種の枠組みを活用いたしまして、大学等を中核といたしまして、まず自分の大学の教職員、そして学生、のみならずですね、近隣の教育関係者、また学生などへのワクチン接種を行うものでございます。これまで、1・2回、2回目の、いわゆる初回

接種と3回目接種を合わせまして、延べ195万人分の接種を進めてきたところでございます。オミクロン株対応のワクチンの職域接種につきましては、14日に、官房長官から「これまでと同様に実施をする方向で調整をしている」という旨の発言がございました。文部科学省といたしましても、政府全体の方針を踏まえまして、大学の声も聞きながら、希望する大学等において拠点接種が実施をされ、そして、ワクチン接種を望む学生などの皆様方に、機会を提供できるように支援をしてまいりたいと考えております。以上です。

記者）

一応、確認なんですけれど、そうすると希望する大学では、大学の拠点接種を同様にできるように調整されているということでしょうか。

大臣）

はい。そういうことでございます。

記者）

G7サミットについてお伺いします。今回、富山県、石川県共同開催となるということですが、2県を評価された点と、これまでに過去に例がない共同開催とされる理由、目的を教えてください。

大臣）

開催地の選定に当たりましては、誘致に名乗りを上げてこられた地方公共団体の中から、会場、宿舎、警備等の様々な観点から検討を進めまして、政府として、富山県と、そして石川県に決定されたものと承知をしております。今、お話のように、これまで日本で開催いたしましたG7の関係閣僚会合では、複数の自治体によります共催実績はございません。今回が初めての試みと承知をしているところでございます。両県は、両方とも地理的に隣接をしておりますし、また、教育熱心な土地柄を生かしまして、インクルーシブ教育、ICT教育、そしてSTEAM教育、ウェルビーイング教育など、本当にポストコロナ教育を意識しました招致提案をされていたと承知をしているところでございます。両県の関心事ですね、こういうものを、しっかり、問題意識は、相互に、やはり親和性、そして補完性の高いものでございまして、両県のこれまでの取組、そして知見が、今回の教育大臣会合を一層有意義なものとしていただけると、私は大いに期待をしているところでございます。そうですね、開催予定日時ですね、そういうことは、今後の、両県とですね、両県の関係者の方々と十分に相談の上、決めていきたいというふうに考えているところでございます。

記者）

ありがとうございます。現状想定でもよろしいんですが、教育と言っても幅広い分野あると思うんですけれども、議論の想定されるテーマ、考えがありましたらお願いいたします。

大臣）

具体的なテーマにつきましては、今後、両県とも相談しまして決めていくこととなりますが、やはり、コロナ禍が社会にもたらした影響ですとか変化ですね、教育がどのように対応し、そして、ポストコロナの社会で求められる人材を育てていくのかということが、一応、大きな柱になるのではないかと考えているところでございます。

記者）

生徒指導提要に関連して質問させていただきます。先ほどの質問と被ってしまうんですけど、安全な生徒指導を考える会の方々が、大臣に不適切指導に関する要望書を出されたかと思います。様々な要望事項がありますが、この受け止めをお聞かせください。また、新たな生徒指導提要には不適切指導の項目が入りますが、こうした項目を盛り込む狙いと、学校現場での浸透に向けてどのように取り組まれるのかお聞きします。

大臣）

昨日、こども基本法の成立を求めるPTの方、そして、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの方、また、安全な生徒指導を考える会の方のご訪問をいただきまして、こども基本法の精神の教育行政での実現などについて要望いただいたところでございます。具体的には、現在改訂中の生徒指導提要を受けまして、生徒指導上の不適切指導への対応を進めることや、こども基本法の精神・規定を受けました教育委員会や学校への周知等などについて要望をいただいたわけでございます。私の方からは、不適切な指導に係ります内容を生徒指導提要の改訂案に明記をしております。今後、その周知徹底を図っていくこと、そして、こども基本法の周知につきましては、こども家庭庁の準備室とも連携をしつつ、積極的に対応していくことを申し上げました。私といたしましても、生徒、児童の主体性を育むことは極めて重要だと考えておりますので、こども基本法の周知については、しっかりと取り組んでまいるという所存でございます。また、教職員によります不適切な指導等が不登校や自殺のきっかけになる場合もあることから、体罰や不適切な言動等は、学校生活全体で、いかなる児童生徒に対しても決して許されないことだと考えております。私といたしましても、不適切な指導等による児童生徒の自殺をゼロにしないとの決意を、昨日の要望でも申し上げた次第でございます。ご指摘の生徒指導提要の改訂案におきましては、児童生徒に対しまして懲戒を行う際には、本人や関係者の言い分をしっかりと聞き、また、事実関係の確認を含めて適正な手続を経ること、そして、指導を行った後には、やはり、子供1人、生徒1人を残さずに、心身の状況をですね、しっかりと観察をするなど、指導後のフォローが重要であることなどを明記をいたしました上で、さらに、不適切な指導と捉えられる例をですね、具体的に記載をいたしました。今後、生徒指導提要の改訂内容をしっかりと現場に周知をされ、活用いただくことが重要と考えているところでございまして、生徒指導担当者向けの研修会等にですね、様々な機会を通じまして、学校現場への浸透を図って参りたいと考えているところでございます。以上です。

（了）

[▶ ページの先頭に戻る](#)

お問合せ先

大臣官房総務課広報室

（大臣官房総務課広報室）

「ウェルビーイング」を冠した学部・学科・学位を持つ大学

学部名	学科名	学位の名称
West Virginia University(米)	College of Applied Human Sciences	Bachelor of Arts in <u>Health and Well-being</u>
		Bachelor of Science in <u>Health and Well-being</u>
University of Minnesota(米)	College of Continuing & Professional Studies	Bachelor of Science in <u>Health and Wellbeing Sciences</u>
University of Winchester(英)	Faculty of <u>Health and Wellbeing</u>	Bachelor of Arts (Hons) in <u>Health and Well-being</u>
Cardiff Metropolitan University(英)	School of Sport and Health Sciences	Bachelor of Science (Hons) in <u>Health and Wellbeing</u>
Edge Hill University(英)	Faculty of Health, Social Care and Medicine	Bachelor of Arts (Hons) in <u>Health & Social Wellbeing</u>
University of Bradford(英)	Study of Social Care and Community	Bachelor of Science (Hons) in <u>Public Health and Community Wellbeing</u>
Wrexham Glyndwr University(英)	Faculty of Social & Life Sciences	Bachelor of Science (Hons) in <u>Mental Health & Wellbeing</u>
Canterbury Christ Church University(英)	Faculty of Medicine, Health and Social Care	Bachelor of Science (Hons) in <u>Mental Health, Wellbeing & Society</u>
University of South Wales(英)	Faculty of Life Sciences and Education	Bachelor of Science (Hons) in <u>Community Health & Wellbeing</u>
The Glasgow School of Art(英)	Innovation School	Bachelor of Design (Hons) for <u>Health and Wellbeing</u>
Hong Kong Baptist University(香)	Faculty of Social Sciences	Bachelor of Science (Hons) in Innovation in <u>Health and Social Well-being</u>
		Bachelor of Social Sciences (Hons) in Innovation in <u>Health and Social Well-being</u>

概要

OECD ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030

OECD ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030（訳注：以下、ラーニング・コンパス）は OECD Future of Education and Skills 2030 プロジェクトの成果であり、教育の未来に向けての望ましい未来像を描いた、進化し続ける学習の枠組みです。教育の幅広い目標を支えるとともに、私たちの望む未来(Future We Want)、つまり個人のウェルビーイングと集団のウェルビーイングに向けた方向性を示します。

ラーニング・コンパスという比喻は、生徒が教師の決まりきった指導や指示をそのまま受け入れるのではなく、未知なる環境の中を自力で歩みを進め、意味のある、また責任意識を伴う方法で、進むべき方向を見出す必要性を強調する目的で採用されました。

この枠組みは生徒が 2030 年以降も活躍するために必要なコンピテンシーの種類に関する幅広いビジョンを提供しています。この枠組みはまた、ローカルな文脈に合わせて調整できる余地を残しながら、グローバルに妥当で、情報交換のできる共通の言語と理解を育んでいくものです。

ラーニング・コンパスの構成要素には学びの中核的な基盤（訳注：エージェンシーと変革を起こすコンピテンシーを育む土台となる主な力）、知識、スキル、態度と価値、より良い未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシー、そして見通し (Anticipation)、行動 (Action)、振り返り (Reflection) の AAR サイクル（これらの構成要素に関しては各要素の concept notes を参照）が含まれます。ラーニング・コンパスは、生徒が周囲の人々、事象、そして状況をより良いものにすることを学ぶ上で、責任ある有意義な行動を取るための方向性を決めるために生徒が使うことができるツールであることから、生徒エージェンシー (concept note を参照) はラーニング・コンパスの中心的な概念です。

キー・ポイント

- ・ ラーニング・コンパスは評価の枠組みでもカリキュラムの枠組みでもありません。大きな構造における学習の幅広い範囲と種類を明確にすることで学習そのものが持つ価値を認めています。そして、学習が学校の中だけで起きているわけではないことも示しています。
- ・ この学習の枠組みは、教育システムをより良いものへと変革することに貢献する意思をもった世界の政府代表者、研究者、学校のリーダー、教師、生徒、そしてソーシャル・パートナーの協働によって生み出された成果物です。
- ・ 社会的ウェルビーイングという概念は、年月の経過により、これまでの経済や物質的な豊かさよりも多くの意味を含むようになりました。私たちが望む未来には数多くのビジョンが存在するかもしれませんが、社会のウェルビーイングは共通の目的地です。

OECD ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030

歴史的に見て、教育は社会変革の波に乗り遅れることがほとんどでした。19 世紀と 20 世紀における教育システムは突発的な拡大と再構築を時折行うことで変化してきました。しかしこれらの突発的な時期を外せば、カリキュラムは往々にして静的であり、直線的で固定的な構造を持っていました。また産業形態としての学校教育では、生徒が授業を受動的に受けることが期待されていました（[OECD Future of Education and Skills 2030 project background](#) を参照）。しかし我々の世界を変革し、数多くの分野で現状の制度を覆す深淵かつ広域な変化に直面する今日、教育の目標や活躍するために必要な生徒のコンピテンシーを再考する必要があるという認識が広がっています。地球規模のトレンドである、デジタル化、気候変動、人工知能の発展の 3 つの要因だけとて、これらは教育の目標や方法を根本的に見直す必要性を呼び起こしているといえます。

2015 年、OECD の教育政策委員会は、客観的な立場から俯瞰し、教育が直面する長期的な課題を検討するとともにカリキュラムの設計や開発をより体系的かつ根拠に基づいたものにするため、OECD Future of Education and Skills 2030 プロジェクトを立ち上げることに合意しました。このプロジェクトの目的は、世界の国々が次の 2 つの大きな問いへの答えを見つけられるようにすることです：

- 現代の生徒が成長して、世界を切り拓いていくためには、どのような知識や、スキル、態度及び価値が必要か。
- 学校や授業の仕組みが、これらの知識や、スキル、態度及び価値を効果的に育成していくことができるようにするためには、どのようにしたらよいか。

これらの問いに対するひとつの答えとして、OECD Future of Education and Skills 2030 プロジェクトは **2030 年の教育に求められている未来像を描いた、進化し続ける学習の枠組みである OECD ラーニング・コンパス（学びの羅針盤）2030（図 1 を参照）を開発しました。**このラーニング・コンパスは、個人や社会のウェルビーイング：私たちの望む未来（Future We Want）に向けた方向性を示しています。ラーニング・コンパスは、学習者個人、教育実践者、システム・リーダー、政策立案者、組織の意思決定者といった複数のレベルで利用できるように、共有する未来に含まれる中核的な目標や要素を言語化することによって、彼らの努力を明確にし、結びつけ、また方向づけることを目標としています。

ラーニング・コンパスは様々なステークホルダーが形成する幅広いコミュニティにより時間と共に改良される「進化し続ける枠組み」です。この学習の枠組みは、教育システムをより良いものへと変革することに貢献する意思をもった政府代表者、研究者、学校のリーダー、教師、生徒、そしてソーシャル・パートナーの協働によって生み出された成果物です。これらのステークホルダーの出身国は多様です。そのため、この枠組みはまた、ローカルな文脈に合わせて調整できる余地を残しながら、グローバルに妥当で、かつ情報交換のできる共通の言語と理解を育んでいくものです。

ラーニング・コンパスは評価の枠組みでもカリキュラムの枠組みでもない

ラーニング・コンパスが提示するのは「評価の枠組み」ではなく、「学習の枠組み」です。この枠組みでは、どのようなコンピテンシーが評価されるべきか、あるいは評価できるのかではなく、生徒が 2030 年に活躍するために必要なコンピテンシーの種類に関する幅広いビジョンを提示しています。「測定されるものは大切にされる」と一般的に言われますが、この学習の枠組みは（少なくとも現段階では）測定できないものに価値を認められるようにします。つまりラーニング・コンパスは、大きな構造のもとで幅広い範囲と種類の学習があることを明確にし、学習そのものに価値があることを認めます。それと同時に、評価を主導するものとして学習の枠組みを使うこともできます。例えば生徒の進捗状況を確認しながら支援するために、どのような文脈においてどのような学習を優先させるべきかを話し合うことができます。

近隣競合校及び偏差値上位校の初年次納入金等

1. 近隣競合校

大学名	学部学科	入学 定員 【単位：人】	初年次納入金（※1） 【単位：円】				在学期間 合計（※1） 【単位：円】
			入学金	授業料	その他	初年次合計	
法政大学	現代福祉学部 福祉コミュニティ学科	150	240,000	831,000	228,000	1,299,000	4,476,000
東洋大学	ライフデザイン学部(※2) 人間環境デザイン学科	160	250,000	880,000	330,000	1,460,000	5,090,000
明星大学	人文学部人間社会学科	80	200,000	800,000	370,000	1,370,000	4,880,000

2. 偏差値上位校

大学名	学部学科	入学 定員 【単位：人】	初年次納入金（※1） 【単位：円】				在学期間 合計（※1） 【単位：円】
			入学金	授業料	その他	初年次合計	
明治大学	文学部心理社会学科哲学専攻	45	200,000	841,000	258,000	1,299,000	4,626,000
立教大学	コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科	154	200,000	1,128,000	3,000	1,331,000	—

（※1）日本私立大学連合会「令和4年度学生納金等調査」より引用

（※2）東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科及び社会学部社会福祉学科は、2023年度福祉社会デザイン学部へ改組予定

（参考）武蔵野大学

大学名	学部学科	入学 定員 【単位：人】	初年次納入金 【単位：円】				在学期間 合計 【単位：円】
			入学金	授業料	その他	初年次合計	
武蔵野大学	ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科	80	180,000	1,020,000	275,000	1,475,000	5,360,000
武蔵野大学	人間科学部人間科学科	215	180,000	820,000	178,000	1,178,000	4,472,000
武蔵野大学	工学部サステナビリティ学科	70	180,000	1,020,000	275,000	1,475,000	5,360,000

1（書類等の題名）

武蔵野大学 令和２年度～令和４年度 出身高校都道府県別新入生数
（【資料 11】 25 ページ）

2（出典）

学校法人武蔵野大学大学入試部入試課所持データ

3（その他の説明）

本内容は、学内資料（学外秘）であり、省略とする。

(仮称)

QR
コード

學生確保(資料)-26

武蔵野大学

ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科 (仮称)

2024年4月開設予定 (設置構想中)

* 概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

Q: 「ウェルビーイング」ってなに？

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴 (設置の理念、養成する人材像)

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする海外大学との連携、短期留学ができる

日本中がキャンパス

全国各地域 (沖縄から北海道まで) と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材

(例) 企業 (メーカー、商社、医療看護、介護福祉等) や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材

(例) ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材

(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○ 武蔵野キャンパス (〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号)

○ 入学定員 80名

○ 初年度納入金 1,475,000円※

※ 入学金、授業料、教育充実費等 (諸会費等別途)

※ 学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

○ 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科 (2023年度開設予定)

○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 ○ 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺 三鷹 武蔵境	バス 7~15分	武蔵野 キャンパス
田無	徒歩 15分	

世界の幸せをカタチにする。

MU 武蔵野大学
Musashino University

高校生アンケートの結果

1. 実施時期：令和 4 年 12 月 13 日～令和 5 年 1 月 20 日
2. 対象：東京都の高校生（高校 2 年生）60 校
3. 回答：東京都の高校生（高校 2 年生）7,638 人

4. 全アンケート結果（有効回答のみ）

問 1. あなた自身についてお聞きます。

①性別

回答	回答数	割合（％）
男性	3,562	46.6%
女性	3,794	49.7%
その他	57	0.7%
回答しない	221	2.9%
無回答	4	0.1%
合計：	7,638	100%

②高校所在地

回答	回答数	割合（％）
東京都	7,631	99.9%
無回答	7	0.1%
合計：	7,638	100%

③高校名

開示せず

④学年

回答	回答数	割合（％）
高校 2 年生	7,638	100%
合計：	7,638	100%

問 2. あなたは高校卒業後、4 年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	5,940	77.8%
希望しない	825	10.8%
わからない	835	10.9%
その他	36	0.5%
無回答	2	0.0%
合計：	7,638	100%

問 3. 高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
文学関係	1,717	13.4%
教育学・保育学関係	1,119	8.8%
法学関係	783	6.1%
経済学関係	1,860	14.6%
社会学・社会福祉学関係	873	6.8%
理学関係	844	6.6%
工学関係	765	6.0%
農学関係	275	2.2%
獣医学関係	192	1.5%
医学関係	607	4.8%
歯学関係	97	0.8%
薬学関係	258	2.0%
家政関係	268	2.1%
美術関係	669	5.2%
音楽関係	405	3.2%
体育関係	721	5.6%
保健衛生学関係	330	2.6%
上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区別なく幅広い学び）	322	2.5%
その他	666	5.2%
合計：	12,771	100%

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
とても興味がある	291	3.8%
興味がある	2,211	28.9%
あまり興味がない	3,390	44.4%
全く興味がない	1,707	22.3%
無回答	39	0.5%
合計：	7,638	100%

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ受験したい	90	1.2%
やや受験したい	1,193	15.6%
あまり受験したくない	3,488	45.7%
全く受験したくない	2,848	37.3%
無回答	19	0.2%
合計：	7,638	100%

問6. 問5で「ぜひ受験したい」もしくは「やや受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ入学したい	127	9.9%
やや入学したい	930	72.5%
あまり入学したくない	199	15.5%
全く入学したくない	24	1.9%
無回答	3	0.2%
合計：	1,283	100%

問7. 問6で「ぜひ入学したい」もしくは「やや入学したい」と答えた方にお聞きします。
 ウェルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

回答	回答数	割合（%）
ウェルビーイング産業デザイナー	265	22.3%
ウェルビーイング地域デザイナー	240	20.2%
ウェルビーイングの専門家	85	7.1%
まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある	590	49.5%
無回答	11	0.9%
合計：	1,191	100%

5. クロス集計結果

① ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味

5-①-1 : ウェルビーイングを大学で学ぶことへの興味

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
とても興味がある	291	3.8%
興味がある	2,211	28.9%
あまり興味がない	3,390	44.4%
全く興味がない	1,707	22.3%
無回答	39	0.5%
合計 :	7,638	100%

↓ 「とても興味がある」または「興味がある」2,502 人のみ抽出

② 興味のある学問分野

5-①-2 : 「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味

問3. 高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」 のいずれかの学問分野への興味	931	37.2%
その他（無回答含む）	1,571	62.8%
合計 :	2,502	100%

↓ 「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味がある931 人のみ抽出

③進路希望

5-②：4年制大学への進学希望

問2. あなたは高校卒業後、4年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	818	87.9%
希望しない	32	3.4%
わからない	79	8.5%
その他	2	0.2%
無回答	0	0%
合計：	931	100%

↓「希望する」818人のみ抽出

④受験意向

5-③：武蔵野大学ウェルビーイング学部の受験意向

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ受験したい	33	4.0%
やや受験したい	387	47.3%
あまり受験したくない	334	40.8%
全く受験したくない	64	7.8%
無回答	0	0%
合計：	818	100%

↓「ぜひ受験したい」33人のみ抽出

⑤入学意向

5-④：武蔵野大学ウェルビーイング学部への入学意向

問6. 問5で「ぜひ受験したい」もしくは「やや受験したい」と回答した方にお聞きします。

武蔵野大学ウェルビーイング学部に合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ入学したい	23	69.7%
やや入学したい	9	27.3%
あまり入学したくない	1	3.0%
全く入学したくない	0	0%
無回答	0	0%
合計：	33	100%

↓東京都からの本学部への入学志願者数＝23人

※割合 (%) は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100.0%にならない場合がある

高校生のみなさんへ：

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和 6 (2024) 年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。

構想の参考とさせていただきたく、以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。

アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただき、それ以外の目的で使用することは一切ございません。高校名や個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに☑、または () 内に記述してください。

QR
コード

* WEBからもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から
右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。

問 1. あなた自身についてお聞きます。

①性別： ☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない ②高校所在地： () 都・県)

③高校名： ()

④学年： ☐高校 1 年生 ☐高校 2 年生 ☐高校 3 年生

問 2. あなたは高校卒業後、4 年制大学への進学を希望しますか。

☐希望する ☐希望しない ☐わからない ☐その他 ()

問 3. 高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。(複数回答可)

- ☐文学関係 ☐教育学・保育学関係 ☐法学関係 ☐経済学関係 ☐社会学・社会福祉学関係
☐理学関係 ☐工学関係 ☐農学関係 ☐獣医学関係 ☐医学関係 ☐歯学関係
☐薬学関係 ☐家政関係 ☐美術関係 ☐音楽関係 ☐体育関係 ☐保健衛生学関係
☐上記以外の複合分野 (リベラルアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び)
☐その他 ()

問 4. 「ウェルビーイング」(裏面※ 1) について大学で学ぶことに興味がありますか。

☐興味がある ☐興味がない

問 5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。

ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

☐受験したい ☐受験したくない

問 6. 問 5 で「受験したい」と回答した方にお聞きます。

武蔵野大学ウェルビーイング学部 to 合格した場合、入学を希望しますか。

☐入学したい ☐入学したくない (併願校の可否により入学を検討する者も含む)

問 7. 問 6 で「入学したい」と答えた方にお聞きます。

ウェルビーイング学部 to 入学したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか (複数回答可)。

- ☐ウェルビーイング産業デザイナー(裏面※ 2) :
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。
- ☐ウェルビーイング地域デザイナー(裏面※ 3) :
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材を目指したい。
- ☐ウェルビーイングの専門家(裏面※ 4) :
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材を目指したい。
- ☐まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございました。

<お問い合わせ> 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404 (平日のみ) E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

* 概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つukれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中



Q: 「ウェルビーイング」ってなに？ ※ 1

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする
海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー ※ 2

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材

（例）企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー ※ 3

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材

（例）ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家 ※ 4

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材

（例）海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○ 武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○ 入学定員 80名

○ 初年度納入金 1,475,000円※

※ 入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）

※ 学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

- 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科
- 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科
- 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺
三鷹
武蔵境

バス

7～15分

徒歩

15分

武蔵野
キャンパス

世界の幸せをカタチにする。



武蔵野大学

高校 6 校の高校生、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生、 及び本学部に興味を持って資料請求した高校生へのアンケートの結果

1. 実施時期：令和 5 年 6 月 23 日～7 月 6 日
2. 対象：高校 6 校、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生、本学部に興味を持って資料請求した高校生
3. 回答：高校生（高校 3 年生）665 人
4. 全アンケート結果（有効回答のみ）

問 1. あなた自身についてお聞きます。

①性別

回答	回答数	割合 (%)
男性	199	29. 9%
女性	410	61. 7%
その他	18	2. 7%
回答しない	38	5. 7%
合計：	665	100%

②高校所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	367	55. 2%
神奈川県	11	1. 7%
埼玉県	1	0. 2%
千葉県	5	0. 8%
茨城県	265	39. 8%
青森県	1	0. 2%
福島県	1	0. 2%
山梨県	2	0. 3%
静岡県	2	0. 3%
兵庫県	1	0. 2%
島根県	1	0. 2%
岡山県	1	0. 2%
沖縄県	7	1. 1%
合計：	665	100%

③高校名
開示せず

④学年

回答	回答数	割合 (%)
高校 3 年生	665	100%
合計：	665	100%

問 2. あなたは高校卒業後、4 年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	561	84. 4%
希望しない	52	7. 8%
わからない	43	6. 5%
その他	9	1. 4%
合計：	665	100%

問 3. 高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
文学関係	134	10. 8%
教育学・保育学関係	98	7. 9%
法学関係	67	5. 4%
経済学関係	108	8. 7%
社会学・社会福祉学関係	117	9. 5%
理学関係	82	6. 6%
工学関係	79	6. 4%
農学関係	35	2. 8%
獣医学関係	23	1. 9%
医学関係	113	9. 1%
歯学関係	14	1. 1%
薬学関係	60	4. 8%
家政関係	25	2. 0%

美術関係	43	3.5%
音楽関係	37	3.0%
体育関係	38	3.1%
保健衛生学関係	58	4.7%
上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区別なく幅広い学び）	75	6.1%
その他	32	2.6%
合計：	1,238	100%

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合（%）
興味がある	243	36.5%
興味がない	422	63.5%
合計：	665	100%

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合（%）
受験したい	94	14.1%
受験したくない	571	85.9%
合計：	665	100%

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部に合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合（%）
入学したい	47	50.0%
入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）	47	50.0%
合計：	94	100%

問7. 問6で「入学したい」と答えた方にお聞きします。ウェルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

回答	回答数	割合（％）
ウェルビーイング産業デザイナー	16	28.1%
ウェルビーイング地域デザイナー	10	17.5%
ウェルビーイングの専門家	6	10.5%
まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある	25	43.9%
合計：	57	100%

5. クロス集計結果

①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味

5-①-1: ウェルビーイングを大学で学ぶことへの興味

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	243	36.5%
興味がない	422	63.5%
合計:	665	100%

↓ 「興味がある」243人のみ抽出

②興味のある学問分野

5-①-2: 「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味

問3. 高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味	104	42.8%
その他	139	57.2%
合計:	243	100%

↓ 「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味がある104人のみ抽出

③進路希望

5-②: 4年制大学への進学希望

問2. あなたは高校卒業後、4年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	98	94.2%
希望しない	3	2.9%
わからない	3	2.9%
その他	0	0.0%
合計:	104	100%

↓ 「希望する」98人のみ抽出

④受験意向

5-③：武蔵野大学ウェルビーイング学部受験意向

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	48	49.0%
受験したくない	50	51.0%
合計：	98	100%

↓「受験したい」48人のみ抽出

⑤入学意向

5-④：武蔵野大学ウェルビーイング学部への入学意向

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	24	50.0%
入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）	24	50.0%
合計：	48	100%

↓本学部への入学志願者数＝24人

※割合（%）は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が100.0%にならない場合がある

生徒のみなさんへ：

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和 6（2024）年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。

構想の参考とさせていただきたく、以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。

アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただき、それ以外の目的で使用することは一切ございません。学校名や個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに☑、または（ ）内に記述してください。

QR
コード

* WEBからもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から
右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。

問 1. あなた自身についてお聞きます。

- ①性別： ☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない ②学校所在地：（ ）都・県）
③学校名：（ ）

問 2. あなたは日本語学校卒業後、日本の 4 年制大学への進学を希望しますか。

- ☐希望する ☐希望しない ☐わからない ☐その他（ ）

問 3. 日本語学校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。（複数回答可）

- ☐文学関係 ☐教育学・保育学関係 ☐法学関係 ☐経済学関係 ☐社会学・社会福祉学関係
☐理学関係 ☐工学関係 ☐農学関係 ☐獣医学関係 ☐医学関係 ☐歯学関係
☐薬学関係 ☐家政関係 ☐美術関係 ☐音楽関係 ☐体育関係 ☐保健衛生学関係
☐上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び）
☐その他（ ）

問 4. 「ウェルビーイング」（裏面※ 1）について大学で学ぶことに興味がありますか。

- ☐興味がある ☐興味がない

問 5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。

ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

- ☐受験したい ☐受験したくない

問 6. 問 5 で「受験したい」と回答した方にお聞きます。

武蔵野大学ウェルビーイング学部 to 合格した場合、入学を希望しますか。

- ☐入学したい ☐入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）

問 7. 問 6 で「入学したい」と答えた方にお聞きます。

ウェルビーイング学部 to 入学したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

- ☐ウェルビーイング産業デザイナー（裏面※ 2）：
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。
☐ウェルビーイング地域デザイナー（裏面※ 3）：
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材を目指したい。
☐ウェルビーイングの専門家（裏面※ 4）：
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材を目指したい。
☐まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございました。

<お問い合わせ> 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404（平日のみ） E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

* 概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つukれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中



Q: 「ウェルビーイング」ってなに？ ※ 1

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする
海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー ※ 2

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材

（例）企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー ※ 3

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材

（例）ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家 ※ 4

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材

（例）海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○ 武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○ 入学定員 80名

○ 初年度納入金 1,475,000円※

※ 入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）

※ 学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

- 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科
- 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科
- 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺 三鷹 武蔵境	バス 7～15分	武蔵野 キャンパス
田無	徒歩 15分	

世界の幸せをカタチにする。

MU 武蔵野大学
Musashino University

日本語学校の生徒へのアンケートの結果

1. 実施時期：令和 5 年 6 月 23 日～7 月 1 日
2. 対象：日本語学校 61 校の生徒
3. 回答：日本語学校の生徒 79 人

4. 全アンケート結果（有効回答のみ）

問 1. あなた自身についてお聞きします。

①性別

回答	回答数	割合 (%)
男性	37	46. 8%
女性	37	46. 8%
その他	0	0. 0%
回答しない	5	6. 3%
合計：	79	100%

②学校所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	58	73. 4%
埼玉県	16	20. 3%
京都府	5	6. 3%
合計：	79	100%

③学校名

開示せず

問 2. あなたは日本語学校卒業後、日本の 4 年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	71	89. 9%
希望しない	5	6. 3%
わからない	3	3. 8%
その他	0	0. 0%
合計：	79	100%

問 3. 日本語学校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
文学関係	18	10.8%
教育学・保育学関係	8	4.8%
法学関係	7	4.2%
経済学関係	38	22.8%
社会学・社会福祉学関係	26	15.6%
理学関係	13	7.8%
工学関係	15	9.0%
農学関係	3	1.8%
獣医学関係	4	2.4%
医学関係	4	2.4%
歯学関係	1	0.6%
薬学関係	5	3.0%
家政関係	1	0.6%
美術関係	7	4.2%
音楽関係	3	1.8%
体育関係	4	2.4%
保健衛生学関係	3	1.8%
上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区別なく幅広い学び）	2	1.2%
その他	5	3.0%
合計：	167	100%

問 4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	64	81.0%
興味がない	15	19.0%
合計：	79	100%

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	45	57.0%
受験したくない	34	43.0%
合計：	79	100%

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	38	84.4%
入学したくない（併願校の合否により入学を検討する者も含む）	7	15.6%
合計：	45	100%

問7. 問6で「入学したい」と答えた方にお聞きします。ウェルビーイング学部に入学生たら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

回答	回答数	割合 (%)
ウェルビーイング産業デザイナー	20	33.3%
ウェルビーイング地域デザイナー	18	30.0%
ウェルビーイングの専門家	13	21.7%
まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある	9	15.0%
合計：	60	100%

5. クロス集計結果

① ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味

5-①-1: ウェルビーイングを大学で学ぶことへの興味

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	64	81.0%
興味がない	15	19.0%
合計:	79	100%

↓ 「興味がある」64人のみ抽出

② 興味のある学問分野

5-①-2: 「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味

問3. 日本語学校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」 のいずれかの学問分野への興味	30	46.9%
その他	34	53.1%
合計:	64	100%

↓ 「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味がある30人のみ抽出

③ 進路希望

5-②: 4年制大学への進学希望

問2. あなたは日本語学校卒業後、日本の4年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	25	83.3%
希望しない	3	10.0%
わからない	2	6.7%
その他	0	0.0%
合計:	30	100%

↓ 「希望する」25人のみ抽出

④受験意向

5-③：武蔵野大学ウェルビーイング学部受験意向

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	23	92.0%
受験したくない	2	8.0%
合計：	25	100%

↓「受験したい」23人のみ抽出

⑤入学意向

5-④：武蔵野大学ウェルビーイング学部への入学意向

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	20	87.0%
入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）	3	13.0%
合計：	23	100%

↓本学部への入学志願者数=20人

※割合（%）は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が100.0%にならない場合がある

日本 Well-being 計画推進特命委員会 第六次提言

令和5年5月11日

I はじめに

本委員会は、これまで6年に亘り活動してきたが、2022年の「ウェルビーイング」を含む記事数は前年の3.3倍、2019年比で約95倍と大きく上昇しているなど、我が国におけるWell-being¹への関心は徐々に広がる傾向にある。一方で、「ウェルビーイング」の認知・理解度は約2割にとどまるという調査²があるように、世間への浸透はまだこれからというところがある。前述の記事数の推移は、足元では国民の8割以上が認知・理解するようになった「SDGs」の拡がり³と酷似しており、近い将来、Well-beingの認知度も大きく上昇する可能性がある。今後、我が国において更に普及させていくためには、Well-beingとは具体的にどのようなものなのかを国民に対して分かりやすく説明することが不可欠であり、こうした好機を逃さず、産・学・官一体となって取組を前に進めていくことが求められる。

コロナ禍において国民のWell-beingは低下したが、こうした緊急事態においても、幸福感や働きがい、生きがいを感じながら、生活全体への満足度・生活の質を維持できるような国づくりをしていく必要がある。そのためにも、GDPなどの経済指標だけに注目するのではなく、主観的Well-beingも含めた多様な側面に焦点を当てていくことが重要である（GDPからGDWへ）。

本委員会は、こうした問題意識を持ちつつ、昨年秋以降で15回開催し、地方

¹ Well-beingという言葉に関しては、様々な訳語、国際機関による定義等が存在する。OECDのPISA報告書においては、生徒のWell-beingについて「生徒が幸福(Happy)で充実した人生を送るために必要な心理的・認知的・社会的・身体的な働き(Functioning)と潜在能力(Capabilities)である」と定義している。WHO憲章では「健康(Health)とは、肉体的・精神的・社会的に完全に『良好な状態(Well-being)』であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」としている。このため、Well-beingについて、「身体的・精神的・社会的に良好な状態」と定義されることが多い。一方で、こうした定義では健康に不安がある高齢者や障害を抱えている方はWell-beingな状態になることはできないのか、といった指摘もあり、今後も引き続き議論していく。

² 電通が2022年9月に行ったアンケート調査によると、「ウェルビーイング」という言葉を聞いて、「内容まで理解している」と回答した人は4.6%、「見聞きしたことがある程度（内容はわからない）」と回答した人は16.2%となっている。

³ 「SDGs」を含む記事数は2015年の171から434、1,690、4,778、12,813、16,391、31,365、36,358と推移してきているのに対し、「ウェルビーイング」を含む記事数は2019年の63から677、1,804、6,003と推移してきている。

自治体や民間企業の先進事例をヒアリングするとともに、Well-being に取り組む企業の視察や大使館との懇談を行うなど、精力的な議論を重ねてきたところである（参考資料 1）。こうした審議結果等を踏まえ、以下の提言を取りまとめる。

Ⅱ Well-being に関する成果と課題

（１）企業の Well-being に関する取組

（中小企業の Well-being）

健康経営優良法人 2022 に関して、中小企業の申請数は順調に伸びており、Well-being 経営に対する関心は高まっているものの、まだ形だけという企業も多く、大企業と比べて中小企業では Well-being に関する取組が進んでいない状況にある⁴。

一方、経営者と従業員の距離が近い中小企業においては経営者の Well-being へのコミットメントが波及しやすい側面がある。また、中小企業は地域に根差ししており、自治体が地域企業の Well-being 経営を後押しすることで、地域で働く人から地域全体に Well-being が伝播することにもなるため、日本企業の大部分を占める中小企業が Well-being 経営に取り組む意義は大きい。

従業員の「幸せ」が高い中小企業は売上高成長率も高い傾向が指摘⁵されており、こうしたデータに基づく分析を広く発信することで、中小企業における人的投資を促していくことが重要である。

（労働者の Well-being）

PERSOL ホールディングスは、労働者個人の Well-being について、働くことに喜びや楽しみを感じているか、人々の生活をよりよくすることにつながっているか、仕事や働き方は多くの選択肢の中から選んでいるか、の 3 つの観点からグローバル調査を行っている。諸外国との比較に際しては、宗教的・文化的・社会的な要素が影響する点に留意する必要があるものの、働くことに喜びや楽しみを感じている割合が日本は低く、特に 20～30 代において諸外国との差が大きくなっている。

日本は従業員を後回しにして消費者満足度を重視する傾向がある。年代が若

⁴ アドバンテッジリスクマネジメントが 2022 年 3 月に行ったアンケート調査によると、Well-being 経営に取り組む大企業（1001 名以上）が 37%であるのに対し、中小企業（300 名以下）は 18%となっている。

⁵ 商工組合中央金庫が行った分析では、中小企業の幸せ指数（従業員へのアンケートより会社全体の幸せを可視化したもの）と売上高成長率（3 年平均）に正の相関が確認されている。

くなるにつれて、企業中心の考え方が薄れていくのに比して、企業文化はあまり変わっていないというギャップが生じている可能性があり、生活の中で多くの時間を占める仕事に対して喜びや楽しみを感じやすい環境を整備することが求められる。

（個別企業の取組）

Well-being の観点を取り入れた企業理念が多く見受けられるようになり、個別企業単位の取組も大きく進んでいる。

クックパッドでは、「毎日の料理を楽しみにする」という企業理念のもと、中高生を対象とした調理実習や、料理経験のない貧困家庭への料理教育を実施している。

NTT グループでは、Well-being の最大化をサステナビリティ憲章として掲げ、コアタイムのないフレックス勤務や居住地自由のリモートワーク等により、働く場所と時間を柔軟化することで、多様な社員の活躍機会を拡大させ、社員の Well-being 向上を図っている。

三井住友信託銀行では、「FINANCIAL WELL-BEING」（将来のライフイベントの適切な把握、賢い意思決定によりお金に関する不安を解消させ、未来に向けて自立的に行動できる状態、FWB）を目指し、投資教育ノウハウを社員へ浸透させるとともに、高等教育の現場向けに金融教育教材・授業を無償提供するなど社会への波及に取り組んでいる。

（２）地域の Well-being に関する成果と課題

（地方自治体における Well-being の取組事例）

地方自治体が住民の満足度を意識して施策に取り組んでいくことが、結果として日本全体の Well-being を高めることにつながっていく。

神奈川県では、心身の状態を健康と病気の二分論の概念ではなく、その間を連続的に変化する「未病」として捉え、日常の生活において、「未病改善」により、心身をより健康な状態に近づけていくことに取り組んでいる。例えば、未病を見える化する「未病指標」の構築・活用に加え、県営団地において多世代交流の場を確保するとともに、コミュニティ活動への参加を促している。

島根県海士町では、過ごしやすい島（Well-being な島）を目指して、「還流おこしプロジェクト」を立ち上げた。移住者と地元の人という二項対立ではなく、「滞在人口」として若者を中心に受け入れ、地域や組織に人の多様性・流動性をもたらすべく取り組んでいる。

(都道府県別の Well-being 指標の公表)

昨年 12 月にウェルビーイング学会が都道府県別の GDW (ウェルビーイング実感) を公表した⁶。前述のとおり未病改善に取り組んでいる神奈川県が、ウェルビーイング実感が高い人の割合で全国 1 位となっており、同県民が現在及び将来の生活の維持向上についてポジティブなイメージを持っていることが推測される。

このように、主観的な Well-being 指標を用いることにより、従来の社会指標では出来なかった社会分析、社会予想が可能となりつつあり、今後の政府や自治体の政策づくり等にも、様々な視座や示唆を与えることが期待される。

(3) 子供の Well-being に関する成果と課題

(Well-being と教育振興基本計画)

今後の教育政策に関する基本的な方針である「教育振興基本計画」の次期計画(令和 5～9 年度)の策定に向けて、議論が進められており、本年 3 月には、中央教育審議会による同計画への答申がなされた。

答申においては、次期計画のコンセプトの一つとして、「日本社会に根差したウェルビーイング⁷の向上」が掲げられており、幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、自己肯定感、自己実現等について、教育を通じて向上させていくことの重要性や、子供たちの主観的な認識の変化についてのエビデンス収集の必要性が記載されている。また、本委員会でも議論されてきた日本発の調和と協調 (Balance and Harmony) に基づくウェルビーイングの考え方を国際的に発信していく重要性も明記されている⁸。

(G 7 教育大臣会合)

本年 5 月に開催予定の G 7 富山・金沢教育大臣会合について、日本が主導となって子供の Well-being などについて国際的な議論を深めるため、「国際的なコンセプト形成や指標設定において、我が国発の価値観に基づく教育と Well-being の方向性を発信し、イニシアティブを発揮すること」などを本委員会より文部科学省へ昨年 10 月に要望を提出した(参考資料 2)。

こうした要望やこれまでの本委員会の提言を受けて、教育大臣会合においては、各国の社会・文化的背景を踏まえた子供たちの Well-being の実現に向けた

⁶ ウェルビーイング学会では日本全体の GDW についても同様に公表している。

⁷ 答申において、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。」と定義されている。

⁸ 答申においては、子供の Well-being に関することだけでなく、教師の Well-being 確保の必要性についても記載されている。

教育に関連して、調和と協調に基づく日本発の Well-being の概念を提案する予定となっている。

また、教育大臣会合に先駆けて、本年 3 月には富山・金沢こどもサミットが開催され、富山県・石川県の中高生により、よりよい未来を創るためにできることをまとめた宣言書が採択された。教育大臣会合においては、この宣言書に関する両県の子供の代表と各国大臣との意見交換が予定されており、子供たち自らが参画する機会が確保されている。

(Well-being をフレームワークとした学びの場)

Well-being を推進する際には、個人だけでなく、周りとの関係性の中で社会の Well-being が育まれていくことが重要であり、その実践の場として、「特別の教科 道徳」が注目されている。

NTT の研究所では、Well-being の 4 つの要因⁹に着目し、自身の Well-being の要因に意識を向けるきっかけとなるツールとして、「わたしたちのウェルビーイングカード」を制作しており、Well-being に関する授業における活用を進めている。道徳教育において Well-being に関連した内容が取り入れられること¹⁰は重要であり、こうしたフィールドワークが広く行われることが期待される。

また、来年 4 月には武蔵野大学にウェルビーイング学部の開設が予定されているように、高等教育への拡がりが見られており、Well-being に特化した人材育成が期待される。

(放課後における子供の居場所)

子供の自己肯定感について、小学校の 6 年間で低下する傾向にある一方で、居場所の数が多いほど上昇する傾向にあることが指摘されており、学校・家庭に加えて、放課後におけるサードプレイスとしての居場所が重要となる。

放課後 NPO アフタースクールにおいては、移動の必要がない小学校施設を活用し、学年や保護者の就労状況等による制限を設けず、全ての子どもが参加可能な体験活動を提供している。放課後児童クラブの待機児童が 1 万人を超え、「小 1 の壁」が社会問題となっている中、こうした放課後の居場所を増やしていくことが求められている。

⁹ 自分に関する「I」、家族や友人など身近な人に関する「WE」、社会やより広い他人に関わる「SOCIETY」、そして世界や自然などより大きなものに関する「UNIVERSE」。

¹⁰ 道徳教育における Well-being に関する研究会が民間で開催されるなど学術的な研究も進められている。

1（書類等の題名）

武蔵野大学 外国人留学生の志願者数等推移
（【資料 19】 5 5 ページ）

2（出典）

学校法人武蔵野大学大学入試部入試課所持データ

3（その他の説明）

本内容は、学内資料（学外秘）であり、省略とする。

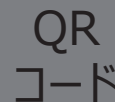
学生のみなさんへ：

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和6(2024)年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。
また、本学部では、2年次から入学が可能な編入学制度を設ける構想もしています。
構想の参考とさせていただきたく、以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。
アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただき、それ以外の目的で使用することは一切ございません。学校名や個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに☑、または（ ）内に記述してください。

* WEBからもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から
右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。



問1. あなた自身についてお聞きます。

- ①性別： ☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない ②学校所在地：（ ） 都・県）
③学校名：（ ）
④学校種別： ☐短期大学 ☐高等専門学校 ☐専修学校
⑤学年： ☐1年生 ☐2年生 ☐3年生 ☐4年生 ☐5年生

問2. あなたは卒業後、4年制大学への編入学（途中年次からの入学）を希望しますか。

- ☐希望する ☐希望しない ☐わからない ☐その他（ ）

問3. 卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。（複数回答可）

- ☐文学関係 ☐教育学・保育学関係 ☐法学関係 ☐経済学関係 ☐社会学・社会福祉学関係
☐理学関係 ☐工学関係 ☐農学関係 ☐獣医学関係 ☐医学関係 ☐歯学関係
☐薬学関係 ☐家政関係 ☐美術関係 ☐音楽関係 ☐体育関係 ☐保健衛生学関係
☐上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び）
☐その他（ ）

問4. 「ウェルビーイング」（裏面※1）について大学で学ぶことに興味がありますか。

- ☐興味がある ☐興味がない

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。
ウェルビーイング学部の編入学受験を希望しますか。

- ☐受験したい ☐受験したくない

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きます。

武蔵野大学ウェルビーイング学部へ合格した場合、編入学を希望しますか。

- ☐入学したい ☐入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）

問7. 問6で「入学したい」と答えた方にお聞きます。

ウェルビーイング学部へ入学したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

- ☐ウェルビーイング産業デザイナー（裏面※2）：
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。
☐ウェルビーイング地域デザイナー（裏面※3）：
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材を目指したい。
☐ウェルビーイングの専門家（裏面※4）：
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材を目指したい。
☐まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございました。

<お問い合わせ> 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404（平日のみ） E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

* 概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つukれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中



Q: 「ウェルビーイング」ってなに？ ※ 1

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする
海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー ※ 2

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材

（例）企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー ※ 3

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材

（例）ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家 ※ 4

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材

（例）海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○ 武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○ 入学定員 80名、2年次編入学定員10名

○ 初年度納入金 1,475,000円※

※ 入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）

※ 学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

- 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科
- 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科
- 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺 三鷹 武蔵境	バス 7～15分	武蔵野 キャンパス
田無	徒歩 15分	

世界の幸せをカタチにする。

MU 武蔵野大学
Musashino University

学生のみなさんへ：

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

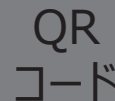
武蔵野大学では令和6（2024）年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。

また、本学部では、2年次から入学が可能な編入学制度を設ける構想もしています。

構想の参考とさせていただきたく、以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。

アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただきます、それ以外の目的で使用することは一切ございません。学校名や個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに☑、または（ ）内に記述してください。



* WEBからもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から

右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。

問1. あなた自身についてお聞きます。

①性別： ☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない ②学校所在地：（ ）都・県）

③学校名：（ ）

④最終学歴：

☐短期大学（外国又は日本）卒業

☐文部科学大臣指定外国大学日本校（テンブル大学ジャパンキャンパス、レイクランド大学ジャパン・キャンパス、専修学校ロシア極東大函館校等）卒業

☐高等専門学校（外国又は日本）卒業

☐専修学校の専門課程（日本）卒業

☐高校（日本又は外国）卒業

☐その他（ ）

問2. あなたは卒業後、4年制大学への編入学（途中年次からの入学）を希望しますか。

☐希望する ☐希望しない ☐わからない ☐その他（ ）

問3. 卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。（複数回答可）

☐文学関係 ☐教育学・保育学関係 ☐法学関係 ☐経済学関係 ☐社会学・社会福祉学関係

☐理学関係 ☐工学関係 ☐農学関係 ☐獣医学関係 ☐医学関係 ☐歯学関係

☐薬学関係 ☐家政関係 ☐美術関係 ☐音楽関係 ☐体育関係 ☐保健衛生学関係

☐上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び）

☐その他（ ）

問4. 「ウェルビーイング」（裏面※1）について大学で学ぶことに興味がありますか。

☐興味がある ☐興味がない

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。

ウェルビーイング学部の編入学受験を希望しますか。

☐受験したい ☐受験したくない

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きます。

武蔵野大学ウェルビーイング学部へ合格した場合、編入学を希望しますか。

☐入学したい ☐入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）

問7. 問6で「入学したい」と答えた方にお聞きます。

ウェルビーイング学部へ入学したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

☐ウェルビーイング産業デザイナー（裏面※2）：

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。

☐ウェルビーイング地域デザイナー（裏面※3）：

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材を目指したい。

☐ウェルビーイングの専門家（裏面※4）：

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材を目指したい。

☐まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございました。

<お問い合わせ> 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課

TEL 03-5530-7404（平日のみ） E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

* 概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つukれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中



Q: 「ウェルビーイング」ってなに？ ※ 1

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする
海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー ※ 2

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材

（例）企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー ※ 3

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材

（例）ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家 ※ 4

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材

（例）海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○ 武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○ 入学定員 80名、2年次編入学定員10名

○ 初年度納入金 1,475,000円※

※ 入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）

※ 学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

- 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科
- 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科
- 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺
三鷹
武蔵境

バス

7～15分

徒歩

15分

武蔵野
キャンパス

世界の幸せをカタチにする。



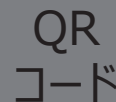
武蔵野大学

武蔵野女子短期大学部卒業生の皆さまへ：

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和6(2024)年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。また、本学部では、2年次から入学が可能な編入学制度を設ける構想もしています。構想の参考とさせていただきたく、以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただき、それ以外の目的で使用することは一切ございません。個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに☑、または（ ）内に記述してください。



* WEBからもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から
右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。

問1. あなた自身についてお聞きます。

- ①性別： ☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない
②最終学歴：
☐短期大学 卒業 ☐大学 卒業 ☐大学院（修士）卒業 ☐大学院（博士）卒業
☐高等専門学校 卒業 ☐専修学校 卒業 ☐その他（ ）

問2. あなたは、4年制大学への編入学（途中年次からの入学）を希望しますか。

- ☐希望する ☐希望しない ☐わからない ☐その他（ ）

問3. 編入学をして何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。（複数回答可）

- ☐文学関係 ☐教育学・保育学関係 ☐法学関係 ☐経済学関係 ☐社会学・社会福祉学関係
☐理学関係 ☐工学関係 ☐農学関係 ☐獣医学関係 ☐医学関係 ☐歯学関係
☐薬学関係 ☐家政関係 ☐美術関係 ☐音楽関係 ☐体育関係 ☐保健衛生学関係
☐上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び）
☐その他（ ）

問4. 「ウェルビーイング」（裏面※1）について大学で学ぶことに興味がありますか。

- ☐興味がある ☐興味がない

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。 ウェルビーイング学部の編入学受験を希望しますか。

- ☐受験したい ☐受験したくない

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きます。

武蔵野大学ウェルビーイング学部へ合格した場合、編入学を希望しますか。

- ☐入学したい ☐入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）

問7. 問6で「入学したい」と答えた方にお聞きます。

ウェルビーイング学部へ入学したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

- ☐ウェルビーイング産業デザイナー（裏面※2）：
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。
☐ウェルビーイング地域デザイナー（裏面※3）：
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材を目指したい。
☐ウェルビーイングの専門家（裏面※4）：
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材を目指したい。
☐まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございました。

<お問い合わせ> 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404（平日のみ） E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

* 概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つukれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中



Q: 「ウェルビーイング」ってなに？ ※ 1

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする
海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー ※ 2

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材

（例）企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー ※ 3

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材

（例）ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家 ※ 4

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材

（例）海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○ 武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○ 入学定員 80名、2年次編入学定員10名

○ 初年度納入金 1,475,000円※

※ 入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）

※ 学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

- 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科
- 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科
- 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺
三鷹
武蔵境

バス

7～15分

徒歩

15分

武蔵野
キャンパス

世界の幸せをカタチにする。



武蔵野大学

編入学該当者へのアンケートの結果

1. 実施時期：令和 5 年 6 月 23 日～7 月 7 日
2. 対象：
 - a. 1 都 3 県に位置する短期大学等 95 校の学生
 - b. 武蔵野大学別科（日本語教育課程）に在籍する学生
 - c. 武蔵野女子大学短期大学部（平成 18 年廃止）卒業生
3. 回答：241 人
 - a. 1 都 3 県に位置する短期大学等 95 校の学生：54 人
 - b. 武蔵野大学別科（日本語教育課程）に在籍する学生：6 人
 - c. 武蔵野女子大学短期大学部（平成 18 年廃止）卒業生：181 人

4. 全アンケート結果（有効回答のみ）

問 1. あなた自身についてお聞きします。

①性別

回答	回答数	割合 (%)
男性	8	3.3%
女性	231	95.9%
その他	0	0.0%
回答しない	2	0.8%
合計：	241	100%

②－ 1. 学校所在地（対象 a 及び b への設問）

回答	回答数	割合 (%)
東京都	21	35.0%
埼玉県	17	28.3%
愛知県	22	36.7%
合計：	60	100%

②－ 2. 最終学歴（対象 c への設問）

回答	回答数	割合 (%)
短期大学 卒業	178	98.3%
大学 卒業	0	0.0%
大学院（修士） 卒業	0	0.0%
大学院（博士） 卒業	0	0.0%

高等専門学校 卒業	0	0.0%
専修学校 卒業	3	1.7%
その他	0	0.0%
合計：	181	100%

③学校名（対象 a 及び b）

開示せず

④－１．最終学歴（対象 b への設問）

回答	回答数	割合（%）
短期大学（外国又は日本） 卒業	2	33.3%
文部科学大臣指定外国大学日本校 卒業	0	0.0%
高等専門学校（外国又は日本） 卒業	4	66.6%
専修学校の専門課程（日本） 卒業	0	0.0%
高校（日本又は外国） 卒業	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計：	6	100%

④－２及び⑤．学校種別及び学年（対象 a への設問）

回答	学年		
	回答	回答数	割合（%）
短期大学	1 年	21	38.9%
専修学校	2 年	33	61.1%
合計：		54	100%

問２．あなたは、４年制大学への編入学（途中年次からの入学）を希望しますか。

回答	回答数	割合（%）
希望する	35	14.5%
希望しない	113	46.9%
わからない	85	35.3%
その他	8	3.3%
合計：	241	100%

問3. 何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
文学関係	54	9.8%
教育学・保育学関係	79	14.3%
法学関係	18	3.3%
経済学関係	35	6.3%
社会学・社会福祉学関係	63	11.4%
理学関係	5	0.9%
工学関係	8	1.4%
農学関係	18	3.3%
獣医学関係	11	2.0%
医学関係	37	6.7%
歯学関係	4	0.7%
薬学関係	24	4.3%
家政関係	27	4.9%
美術関係	32	5.8%
音楽関係	16	2.9%
体育関係	9	1.6%
保健衛生学関係	47	8.5%
上記以外の複合分野(リベラルアーツなど、文系・理系の区別なく幅広い学び)	52	9.4%
その他	14	2.5%
合計：	553	100%

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	157	65.1%
興味がない	84	34.9%
合計：	241	100%

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部への編入学受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	51	21.2%
受験したくない	190	78.8%
合計：	241	100%

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部
部に合格した場合、編入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	42	82.4%
入学したくない（併願校の合否により入学を検討する者も含む）	9	17.6%
合計：	51	100%

問7. 問6で「入学したい」と答えた方にお聞きします。ウェルビーイング学部に入
学したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

回答	回答数	割合 (%)
ウェルビーイング産業デザイナー	7	12.7%
ウェルビーイング地域デザイナー	16	29.1%
ウェルビーイングの専門家	7	12.7%
まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある	25	45.5%
合計：	55	100%

5. クロス集計結果

①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味

5-①-1: ウェルビーイングを大学で学ぶことへの興味

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	157	65.1%
興味がない	84	34.9%
合計:	241	100%

↓ 「興味がある」157人のみ抽出

②興味のある学問分野

5-①-2: 「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味

問3. 何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」 のいずれかの学問分野への興味	76	48.4%
その他	81	51.6%
合計:	157	100%

↓ 「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味がある76人のみ抽出

③進路希望

5-②: 4年制大学への編入学希望

問2. あなたは、4年制大学への編入学(途中年次からの入学)を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	13	17.1%
希望しない	23	30.3%
わからない	34	44.7%
その他	6	7.9%
合計:	76	100%

↓ 「希望する」13人のみ抽出

④受験意向

5-③：武蔵野大学ウェルビーイング学部の受験意向

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部の編入学受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	12	92.3%
受験したくない	1	7.7%
合計：	13	100%

↓「受験したい」12人のみ抽出

⑤入学意向

5-④：武蔵野大学ウェルビーイング学部への編入学意向

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部合格した場合、編入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	10	83.3%
入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）	2	16.7%
合計：	12	100%

↓本学部への編入学志願者数＝10人

※割合（%）は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が100.0%にならない場合がある

同分野を有する近隣大学等の志願動向の調査

類似分野（文学（哲学・思想）、社会学、社会福祉学等）を学べる大学

分類	大学名	学部学科	入学定員 【単位：人】	志願者（※1）【単位：人】			偏差値 （※3）	通学 キャンパス	最寄駅	養成する人材像等
				令和4年度	令和3年度	令和2年度				
文学関係	東洋大学	文学部東洋思想文化学科	100	894	1,194	非公開	55.0	白山 キャンパス	都営三田線 白山駅ほか	世界を見渡す広い視野と、自らを見つめる力を養い、豊かな教養と国際性を備えた人材を目指す。
			志願者倍率	8.94	11.94	—				
	専修大学	文学部哲学科	76	930	926	1,280	50.0	生田 キャンパス	小田急線 向ヶ丘遊園駅	ものごとを分析的に捉え、粘り強く筋道立って思考する力を持つとともに、自分の考えや立場を絶対視することなく、他者や異なる文化を、他者として、異なる文化として理解することのできる柔軟な発想を備えた人材を養成。
			志願者倍率	12.24	12.18	16.84				
	明治大学	文学部心理社会学科哲学専攻	45	617	521	617	62.5	【1、2年】 和泉 キャンパス 【3、4年】 駿河台 キャンパス	【和泉】 京王線 明大前駅 【駿河台】 JR中央線ほか 御茶ノ水駅	子供から高齢者まで生きがいや心身の諸問題が噴出している現代社会の状況を踏まえ、人間学的な教養を持ち、総合的なヒューマンサービスを担うことができる人間の育成。
			志願者倍率	13.71	11.58	13.71				
社会学・社会福祉学関係	東洋大学	社会学部社会福祉学科(※2)	150	1,664	1,994	非公開	50.0	赤羽台 キャンパス ※2023年度より	JR埼京線等 赤羽駅	「共生社会」の実現に向け、支援の現場で求められる知識と実践的スキルを身につける。また社会・経済の変化に対応する政策や制度、福祉ビジネスなどについても学びを深め、創造力とリーダーシップをもって国内外の幅広い分野に貢献する人材を目指す。
			志願者倍率	11.09	13.29	—				
	成城大学	社会イノベーション学部 心理社会学科	120	1,655	1,417	3,046	55.0	成城学園	小田急線 成城学園前	文化や社会の変容という経済以外のマクロ現象を積極的に学習することにより、広い視野から比較を行う力を身につける。また、イノベーションの与える影響について、印象形成や流行などの心理過程から、対人コミュニケーション、集団そして社会へと発展的に考察できる能力を養成する。
			志願者倍率	13.79	11.81	25.38				
	立教大学	コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科	154	1,359	2,159	1,268	57.5	新座 キャンパス	東武東上線 志木駅 JR武蔵野線 新座駅	コミュニティを基盤にさまざまな生活課題を解決するための取り組みを探索し、健康、福祉に携わる専門的人材を育成。健康を、生きがい感なども含め、個人の生き方そのものを問い、よりよく生きるという考え方であるウェルネスの実践は、個人を取りまくコミュニティとも関わる。学部理念でもある「いのちの尊厳のために」という言葉を自分のものとして語ることができる人材を育てる。
			志願者倍率	8.82	14.02	8.23				
	明星大学	人文学部人間社会学科	80	464	非公開	非公開	47.5	日野 キャンパス	多摩モノレール 中央大学・明星大学駅ほか	主体的に行動し、他者と協働し、自分の人生を不断にデザインできる人
			志願者倍率	5.80	—	—				
	法政大学	現代福祉学部 福祉コミュニティ学科	150	1,546	2,006	1,441	55.0	多摩 キャンパス	京王線 めじろ台駅 JR中央線 西八王子駅	「健康で幸福な暮らし＝Well-Being」を実現する福祉コミュニティを創造するために地域社会の福祉リーダーの育成を目指す。
			志願者倍率	10.31	13.37	9.61				
	東洋大学	ライフデザイン学部(※2) 人間環境デザイン学科	160	1,220	1,734	非公開	52.5	赤羽台 キャンパス ※2023年度より	JR埼京線等 赤羽駅	「みんなが幸せになるデザイン」を創造するための「思考」と「技術」をもった人材を育成
			志願者倍率	7.63	10.84	—				
	桜美林大学	健康福祉学群	300	1,109	1,335	1,668	40.0	町田 キャンパス	JR横浜線 淵野辺駅ほか	すべての人々の健康的な生活を実現し、福祉を推進するプロフェッショナルを育成。
			志願者倍率	3.70	4.45	5.56				

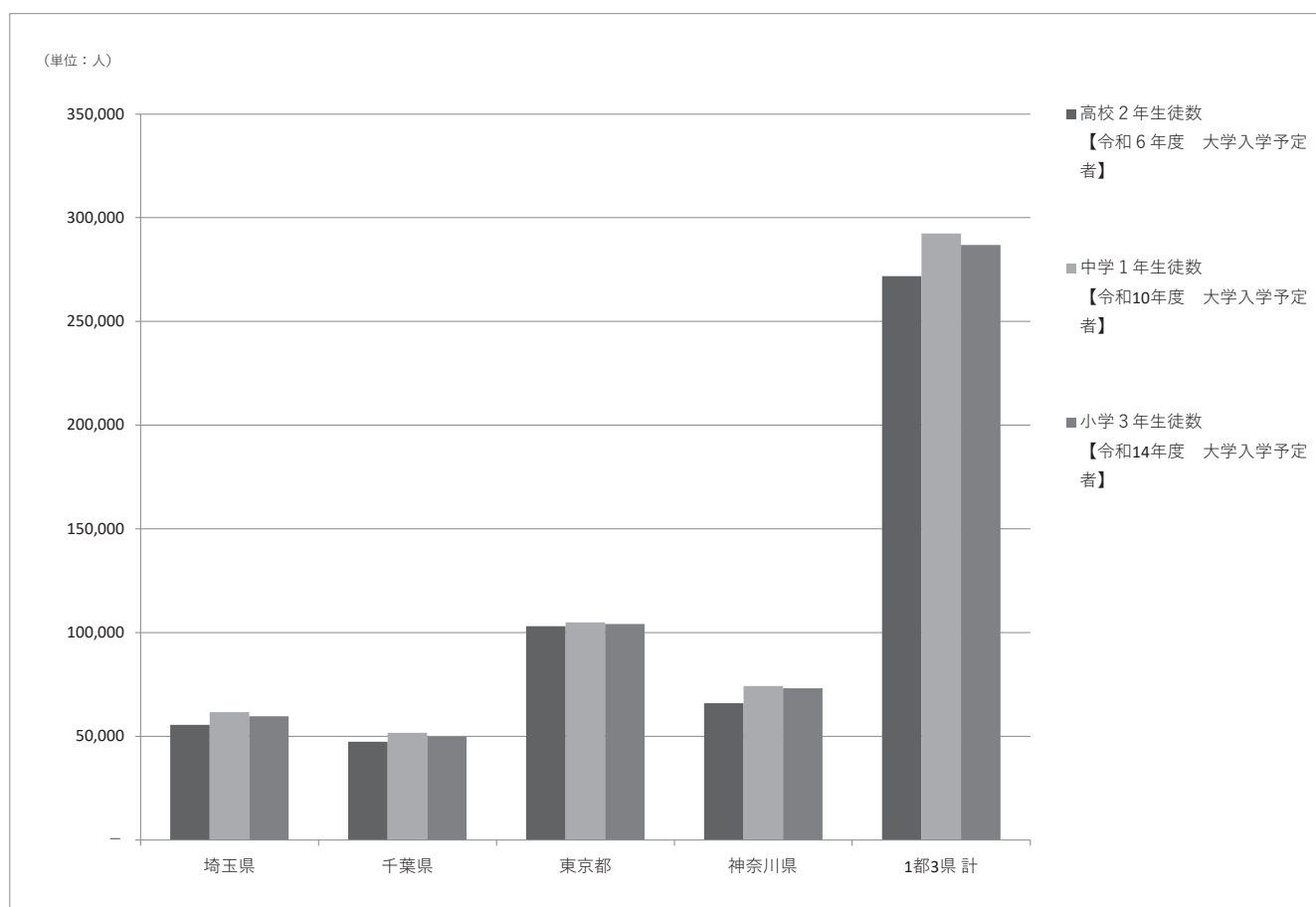
(※1)一般選抜、共通テスト利用型の合計

(※2)東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科及び社会学部社会福祉学科は、令和5年度福祉社会デザイン学部へ改組予定

(※3)偏差値は、河合塾Kei-net（令和5年1月21日更新）「入試難易予想ランキング表」より

人口動態（令和4年度学校基本調査より抜粋）

都県名	高校2年生徒数 【令和6年度 大学入学予定者】	中学1年生徒数 【令和10年度 大学入学予定者】	小学3年生徒数 【令和14年度 大学入学予定者】
埼玉県	55,477	61,658	59,673
千葉県	47,416	51,674	49,757
東京都	103,002	104,838	104,172
神奈川県	65,882	74,236	73,198
1都3県 計	271,777	292,406	286,800



関係学科別大学入学状況（令和4年度学校基本調査より抜粋）

平成30年度～令和4年度「人文科学・その他」「社会科学・社会学」

分野	入学志願者（人）				
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人文科学・その他	252,282	274,781	255,622	216,132	206,985
社会科学・社会学	261,052	284,625	258,993	237,391	235,171
計	513,334	559,406	514,615	453,523	442,156

全志願者数（人） (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	4,723,558	5,032,682	4,943,946	4,380,427	4,351,965
うち「人文科学・その他」「社会科学・社会学」					
志願者数（人） (b)	513,334	559,406	514,615	453,523	442,156
全志願者数に占める割合 (b÷a)	10.9%	11.1%	10.4%	10.4%	10.2%

近隣競合校及び偏差値上位校

1. 近隣競合校

大学名	学部名 学科名	入学 定員 (人) [a]	入学志願状況等 (※1)						偏差値 (※3)	通学キャンパス	最寄駅	養成する人材像等	
			年度	志願者数 (人) [b]	受験者数 (人)	合格者数 (人)	志願者倍率 [b]÷[a]	入学者数 (人) [d]					定員充足率 [d]÷[a]
法政大学	現代福祉学部 福祉コミュニティ学科	150	令和4年度	1,546	1,507	354	10.31	158	1.05	55.0	多摩キャンパス	京王線 めじろ台駅 JR中央線 西八王子駅	「健康で幸福な暮らし＝Well-Being」を実現する福祉コミュニティを創造するために地域社会の福祉リーダーの育成を目指す。
			令和3年度	2,006	1,936	304	13.37	156	1.04				
			令和2年度	1,441	1,407	263	9.61	144	0.96				
東洋大学	ライフデザイン学部(※2) 人間環境デザイン学科	160	令和4年度	1,220	非公開	328	7.63	164	1.03	52.5	赤羽台キャンパス ※2023年度より	JR埼京線等 赤羽駅	「みんなが幸せになるデザイン」を創造するための「思考」と「技術」をもった人材を育成。
			令和3年度	1,734	非公開	338	10.84	159	0.99				
			令和2年度	非公開					—				
明星大学	人文学部 人間社会学科	80	令和4年度	464	非公開	316	5.80	非公開	—	47.5	日野キャンパス	多摩都市モノレール 中央大学・明星大学駅ほか	主体的に行動し、他者と協働し、自分の人生を不断にデザインできる人材を養成。
			令和3年度	非公開					—				
			令和2年度	非公開					—				

2. 偏差値上位校

大学名	学部名 学科名	入学 定員 (人) [a]	入学志願状況等 (※1)							偏差値 (※3)	通学キャンパス	最寄駅	養成する人材像等
			年度	志願者数 (人) [b]	受験者数 (人)	合格者数 (人)	志願者倍率 [b]÷[a]	入学者数 (人) [d]	定員充足率 [d]÷[a]				
明治大学	文学部 心理社会学科哲学専攻	45	令和4年度	617	571	152	13.71	非公開	—	62.5	【1、2年】 和泉キャンパス 【3、4年】 駿河台キャンパス	【和泉】 京王線 明大前駅 【駿河台】 JR中央線ほか 御茶ノ水駅	子供から高齢者まで生 きがいや心身の諸問題 が噴出している現代社 会の状況を踏まえ、人 間学的な教養を持ち、 総合的なヒューマン サービスを担うことが できる人間の育成。
			令和3年度	521	476	118	11.58	非公開	—				
			令和2年度	617	560	109	13.71	非公開	—				
立教大学	コミュニティ福祉学部 コミュニティ政策学科	154	令和4年度	1,359	1,333	402	8.82	150	0.97	57.5	新座キャンパス	東武東上線 志本駅 JR武蔵野線 新座駅	コミュニティを基盤に さまざまな生活課題を 解決するための取り組 みを探求し、健康、福 祉に携わる専門的人材 を育成。健康を、生き がい感なども含め、個 人の生き方そのものを 問い、よりよく生きる という考え方であるウ ェルネスの実践は、個 人を取りまくコミュニ ティとも関わる。学部 の理念でもある「いの ちの尊厳のために」と いう言葉を自分のもの として語ることができ る人材を育てる。
			令和3年度	2,159	2084	401	14.02	146	0.95				
			令和2年度	1,268	1228	305	8.23	148	0.96				

(※1) 各大学ホームページより（一般選抜、共通テスト利用型の合計）
(※2) 東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科及び社会学部社会福祉学科は、2023年度福祉社会デザイン学部へ改組予定
(※3) 偏差値は、河合塾Kei-net（令和5年1月21日更新）「入試難易予想ランキング表」より
(※4) 理工学部全体

1（書類等の題名）

武蔵野大学 既設学部等の学生確保の状況（平成 30 年度～令和 4 年度）
（【資料 28】 7 2 ページ）

2（出典）

学校法人武蔵野大学大学入試部入試課所持データ

3（その他の説明）

本内容は、学内資料（学外秘）であり、省略とする。

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

(仮称)

武蔵野大学では令和6(2024)年にウェルビーイング学部(仮称)の開設を構想しています。

構想の参考とさせていただきたく、以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。

アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただきます、それ以外の目的で使用することは一切ございません。高校名や個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が貴校の生徒様の入学試験へ影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに☑、または()内に記述してください。

* WEBからもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から
右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。

QR
コード**問1. 貴校についてお聞きます。**

①高校所在地：() 都・県) ②高校名：()

問2. 「ウェルビーイング」について学生が大学で学ぶことは、有意義であると考えますか。

☐有意義である ☐やや有意義である ☐あまり意義がない ☐意義がない

問3. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。本学部の養成する人材像について、どのように評価しますか。

☐評価する ☐やや評価する ☐あまり評価しない ☐評価しない

問4. 本学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

☐ある ☐ややある ☐あまりない ☐ない

問5. 本学部への進学を勧めますか。

☐勧める ☐やや勧める ☐あまり勧めない ☐勧めない

問6. 本学部は受験生の進学ニーズがあるとお考えですか。

☐ある ☐ややある ☐あまりない ☐ない

アンケートのご協力、ありがとうございました。

<お問い合わせ> 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404 (平日のみ) E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学

ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科 (仮称)

2024年4月開設予定 (設置構想中)

* 概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

Q: 「ウェルビーイング」ってなに？

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴 (設置の理念、養成する人材像)

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする海外大学との連携、短期留学ができる

日本中がキャンパス

全国各地域 (沖縄から北海道まで) と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材

(例) 企業 (メーカー、商社、医療看護、介護福祉等) や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材

(例) ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材

(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○ 武蔵野キャンパス (〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号)

○ 入学定員 80名

○ 初年度納入金 1,475,000円※

※ 入学金、授業料、教育充実費等 (諸会費等別途)

※ 学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

○ 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科 (2023年度開設予定)

○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科 ○ 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺 三鷹 武蔵境	バス 7~15分	武蔵野 キャンパス
田無	徒歩 15分	

世界の幸せをカタチにする。

MU 武蔵野大学
Musashino University

高校 進路指導担当教員向けアンケートの結果

1. 実施時期：令和3年12月14日～令和4年1月31日

2. 対象：高校 進路指導担当教員 52校

3. 回答：高校 進路指導担当教員 154人

4. アンケート結果

問1. 貴校についてお聞きします。

①高校所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	154	100%
合計：	154	100%

②高校名

開示せず

問2. 「ウェルビーイング」について学生が大学で学ぶことは、有意義であると考えますか。

回答	回答数	割合 (%)
有意義である	63	40.9%
やや有意義である	69	44.8%
あまり意義がない	19	12.3%
意義がない	2	1.3%
無回答	1	0.6%
合計：	154	100%

問3. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。本学部の養成する人材像について、どのように評価しますか。

回答	回答数	割合 (%)
評価する	60	39.0%
やや評価する	68	44.2%
あまり評価しない	21	13.6%
評価しない	5	3.2%
合計：	154	100%

問 4. 本学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
ある	48	31.2%
ややある	69	44.8%
あまりない	34	22.1%
ない	3	1.9%
合計：	154	100%

問 5. 本学部への進学を勧めますか。

回答	回答数	割合 (%)
勧める	27	17.5%
やや勧める	78	50.6%
あまり勧めない	44	28.6%
勧めない	5	3.2%
合計：	154	100%

問 6. 本学部は受験生の進学ニーズがあるとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
ある	30	19.5%
ややある	77	50.0%
あまりない	43	27.9%
ない	4	2.6%
合計：	154	100%

※割合 (%) は小数点第 2 位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100.0%にならない場合がある

第2節 各国政府・地方の指標群とその活用状況

1. 各国における指標群とその活用

前節において示したように、格差や環境等の高次の施策目標が掲げられる中、様々な国で生活の質に関する指標を計測し評価する取組、またそれを政策立案等に活用する取組が広がっている。

（OECD の Well-being 指標の体系）

OECD は、2011 年に人々が暮らしを計測、比較することを可能にするインタラクティブな指標として、「より良い暮らし指標（Better Life Index : BLI）」を開発した。BLI は、暮らしの 11 の分野（①所得と富、②住宅、③雇用と仕事の質、④健康、⑤知識と技能、⑥環境の質、⑦主観的 well-being、⑧安全、⑨ワークライフバランス、⑩社会的つながり、⑪市民参画）で構成され、OECD 加盟 37 カ国とブラジル、ロシア、南アフリカを加え、あわせて 40 カ国の指標を比較できるように OECD の HP 上で公開されており、各分野に対して利用者がウェイト付けをすることで、好みのウェイトに沿って国別順位を表示することができる。

2011 年より定期的に作成されている報告書「How's Life?」において、Well-being 測定のためのフレームワークを公表している。OECD の Well-being フレームワークは、現在の Well-being と将来の Well-being のための資源の 2 つのカテゴリーに分類され、それぞれのカテゴリーの指標測定時に着目すべき観点が示されている。

現在の Well-being は、BLI の分野に対応する上記 11 領域での指標がこれに当たり、指標測定の際には、平均値だけではなく人口集団間の格差²⁹や、各指標における上位と下位の人々の差³⁰、はく奪³¹に着目することとされている。

将来の Well-being のための資源は、①自然資本、②人的資本、③経済的資本、④社会資本の 4 分野で構成され、指標測定の際には資本のストックとフローだけではなく、リスク（例えば、経済的資本の家計の負債は将来の経済見通しのリスクとなる）とレジリエンスの要因にも着目することとされている。

（諸外国における主観的 Well-being 等に関する指標群と政策への活用）

OECD の BLI や Well-being フレームワークは、内閣府の「満足度・生活の質を表す指標群（Well-being ダッシュボード）」（以下、内閣府ダッシュボード）において検討の土台としたように、諸外国においても主観的 Well-being に関する指標群を策定する際に参考とされている。例えば、アイルランドでは 2021 年に OECD の

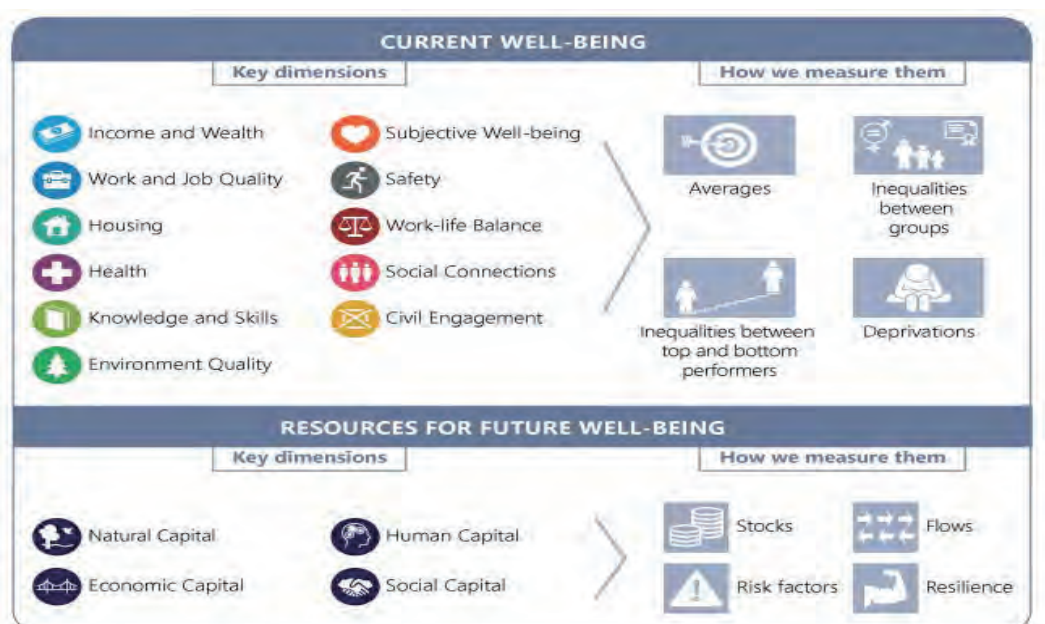
²⁹ 水平方向の不平等と呼ばれ、例えば、男女差や年齢間差等で示される。

³⁰ 垂直方向の不平等と呼ばれ、例えば、貧困層 20%の所得と比較した富裕層の所得等で示される。

³¹ 潜在的な不平等と呼ばれ、例えば、長期失業者率や屋内水洗トイレのない世帯率等で示される。

Well-being フレームワークをベースとしてアイルランドの Well-being フレームワークを開発するなど、各国で OECD の指標群等をベースに検討された Well-being に関する指標群が構築されている（図表 2－2－2 参照）。

図表2－2－1 OECD の Well-being フレームワーク



（出典）OECD Better Life Initiative (2020) *How's Life?2020*

図表 2－2－2 主観的 Well-being 等に関する各国の指標群（ダッシュボード）と政策への活用

国名	指標群の名称	指標群の構成・特徴	概要	指標群の作成主体
カナダ	生活の質フレームワーク The Quality of Life Framework	5分野 83 指標 ・指標は「ヘッドライン」、「コア」、「追加」の3段階に分けて構成される	2021 年 4 月に「カナダの QOL 戦略に向けて」において公表。政府の意思決定や予算編成に指標を導入。	財務省
ドイツ	ドイツの Well-being 指標システム The indicator system for wellbeing in Germany	12 分野 46 指標 ・3次元で配置される	人々のウェルビーイングにとって何が重要かを理解するために2015年に国民対話を実施し、指標群を構築。	連邦政府
フランス	豊かさの新指標 Nouveaux indicateurs de richesse	10 指標 ・指標のうち1つが生活満足度	2015 年 10 月に GDP を補完する指標として「豊かさの新指標」が決定され、毎年、指標の進捗状況が報告書として公表。	経済・社会・環境評議会（法律等の諮問機関）
アイルランド	アイルランドの Well-being フレームワーク Well-being	11 分野 34 指標 ・3次元で配置される	政策の優先順位設定、政策評価のための補完的なツールとして、2021 年に策定	中央統計局（CSO）

	Framework for Ireland			
イタリア	公平で持続可能な Wellbeing のための指標 Benessere Bequo e sostenibile	12 分野 130 指標	2010 年より指標を開発。2017 年以降は毎年、現状分析と指標改善に向けた政策立案に向けて指標に関する報告書を公表。	統計局 (ISTAT) ※報告書の作成主体は財務省
ニュージーランド	生活水準の枠組みに関するダッシュボード The Living Standards Framework Dashboard (LSF)	12 分野 42 指標 ・ 3 次元で配置される ・ 4 つの横断的視点を含む	2011 年以降、国民の wellbeing の向上という観点から作成。政策決定、予算配分を行うための一つの基準として活用。	財務省
イギリス	国の Well-being 計測に関するダッシュボード Measures of National Well-being Dashboard	10 分野 42 指標	2010 年に国家 Well-being プログラムが立ち上げられ、指標群を開発、公表。 2021 年には、政策評価書（グリーンブック）における Well-being の活用に関する補足ガイドラインが公表。	国家統計局 (ONS)

(出典：内閣府調べ)

主観的 Well-being 等に関する指標群の構築は、アイルランド、イタリアやイギリスなど統計作成機関が主導するケースやカナダやニュージーランドなど財務省が主導するケースなど中央政府によるもののほか、フランスでは諮問機関が、ドイツでは連邦政府が主導している。いずれも OECD の Well-being フレームワークと同様に指標群をいくつかのカテゴリーに分類している。指標群の取扱にあたっての横断的視野などを設定している国もある。

財務省が主体となって指標群を構築しているケースでは、予算編成過程において予算配分の一つの基準として指標群が用いられるなど、政府の政策決定に Well-being の観点が重視される。

例えば、カナダの生活の質フレームワーク (The Quality of Life Framework) においては、5 分野 83 指標が設定されており、これらのそれぞれに対して、「公平性と包括性 (Fairness and Inclusion)」と「持続可能性と回復力 (Sustainability and Resilience)」という 2 つの横断的視野を適用している (図表 2-2-3)。今後、政府の意思決定や予算編成に指標群を活用していくこととしている。

また、ニュージーランドでは、指標群を 3 つのカテゴリーに分類した上で、「分配 (Distribution)」、「回復力 (Resilience)」、「生産性 (Productivity)」、「持続可能性 (Sustainability)」の 4 つの分析のための視点が設定されている (図表 2-2-4)。2019 年からは「Wellbeing Budget」を発表し、予算配分を行うための一つの基準として指標群を活用している。

（１）岩手県「いわて幸福関連指標」

岩手県では、県の総合計画である「いわて県民計画(2019～2028)」において、県民一人ひとりがお互いに支え合いながら、幸福を追求していくことができる地域社会を実現していくため、幸福に関連する客観的指標（「いわて幸福関連指標」）を定め、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開している。

「いわて幸福関連指標」の設定に当たっては、県民の「幸福」についての的確に把握する方法を研究するため、平成 28 年度に「岩手の幸福に関する指標研究会」（以下、「研究会」という。）が設置された。岩手県では、研究会が示した「岩手の幸福に関する指標の体系」をもとに検討を行い、「いわて幸福関連指標」を設定している³³。

研究会の目的は、①様々な要素からなる県民の「幸福」を的確に把握できるツールを確立し、施策の展開に活用すること、②幸福に関する指標の策定に向けた研究を通じて、これから岩手県はどのような社会を目指していくのかという問いに、「幸福」という切り口から1つの考え方を示すこと、③県民が自らの幸福について考えるきっかけとすること、との3つを「岩手の幸福に関する指標」を策定することとされた。

研究会では、①新たな施策の展開に活用できる指標とする、②県民の実感を踏まえた指標とする、③物質的なゆたかさに加え、岩手が目指すゆたかさにも着目した指標とする、の3つの指標策定の基本方針に基づき、検討を進め、「岩手の幸福に関する指標」の指標の体系として、図表 2-2-5 のとおり設定した。

主観的指標は、総合的な幸福を示す「主観的幸福感」と、関連する領域ごとに設定した「領域別実感」、すべての領域に関連する「つながり」で構成されている。また、客観的指標は、主観的指標ではとらえにくい点を補足する観点から、強みや弱みなど、現状を的確に把握するため、経年把握や全国比較が可能な指標を領域別に設定している。加えて、岩手が目指すゆたかさを示す指標として、「協調的幸福感」と「ソーシャル・キャピタル」を設定している。

なお、研究会報告書において、主観的指標には、以下のような項目が設定されている。

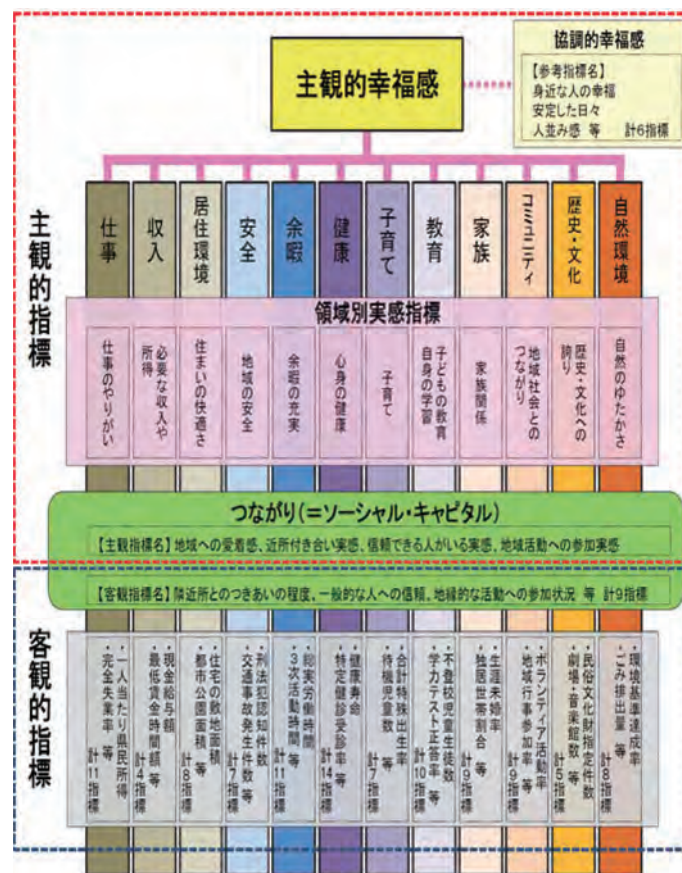
- ・ 主観的幸福感：県民意識調査で「あなたは現在、どの程度幸福だと感じていますか。」という設問に対し、5段階で評価されたもの。
- ・ 領域別実感指標：主観的幸福感に関連するとされる12領域について、それぞれの実感を県民意識調査において5段階で評価された結果を領域別実感として設定している。12の領域は、①仕事、②収入、③居住環境、④安全、⑤余暇、⑥健康、⑦子育て、⑧教育、⑨家族、⑩コミュニティ、⑪歴史・文化、⑫自然環境がある。
- ・ 協調的幸福感：主観的幸福感との因果関係が明らかではなく、政策として関与

³³ 県の総合計画に幸福度に関する考え方を直接盛り込んだのは岩手県が初めての試みである。

しにくい概念であるが、「岩手ならではの生き方」といった観点から、継続して把握が必要な参考的な指標として設定されている。①身近な人の幸福、②周囲からの承認、③大切な人の幸福への寄与、④安定した日々、⑤他者に迷惑をかけない自己実現、⑥人並み感の6つがある。

- ・ つながり（ソーシャル・キャピタル、社会関係資本）指標：交流、信頼、社会参加等の個人間のつながりを示す指標。これらが豊かな地域は幸福が高い傾向にあるとされている。岩手県の特徴の一つである「つながり」を示す指標として、全領域に関連する横断的な指標として主観的指標と客観的指標のそれぞれに設定された指標から形成される。主観的指標に4つが設定されている。

図表2-2-5 岩手の幸福に関する指標の体系



出典:「岩手の幸福に関する指標」研究会報告書

（2）荒川区「荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハッピーネス:GAH）」

荒川区では、区民がどのような部分に幸福を実感しているかを把握する指標として、「幸福実感度」と、その基礎となる「健康・福祉」「子育て・教育」「産業」「環境」「文化」「安全・安心」の6分野の指標によって構成される「荒川区総幸福度(GAH)」を設定している。「幸福実感度」を最上位指標と位置付け、各分野にそれぞれ1つの上位指標と全部で39の下位指標が存在する(図表2-2-6)。

これらの指標は継続的に実施される「区民アンケート」等で区民がどのような部分に不幸や不安を感じ、どのような課題を抱えているかを調査・分析しており、調査結果等はホームページ等で公表している。さらに、評価・分析ツールとして活用するほか、地域の課題解決に向けた運動³⁴を展開するのに用いられている。

図表 2-2-6 荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハピネス:GAH）の指標の体系

荒川区民総幸福度（GAH）指標	幸福実感	分野	上位指標	下位指標
		健康・福祉	健康の実感	体の健康 心の健康 健康環境
		子育て・教育	子どもの成長の実感	生きる力 家族関係 子育て教育環境
		産業	生活のゆとり	仕事 地域経済
		環境	生活環境の充実	利便性・ユニバーサルデザイン 快適性 持続可能性
		文化	充実した余暇・文化活動、地域の人とのふれあいの実感	余暇活動 地域文化
		安全・安心	安全・安心の実感	犯罪 事故 災害

（出典）「荒川区民総幸福度（GAH）に関する調査研究報告」

（3）三重県「15の幸福実感指標」

三重県は、みえ県民力ビジョン(平成 24 年度～令和3年度)の中で 15 の政策分野を示しており、それらの政策を実現するための行動計画において、政策分野毎に「幸福実感指標」を設定している。また、同行動計画にて示している 58 の施策には、その成果をより適切に評価するためそれぞれ「主指標」、「副指標」を設定しており³⁵、「幸福実感指標」、

³⁴ 例えば、防災地域活動に積極的に参加している人ほど幸福度が高いことが示されているが、平日の防災訓練には参加しづらい、子育て世代が親子で参加できるプログラムになっていないなどの問題があり、これを解消する取組みとして、休日にアトラクション形式の防災訓練が実施されている。

³⁵ 例えば、「政策分野Ⅰ-2（命を守る）」における施策の一つである「健康づくりの推進」については、主指標として「健康寿命」、副指標として「特定健康診査受診率」・「フッ化物洗口を実施している施設数（累計）」を設定している。

「主指標」、「副指標」の推移を把握することで、行動計画全体の進行管理をおこなっている。なお、「幸福実感指標」は住民を対象に「みえ県民意識調査」を毎年実施することで把握している。

施策ごとに設定する「主指標」及び「副指標」が県をはじめさまざまな主体の活動による成果について評価するための数値目標的指標であるのに対して、「幸福実感指標」は、一人一人が生活している中で感じる実感の推移を把握するための指標であり、目標値は設定されていない。

図表 2-2-8 15 の幸福実感指標

	政策分野	幸福実感指標
Ⅰ 守る	Ⅰ-1 防災・減災、国土強靱化	災害の危機への備えが進んでいると感じる県民の割合
	Ⅰ-2 命を守る	必要な医療サービスを利用できていると感じる県民の割合
	Ⅰ-3 支え合い福祉社会	必要な福祉サービスを利用できていると感じる県民の割合
	Ⅰ-4 暮らしの安全を守る	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じる県民の割合
	Ⅰ-5 環境を守る	身近な自然や環境が守られていると感じる県民の割合

	政策分野	幸福実感指標
Ⅱ 創る	Ⅱ-1 人権の尊重とダイバーシティ社会の推進	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合
	Ⅱ-2 学びの充実	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合
	Ⅱ-3 希望がかなう少子化対策の推進	結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなっていると感じる県民の割合
	Ⅱ-4 三重とこわか国体・三重とこわか大会の成功とレガシーを生かしたスポーツの推進	スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じる県民の割合
	Ⅱ-5 地域の活力の向上	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合

	政策分野	幸福実感指標
Ⅲ 拓く	Ⅲ-1 持続可能なもうかる農林水産業	三重県産の農林水産物を買いたいと感じる県民の割合
	Ⅲ-2 強じんて多様な産業	県内の産業活動が活発であると感じる県民の割合
	Ⅲ-3 世界の三重、三重から世界へ	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じる県民の割合
	Ⅲ-4 多様な人材が活躍できる雇用の推進	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じる県民の割合

	Ⅲ－５ 安心と活力を生み出す基盤	道路や公共交通機関等が整っていると感じる県民の割合

（４）地方公共団体（市区町村）における測定及び政策への活用

内閣府が行った市区町村に対するアンケート調査³⁶によれば、162 の団体で、主観的満足度・幸福度指標を、297 団体において個別施策に関する主観的満足度・幸福度の調査を行っている。294 の団体では、総合計画等への策定へ活用しているという状況であった³⁷。

図表２－２－１ 地方公共団体（市区町村）における満足度・幸福度指標の測定及び政策への活用状況

	満足度・幸福度指標の測定		政策等への活用
	主観的満足度・幸福度指標の調査を行っている団体 ³⁸	個別施策に関する主観的満足度・幸福度指標の調査を行っている団体	総合計画等の策定への活用を行っている団体 ³⁹
北海道	11	24	18
青森県	4	9	6
岩手県	1	8	7
宮城県	1	3	4
秋田県	4	7	11
山形県	5	4	3
福島県	3	2	1
茨城県	6	12	11
栃木県	2	9	6
群馬県	1	5	4
埼玉県	6	16	16
千葉県	5	10	7
東京都	11	12	10
神奈川県	8	4	5
新潟県	1	9	7
富山県	3	5	5
石川県	2	2	3
福井県	0	2	2
山梨県	1	4	4
長野県	4	11	10
岐阜県	5	8	9

³⁶ 調査方法：システムによる一斉アンケート調査 調査期間：2021 年 11 月 1 日～15 日。回答があった市区町村数：1,071 団体。

³⁷ 総合的な主観的満足度・幸福度指標の調査を行っている 162 団体のうち、159 団体で総合計画等への策定へ活用している。

³⁸ 住民へのアンケート調査における主観的満足度・幸福度等の Well-being に関する設問の有無について、有とした団体。なお、この具体的設問の内容が個別施策に関するものであると判断できるものについては、「個別施策に関する主観的満足度・幸福度指標の調査を行っている団体として、カウントしている。

³⁹ 政策運営に（主観的）満足度や幸福度等の Well-being の観点を活用している取組概要に、記載を行った団体の数。

静岡県	3	7	8
愛知県	9	13	14
三重県	4	7	8
滋賀県	2	3	1
京都府	5	2	4
大阪府	6	9	10
兵庫県	7	10	13
奈良県	3	5	5
和歌山県	2	4	4
鳥取県	2	2	3
島根県	2	3	4
岡山県	5	2	5
広島県	3	5	7
山口県	2	5	6
徳島県	0	2	2
香川県	0	4	3
愛媛県	2	2	3
高知県	3	1	4
福岡県	4	11	12
佐賀県	3	3	4
長崎県	0	7	7
熊本県	3	5	6
大分県	4	4	5
宮崎県	2	4	6
鹿児島県	1	5	1
沖縄県	1	3	3

幸せ人口1000万

ウェルビーイング先進地域、富山を目指して



富山県成長戦略

とやまが目指す、新時代の成長戦略とは

(ウェルビーイング)
キーワードは、真の幸せ。



幸せの定義が変わりつつある現代、目標や価値観も変わらないと。

かつてのバブル時代のような、経済成長による物質的な幸せを実感することが難しい現代。だからこその金に換算できない価値観が求められています。「真の幸せ」は、いまだ「ウェルビーイング」という言葉で呼ばれているのをご存知でしょうか。収入や健康といった外形的な価値に囚われず、自分らしく生きられる、そんな「ウェルビーイング」の向上を目指し、次世代の価値を度む人が育ち集まる富山となるため、新たな成長戦略に富山県は今後スピード感を持って取り組んでいきます。

※ウェルビーイング (well-being) 世界保健機関(WHO)憲章の前文において、「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態(=well-being)にあること」と定義

幸せでありたい。これは、地域や世代を超えた人類共通の願いだと思います。
今「ウェルビーイング」と呼ばれ、世界中の注目を集めている考え方があります。
日本語にすると「自分らしく幸せに生きられること」。

GDPのような客観的な経済指標から、一人ひとりの主観的な幸福指標へと、
社会のものさしが変わってきているのです。富山には、豊かな自然や水、
おいしい食、安全な土地という「幸せの基盤」が揃っています。

未来は大都市からやってくる。富山は後から追いかける。
未来に対してそんなふうに思っていないですか。私はそうは思いません。
むしろ富山こそ、世界中が追い求めている「幸せの先進地域」になれると信じています。

「県内人口100万人」という考え方に縛られていてはもったいない。
そうではなく、幸せという大きな傘のもと「関係人口1000万人」を目指しましょう。
富山で暮らす人、仕事する人、よく訪れる人、生まれ育った人など
愛着を持って関わるすべての人が、富山の仲間です。

「幸せ人口1000万」これがビジョンです。
一緒に新しい合言葉にしていきましょう。富山で生きる人が
「ここに生まれてよかった」そう胸を張れる未来をつくる。
富山から世界が目指す新しい日本をつくっていきましょう。

富山県知事 新田八朗



成長戦略には、6つの柱があります。

① 真の幸せ(ウェルビーイング)



【現状】県民と共に“しあわせ”が向上する地域づくりに取り組み、人が集い、人も暮らしも潤うウェルビーイング先進地域富山へ!

全国でも幸福度が高いと言われる富山県ですが、あなたは「今、幸せです!」と言えますか?一人一人がもっと自分らしく生きられるようになれば、きっと幸せを感じる人がもっともっと増えていくはず。

富山の“当たり前”は宝物 富山の豊かな日常を魅力に、多様な人財を惹きつけ共に成長を目指す。 女性が幸せ＝富山が成長 男性社会が変わり、女性を取り巻く環境の改善を目指します。 ドントン行け、パンパン来い。 流出を恐れず、多様な人材が出入りする地域づくりに取り組みます。

② まちづくり



【現状】地域が主役となってまちづくりを進める官民連携の組織を創出! 富山の自然・風土×新しい文化で、持続可能なプロジェクトを創出!

ひとりひとりが自分らしくのびのびと活動できていると実感できるまちは、外から見ても居心地がよさそうに見えるし、うらやましく思える。そんな自由な風土を築き、引き寄せられた人々と共に富山の未来を創っていきましょう。

創造を促すに、個性が育つ クリエイティブな人々を惹きつける 個性豊かなまちを育てます。 既に“ある”を再編集しよう ものまねでない「富山らしい」新たな価値を見出します。 安心安全はまちの基盤 感染症や自然災害など、万一の事態に対応できるまちを築きます。

③ ブランディング(広報・観光・移住)



【現状】「富山=ウェルビーイング」を確立する「〇〇といえば富山」の創出! 世界に評価され人を惹きつける、ウェルビーイングを象徴する場を創出!

富山のありのままの日常こそ、一番の地域資源。私たちが日常と向き合い、暮らしの中の幸せを発信していく。小さな幸せのシェアが、富山のフォロワー・関係人口を増やす大きな波を起こしていくのでは…?

暮らしように旅する観光 富山の「カッコイイ」をアピール 富山の「カッコイイ」をアピール 人々とのふれあいから富山の暮らしを感じられる観光に取り組みます。 本物志向の人々を呼び込むための上質なサービスづくりに取り組む。 「富山には〇〇がある」を知ることから始めていきましょう。

富山県がこれからも力強く経済成長し、県民のウェルビーイング向上を実現していくには、幅広い分野から取り組みを考えることが必要です。そこで次の6つを“成長戦略の柱”に定め、目標実現に向けてみなさんと共にワンチームとなって実行していきます。

4 新産業支援

- ① デジタルの活用や世界的な潮流を見据えた取り組みにより、全国有数の付加価値率を実現!
- ② 新たなサービスや市場などを生み出し、県民一人あたりの県内総生産を増加!



私たちの豊かな生活を持続可能とするには、やはり稼げる地域でなければなりません。地元企業の生産性や経営力を磨き上げ、多様な人材集めと育成に取り組みます。MADE IN TOYAMAを磨き、県外や国外からの消費を呼び込み、自立した経済圏を目指します。

突き抜けた人材を集めよう

多彩な人材を取り込み、企業に新たな活力を生み出します。

富山が潤う仕組みをつくらう

県外の消費を呼び込み自立した経済圏を目指します。

生産性向上=デジタル技術を活用

県内企業のDX化や高付加価値化を実現します。

だれもが学び続ける時代

クリエイティブ人材の育成や社会人の学び直しなどを進めます。

5 スタートアップ支援



- ① 新たな上場企業1社または同等に地域に貢献する企業の複数創出!さらに大学発ベンチャー企業を10社以上設立!

富山発の代表的な企業も、はじめは数人から立ち上げたベンチャー企業でした。現在、次世代を担う新しいベンチャーがまだ育っていない状況です。みんなで固まっている土を耕し、挑戦を応援する土壌を築いていきましょう。

出る杭を応援しよう

意欲ある人が挑戦しやすい環境をみんなで整えていきましょう。

もう、保守的とは言わせない!

チャレンジを支援するコミュニティ形成を進めます。

ピンチをチャンスに

「後継ぎベンチャー」などの新たなチャレンジを支援します。



6 県庁オープン化



- ① 地域に出て活躍する“越境人材”の県庁職員を育成!
- ② “デジタルにより公共サービスが便利な自治体”全国トップ5を実現!

県庁って、なんとなく親しみが湧かないと感じませんか?何か困った時に相談しやすい県庁でありたい。県民目線の行政情報の発信や、見える化を進めると共に、みなさんと共に富山の未来を考え、つくりあげていく仕掛けづくりを進めます。

さらば、堅苦しいイメージ

県民や地域との交流を促し、身近な県庁を実現します。

多彩な人材が集う県庁へ

職員の方針改革を進め、若者・女性など多様な人材の活躍を目指します。

参加しやすい県庁へ

DX化と共に、わかりやすい情報発信で、県民への県民参加を推進します。

①は、成長戦略のKPI(成果指標)をわかりやすく示したものです。KPIの詳細については、富山県成長戦略特設サイトを参照してください。

富山県の成長戦略についてわかりやすく紹介しています。
富山県成長戦略特設サイト
www.seichosenryaku-toyama.com



富山県成長戦略についてのお問い合わせ

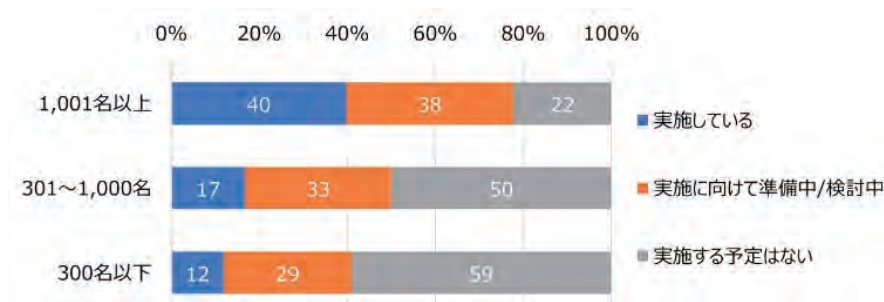
富山県知事政策局成長戦略室戦略企画課 / TEL.076-444-8916 FAX.076-444-3473



ウェルビーイングの実施、大企業で8割

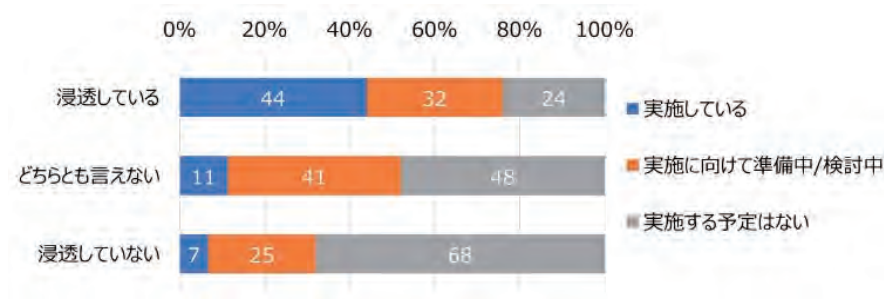
ウェルビーイングの実施状況について見てみると、すでに「実施している」としている割合は、大企業では40%、中堅企業では17%、中小企業では12%となり、最も割合の高い大企業でも半数に満たず4割にとどまっている。ただし、「実施に向け準備中/検討中」まで含めると、大企業では78%、中堅企業では50%、中小企業では41%と一気に割合が高まっており、今後の実施企業の拡大が期待される（図表3-1）。

【図表3-1】企業規模別 「ウェルビーイング」の実施状況



これについてもパーパスの社員浸透度別に見てみると、「実施している」と「実施に向け準備中/検討中」を含めた「実施に前向きな意向」の割合は、「浸透している」企業群で76%、「どちらとも言えない」企業群で52%、「浸透していない」企業群で32%となり、浸透している企業ほどウェルビーイング実施に前向きであることが推測される（図表3-2）。

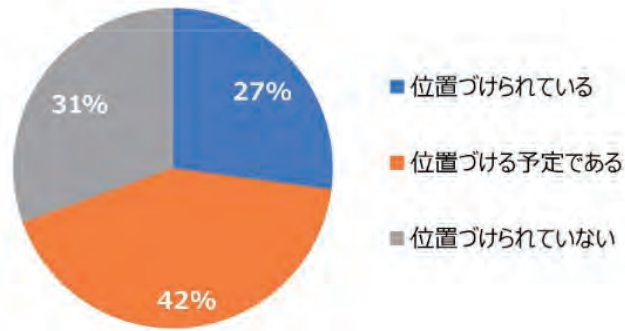
【図表3-2】パーパス社員浸透度別 「ウェルビーイング」の実施状況



ウェルビーイングの経営戦略等での位置付け、3割未満にとどまる

健康経営と同様に、ウェルビーイングについても経営戦略や経営方針に明確に位置づけられているか聞いてみたところ、「位置づけられている」とする企業の割合は27%と3割未満で、「位置づけられる予定である」が42%、「位置づけられていない」が31%となっている（図表4）。現時点では「位置づけられている」は少数派であるものの、今後、ウェルビーイングの取組みを開始する企業が増加することで、「位置づけられる予定」から「位置づけられている」にボリューム層が移行していくだろう。

【図表4】「ウェルビーイング」の経営戦略等での位置付け

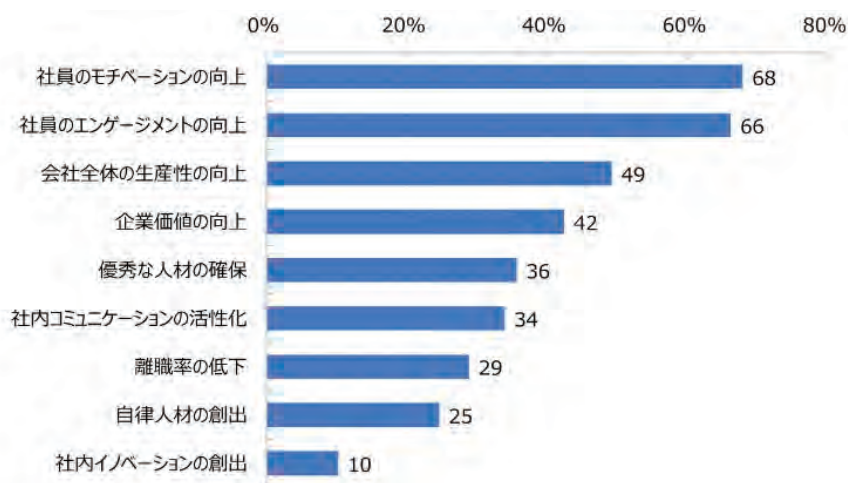


ウェルビーイング推進の目的は「社員のモチベーション・エンゲージメント向上」が7割近く

ウェルビーイングへの取り組みの目的については、「社員のモチベーションの向上」が最多で68%、次いで「社員のエンゲージメントの向上」が66%、「会社全体の生産性の向上」が49%などとなっている（図表5）。

従業員のウェルビーイングを実現することで、従業員の仕事や会社に対する向き合い方が変わり、ひいては会社全体の生産性・価値の向上へと繋がるのが期待されているようである。

【図表5】「ウェルビーイング」の実現に向けた施策実施の目的



取り組み施策に「多様な働き方の推進」「健康経営の推進」が半数

それでは、従業員のウェルビーイングの実現に向けてどのような取り組みを実施しているのだろうか。

最も多いのは「多様な働き方の推進」で50%、次いで「健康経営の推進」が49%、「社内コミュニケーション活性化」と「長時間労働の是正」がともに47%などとなっている（図表6）。

働き方に自由度を持たせ選択肢の幅を広げることで、個々人がより良い状態で働きやすくするとともに、ウェルビーイングという概念の中で健康経営に取り組むことにより、心身の健康維持だけでなく幸福度にも繋がる健康経営にする狙いがあると推測される。

【図表6】「ウェルビーイング」の実現に向けた取り組み施策（実施予定含む）

(仮称)



武蔵野大学

ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科 (仮称)

2024年4月開設予定 (設置構想中)

* 概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

Q: 「ウェルビーイング」ってなに？

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴 (設置の理念、養成する人材像)

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする海外大学との連携、短期留学ができる

日本中がキャンパス

全国各地域 (沖縄から北海道まで) と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材

(例) 企業 (メーカー、商社、医療看護、介護福祉等) や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材

(例) ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材

(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○ **武蔵野キャンパス** (〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号)

○ **入学定員 80名**

○ **初年度納入金 1,475,000円**※

※ 入学金、授業料、教育充実費等 (諸会費等別途)

※ 学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

- 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科 (2023年度開設予定)
- 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科
- 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺 三鷹 武蔵境	バス 7~15分	武蔵野 キャンパス
田無	徒歩 15分	

世界の幸せをカタチにする。



武蔵野大学

企業等新卒採用担当者向けアンケートの結果

1. 実施時期：令和 5 年 1 月 15 日～令和 5 年 2 月 10 日
2. 対象：企業等新卒採用責任者及び担当者 122 社
3. 回答：企業等新卒採用担当者及び担当者 36 人

4. アンケート結果

問 1. 貴社・貴団体・貴法人についてお聞きします。

①所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	29	80.6%
神奈川県	3	8.3%
埼玉県	1	2.8%
秋田県	1	2.8%
茨城県	1	2.8%
富山県	1	2.8%
合計：	36	100%

②貴社名・貴団体名・貴法人名

開示せず

問 2. 本学部の養成する人材像について、どのように評価しますか。

回答	回答数	割合 (%)
評価する	22	61.1%
やや評価する	14	38.9%
あまり評価しない	0	0%
評価しない	0	0%
合計：	36	100%

問3. 本学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
ある	19	52.8%
ややある	16	44.4%
あまりない	1	2.8%
ない	0	0%
合計：	36	100%

問4. 本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で採用したいとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
採用したい	17	47.2%
やや採用したい	19	52.8%
あまり採用したくない	0	0%
採用したくない	0	0%
合計：	36	100%

問5. 問4で「採用したい」と回答された方に伺います。本学部で育成する人材は、特にどの地域で必要だとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
東京及び首都圏	3	17.6%
首都圏以外の地域	0	0%
地域は問わない	14	82.4%
合計：	17	100%

問6. 問4で「採用したい」または「やや採用したい」と回答された方に伺います。

本学部の学生に卒業までに特に身につけてほしい能力や資格はありますか。

開示せず

※割合 (%) は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100.0%にならない場合がある

企業・団体等新卒採用責任者及びご担当者様へ：

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和6(2024)年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。
構想の参考とさせていただきたく、以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。
アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただきます、それ以外の目的で使用することは一切ございません。社名・団体・法人名及び個人が特定されるような情報として公表されることもございません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに☑、または（ ）内に記述してください。

* WEBからもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から
右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。

QR
コード

問1. 貴社・貴団体・貴法人についてお聞きます。

- ①所在地：（ ）都・道・府・県（ ）
②貴社名・貴団体名・貴法人名：（ ）

問2. 本学部の養成する人材像について、どのように評価しますか。

- ☐ 評価する ☐ 評価しない

問3. 本学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

- ☐ ある ☐ ない

問4. 本学部で育成する人材を、貴社で採用したいとお考えですか。

- ☐ 採用したい ☐ 採用したくない

問5. 問4で「採用したい」と回答された方に伺います。

本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で年単位で何人程度採用したいですか。

- ☐ 1人 ☐ 2人 ☐ 3人 ☐ 4人 ☐ 5人以上

問6. 問4で「採用したい」と回答された方に伺います。

本学部で育成する人材は、特にどの地域で必要だとお考えですか。

- ☐ 東京及び首都圏 ☐ 首都圏以外の地域 ☐ 地域は問わない

問7. 問4で「採用したい」と回答された方に伺います。

本学部の学生に卒業までに特に身につけてほしい能力や資格はありますか。

[]

アンケートのご協力、ありがとうございました。

<お問い合わせ> 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404（平日のみ） E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学 ウェルビーイング学部 ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

*概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つukれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中



Q:「ウェルビーイング」ってなに？

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする
海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材

（例）企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材

（例）ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材

（例）海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○入学定員 80名

○初年度納入金 1,475,000円※

※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）

※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

○ 東洋大学 福祉社会デザイン学部 人間環境デザイン学科

○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニティ学科

○ 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺 三鷹 武蔵境	バス 7～15分	武蔵野 キャンパス
田無	徒歩 15分	

世界の幸せをカタチにする。



武蔵野大学

企業等新卒採用担当者向けアンケートの結果（追加）

1. 実施時期：令和 5 年 6 月 23 日～7 月 1 日
2. 対象：企業等新卒採用責任者及び担当者 578 社
3. 回答：企業等新卒採用担当者及び担当者 278 人

4. アンケート結果

問 1. 貴社・貴団体・貴法人についてお聞きます。

①所在地

回答	回答数	割合（％）
東京都	157	56.5%
神奈川県	21	7.6%
埼玉県	6	2.2%
千葉県	7	2.5%
栃木県	3	1.1%
茨城県	4	1.4%
群馬県	1	0.4%
山梨県	1	0.4%
静岡県	2	0.7%
愛知県	8	2.9%
岐阜県	2	0.7%
長野県	4	1.4%
新潟県	2	0.7%
石川県	1	0.4%
福井県	2	0.7%
北海道	4	1.4%
青森県	1	0.4%
岩手県	1	0.4%
山形県	1	0.4%
宮城県	3	1.1%
福島県	1	0.4%
京都府	6	2.2%
大阪府	8	2.9%
奈良県	2	0.7%

和歌山県	1	0.4%
兵庫県	2	0.7%
滋賀県	1	0.4%
岡山県	3	1.1%
島根県	1	0.4%
広島県	5	1.8%
愛媛県	2	0.7%
香川県	1	0.4%
高知県	1	0.4%
徳島県	1	0.4%
福岡県	8	2.9%
宮崎県	2	0.7%
大分県	1	0.4%
鹿児島県	1	0.4%
合計：	278	100%

②貴社名・貴団体名・貴法人名
開示せず

問2. 本学部の養成する人材像について、どのように評価しますか。

回答	回答数	割合 (%)
評価する	271	97.5%
評価しない	7	2.5%
合計：	278	100%

問3. 本学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
ある	269	96.8%
ない	9	3.2%
合計：	278	100%

問4. 本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で採用したいとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
採用したい	253	91.0%
採用したくない	25	9.0%
合計：	278	100%

以下の問5～問7について、問4で「採用したい」と回答された方に伺います。

問5. 本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で年単位で何人程度採用したいですか。

回答	回答数	割合 (%)
1人	145	57.3%
2人	47	18.6%
3人	26	10.3%
4人	3	1.2%
5人以上	32	12.6%
合計：	253	100%

問6. 本学部で育成する人材は、特にどの地域で必要だとお考えですか。

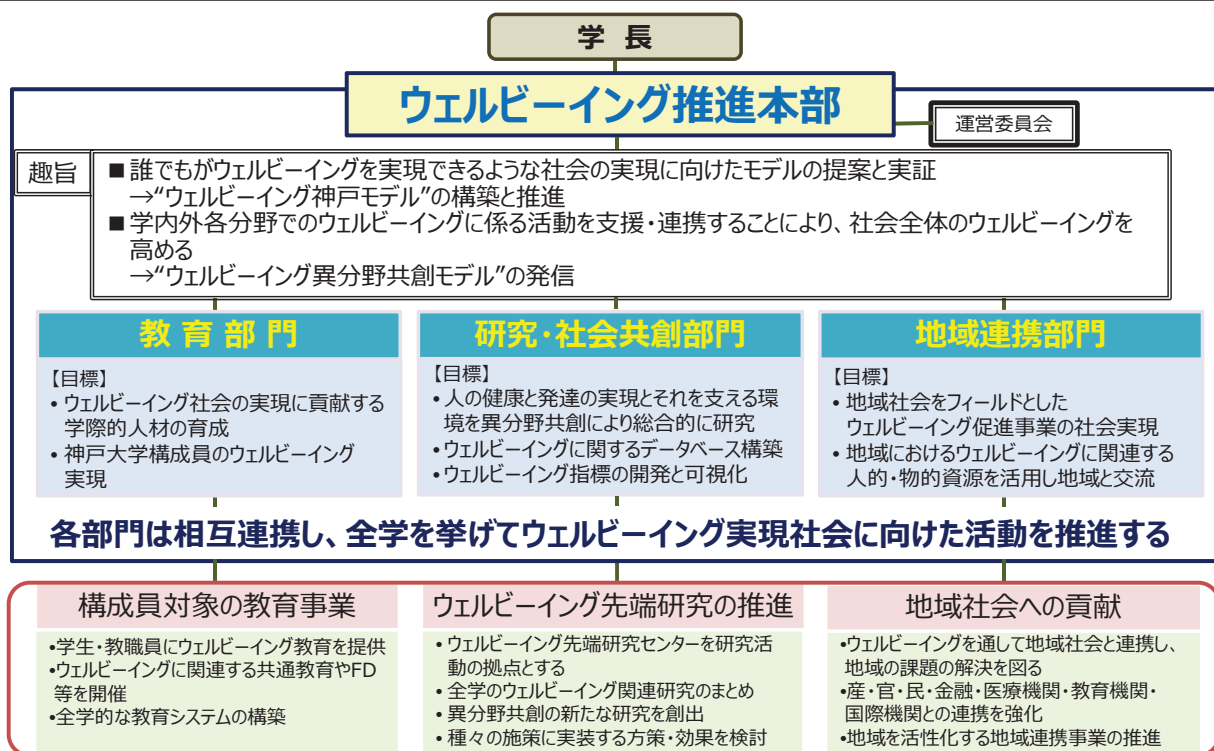
回答	回答数	割合 (%)
東京及び首都圏	69	27.3%
首都圏以外の地域	13	5.1%
地域は問わない	171	67.6%
合計：	253	100%

問7. 本学部の学生に卒業までに特に身につけてほしい能力や資格はありますか。

開示せず

※割合 (%) は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100.0%にならない場合がある

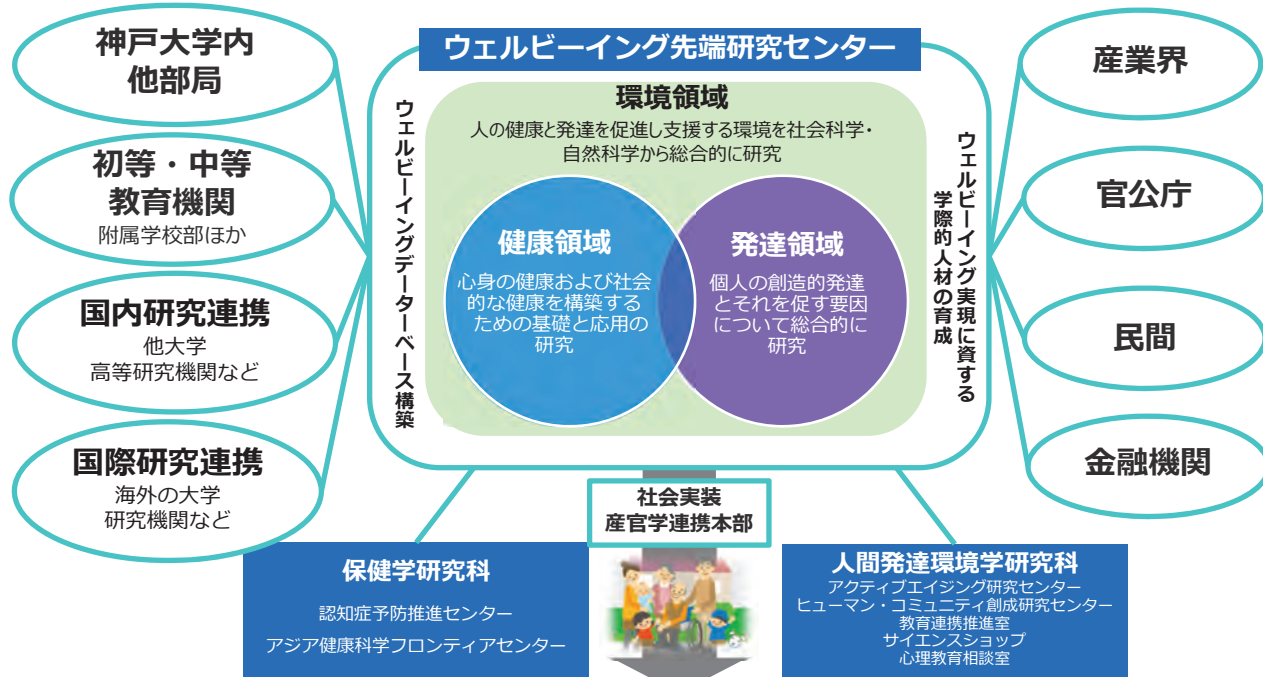
ウェルビーイング推進本部の設置



異分野共創によりウェルビーイングを実現し、持続可能な社会をリードする

ウェルビーイング先端研究センター

【ミッション】 少子・超高齢化，貧困格差，新型コロナウィルスのパンデミック，紛争や自然災害による劇的な環境の変化においても，持続可能な社会を築き，生涯にわたるウェルビーイングを実現することは最重要課題。その実現には，人を総合的に捉え，環境との相互作用を考慮することが不可欠であり，学際的な視点が必要。人生100年時代のいずれのステージにおいても，疾病や障害の有無に関係なく，心豊かで幸せを実感できる社会の実現を目指す。



【目標】 生物学的・生理学的知見を基盤とした健康・医科学に，発達科学，環境科学を融合し，エビデンスに基づいた異分野共創のアクションを産官民金と連携して実施し，持続可能なウェルビーイング・心豊かで幸せを実感できる社会を実現

まとめ

- 神戸大学は、ウェルビーイング推進本部・ウェルビーイング先端研究センターを設置します
- 推進本部は、研究・地域共創、教育、地域連携の3部門を設置し、各学部・研究科で行われるウェルビーイング関連研究を横断的に支援し連携を強化します
- 先端研究センターでは、健康、発達、環境の3領域において、最先端の研究を行い、国内外に向けて情報発信します
- 学外の学術機関および産・官・民・金との連携や 共同研究を進め、研究・教育を充実させます
- その成果を地域社会・地域住民のウェルビーイング達成のために活かします

世界トップレベルのウェルビーイング推進拠点を目指します

「留学生30万人計画」骨子の概要

- ☆ 「グローバル戦略」展開の一環として**2020年**を目途に留学生受入れ**30万人**を目指す。
- ☆ 大学等の教育研究の国際競争力を高め、優れた留学生を戦略的に獲得。
- ☆ 関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進

ポイント



資料39

本文23ページ参照

出展 : https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/_icsFiles/afieldfile/2019/09/18/1420758_002.pdf

1（書類等の題名）

武蔵野大学 外国人留学生の卒業の進路

（【資料 40】 1 0 2 ページ）

2（出典）

学校法人武蔵野大学学生支援部キャリアセンター事務課所持データ

3（その他の説明）

本内容は、学内資料（学外秘）であり、省略とする。

2023/03/07 11:59

12.5兆円と600兆円 日米の格差、原因は？ 藤田康人のウェルビーイング解体新書【6】：【SDGs ACTION!】朝日新聞デ...



インテグレート代表取締役CEO／藤田康人



藤田康人（ふじた・やすと）

株式会社インテグレート代表取締役CEO。1964年東京都生まれ。慶應義塾大学文学部を卒業後、味の素に入社。ザイロフィンファースト社（現ダニスコジャパン）の設立に参画してキシリトール・ブームを仕掛け、製品市場をゼロから2000億円規模へと成長させた。2007年5月、IMC（統合型マーケティング）プランニングを実践するマーケティングエージェンシー「インテグレート」を設立。著書に『カスタマーセントリック思考』

『THE REAL MARKETING—売れ続ける仕組みの本質』（いずれも宣伝会議）など。

政治から研究の分野まで、世界中のあらゆる人々の注目が今、ウェルビーイングに集まっています。

SDGsの大きな潮流の中でコロナ禍を経て、人々の幸せに対する価値観や生き方、暮らし方が大きく変わったことは、このコラムの中でも何度もお話ししてきました。

マーケターの立場から、私は今こそすべての企業がウェルビーイングの視点で既存ビジネスを見直し、新規領域へ参入する絶好のチャンスだと考えています。今のこのタイミングは、新しいビジネスが生まれる環境がそろっていると言えるからです。

目次

巨大化するアメリカのウェルネス産業

背景のひとつに「負の歴史」？

保険制度の問題点 かえって普及のきっかけに

巨大化するアメリカのウェルネス産業

では実際に、ウェルビーイングに関連するビジネスは現在、どのような状況なのでしょうか。

ウェルビーイングの概念は、体と心、そして社会との関係性という広範囲をカバーしています。そのため、そもそも「ウェルビーイングビジネス市場」といっても、その実情を明確に推計することはとても難しいのです。

そんななか、実態が顕在化していてわかりやすいのは、アメリカのウェルネス産業です。

対象となるのは、「ウェルネスツーリズム」や「フィジカルアクティビティー」、「予防医療・公衆衛生関連」といった、いわゆる「健康産業まわり」になります。

ウェルネス領域の調査研究を進める米NPO「GLOBAL WELLNESS INSTITUTE」の調査によると、その市場規模は2022年時点で約4.4兆ドル。日本円にすると約600兆円になります。

同様の枠組みで見たときの同年の日本の市場規模は約12.5兆円（予測）ですから、この領域ではアメリカがかなり先行しているといえることができます。

さらにアメリカでは今、睡眠・マインドフルネス・瞑想（めいそう）に関するテクノロジー領域を指す意味で使われていた「トランステック」という言葉が「ウェルビーイング・テクノロジー」へと名前を変え、産業としての規模を拡大しようとしています。

2020年には、ウェルビーイング分野へのスタートアップに対する投資が1兆円を突破。企業向け遠隔メンタルヘルスケア、瞑想アプリ、ビデオ診療など、投資を受けた企業は350社を超え、5年前より2割以上増えています。アメリカのウェルビーイングビジネスは、すでに成長モードに入っているといえるかもしれません。

巨大化するアメリカのウェルネス産業ですが、世界の「ウェルビーイング市場」のすべてを占めるのかといわれると、さすがにそうではなく、一部に過ぎないでしょう。世界中の人たちのウェルビーイングを実現するためのアイデアは、既存のウェルネス産業という枠組みを超え、いくらでも出てくることになるはずだからです。

たとえば、私たちを心から楽しませてくれるエンターテインメント産業、家族や友人との大切な時間に満足感を与えてくれる外食産業などは、ウェルビーイング産業と言っていいと思います。

そういった周辺の産業を加えると、世界規模でのウェルビーイング市場は、750兆円規模にも広がるのではないかとされています。ウェルビーイングビジネスの領域は、これからさらにどんどん広がっていくことになるでしょう。

背景のひとつに「負の歴史」？

正確な比較は難しいとはいえ、600兆円と12.5兆円という日米のウェルネス領域での市場規模の差は、人口（米国・約3億3000万人、日本・約1億2500万人）を考慮しても、あまりにも大きく広がっています。

では、日本とアメリカの市場環境には、どんな違いがあるのでしょうか？

アメリカでウェルビーイングビジネスが急成長する背景のひとつに、アメリカにおける偏見と差別の歴史があると考えられます。「負」の側面を持つ歴史を背負っているアメリカ社会は、差別や不平等といった問題にとっても敏感で、社会的に弱者とされる人々の救済にも積極的です。

その姿勢は、メンタルヘルスの領域でも同様です。1999年には世界で初めてのメンタルヘルス会議を開催し、2008年には「メンタルヘルス・パリティ法」という、精神疾患と身体疾患の保険の取り扱いの不平等をなくす法律を施行しました。

アメリカではウェルビーイングが注目されるはるか昔から、メンタルヘルスという心の問題を社会として黙殺することなく、むしろ解決すべき要件としてさまざまな取り組みが進められてきたのです。

保険制度の問題点 かえって普及のきっかけに

アメリカと日本では決定的な違いがもうひとつあります。保険制度です。

日本は「国民皆保険」が制度として確立している国です。保険証があれば、誰でも、どこでも、いつでも、保険医療を受けることができます。

一方、アメリカは民間保険中心の国です。公的医療保険としてあるのは、高齢者や障害者を対象とした「メディケア」と、低所得者向けの「メディケイド」の2つ。それ以外の人たちは、企業が提供する民間の医療保険に加入しているケースが一般的です。

従業員200人以上の企業には医療保険の提供が義務付けられているため、アメリカ国民の約7割が民間保険に加入しているといえます。ただし、どんな内容の保険になるかは、勤めている企業次第。医療保険の内容が、働く人たちの会社選びの重要な選択肢のひとつになっています。

裏を返せば、アメリカの企業は、質の高い従業員を確保するためには条件のよい医療保険を提供することが採用戦略上の重要なテーマになっています。一方で、手厚い内容の保険になればなるほど、当然ながら企業が負担する保険料は大きくなります。

このような「民間保険を中心に成り立っている医療制度」が、実はアメリカでウェルビーイングビジネスが先行する大きな理由のひとつになっているのです。

高齢化社会にともなう医療費の増大は、日本でも大きな問題とされています。しかし世界の中でみると、1人当たりの年間の保険医療支出は、日本は上位10カ国にも入りません。

一方、支出額が群を抜いて多いのがアメリカです。例えば、アメリカの中でも医療費が高いニューヨークのマンハッタン地区の場合、虫垂炎で入院・手術したとすると1日の入院費が100万円を超えることも少なくないといえます。

保険医療が高額になると、自己負担分を支払う個人も、保険負担部分を支払う企業も、そして保険請求に対して保険適用分を支払わなければいけない保険事業者も、みんなが困ってしまいます。

三者いずれも医療費の抑制が重要になってきますが、その中で特に深刻なのが企業です。民間医療保険の掛け金は年々増加の一途をたどっていますが、その増加分の多くを負担しているのは、雇用主である企業だからです。

そこで企業が注目したのが、従業員が心身の健康を保つための遠隔メンタルヘルスケア、瞑想アプリ、ビデオ診療など、さまざまな「ウェルビーイング・ソリューション」です。

増え続ける医療費を抑制するために、そもそも従業員が病気にならないよう心身の健康を保つための工夫が必要とされ、そこに需要が生まれ、ビジネスが生まれる。これが今、アメリカでウェルビーイングビジネスが急成長している土壌になっているのです。

実際、アメリカでは、Google、インテル、Meta（Facebook）などの先進企業を中心に、多くの企業がストレスケアだけでなく生産性向上を目的としてマインドフルネスプログラムを導入しています。

では、保険制度などのビジネス環境がアメリカとは違う日本では今後、ウェルビーイングビジネスはどのように市場が形成されていくのでしょうか。そして、どんな領域が有望なのでしょう。

この話はまた、別の機会にお伝えしたいと思います。



教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	ニシモト テルマ 西本 照真 ＜平成28年4月＞		博士 (文学)		武蔵野大学 学長 (平成28.4～令和6.3)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

審査意見への対応を記載した書類（7月）

（目次） ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科

1. 学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）の（1）エ「A. 学生確保の見通しの調査結果」において、①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味、②興味のある学問分野、③進学希望、④受験意向、⑤入学意向の回答結果をクロス集計した結果、373人を東京都からの入学志願者とみなし、全国の入学者志願者数として割り返して推計した1103人を根拠に、入学定員80名を充足することができることを説明している。先述の①～⑤の各項目を見ると、④の受験意向については、本学部を「ぜひ受験したい」と回答した33名に「やや受験したい」と回答した387名を加えた420名を集計しており、⑤の入学意向についても、本学部に合格した場合「ぜひ入学したい」と回答した48名に「やや入学したい」と回答した325名を加えた373名を集計している。しかしながら、受験意向や入学意向の強さによって回答する選択肢が分かれていることを踏まえれば、「やや受験したい」と回答した者が「ぜひ受験したい」と回答した者と同程度の受験意向を持っているとは考えがたく、同様に「やや入学したい」と回答した者が「ぜひ入学したい」と回答した者と同程度の入学意向を持っているとは考えがたい。このため、「ぜひ受験したい」や「ぜひ入学したい」と回答した者と必ずしも同程度の受験意向や入学意向を持つとは想定されない回答者を、設定した入学定員を充足することができる定量的なエビデンスに含めることが妥当であるとは判断できず、集計結果として示された373名を東京都からの入学者数の根拠とすることに疑義がある。さらに、373名を基準として、過去3年間の本学への入学者数に対する東京都出身者数の割合の平均値が33.8%であったことを踏まえて割り返した1103人を全国の入学志願者数として示しているが、「ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科」と既設の各学部学科の教育目的や教育課程学問分野が必ずしも同様ではないことを踏まえると、近隣における競合校の有無や地域性等も学部学科によって異なると考えられることから、単に本学の過去3年間の入学者数に対する東京都出身者数の割合の平均値を用いて割り返して得られた人数を入学定員を満たす説明の根拠とすることが妥当であるとは判断できない。また、同資料の（1）エ「A. 学生確保の見通しの調査結果」において、外国人留学生の入学についても説明がされているが、本学科への入学を確認できる根拠は見受けられず、本学科の学生確保の見通しとして妥当であるとは判断できない。さらに、2年次編入学定員（10人）が設定されているが、この定員を充足することの根拠についての説明も見受けられない。このため、改めて適切なクロス集計の結果に基づき、進学を希望する者の数を客観的な根拠に基づき明示するとともに、適切な分析を踏まえた上で、本学科の学生確保の見通しについて説明すること。その際、既存のアンケート調査における適切なクロス集計の結果によって学生確保の見通しが十分に説明できない場合は改めてアンケート調査を行うことも含めて必要に応じて対応すること。（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

2. 学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）の（2）②「イ 企業・関係機関等への採用意向調査」において、「本学部の育成する人材が活用できると考えられる企業・関係機関等の新卒採用人事担当者向け」に行ったアンケートの中で、本学部で育成する人材を「採用したい」と回答した人事担当者 17 名と「やや採用したい」と回答した人事担当者 19 名の合計 36 名が全回答者の 100%を占めることをもって、本学部卒業生への採用意向が一定数あることを説明している。しかしながら、これらの「採用したい」及び「やや採用したい」と回答したそれぞれの企業が、本学科の卒業生をどの程度採用するのか不明確であることから、本学科に設定された入学定員 80 名及び 2 年次の編入学定員 10 名を踏まえた人材需要があるとは判断できない。このため、本学科の養成する人材に対する社会的需要が十分にあることについて、改めてアンケート調査を実施することも含め、客観的かつ具体的なデータ等を適切に示した上で、それらの根拠に基づき明確に説明すること。（是正事項）・・・・・・・・・・・・・・・・ 63

1. 学生の確保の見通し等を記載した書類(本文)の(1)エ「A. 学生確保の見通しの調査結果」において、①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味、②興味のある学問分野、③進学希望、④受験意向、⑤入学意向の回答結果をクロス集計した結果、373人を東京都からの入学志願者とみなし、全国の入学者志願者数として割り返して推計した1103人を根拠に、入学定員80名を充足することができることを説明している。先述の①～⑤の各項目を見ると、④の受験意向については、本学部を「ぜひ受験したい」と回答した33名に「やや受験したい」と回答した387名を加えた420名を集計しており、⑤の入学意向についても、本学部に合格した場合「ぜひ入学したい」と回答した48名に「やや入学したい」と回答した325名を加えた373名を集計している。しかしながら、受験意向や入学意向の強さによって回答する選択肢が分かれていることを踏まえれば、「やや受験したい」と回答した者が「ぜひ受験したい」と回答した者と同程度の受験意向を持っているとは考えがたく、同様に「やや入学したい」と回答した者が「ぜひ入学したい」と回答した者と同程度の入学意向を持っているとは考えがたい。このため、「ぜひ受験したい」や「ぜひ入学したい」と回答した者と必ずしも同程度の受験意向や入学意向を持つとは想定されない回答者を、設定した入学定員を充足することができる定量的なエビデンスに含めることが妥当であるとは判断できず、集計結果として示された373名を東京都からの入学者数の根拠とすることに疑義がある。さらに、373名を基準として、過去3年間の本学への入学者数に対する東京都出身者数の割合の平均値が33.8%であったことを踏まえて割り返した1103人を全国の入学志願者数として示しているが、「ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科」と既設の各学部学科の教育目的や教育課程学問分野が必ずしも同様ではないことを踏まえると、近隣における競合校の有無や地域性等も学部学科によって異なると考えられることから、単に本学の過去3年間の入学者数に対する東京都出身者数の割合の平均値を用いて割り返して得られた人数を入学定員を満たす説明の根拠とすることが妥当であるとは判断できない。また、同資料の(1)エ「A. 学生確保の見通しの調査結果」において、外国人留学生の入学についても説明がされているが、本学科への入学を確認できる根拠は見受けられず、本学科の学生確保の見通しとして妥当であるとは判断できない。さらに、2年次編入学定員(10人)が設定されているが、この定員を充足することの根拠についての説明も見受けられない。このため、改めて適切なクロス集計の結果に基づき、進学を希望する者の数を客観的な根拠に基づき明示するとともに、適切な分析を踏まえた上で、本学科の学生確保の見通しについて説明すること。その際、既存のアンケート調査における適切なクロス集計の結果によって学生確保の見通しが十分に説明できない場合は改めてアンケート調査を行うことも含めて必要に応じて対応すること。

(対応)

学生の確保の見通しについて、改めて適切にクロス集計を行うとともに、追加調査を行い、客観的な根拠に基づき適切な分析を踏まえたうえで、以下のとおり見通しを説明する。

1. 入学定員の確保について

まず、令和4年12月～令和5年1月に実施した東京都の私立及び都立高校の高校2年生（令和6年度大学入学生）を対象としたアンケート結果について、より適切な分析を行うため、受験及び入学の意思が明確であるとは判断できない「やや受験したい」「やや入学したい」の回答を除くこととし、改めて、「学問分野のうち文学関係又は社会学・社会福祉学関係に興味がある」「進学を希望する」「ぜひ受験したい」「ぜひ入学したい」の回答のみを抽出してクロス集計を行った。

さらに、令和4年12月～令和5年1月のアンケートを実施していない高校6校の高校3年生（令和6年度大学入学生）、本学部のオープンキャンパス等に参加した高校3年生、及び本学部に興味を持って資料請求した高校3年生に対し、令和5年6月～7月に追加調査を実施し、クロス集計を行った。

加えて、外国人留学生の入学意向を確認するために、本学の外国人留学生入学試験で志願者が2年連続2人以上あった日本語学校61校の生徒に対し、令和5年6月～7月にアンケート調査を実施し、クロス集計を行った。

以上のアンケート調査のクロス集計結果から入学意向がある生徒を加算すると、入学定員80人に対し67人となった。

次に、令和4年12月～令和5年1月に実施した東京都の私立及び都立高校の高校2年生を対象としたアンケートの調査結果について、「ぜひ受験したい」かつ「やや入学したい」、「やや受験したい」かつ「ぜひ入学したい」、及び「やや受験したい」かつ「やや入学したい」と回答した生徒の入学の可能性を分析した。これらの生徒は受験意向までには達してはいないが、受験を検討している段階の生徒であるため、本学部の受験を検討して大学案内等を請求する資料請求者と同等とみなし、本学部と同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科の資料請求者に対する受験者比率及び併願者（本学の入試において本学他学科を第一希望とし、本学部を第二希望以降で出願する者）に対する歩留率を基に入学の可能性を検討したところ、想定される入学意向者は20人となった。

以上の分析・検討により、入学意向がある生徒67人及び想定される入学意向者20人の合計が87人となり、アンケート調査実施対象以外の高校等にも入学意向者がいることが想定されることから、入学定員80人に対して学生確保の見通しはありと考えられる。

2. 編入学定員の確保について

本学部への編入学の動向を調査するため、令和5年6月～7月にアンケート調査を新たに実施した。調査は、編入学の該当者となる短期大学、高等専門学校、専修学校及び本学

別科（日本語教育課程）に在籍する学生、並びに平成18年に廃止となった武蔵野女子大学短期大学部卒業生を対象に実施し、回答結果をクロス集計したうえで入学意向を示した者が10人であった。アンケート調査実施対象以外にも入学意向者がいることが想定されることから、本学部の2年次編入学定員10人に対して、編入学定員の学生確保の見通しはあると考えられる。

さらに、編入学定員10人の確保の可能性について、アンケート結果の分析を進めると、上記の10人以外で「受験したい」かつ「入学したい」と回答している者のうち、学問分野においてウェルビーイング学部の学位の分野である「文学関係」及び「社会学・社会福祉学関係」以外の「経済学関係」、「教育学・保育学関係」を選択している者が5人であった。本学部の学問分野は「文学関係」及び「社会学・社会福祉学関係」を中心に、ウェルビーイングに関するデザイン学、自然環境学等の自然科学や教育学、経済学等の分野からもウェルビーイングを学際的に学ぶことで、人々がウェルビーイング（幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など）を感じられる新たな世界をデザインする学問分野として「ウェルビーイング学」を新たに構築していくとしているため、「経済学関係」、「教育学・保育学関係」を選択している者も入学の可能性があると考えられる。また、「文学関係及び社会学・社会福祉学関係に興味がある」かつ「受験したい」かつ「入学したい」と回答している者のうち、進路希望において「わからない」と選択している者が12人であった。この12人は、進路に迷われている状態であるため、進学に必要な条件が整えば入学意向に変わる可能性があると考えられる。

これらの全ての条件は満たしていないが入学意向に近い17人について、本学から適切なPR活動を行うことで、入学意向に変わる可能性があることから、編入学定員10人の学生確保の見通しはあると考えられる。

以上の分析に基づき、以下のとおり「学生確保の見通し等を記載した書類」を修正する。

（新旧対照表）学生の確保の見通し等を記載した書類（本文）（7～15ページ）

新	旧
学生の確保の見通し等を記載した書類 （１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況 （略） エ 学生確保の見通し A. 学生確保の見通しの調査結果 （ア）入学定員の確保について 本学部への受験生の志願動向を調査するため、令和4年12月～令和5年1月に	学生の確保の見通し等を記載した書類 （１）学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況 （略） エ 学生確保の見通し A. 学生確保の見通しの調査結果 本学部への受験生の志願動向を調査するため、令和4年12月～令和5年1月に

アンケート調査を実施した。 アンケート調査対象校の抽出にあたっては、次の観点から行った。本学の過去3年間の新入生の出身高校のうち、平均65.3%が1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に位置している。特に東京都の出身が33.8%と最も割合が高い【資料11】。このことから、アンケートは、本学への進学実績がある東京都の私立及び都立高校の高校2年生（令和6年度大学入学生）を対象に実施することとした。 該当する60校にアンケート調査実施の依頼を行い、そのうち7,638人から有効回答を得ることができた。 アンケートの内容は、本学部についての説明を読んだ上で、入学意向を選択するものとした【資料12】。 有効回答7,638人のうち、本学部への入学意思のある人数を明確にするため、集計にあたっては、高校2年生のうち①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味、②興味のある学問分野、③進学希望、④受験意向、⑤入学意向の回答結果をクロス集計し、調査結果を踏まえた分析を行った。クロス集計結果によると、以下①～⑤のすべての条件を充たす回答をした生徒は合計23人であった【資料13】。 ①ウェルビーイングについて大学で学ぶことに「とても興味がある」または「興味がある」と回答した生徒（2,502人） ②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野に興味があると回答した生徒（931人） ③高校卒業後に4年制大学への進学を「希望する」と回答した生徒（818人） ④本学部を「ぜひ受験したい」と回答した	アンケート調査を実施した。 アンケート調査対象校の抽出にあたっては、次の観点から行った。本学の過去3年間の新入生の出身高校のうち、平均65.3%が1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に位置している。特に東京都の出身が33.8%と最も割合が高い【資料11】。このことから、アンケートは、本学への進学実績がある東京都の私立及び都立高校の高校2年生（令和6年度入学生）を対象に実施することとした。 該当する60校にアンケート調査実施の依頼を行い、そのうち7,638人から有効回答を得ることができた。 アンケートの内容は、本学部についての説明を読んだ上で、進学意向を選択するものとした【資料12】。 有効回答7,638人のうち、本学部への入学意思のある人数を明確にするため、集計にあたっては、高校2年生のうち①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味、②興味のある学問分野、③進学希望、④受験意向、⑤入学意向の回答結果をクロス集計し、調査結果を踏まえた分析を行った。クロス集計結果によると、以下①～⑤のすべての条件を充たす回答をした生徒は合計373人であった【資料13】。 ①ウェルビーイングについて大学で学ぶことに「とても興味がある」または「興味がある」と回答した生徒（2,502人） ②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野に興味があると回答した生徒（931人） ③高校卒業後に4年制大学への進学を「希望する」と回答した生徒（818人） ④本学部を「ぜひ受験したい」または「や

生徒（33人） ⑤本学部に合格した場合、「ぜひ入学したい」と回答した生徒（23人） 上記アンケート結果により、本学部の入学定員 80 人に対して、クロス集計結果により「ぜひ入学したい」と回答した生徒が 23 人であったことから、本学部への入学意向を更に把握するために、令和 5 年 6 月～7 月に、前回のアンケート調査を実施していない高校 6 校の高校 3 年生（令和 6 年度大学入学生）、本学部のオープンキャンパス等に参加した高校 3 年生、及び本学部に興味を持って資料請求した高校 3 年生に対してアンケート調査を実施した。前回のアンケート調査では受験及び入学意思を確認する際の設問で「やや受験したい」及び「やや入学したい」といった表現の選択項目があり、受験及び入学の意思を明確に確認できるものではなかったため、今回のアンケートでは入学意向を明確に確認できるよう選択項目を修正したうえで調査を実施した【資料 14】。 調査の結果、高校 6 校の高校 3 年生については 622 人から、本学部のオープンキャンパス等に参加した高校 3 年生については 27 人から、本学部に興味を持って資料請求した高校 3 年生については 16 人から有効回答を得ることができた。 有効回答 665 人について、上述の令和 4	や受験したい」と回答した生徒（420人） ⑤本学部に合格した場合、「ぜひ入学したい」または「やや入学したい」と回答した生徒（373人） 本学への全入学者のうち、東京都出身者は過去 3 年間平均で 33.8%であったことから、この 373 人を東京都からの入学志願者数とみなし、全国の入学志願者数として割り返して推計すると、1,103 人となり、入学定員 80 人は十分充足されるものと考ええる。

年 12 月～令和 5 年 1 月に実施したアンケート調査の回答者（当時 2 年生）と重複がないことを確認し、集計を行った。本学部への入学意思のある人数を明確にするため、高校 3 年生のうち①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味、②興味のある学問分野、③進学希望、④受験意向、⑤入学意向の回答結果をクロス集計し、分析を行った。クロス集計結果によると、以下①～⑤のすべての条件を充たす回答をした高校 3 年生は 24 人であった【資料 15】。

①ウェルビーイングについて大学で学ぶことに「興味がある」と回答した生徒（243 人）

②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野に興味があると回答した生徒（104 人）

③高校卒業後に 4 年制大学への進学を「希望する」と回答した生徒（98 人）

④本学部を「受験したい」と回答した生徒（48 人）

⑤本学部に合格した場合、「入学したい」と回答した生徒（24 人）

また、外国人留学生の入学意向を確認するために、令和 5 年 6 月～7 月に本学の外国人留学生入学試験で志願者が 2 年連続 2 人以上あった日本語学校（以下「日本語学校」という。）61 校の生徒に対してアンケート調査を実施した。アンケートの内容は、本学部についての説明を読んだ上で、入学意向を選択するものとした【資料 16】。

日本語学校 61 校の生徒の有効回答 79 人について、本学部への入学意思のある人数を明確にするため、集計にあたっては、回答結果をクロス集計し、分析を行った。ク

ロス集計結果によると、以下①～⑤のすべての条件を満たす回答をした生徒は 20 人であった【資料 17】。

①ウェルビーイングについて大学で学ぶことに「興味がある」と回答した生徒（64 人）

②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野に興味があると回答した生徒（30 人）

③卒業後に 4 年制大学への進学を「希望する」と回答した生徒（25 人）

④本学部を「受験したい」と回答した生徒（23 人）

⑤本学部に合格した場合、「入学したい」と回答した生徒（20 人）

上述の調査のクロス集計結果をまとめると【表 1】、興味のある学問分野、進路希望、受験意向及び入学意向の回答結果をクロス集計したうえで、入学意向を示した生徒は、入学定員 80 人に対して 67 人となった。

【表 1】クロス集計結果（興味のある学問分野、進路希望、受験意向及び入学意向）で入学意向を示した生徒数

区分	クロス集計結果で入学意向を示した生徒数
東京都の私立及び都立高校の高校生 (令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月実施)	23 人

高校 6 校、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生、本学部に興味を持って資料請求した高校生（令和 5 年 6 月～7 月実施）	24 人
日本語学校の生徒（令和 5 年 6 月～7 月実施）	20 人
合計	67 人

次に、令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月で実施した東京都の私立及び都立高校の高校 2 年生（令和 6 年度大学入学生）を対象としたアンケート調査結果（クロス集計結果）について、④受験意向の設問で本学部を「ぜひ受験したい」または「やや受験したい」と回答した生徒 420 人のうち、⑤入学意向の設問で本学部を「ぜひ入学したい」または「やや入学したい」と回答した 373 人の入学の可能性について、分析を行った。

「ぜひ受験したい」と回答した者のうち、「ぜひ入学したい」が 23 人、「やや入学したい」が 9 人であり、「やや受験したい」と回答した者のうち「ぜひ入学したい」が 25 人、「やや入学したい」が 316 人であった【表 2】。

【表 2】 東京都の私立及び都立高校の高校 2 年生（令和 6 年度大学入学生）を対象としたアンケート調査結果（クロス集計結果）④受験意向の回答内訳

	ぜひ 入学し たい	やや 入学し たい	合計
ぜひ受験 したい	23 人	9 人	32 人
やや受験 したい	25 人	316 人	341 人
合計	48 人	325 人	373 人

このうち、「ぜひ受験したい」かつ「やや入学したい」と回答した 9 人と、「やや受験したい」かつ「ぜひ入学したい」、及び「やや受験したい」かつ「やや入学したい」と回答した生徒 341 人の合計 350 人の生徒は、「ぜひ受験したい」と回答した生徒の受験意向までには達してはいないが、受験を検討している段階の生徒であり、一部の生徒は今後受験をする可能性があると考ええる。この 350 人について、本学部の受験を検討して大学案内等を請求する資料請求者と同等とみなし、受験の可能性を検討すると、同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科の資料請求者（高校 3 年生）に対する受験者数比率は過去 5 ヶ年平均 17.2%であるため【表 3】、本学部においても 350 人のうちの 17.2%である 60 人が今後受験をすることが想定される。

【表 3】人間科学部人間科学科の資料請求数及び受験者数（実人数）（単位：

人)						
	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	平均
資料 請求 者 (a)	5, 5 97	6, 8 87	8, 5 19	12, 338	10, 969	8, 8 62
受験 者 (b)	1, 1 43	1, 6 96	1, 7 13	1, 6 39	1, 4 12	1, 5 21
受験 者/ 資料 請求 者 (b /a)	20. 4%	24. 6%	20. 1%	13. 3%	12. 9%	17. 2%
さらに、この受験想定 の 60 人について、 「ぜひ受験したい」かつ「ぜひ入学したい」 と回答した層よりも入学意向が弱いと考 え、併願者（本学の入試において本学他学 科を第一希望とし、本学部を第二希望以降 で出願する者）の受験者と同等とみなす。 併願者の受験者は、合格した場合でも併願 先の合否により入学しない可能性がある ため、合格した場合の入学率、すなわち歩 留率を踏まえた入学の可能性を検討する と、同じ学位の分野を持つ人間科学部人間						

科学科の併願者の歩留率（入学者数／合格者数）は過去５ヶ年平均 33.6%【表４】であるため、60 人のうちの 33.6%である 20 人は入学意向があると想定される。

【表４】人間科学部人間科学科併願者（実人数）の歩留率について

	志願 者数 (a)	受験 者数 (b)	合格 者数 (c)	入学 者数 (d)	歩留 率 (d/ c)
平成 30 年	499 人	484 人	154 人	57 人	37.0 %
令和 元年	757 人	727 人	143 人	54 人	37.8 %
令和 2 年	825 人	781 人	169 人	65 人	38.5 %
令和 3 年	712 人	701 人	186 人	58 人	31.2 %
令和 4 年	649 人	627 人	220 人	59 人	26.8 %
合計	3,44 2 人	3,32 0 人	872 人	293 人	33.6 %

以上の分析・検討により、令和６年度に本学部に入学者意向のある生徒について、東京都の私立及び都立高校の高校生へのアンケート調査でクロス集計のうえ入学意向を示した生徒が 23 人、高校 6 校、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生及び本学部に興味を持って資料請求した高校生へのアンケート調査でクロス集計のうえ入学意向を示した生徒が 24 人、日本語学校の生徒へのアンケート調査でクロス集計のうえ入学意向を示した生徒が 20 人、東京都の私立及び都立高校の高校生で「やや受験したい」「やや入学したい」と

回答した生徒から想定される入学意向者が 20 人、これらを合わせて 87 人の入学意向者が考えられる【表 5】。従って、アンケート調査実施対象以外の高校等にも入学意向者がいることが想定されることから、入学定員 80 人に対して学生確保の見通しはあると考えられる。

【表 5】 分析・検討結果による入学意向者について

区分	入学意向者
東京都の私立及び都立高校の高校生 (令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月実施)	23 人
高校 6 校、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生、本学部に興味を持って資料請求した高校生 (令和 5 年 6 月～7 月実施)	24 人
日本語学校の生徒 (令和 5 年 6 月～7 月実施)	20 人
東京都の私立及び都立高校の高校生 (令和 4 年 12 月～令和 5 年 1 月実施) のうち「やや受験したい」「やや入学したい」と回答した生徒から想定される入学意向者	20 人
合計	87 人

なお、実際の本学部の資料請求者数から受験者数を想定すると、現在の資料請求者数は、令和 5 年 5 月末までの約 3 ヶ月間 (令和 5 年 3 月より資料請求開始) で、高

校3年生1,117人となっている。同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科の高校3年生の資料請求者数については、令和5年5月末までで6,721人であり、上述の「【表3】人間科学部人間科学科の資料請求数及び受験者数(実人数)」で示した資料請求者数の過去5ヶ年平均が8,862人であることから、5月末までの資料請求数は全体の75.8%(6,721人/8,862人)程度と想定することができる。本学部の5月末までの資料請求者数が1,117人であるため、最終的な資料請求者数は、上述の75.8%を割り返すと合計1,473人となる。さらに、上述の「【表3】人間科学部人間科学科の資料請求数及び受験者数(実人数)」で示した資料請求者数に対する受験者数(b/a)が17.2%であることから、本学部の最終的な想定資料請求者数1,473人の17.2%である253人が受験すると想定することもできる。 また、実際のオープンキャンパスの学科説明会参加者数から受験者数を想定すると、本学部の令和5年度初回(6月開催)のオープンキャンパスの学科説明会参加者数は118人となっている。同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科については、初回のオープンキャンパスの学科説明会参加者数の過去5ヶ年平均が208人、受験者の過去5ヶ年平均が1,521人であり【表6】、初回のオープンキャンパスの学科説明会参加者から、過去5ヶ年平均で7.3倍の受験者を想定することができる。したがって、本学部の令和5年度初回(6月開催)のオープンキャンパスの学科説明会参加者数118人の7.3倍である861人が受験する可能性が考えられ、上述の資料請求者数から想定される受験者数253人につ	

いて十分確保できると考えられる。

上述のとおり、実際の PR 活動である資料請求者数やオープンキャンパスの学科説明会参加者数からも、学生確保の見通しがあると言える。

また、PR 活動におけるウェルビーイングの認知度について、自由民主党政務調査会の日本 Well-being 計画推進特命委員会が令和 5 年 5 月 11 日に取りまとめた「日本 Well-being 計画推進特命委員会 第六次提言」においても、「近い将来、Well-being の認知度も大きく上昇する可能性がある。」「Well-being に特化した人材育成が期待される。」と述べられており【資料 18】、認知度向上により、将来に向けても学生確保の見通しがあると考えられる。

【表 6】人間科学部人間科学科の各年度初回のオープンキャンパスの学科説明会参加者及び各年度の受験者について

	平成 30 年	令和 元 年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	平均
学科説明会参加者 (a)	223 人	341 人	137 人	139 人	201 人	208 人
受験者	1, 1 43 人	1, 6 96 人	1, 7 13 人	1, 6 39 人	1, 4 12 人	1, 5 21 人

(b)						
受験者/ 学科説明会 参加者 (b/a)	5.1	5.0	12.5	11.8	7.0	7.3
本学部は、外国人留学生の入学も想定している。近年、本学の留学生の志願者数及び入学者数は、コロナ禍の令和4年度を除き増加傾向であり、過去5年間の入学者数平均が179人、全入学者数のうち外国人留学生が占める割合が平均7.5%となっている。同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科においても、安定的に外国人留学生が入学しており（外国人留学生比率5ヶ年平均7.0%）、本学部も含め本学では今後も一定数の外国人留学生の安定的な確保が見込まれる【資料19】。また、上述の令和5年6月～7月に日本語学校生徒に実施した本学部への入学意向を調査するアンケートにおいても、興味のある学問分野、進路希望、受験意向及び入学意向の回答結果をクロス集計したうえで、入学意向を示した生徒は、20人いたことから、本学部においても一定数の外国人留学生の確保の見通しがあると考えられる。						
本学部は、外国人留学生の入学も想定している。近年、本学の留学生の志願者数及び入学者数は、コロナ禍の令和4年度を除き増加傾向であり、過去5年間の入学者数平均が179人、全入学者数のうち外国人留学生が占める割合が平均7.5%となっている。同じ学位の分野を持つ人間科学部人間科学科においても、安定的に外国人留学生が入学しており（外国人留学生比率5ヶ年平均7.0%）、本学部も含め本学では今後も一定数の外国人留学生の安定的な確保が見込まれる【資料14】。						

(イ) 編入学定員の確保について 本学部への編入学の志願動向を調査するため、令和5年6月～7月にアンケート調査を実施した。 アンケートは、編入学の該当者となる1都3県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に位置する短期大学、高等専門学校及び専修学校（以下「短期大学等」という。）95校の学生、本学別科（日本語教育課程）に在籍する学生、並びに平成18年に廃止となった武蔵野女子大学短期大学部卒業生を対象にアンケート調査を実施した。アンケートの内容は、本学部についての説明を読んだ上で、入学意向を選択するものとした【資料20、21、22】。 短期大学等の学生については54人から、本学別科（日本語教育課程）に在籍する学生については6人から、武蔵野女子大学短期大学部卒業生については181人から、合計241人から有効回答を得ることができた。 有効回答241人について、本学部への入学意向のある人数を明確にするため、集計にあたっては、①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味、②興味のある学問分野、③4年制大学への編入学希望、④受験意向、⑤入学意向の回答結果をクロス集計し、分析を行った。クロス集計結果によると、以下①～⑤のすべての条件を満たす回答をした者は合計10人であった【資料23】。 ①ウェルビーイングについて大学で学ぶことに「興味がある」と回答した者(157人) ②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野に興味があると回答した者（76人）	

- ③4年制大学への編入学を「希望する」と回答した者（13人）
- ④本学部の編入学受験を「受験したい」と回答した者（12人）
- ⑤本学部に合格した場合、「入学したい」と回答した者（10人）

上記アンケート結果により、本学部の2年次編入学定員10人に対して、クロス集計結果により「入学したい」と回答した者が10人であり、編入学定員の学生確保の見通しはあると考えられる。

また、クロス集計のうえ「入学したい」と回答した者10人のうち、7人が武蔵野女子大学短期大学部卒業生であったことから、短期大学等を卒業した社会人についても、本学部の需要があることが考えられる。

さらに、編入学定員10人の確保の可能性について、アンケート結果の分析を進めると、上述のクロス集計結果の②本学部の学位の分野である「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味について、「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」以外の分野を選択したが、①ウェルビーイングについて学ぶことに「興味がある」③4年制大学への編入学を「希望する」④本学部の編入学試験を「受験したい」⑤本学部に合格した場合「入学したい」と回答した者が11人いた【表7】。本学部は「文学関係」及び「社会学・社会福祉学関係」の学問分野を中心に、ウェルビーイングに関するデザイン学、自然環境学等の自然科学や教育学、経済学等の分野からもウェルビーイングを学際的に学ぶことで、人々がウェルビーイング（幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など）を

感じられる新たな世界をデザインする学問分野として「ウェルビーイング学」を新たに構築していくとしているため、②興味のある学問分野で「経済学関係」、「教育学・保育学関係」を選択した5人（下表の回答者A～E）については【表7】、2年次編入学が開始する令和7年度入試に向けて、PR活動を更に強化することで、入学意向になる可能性があると考ええる。

【表7】「①ウェルビーイングに興味がある」「③編入学を希望する」「④受験したい」「⑤入学したい」と回答した者の②興味のある学問分野について

回答者	②興味のある学問分野
回答者A	経済学関係
回答者B	教育学・保育学関係、農学関係、家政学関係
回答者C	経済学関係
回答者D	教育学・保育学関係、獣医学関係、医学関係、美術関係
回答者E	教育学・保育学関係、医学関係、薬学関係、家政関係、保健衛生学関係
回答者F	理学関係
回答者G	医学関係
回答者H	農学関係
回答者I	医学関係、美術関係

回答者J	保健衛生学関係
回答者K	医学関係

また、上述のクロス集計結果の③4年制大学への編入学希望について、「希望する」が13人、「希望しない」が23人、「わからない」が34人、「その他」が6人であった。「わからない」と回答した34人は、今後受験を検討する層となる可能性があるため、④受験意向及び⑤入学意向を【表8】のとおりに分析した。④本学部の編入学受験を「受験したい」と回答した者が14人、「受験したくない」と回答した者が19人であった。この「受験したい」と回答した14人について、⑤本学部に合格した場合、「入学したい」と回答した者が12人であった。この12人についても、2年次編入学が開始する令和7年度入試に向けて、PR活動を更に強化することで、入学意向になる可能性があると考えられる。

【表8】クロス集計結果③4年制大学への編入学希望で「わからない」と回答した者の④受験意向及び⑤入学意向について

	入学したい	入学したくない （併願校の可否により入学を検討する者も含	合計

		む)		
受験したい	12 人	2 人	14 人	
受験したくない			20 人	
合計			34 人	
以上のことから、興味のある学問分野、進路希望、受験意向及び入学意向の回答結果をクロス集計したうえで、入学意向を示した者が 10 人いることに加えて、「受験したい」かつ「入学したい」と回答し、学問分野及び進路希望において条件は満たしていないが入学意向に近い回答をしている 17 人については、本学から適切な PR 活動を行うことで、入学意向に変わる可能性があり、アンケート調査実施対象者以外にも入学意向者がいることが想定されることから、編入学定員 10 人に対して学生確保の見通しはあると考えられる。				

高校生アンケートの結果

- 1. 実施時期：令和 4 年 12 月 13 日～令和 5 年 1 月 20 日
- 2. 対象：東京都の高校生 (高校 2 年生) 60 校
- 3. 回答：東京都の高校生 (高校 2 年生) 7, 638 人

4. 全アンケート結果 (有効回答のみ)

問 1. あなた自身についてお聞きます。

①性別

回答	回答数	割合 (%)
男性	3, 562	46. 6%
女性	3, 794	49. 7%
その他	57	0. 7%
回答しない	221	2. 9%
無回答	4	0. 1%
合計：	7, 638	100%

②高校所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	7, 631	99. 9%
無回答	7	0. 1%
合計：	7, 638	100%

③高校名
開示せず

④学年

回答	回答数	割合 (%)
高校 2 年生	7, 638	100%
合計：	7, 638	100%

高校生アンケートの結果

- 1. 実施時期：令和 4 年 12 月 13 日～令和 5 年 1 月 20 日
- 2. 対象：東京都の高校生 (高校 2 年生) 60 校
- 3. 回答：東京都の高校生 (高校 2 年生) 7, 638 人

4. 全アンケート結果 (有効回答のみ)

問 1. あなた自身についてお聞きます。

①性別

回答	回答数	割合 (%)
男性	3, 562	46. 6%
女性	3, 794	49. 7%
その他	57	0. 7%
回答しない	221	2. 9%
無回答	4	0. 1%
合計：	7, 638	100%

②高校所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	7, 631	99. 9%
無回答	7	0. 1%
合計：	7, 638	100%

③高校名
開示せず

④学年

回答	回答数	割合 (%)
高校 2 年生	7, 638	100%
合計：	7, 638	100%

問 2．あなたは高校卒業後、4 年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	5, 940	77. 8%
希望しない	825	10. 8%
わからない	835	10. 9%
その他	36	0. 5%
無回答	2	0. 0%
合計：	7, 638	100%

問 3．高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
文学関係	1, 717	13. 4%
教育学・保育学関係	1, 119	8. 8%
法学関係	783	6. 1%
経済学関係	1, 860	14. 6%
社会学・社会福祉学関係	873	6. 8%
理学関係	844	6. 6%
工学関係	765	6. 0%
農学関係	275	2. 2%
獣医学関係	192	1. 5%
医学関係	607	4. 8%
歯学関係	97	0. 8%
薬学関係	258	2. 0%
家政関係	268	2. 1%
美術関係	669	5. 2%
音楽関係	405	3. 2%
体育関係	721	5. 6%
保健衛生学関係	330	2. 6%
上記以外の複合分野（リベラルアーツな ど、文系・理系の区別なく幅広い学び	322	2. 5%
その他	666	5. 2%
合計：	12, 771	100%

問 2．あなたは高校卒業後、4 年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	5, 940	77. 8%
希望しない	825	10. 8%
わからない	835	10. 9%
その他	36	0. 5%
無回答	2	0. 0%
合計：	7, 638	100%

問 3．高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
文学関係	1, 717	13. 4%
教育学・保育学関係	1, 119	8. 8%
法学関係	783	6. 1%
経済学関係	1, 860	14. 6%
社会学・社会福祉学関係	873	6. 8%
理学関係	844	6. 6%
工学関係	765	6. 0%
農学関係	275	2. 2%
獣医学関係	192	1. 5%
医学関係	607	4. 8%
歯学関係	97	0. 8%
薬学関係	258	2. 0%
家政関係	268	2. 1%
美術関係	669	5. 2%
音楽関係	405	3. 2%
体育関係	721	5. 6%
保健衛生学関係	330	2. 6%
上記以外の複合分野（リベラルアーツな ど、文系・理系の区別なく幅広い学び	322	2. 5%
その他	666	5. 2%
合計：	12, 771	100%

問 4. 「ウエルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
とても興味がある	291	3. 8%
興味がある	2, 211	28. 9%
あまり興味がない	3, 390	44. 4%
全く興味がない	1, 707	22. 3%
無回答	39	0. 5%
合計：	7, 638	100%

問 5. 武蔵野大学では「ウエルビーイング」について学ぶ「ウエルビーイング学部」を開設予定です。ウエルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ受験したい	90	1. 2%
やや受験したい	1, 193	15. 6%
あまり受験したくない	3, 488	45. 7%
全く受験したくない	2, 848	37. 3%
無回答	19	0. 2%
合計：	7, 638	100%

問 6. 問 5 で「ぜひ受験したい」もしくは「やや受験したい」と回答した方にお聞きます。武蔵野大学ウエルビーイング学部合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ入学したい	127	9. 9%
やや入学したい	930	72. 5%
あまり入学したくない	199	15. 5%
全く入学したくない	24	1. 9%
無回答	3	0. 2%
合計：	1, 283	100%

問 4. 「ウエルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
とても興味がある	291	3. 8%
興味がある	2, 211	28. 9%
あまり興味がない	3, 390	44. 4%
全く興味がない	1, 707	22. 3%
無回答	39	0. 5%
合計：	7, 638	100%

問 5. 武蔵野大学では「ウエルビーイング」について学ぶ「ウエルビーイング学部」を開設予定です。ウエルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ受験したい	90	1. 2%
やや受験したい	1, 193	15. 6%
あまり受験したくない	3, 488	45. 7%
全く受験したくない	2, 848	37. 3%
無回答	19	0. 2%
合計：	7, 638	100%

問 6. 問 5 で「ぜひ受験したい」もしくは「やや受験したい」と回答した方にお聞きます。武蔵野大学ウエルビーイング学部合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ入学したい	127	9. 9%
やや入学したい	930	72. 5%
あまり入学したくない	199	15. 5%
全く入学したくない	24	1. 9%
無回答	3	0. 2%
合計：	1, 283	100%

問 7. 問 6 で「ぜひ入学したい」もしくは「やや入学したい」と答えた方にお聞きします。
ウェルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

回 答	回 答 数	割 合（％）
ウェルビーイング産業デザイナー	265	22.3%
ウェルビーイング地域デザイナー	240	20.2%
ウェルビーイングの専門家	85	7.1%
まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある	590	49.5%
無回答	11	0.9%
合 計：		100%

問 7. 問 6 で「ぜひ入学したい」もしくは「やや入学したい」と答えた方にお聞きします。
ウェルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

回 答	回 答 数	割 合（％）
ウェルビーイング産業デザイナー	265	22.3%
ウェルビーイング地域デザイナー	240	20.2%
ウェルビーイングの専門家	85	7.1%
まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある	590	49.5%
無回答	11	0.9%
合 計：		100%

5. クロス集計結果

①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味

5-①-1：「ウェルビーイングを大学で学ぶことへの興味」

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
とても興味がある	291	3. 8%
興味がある	2, 211	28. 9%
あまり興味がない	3, 390	44. 4%
全く興味がない	1, 707	22. 3%
無回答	39	0. 5%
合計：	7, 638	100%

↓「「とても興味がある」または「興味がある」2, 502人のみ抽出」

②興味のある学問分野

5-①-2：「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味

問3. 高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味	931	37. 2%
その他（無回答含む）	1, 571	62. 8%
合計：	2, 502	100%

↓「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味がある931人のみ抽出

5. クロス集計結果

①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味

5-①-1：「ウェルビーイングを大学で学ぶことへの興味」

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
とても興味がある	291	3. 8%
興味がある	2, 211	28. 9%
あまり興味がない	3, 390	44. 4%
全く興味がない	1, 707	22. 3%
無回答	39	0. 5%
合計：	7, 638	100%

↓「「とても興味がある」または「興味がある」2, 502人のみ抽出」

②興味のある学問分野

5-①-2：「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味

問3. 高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味	931	37. 2%
その他（無回答含む）	1, 571	62. 8%
合計：	2, 502	100%

↓「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味がある931人のみ抽出

③進路希望

5-②:「4 年制大学への進学希望」

問 2. あなたは高校卒業後、4 年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	818	87.9%
希望しない	32	3.4%
わからない	79	8.5%
その他	2	0.2%
無回答	0	0%
合計：	931	100%

↓ 「希望する」818 人のみ抽出

④受験意向

5-③:「武蔵野大学ウエルビーイング学部」の受験意向

問 5. 武蔵野大学では「ウエルビーイング」について学ぶ「ウエルビーイング学部」を開設予定です。ウエルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ受験したい	33	4.0%
やや受験したい	387	47.3%
あまり受験したくない	334	40.8%
全く受験したくない	64	7.8%
無回答	0	0%
合計：	818	100%

↓ 「ぜひ受験したい」33 人のみ抽出

③進路希望

5-②:「4 年制大学への進学希望」

問 2. あなたは高校卒業後、4 年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	818	87.9%
希望しない	32	3.4%
わからない	79	8.5%
その他	2	0.2%
無回答	0	0%
合計：	931	100%

↓ 「希望する」818 人のみ抽出

④受験意向

5-③:「武蔵野大学ウエルビーイング学部」の受験意向

問 5. 武蔵野大学では「ウエルビーイング」について学ぶ「ウエルビーイング学部」を開設予定です。ウエルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ受験したい	33	4.0%
やや受験したい	387	47.3%
あまり受験したくない	334	40.8%
全く受験したくない	64	7.8%
無回答	0	0%
合計：	818	100%

↓ 「ぜひ受験したい」または「やや受験したい」420 人のみ抽出

⑤入学意向

5-④：武蔵野大学ウェルビーイング学部への入学意向

問 6. 問 5 で「ぜひ受験したい」もしくは「やや受験したい」と回答した方にお聞きます。
武蔵野大学ウェルビーイング学部合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ入学したい	23	69.7%
やや入学したい	9	27.3%
あまり入学したくない	1	3.0%
全く入学したくない	0	0%
無回答	0	0%
合計：		100%

↓東京都からの本学部への入学志願者数=23人

※割合 (%) は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が100.0%にならない場合がある

⑤入学意向

5-④：武蔵野大学ウェルビーイング学部への入学意向

問 6. 問 5 で「ぜひ受験したい」もしくは「やや受験したい」と回答した方にお聞きます。
武蔵野大学ウェルビーイング学部合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
ぜひ入学したい	48	11.4%
やや入学したい	325	77.4%
あまり入学したくない	47	11.2%
全く入学したくない	0	0%
無回答	0	0%
合計：		100%

↓東京都からの本学部への入学志願者数=373人

※割合 (%) は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が100.0%にならない場合がある

高校生のみなさんへ：

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和6(2024)年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。
構想の参考とさせていただきたく、以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。
アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただきます、それ以外の目的で使用することは一切ございません。高校名や個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。上で、以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに□、または（ ）内に記述してください。

* WEBからもうご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から

右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。

問1. あなた自身についてお聞きます。

- ①性別： ☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない ②高校所在地：（ 都・県）
- ③高校名：（ ）
- ④学年： ☐高校1年生 ☐高校2年生 ☐高校3年生
- 問2. あなたは高校卒業後、4年制大学への進学を希望しますか。
- ☐希望する ☐希望しない ☐わからない ☐その他（ ）

問3. 高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。（複数回答可）

- ☐文学関係 ☐教育学・保育学関係 ☐法学関係 ☐経済学関係 ☐社会学・社会学関係
☐理学関係 ☐工学関係 ☐農学関係 ☐獣医学関係 ☐医学関係 ☐歯学関係
☐薬学関係 ☐家政関係 ☐美術関係 ☐音楽関係 ☐体育関係 ☐保健衛生学関係
☐上記以外の複合分野（リハビリアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び）
☐その他（ ）

問4. 「ウェルビーイング」（裏面※1）について大学で学ぶことに興味がありますか。

- ☐興味がある ☐興味がない

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。

ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

- ☐受験したい ☐受験したくない

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きます。

武蔵野大学ウェルビーイング学部にご合格した場合、入学を希望しますか。

- ☐入学したい ☐入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者を含む）

問7. 問6で「入学したい」と答えた方にお聞きます。

ウェルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

- ☐ウェルビーイング産業デザイナー（裏面※2）；
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。
- ☐ウェルビーイング地域デザイナー（裏面※3）；
地域フィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材を目指したい。
- ☐ウェルビーイングの専門家（裏面※4）；
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材を目指したい。

☐まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございます。

＜お問い合わせ＞ 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404（平日のみ） E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学

ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

*概算・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つくれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中

Q:「ウェルビーイング」ってなに？ ※1

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① **ウェルビーイング産業デザイナー ※2**
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングは世界や産業を創出する人材
(例) 企業（メーカー、商社、医療福祉、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② **ウェルビーイング地域デザイナー ※3**
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかにウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材
(例) ウェルビーイングは地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ **ウェルビーイングの専門家 ※4**
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論を学ぶウェルビーイングは世界的にデザインして人材
(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○入学定員 80名

○初年度納入金 1,475,000円 ※
※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）
※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>

○ 東京大学 福祉社会学部 人間福祉デザイン学科
○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニケーション学科
○ 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺三蔵 武蔵野キャンパス

バス 7～15分

徒歩 15分

田無

武蔵野大学

審査意見 (7月) (本文) -31

学生確保（資料） -36

高校 6 校の高校生、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生、及び本学部に興味を持って資料請求した高校生へのアンケートの結果

- 1．実施時期：令和 5 年 6 月 23 日～7 月 6 日
- 2．対象：高校 6 校、本学部オープンキャンパス等に参加した高校生、本学部に興味を持って資料請求した高校生
- 3．回答：高校生（高校 3 年生）665 人
- 4．全アンケート結果（有効回答のみ）
問 1．あなた自身についてお聞きます。

①性別

回答	回答数	割合（％）
男性	199	29. 9%
女性	410	61. 7%
その他	18	2. 7%
回答しない	38	5. 7%
合計：	665	100%

②高校所在地

回答	回答数	割合（％）
東京都	367	55. 2%
神奈川県	11	1. 7%
埼玉県	1	0. 2%
千葉県	5	0. 8%
茨城県	265	39. 8%
青森県	1	0. 2%
福島県	1	0. 2%
山梨県	2	0. 3%
静岡県	2	0. 3%
兵庫県	1	0. 2%
島根県	1	0. 2%
岡山県	1	0. 2%
沖縄県	7	1. 1%
合計：	665	100%

③高校名
開示せず

④学年

回答	回答数	割合 (%)
高校3年生	665	100%
合計：	665	100%

問2．あなたは高校卒業後、4年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	561	84.4%
希望しない	52	7.8%
わからない	43	6.5%
その他	9	1.4%
合計：	665	100%

問3．高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
文学関係	134	10.8%
教育学・保育学関係	98	7.9%
法学関係	67	5.4%
経済学関係	108	8.7%
社会学・社会福祉学関係	117	9.5%
理学関係	82	6.6%
工学関係	79	6.4%
農学関係	35	2.8%
獣医学関係	23	1.9%
医学関係	113	9.1%
歯学関係	14	1.1%
薬学関係	60	4.8%
家政関係	25	2.0%

美術関係	43	3. 5%
音楽関係	37	3. 0%
体育関係	38	3. 1%
保健衛生学関係	58	4. 7%
上記以外の複合分野（リベラルアーツな ど、文系・理系の区別なく幅広い学び）	75	6. 1%
その他	32	2. 6%
合計：	1, 238	100%

問 4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	243	36. 5%
興味がない	422	63. 5%
合計：	665	100%

問 5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設
予定です。ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	94	14. 1%
受験したくない	571	85. 9%
合計：	665	100%

問 6. 問 5 で「受験したい」と回答した方にお聞きます。武蔵野大学ウェルビーイング学
部に合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	47	50. 0%
入学したくない（併願校の可否により入 学を検討する者も含む）	47	50. 0%
合計：	94	100%

問 7. 問 6 で「入学したい」と答えた方にお聞きます。ウエルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

回 答	回 答 数	割 合（％）
ウエルビーイング産業デザイナー	16	28. 1%
ウエルビーイング地域デザイナー	10	17. 5%
ウエルビーイングの専門家	6	10. 5%
まだ分からないが、ウエルビーイングに興味がある	25	43. 9%
合 計：	57	100%

5. クロス集計結果

①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味

5-①-1：ウェルビーイングを大学で学ぶことへの興味

問 4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	243	36.5%
興味がない	422	63.5%
合計：	665	100%

↓「興味がある」243人のみ抽出

②興味のある学問分野

5-①-2：「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味

問 3. 高校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
「 <u>文学関係</u> 」「 <u>社会学・社会福祉学関係</u> 」のいずれかの学問分野への興味	104	42.8%
その他	139	57.2%
合計：	243	100%

↓「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味がある104人のみ抽出

③進路希望

5-②：「4年制大学への進学希望」

問 2. あなたは高校卒業後、4年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	98	94.2%
希望しない	3	2.9%
わからない	3	2.9%
その他	0	0.0%
合計：	104	100%

↓「希望する」98人のみ抽出

④受験意向

5-③：武蔵野大学ウェルビーイング学部受験意向

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定。ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	48	49.0%
受験したくない	50	51.0%
合計：	98	100%

↓「受験したい」48人のみ抽出

⑥入学意向

5-④：武蔵野大学ウェルビーイング学部への入学意向

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部に合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	24	50.0%
入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）	24	50.0%
合計：	48	100%

↓本学部への入学志願者数=24人

※割合（%）は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が100.0%にならない場合がある

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和6(2024)年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。
構想の参考とさせていただきます、以下アンケートへの回答にご協力をお願いします。
アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただきます、それ以外の目的で使用するとは一切ございません。学校名や個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすとは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。上で、以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに☐、または() 内に記述してください。

* WEBからでも回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から
右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。



問 1. あなた自身についてお聞きます。

- ①性別：☐男性 ☐女性 ☐その他 ☐回答しない ②学校所在地：() 都・県)
③学校名：()

問 2. あなたは日本語学校卒業後、日本の4年制大学への進学を希望しますか。
☐希望する ☐希望しない ☐わからない ☐その他 ()

問 3. 日本語学校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)
☐文学関係 ☐教育学・保育学関係 ☐法学関係 ☐経済学関係 ☐社会学・社会学関係
☐理学関係 ☐工学関係 ☐農学関係 ☐獣医学関係 ☐医学関係 ☐歯学関係
☐薬学関係 ☐家政関係 ☐美術関係 ☐音楽関係 ☐体育関係 ☐保健衛生学関係
☐上記以外の複合分野 (リベラルアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び)
☐その他 ()

問 4. 「ウェルビーイング」(裏面※ 1) について大学で学ぶことに興味がありますか。
☐興味がある ☐興味がない

問 5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。
ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。
☐受験したい ☐受験したくない

問 6. 問 5 で「受験したい」と回答した方にお聞きます。
武蔵野大学ウェルビーイング学部へ合格した場合、入学を希望しますか。
☐入学したい ☐入学したくない (併願校の可否により入学を検討する者も含む)

問 7. 問 6 で「入学したい」と答えた方にお聞きます。
ウェルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか (複数回答可)。
☐ウェルビーイング産業デザイナー(裏面※ 2)；
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。
☐ウェルビーイング地域デザイナー(裏面※ 3)；
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングなデザインし、地域活性化を担う人材を目指したい。
☐ウェルビーイングの専門家(裏面※ 4)；
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論を学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインして、人材を目指す。
☐まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございます。
＜お問い合わせ＞ 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404 (平日のみ) E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学

ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

*概算・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つくれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中

Q:「ウェルビーイング」ってなに？ ※1

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする
海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① **ウェルビーイング産業デザイナー ※2**
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材
(例) 企業（メーカー、商社、医療福祉、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② **ウェルビーイング地域デザイナー ※3**
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかにウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材
(例) ウェルビーイングが地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ **ウェルビーイングの専門家 ※4**
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論を学ぶ。ウェルビーイングな世界を総合的にデザインして人材
(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○入学定員 80名

○初年度納入金 1,475,000円※

※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）
※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

＜類似する分野の学問を学ぶ他の大学＞

○ 慶応大学 福祉社会学部 人間福祉デザイン学科
○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニケーション学科
○ 明星大学 人文学部 人間社会学科

学生確保（資料） -44

審査意見 (7月) (本文) -39

日本語学校の生徒へのアンケートの結果

1. 実施時期：令和 5 年 6 月 23 日～7 月 1 日
2. 対象：日本語学校 61 校の生徒
3. 回答：日本語学校の生徒 79 人

4. 全アンケート結果（有効回答のみ）

問 1. あなた自身についてお聞きます。

①性別

回答	回答数	割合 (%)
男性	37	46. 8%
女性	37	46. 8%
その他	0	0. 0%
回答しない	5	6. 3%
合計：	79	100%

②学校所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	58	73. 4%
埼玉県	16	20. 3%
京都府	5	6. 3%
合計：	79	100%

③学校名
開示せず

問 2. あなたは日本語学校卒業後、日本の 4 年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	71	89. 9%
希望しない	5	6. 3%
わからない	3	3. 8%
その他	0	0. 0%
合計：	79	100%

問 3. 日本語学校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
文学関係	18	10. 8%
教育学・保育学関係	8	4. 8%
法学関係	7	4. 2%
経済学関係	38	22. 8%
社会学・社会福祉学関係	26	15. 6%
理学関係	13	7. 8%
工学関係	15	9. 0%
農学関係	3	1. 8%
獣医学関係	4	2. 4%
医学関係	4	2. 4%
歯学関係	1	0. 6%
薬学関係	5	3. 0%
家政関係	1	0. 6%
美術関係	7	4. 2%
音楽関係	3	1. 8%
体育関係	4	2. 4%
保健衛生学関係	3	1. 8%
上記以外の複合分野 (リベラルアーツなど、文系・理系の区別なく幅広い学び)	2	1. 2%
その他	5	3. 0%
合計：	167	100%

問 4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	64	81. 0%
興味がない	15	19. 0%
合計：	79	100%

問 5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	45	57. 0%
受験したくない	34	43. 0%
合計：	79	100%

問 6. 問 5 で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部に合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	38	84. 4%
入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）	7	15. 6%
合計：	45	100%

問 7. 問 6 で「入学したい」と答えた方にお聞きします。ウェルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

回答	回答数	割合 (%)
ウェルビーイング産業デザイナー	20	33. 3%
ウェルビーイング地域デザイナー	18	30. 0%
ウェルビーイングの専門家	13	21. 7%
まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある	9	15. 0%
合計：	60	100%

5. クロス集計結果

①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味

5-①-1：「ウェルビーイングを大学で学ぶことへの興味」

問 4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	64	81.0%
興味がない	15	19.0%
合計：	79	100%

↓「興味がある」64人のみ抽出

②興味のある学問分野

5-①-2：「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味

問 3. 日本語学校卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味	30	46.9%
その他	34	53.1%
合計：	64	100%

↓「文学関係」「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味がある 30 人のみ抽出

③進路希望

5-②：「4 年制大学への進学希望」

問 2. あなたは日本語学校卒業後、日本の 4 年制大学への進学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	25	83.3%
希望しない	3	10.0%
わからない	2	6.7%
その他	0	0.0%
合計：	30	100%

↓「希望する」25人のみ抽出

④受験意向

5-③：武蔵野大学ウェルビーイング学部受験意向

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定。ウェルビーイング学部の受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	23	92.0%
受験したくない	2	8.0%
合計：	25	100%

↓「受験したい」23人のみ抽出

⑥入学意向

5-④：武蔵野大学ウェルビーイング学部への入学意向

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部に合格した場合、入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	20	87.0%
入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）	3	13.0%
合計：	23	100%

↓本学部への入学志願者数=20人

※割合（％）は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が100.0%にならない場合がある

日本 Well-being 計画推進特命委員会
第六次提言

令和5年5月11日

I はじめに

本委員会は、これまで6年に亘り活動してきたが、2022年の「ウェルビーイング」を含む記事数は前年の3.3倍、2019年比で約95倍と大きく上昇しているなど、我が国におけるWell-beingへの関心は徐々に広がる傾向にある。一方で、「ウェルビーイング」の認知・理解度は約2割にとどまるという調査²があるように、世間への浸透はまだこれからというところがある。前述の記事数の推移は、足元では国民の8割以上が認知・理解するようになって「SDGs」の拡がりと同様に³しており、近い将来、Well-beingの認知度も大きく上昇する可能性がある。今後、我が国において更に普及させていくためには、Well-beingとは具体的にどのようなものなのかを国民に対して分かりやすく説明することが不可欠であり、こうした好機を逃さず、産・学・官一体となって取組を前に進めていくことが求められる。

コロナ禍において国民のWell-beingは低下したが、こうした緊急事態においても、幸福感や働きがい、生きがいを感じながら、生活全体への満足度・生活の質を維持できるような国づくりをしていく必要がある。そのためにも、GDPなどの経済指標だけに注目するのではなく、主観的Well-beingも含めた多様な側面に焦点を当てていくことが重要である (GDPからGDWへ)。

本委員会は、こうした問題意識を持ちつつ、昨春秋以降で15回開催し、地方

¹ Well-being という言葉に関しては、様々な訳語、国際機関による定義等が存在する。OECDのPISA報告書においては、生徒のWell-beingについて「生徒が幸福(Happy)で充実した人生を送るために必要な心理的・認知的・社会的・身体的な働き (Functioning) と潜在能力 (Capabilities) である」と定義している。WHO憲章では「健康(Health)とは、肉体的・精神的・社会的に完全に『良好な状態(Well-being)』であり、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」としている。このため、Well-beingについて、「身体的・精神的・社会的に良好な状態」と定義されることが多い。一方で、こうした定義では健康に不安がある高齢者や障害を抱えている方はWell-beingな状態になることはできないのか、といった指摘もあり、今後も引き続き議論していく。

² 電通が2022年9月に行ったアンケート調査によると、「ウェルビーイング」という言葉を聞いて、「内容まで理解している」と回答した人は4.6%、「見聞きしたことがある程度 (内容はわからない) 」と回答した人は16.2%となっている。

³ 「SDGs」を含む記事数は2015年の171から434、1,690、4,778、12,813、16,391、31,365、36,358と推移してきているのに対し、「ウェルビーイング」を含む記事数は2019年の63から677、1,804、6,003と推移してきている。

自治体や民間企業の先進事例をヒアリングするとともに、Well-being に取り組む企業の視察や大使館との懇談を行うなど、精力的な議論を重ねてきたところである（参考資料 1）。こうした審議結果等を踏まえ、以下の提言を取りまとめる。

II Well-being に関する成果と課題

（1）企業の Well-being に関する取組

（中小企業の Well-being）

健康経営優良法人 2022 に関して、中小企業の申請数は順調に伸びており、Well-being 経営に対する関心は高まっているものの、まだ形だけという企業も多く、大企業と比べて中小企業では Well-being に関する取組が進んでいない状況にある⁴。

一方、経営者と従業員の距離が近い中小企業においては経営者の Well-being へのコミットメントが波及しやすい側面がある。また、中小企業は地域に根差しており、自治体が地域企業の Well-being 経営を後押しすることで、地域で働く人から地域全体に Well-being が伝播することにもなるため、日本企業の大部分を占める中小企業が Well-being 経営に取り組む意義は大きい。

従業員の「幸せ」が高い中小企業は売上高成長率も高い傾向が指摘されており、こうしたデータに基づく分析を広く発信することで、中小企業における人的投資を促していくことが重要である。

（労働者の Well-being）

PERSOL ホールディングスは、労働者個人の Well-being について、働くことに喜びや楽しみを感じているか、人々の生活をよりよくすることにつながっているか、仕事や働き方は多くの選択肢の中から選んでいるか、の 3 つの観点からグローバル調査を行っている。諸外国との比較に際しては、宗教的・文化的・社会的な要素が影響する点に留意する必要があるものの、働くことに喜びや楽しみを感じている割合が日本は低く、特に 20～30 代において諸外国との差が大きくなっている。

日本は従業員を後回しにして消費者満足度を重視する傾向がある。年代が若

⁴ アドバンテッジリスクマネジメントが 2022 年 3 月に行ったアンケート調査によると、Well-being 経営に取り組む大企業（1001 名以上）が 37%であるのに対し、中小企業（300 名以下）は 18%となっている。

⁵ 商工組合中央金庫が行った分析では、中小企業の幸せ指数（従業員へのアンケートより会社全体の幸せを可視化したもの）と売上高成長率（3 年平均）に正の相関が確認されている。

くなるにつれて、企業中心の考え方が薄れていくのに比して、企業文化はあまり変わっていないというギャップが生じている可能性があり、生活の中で多くの時間を占める仕事に対して喜びや楽しみを感じやすい環境を整備することが求められる。

(個別企業の取組)

Well-being の観点を取り入れた企業理念が多く見受けられるようになり、個別企業単位の取組も大きく進んでいる。

クックパッドでは、「毎日の料理を楽しむにす」という企業理念のもと、中高生を対象とした調理実習や、料理経験のない貧困家庭への料理教育を実施している。

NTTグループでは、Well-being の最大化をサステナビリティ憲章として掲げ、コアタイムのないフレックス勤務や居住地自由のリモートワーク等により、働く場所と時間を柔軟化することで、多様な社員の活躍機会を拡大させ、社員のWell-being 向上を図っている。

三井住友信託銀行では、「FINANCIAL WELL-BEING」(将来のライフイベントの適切な把握、賢い意思決定によりお金に関する不安を解消させ、未来に向けて自主的に行動できる状態、FWB) を目指し、投資教育ノウハウを社員へ浸透させるとともに、高等教育の現場向けに金融教育教材・授業を無償提供するなど社会への波及に取り組んでいる。

(2) 地域の Well-being に関する成果と課題

(地方自治体における Well-being の取組事例)

地方自治体が住民の満足度を意識して施策に取り組んでいくことが、結果として日本全体の Well-being を高めることにつながっていく。

神奈川県では、心身の状態を健康と病気の二分論の概念ではなく、その間を連続的に変化する「未病」として捉え、日常の生活において、「未病改善」により、心身をより健康な状態に近づけていくことに取り組んでいる。例えば、未病を見える化する「未病指標」の構築・活用に加え、県営団地において多世代交流の場を確保するとともに、コミュニティ活動への参加を促している。

島根県海士町では、過ごしやすい島 (Well-being な島) を目指して、「還流おこしプロジェクト」を立ち上げた。移住者と地元の人という二項対立ではなく、「滞在人口」として若者を中心に受け入れ、地域や組織に人の多様性・流動性をもたらすべく取り組んでいる。

(都道府県別の Well-being 指標の公表)

昨年 12 月にウェルビーイング学会が都道府県別の GDW (ウェルビーイング実感) を公表した⁶。前述のとおり未病改善に取り組んでいる神奈川県が、ウェルビーイング実感が高い人の割合で全国 1 位となっており、同県民が現在及び将来の生活の維持向上についてポジティブなイメージを持っていることが推測される。

このように、主観的な Well-being 指標を用いることにより、従来の社会指標では出来なかった社会分析、社会予想が可能となりつつあり、今後の政府や自治体の政策づくり等にも、様々な視座や示唆を与えることが期待される。

(3) 子供の Well-being に関する成果と課題

(Well-being と教育振興基本計画)

今後の教育政策に関する基本的な方針である「教育振興基本計画」の次期計画(令和 5～9 年度)の策定に向けて、議論が進められており、本年 3 月には、中央教育審議会による同計画への答申がなされた。

答申においては、次期計画のコンセプトの一つとして、「日本社会に根差したウェルビーイング⁷の向上」が掲げられており、幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、自己肯定感、自己実現等について、教育を通じて向上させていくことの重要性や、子供たちの主観的な認識の変化についてのエビデンス収集の必要性が記載されている。また、本委員会でも議論されてきた日本発の調和と協調 (Balance and Harmony) に基づくウェルビーイングの考え方を国際的に発信していく重要性も明記されている⁸。

(G 7 教育大臣会合)

本年 5 月に開催予定の G 7 富山・金沢教育大臣会合について、日本が主導となって子供の Well-being などについて国際的な議論を深めるため、「国際的なコンセプト形成や指標設定において、我が国発の価値観に基づく教育と Well-being の方向性を発信し、イニシアティブを発揮すること」などを本委員会より文部科学省へ昨年 10 月に要望を提出した (参考資料 2)。

こうした要望やこれまでの本委員会の提言を受けて、教育大臣会合においては、各国の社会・文化的背景を踏まえた子供たちの Well-being の実現に向けた

⁶ ウェルビーイング学会では日本全体の GDW についても同様に公表している。

⁷ 答申において、「身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。」と定義されている。

⁸ 答申においては、子供の Well-being に関するだけでなく、教師の Well-being 確保の必要性についても記載されている。

教育に関連して、調和と協調に基づく日本発の Well-being の概念を提案する予定となっている。

また、教育大臣会合に先駆けて、本年 3 月には富山・金沢子どもサミットが開催され、富山県・石川県の中高中生により、よりよい未来を創るためにできることをまとめた宣言書が採択された。教育大臣会合においては、この宣言書に関する両県の子供の代表と各国大臣との意見交換が予定されており、子供たち自身が参画する機会が確保されている。

(Well-being をフレームワークとした学びの場)

Well-being を推進する際には、個人だけでなく、周りとの関係性の中で社会の Well-being が育まれていくことが重要であり、その実践の場として、「特別の教科 道徳」が注目されている。

NTT の研究所では、Well-being の 4 つの要因⁹⁾に着目し、自身の Well-being の要因に意識を向けるきっかけとなるツールとして、「わたしたちのウェルビーイングカード」を制作しており、Well-being に関する授業における活用を進めている。道徳教育において Well-being に関連した内容が取り入れられること¹⁰⁾は重要であり、こうしたフィードバックが広く行われることが期待される。

また、来年 4 月には武蔵野大学にウェルビーイング学部の開設が予定されているように、高等教育への拡がりが見られており、Well-being に特化した人材育成が期待される。

(放課後における子供の居場所)

子供の自己肯定感について、小学校の 6 年間で低下する傾向にある一方で、居場所の数が多いほど上昇する傾向にあることが指摘されており、学校・家庭に加えて、放課後におけるサードプレイスとしての居場所が重要となる。

放課後 NPO アフタースクールにおいては、移動の必要がない小学校施設を活用し、学年や保護者の就労状況等による制限を設けず、全ての子どもが参加可能な体験活動を提供している。放課後児童クラブの待機児童が 1 万人を超え、「小 1 の壁」が社会問題となっている中、こうした放課後の居場所を増やしていくことが求められている。

⁹⁾ 自分に関する「I」、家族や友人など身近な人に関する「WE」、社会やより広い他人に関わる「SOCIETY」、そして世界や自然などより大きなものに関する「UNIVERSE」。

¹⁰⁾ 道徳教育における Well-being に関する研究会が民間で開催されるなど学術的な研究も進められている。

武蔵野大学 外国人留学生の志願者数等推移

年度	外国人留学生の志願者数等				
	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	志願者数 対前年比率 (%)	全入学者数 (人)
平成30年度	668	197	153	—	2,283
令和元年度	648	211	172	97.0%	2,315
令和2年度	787	272	214	121.5%	2,369
令和3年度	851	292	204	108.1%	2,558
令和4年度	578	233	154	67.9%	2,479
5ヶ年平均	706	241	179		2,401

2. 人間科学部人間科学科

年度	外国人留学生の志願者数等				
	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	志願者数 対前年比率 (%)	人間科学科 入学生数 (人)
平成30年度	53	19	18	—	224
令和元年度	64	15	12	120.8%	212
令和2年度	77	24	19	120.3%	214
令和3年度	72	20	14	93.5%	215
令和4年度	54	20	14	75.0%	238
5ヶ年平均	64	20	15		221

※割合 (%) は小数点第2位で四捨五入している。

武蔵野大学 外国人留学生の志願者数等推移

年度	外国人留学生の志願者数等				
	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	志願者数 対前年比率 (%)	全入学者数 (人)
平成30年度	668	197	153	—	2,283
令和元年度	648	211	172	97.0%	2,315
令和2年度	787	272	214	121.5%	2,369
令和3年度	851	292	204	108.1%	2,558
令和4年度	578	233	154	67.9%	2,479
5ヶ年平均	706	241	179		2,401

2. 人間科学部人間科学科

年度	外国人留学生の志願者数等				
	志願者数 (人)	合格者数 (人)	入学者数 (人)	志願者数 対前年比率 (%)	人間科学科 入学生数 (人)
平成30年度	53	19	18	—	224
令和元年度	64	15	12	120.8%	212
令和2年度	77	24	19	120.3%	214
令和3年度	72	20	14	93.5%	215
令和4年度	54	20	14	75.0%	238
5ヶ年平均	64	20	15		221

※割合 (%) は小数点第2位で四捨五入している。

学生のみさんへ：

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和6(2024)年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。
また、本学部では、2年次から入学が可能な編入学制度を設ける構想もしています。
構想の参考とさせていただきます。以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。
アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただきます、それ以外の目的で使用することは一切ございません。学校名や個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。また、以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに□、または（ ）内に記述してください。

* WEBからもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から
右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。



問 1. あなた自身についてお聞きます。

- ①性別： ☐ 男性 ☐ 女性 ☐ その他 ☐ 回答しない ②学校所在地：（ 都 ・ 県 ）
③学校名：（ ）
④学校種別： ☐ 短期大学 ☐ 高等専門学校 ☐ 専修学校
⑤学年： ☐ 1 年生 ☐ 2 年生 ☐ 3 年生 ☐ 4 年生 ☐ 5 年生

問 2. あなたは卒業後、4 年制大学への編入学（途中年次からの入学）を希望しますか。

- ☐ 希望する ☐ 希望しない ☐ わからない ☐ その他（ ）

問 3. 卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。（複数回答可）

- ☐ 文学関係 ☐ 教育学・保育学関係 ☐ 法学関係 ☐ 経済学関係 ☐ 社会学・社会福祉学関係
☐ 理学関係 ☐ 工学関係 ☐ 農学関係 ☐ 獣医学関係 ☐ 医学関係 ☐ 歯学関係
☐ 薬学関係 ☐ 家政関係 ☐ 美術関係 ☐ 音楽関係 ☐ 体育関係 ☐ 保健衛生学関係
☐ 上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び）
☐ その他（ ）

問 4. 「ウェルビーイング」（裏面※ 1）について大学で学ぶことに興味がありますか。

- ☐ 興味がある ☐ 興味がない

問 5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。

ウェルビーイング学部の編入学受験を希望しますか。

- ☐ 受験したい ☐ 受験したくない

問 6. 問 5 で「受験したい」と回答した方にお聞きます。

武蔵野大学ウェルビーイング学部へ合格した場合、編入学を希望しますか。

- ☐ 入学したい ☐ 入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者を含む）

問 7. 問 6 で「入学したい」と答えた方にお聞きます。

ウェルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

- ☐ ウェルビーイング産業デザイナー（裏面※ 2）；
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。
☐ ウェルビーイング地域デザイナー（裏面※ 3）；
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色を活かしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材を目指す。
☐ ウェルビーイングの専門家（裏面※ 4）；
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングは世界的にデザインする人材を目指す。

☐ まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございます。

＜お問い合わせ＞ 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404（平日のみ） E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学

ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

*概算・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか

つくれない、

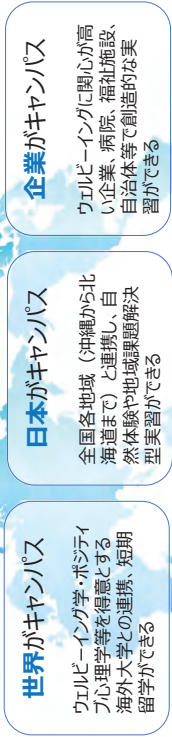
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中

Q:「ウェルビーイング」ってなに？ ※1
A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。



卒業後のイメージ

① **ウェルビーイング産業デザイナー ※2**
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材
(例) 企業（メーカー、商社、医療福祉、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② **ウェルビーイング地域デザイナー ※3**
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかにウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材
(例) ウェルビーイングは地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ **ウェルビーイングの専門家 ※4**
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論を学ぶ。ウェルビーイングな世界を総合的にデザインして人材
(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

吉祥寺
三鷹
武蔵境

バス
7～15分

武蔵野
キャンパス

田無

徒歩
15分

※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）
※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

＜類似する分野の学問を学べる他の大学＞
○ 慶応大学 福祉社会学部 人間福祉デザイン学科
○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニケーション学科
○ 明星大学 人文学部 人間社会学科

武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○ 入学定員 80名、2年次編入入学定員10名

○ 初年度納入金 1,475,000円※

武蔵野大学
Musashino University

学生確保（資料） -57

審査意見（7月）（本文） -52

学生のみなさんへ：

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和6(2024)年にウェルビーイング学部の開設を構想しています。
また、本学部では、2年次から入学が可能な編入学制度を設ける構想もしています。
構想の参考とさせていただきます。以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。
アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただきます。それ以外の目的で使用することは一切ございません。学校名や個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下、質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに□、または、（ ）内に記述してください。

* WEBからでもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から
右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。



問1. あなた自身についてお聞します。

- ①性別：□男性 □女性 □その他 □回答しない □回答しない 都・県）
- ④最終学歴：

- 短期大学（外国又は日本）卒業
- 文部科学大臣指定外国大学日本本校（テンプル大学ジャパンキャンパス、レイクランド大学ジャパン・キャンパス、専修学校シニア極東大函館校等）卒業
- 高等専門学校（外国又は日本）卒業 □専修学校の専門課程（日本）卒業
- 高校（日本又は外国）卒業 □その他（ ）

問2. あなたは卒業後、4年制大学への編入学（途中年次からの入学）を希望しますか。

- 希望する □希望しない □わからない □その他（ ）

問3. 卒業後に何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。（複数回答可）

- 文学関係 □教育学・保育学関係 □法学関係 □経済学関係 □社会学・社会福祉学関係
- 理学関係 □工学関係 □農学関係 □獣医学関係 □医学関係 □歯学関係
- 薬学関係 □家政関係 □美術関係 □音楽関係 □体育関係 □保健衛生学関係
- 上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び）

問4. 「ウェルビーイング」（裏面※1）について大学で学ぶことに興味がありますか。

- 興味がある □興味がない

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。

ウェルビーイング学部の編入学受検を希望しますか。

- 受験したい □受験したくない
- 入学したい □入学したくない（併願校の場合により入学を検討する者含む）

問7. 問6で「入学したい」と答えた方にお聞します。

ウェルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

- ウェルビーイング産業デザイナー（裏面※2）；
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。
- ウェルビーイング地域デザイナー（裏面※3）；
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材を目指したい。
- ウェルビーイングの専門家（裏面※4）；
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論を学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインして、人材を目指す。

- まだ分からないが、ウェルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございます。

＜お問い合わせ＞ 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404（平日のみ） E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学

ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

*概算・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つくれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中

Q:「ウェルビーイング」ってなに？ ※1

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー ※2
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングは世界や産業を創出する人材
(例) 企業（メーカー、商社、医療福祉、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー ※3
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかにウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材
(例) ウェルビーイングは地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家 ※4
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論を学ぶウェルビーイングは世界的にデザインして人材
(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）
○入学定員 80名、2年次編入入学定員10名
○初年度納入金 1,475,000円※
※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）
※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

吉祥寺
三鷹
武蔵境

バス
7～15分

武蔵野
キャンパス

徒歩
15分

田無

設置場所・入学定員・学費

○武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）
○入学定員 80名、2年次編入入学定員10名
○初年度納入金 1,475,000円※
※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）
※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

吉祥寺
三鷹
武蔵境

バス
7～15分

武蔵野
キャンパス

徒歩
15分

田無

＜類似する分野の学問を学ぶ他の大学＞
○ 東京大学 福祉社会学部 人間福祉デザイン学科
○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニケーション学科
○ 明星大学 人文学部 人間社会学科

学生確保（資料） -59

審査意見 (7月) (本文) -54

武蔵野女子短期大学部卒業生の皆さまへ：

武蔵野大学ウエルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和6(2024)年にウエルビーイング学部の開設を構想しています。また、本学部では、2年次から入学が可能な編入学制度を設ける構想もしています。構想の参考とさせていただきます。以下アンケートへの回答にご協力をお願いいたします。アンケートの結果につきましては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただきます、それ以外の目的で使用することは一切ございません。個人が特定されるような情報として公表されることもございません。また、回答内容が本学の入学試験への影響を及ぼすことは一切ありません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下、質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに□、または（ ）内に記述してください。

* WEBからでもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。



問 1. あなた自身についてお聞きます。

- ①性別：□男性 □女性 □その他 □回答しない
- ②最終学歴：□短期大学 卒業 □大学 卒業 □大学院（修士）卒業 □大学院（博士）卒業 □高等専門学校 卒業 □専修学校 卒業 □その他（ ）

問 2. あなたは、4 年制大学への編入学（途中年次からの入学）を希望しますか。

- 希望する □希望しない □わからない □その他（ ）

問 3. 編入学をして何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。（複数回答可）

- 文学関係 □教育学・保育学関係 □法学関係 □経済学関係 □社会学・社会福祉学関係
□理学関係 □工学関係 □農学関係 □獣医学関係 □医学関係 □歯学関係
□薬学関係 □家政関係 □美術関係 □音楽関係 □体育関係 □保健衛生学関係
□上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区分なく幅広い学び）
□その他（ ）

問 4. 「ウエルビーイング」（裏面※ 1）について大学で学ぶことに興味がありますか。

- 興味がある □興味がない

問 5. 武蔵野大学では「ウエルビーイング」について学ぶ「ウエルビーイング学部」を開設予定です。

ウエルビーイング学部の編入学受験を希望しますか。

- 受験したい □受験したくない

問 6. 問 5 で「受験したい」と回答した方にお聞きます。

武蔵野大学ウエルビーイング学部にご合格した場合、編入学を希望しますか。

- 入学したい □入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者を含む）

問 7. 問 6 で「入学したい」と答えた方にお聞きます。

ウエルビーイング学部に入學したら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

- ウエルビーイング産業デザイナー（裏面※ 2）；
グローバルな世界をフィールドとして、ウエルビーイングな世界や産業を創出する人材を目指したい。
□ウエルビーイング地域デザイナー（裏面※ 3）；
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色を活かしたウエルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材を目指したい。
□ウエルビーイングの専門家（裏面※ 4）；
大学院に進学し、ウエルビーイングの学問研究の方法論をさらに学び、ウエルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材を目指したい。

- まだ分からないが、ウエルビーイングに興味がある。

アンケートのご協力、ありがとうございます。

＜お問い合わせ＞ 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404（平日のみ） E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学

ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）
※概算・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つくれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中

Q:「ウェルビーイング」ってなに？ ※1

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）

ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① **ウェルビーイング産業デザイナー ※2**
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングは世界や産業を創出する人材
(例) 企業（メーカー、商社、医療福祉、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② **ウェルビーイング地域デザイナー ※3**
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかにウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材
(例) ウェルビーイングは地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ **ウェルビーイングの専門家 ※4**
大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論を学ぶ。ウェルビーイングは世界的にデザインしてゆく人材
(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）
○入学定員 80名、2年次編入入学定員10名
○初年度納入金 1,475,000円※
※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）
※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

吉祥寺 三鷹 武蔵境	バス 7～15分 武蔵野 キャンパス
田無	徒歩 15分

近所まで徒歩15分以内です。

＜類似する分野の学問を学ぶ他の大学＞
○ 東京大学 福祉社会学部 人間福祉デザイン学科
○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニケーション学科
○ 明星大学 人文学部 人間社会学科

審査意見 (7月) (本文) -56

学生確保（資料） -61

編入学該当者へのアンケートの結果

- 1. 実施時期：令和 5 年 6 月 23 日～7 月 7 日
- 2. 対象：a. 1 都 3 県に位置する短期大学等 95 校の学生
 - b. 武蔵野大学別科（日本語教育課程）に在籍する学生
- c. 武蔵野女子大学短期大学部（平成 18 年廃止）卒業生
- 3. 回答：241 人
 - a. 1 都 3 県に位置する短期大学等 95 校の学生：54 人
 - b. 武蔵野大学別科（日本語教育課程）に在籍する学生：6 人
 - c. 武蔵野女子大学短期大学部（平成 18 年廃止）卒業生：181 人
- 4. 全アンケート結果（有効回答のみ）

問 1. あなた自身についてお聞きます。

①性別

回答	回答数	割合 (%)
男性	8	3. 3%
女性	231	95. 9%
その他	0	0. 0%
回答しない	2	0. 8%
合計：	241	100%

②ー 1. 学校所在地（対象 a 及び b への設問）

回答	回答数	割合 (%)
東京都	21	35. 0%
埼玉県	17	28. 3%
愛知県	22	36. 7%
合計：	60	100%

②ー 2. 最終学歴（対象 c への設問）

回答	回答数	割合 (%)
短期大学 卒業	178	98. 3%
大学 卒業	0	0. 0%
大学院 (修士) 卒業	0	0. 0%
大学院 (博士) 卒業	0	0. 0%

高等専門学校 卒業	0	0.0%
専修学校 卒業	3	1.7%
その他	0	0.0%
合計：	181	100%

③学校名（対象 a 及び b）
開示せず

④－ 1．最終学歴（対象 b への設問）

回答	回答数	割合（%）
短期大学（外国又は日本） 卒業	2	33.3%
文部科学大臣指定外国大学日本校 卒業	0	0.0%
高等専門学校（外国又は日本） 卒業	4	66.6%
専修学校の専門課程（日本） 卒業	0	0.0%
高校（日本又は外国） 卒業	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計：	6	100%

④－ 2 及び⑤. 学校種別及び学年（対象 a への設問）

回答	学年		
	回答	回答数	割合（%）
	1 年	21	38.9%
短期大学	2 年	33	61.1%
専修学校	合計：	54	100%

問 2．あなたは、4 年制大学への編入学（途中年次からの入学）を希望しますか。

回答	回答数	割合（%）
希望する	35	14.5%
希望しない	113	46.9%
わからない	85	35.3%
その他	8	3.3%
合計：	241	100%

問 3. 何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。
文部科学省が示す以下 17 の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
文学関係	54	9. 8%
教育学・保育学関係	79	14. 3%
法学関係	18	3. 3%
経済学関係	35	6. 3%
社会学・社会福祉学関係	63	11. 4%
理学関係	5	0. 9%
工学関係	8	1. 4%
農学関係	18	3. 3%
獣医学関係	11	2. 0%
医学関係	37	6. 7%
歯学関係	4	0. 7%
薬学関係	24	4. 3%
家政関係	27	4. 9%
美術関係	32	5. 8%
音楽関係	16	2. 9%
体育関係	9	1. 6%
保健衛生学関係	47	8. 5%
上記以外の複合分野（リベラルアーツなど、文系・理系の区別なく幅広い学び）	52	9. 4%
その他	14	2. 5%
合計：	553	100%

問 4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	157	65. 1%
興味がない	84	34. 9%
合計：	241	100%

問 5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部への編入学受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	51	21.2%
受験したくない	190	78.8%
合計：	241	100%

問 6. 問 5 で「受験したい」と回答した方にお聞きます。武蔵野大学ウェルビーイング学部
部に合格した場合、編入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	42	82.4%
入学したくない（併願校の可否により入 学を検討する者も含む）	9	17.6%
合計：	51	100%

問 7. 問 6 で「入学したい」と答えた方にお聞きます。ウェルビーイング学部に入學し
たら、将来は何になることを目指して勉強したいですか（複数回答可）。

回答	回答数	割合 (%)
ウェルビーイング産業デザイナー	7	12.7%
ウェルビーイング地域デザイナー	16	29.1%
ウェルビーイングの専門家	7	12.7%
まだ分からないが、ウェルビーイングに 興味がある	25	45.5%
合計：	55	100%

5. クロス集計結果

①ウェルビーイングについて大学で学ぶことへの興味

5-①-1：「ウェルビーイングを大学で学ぶことへの興味」

問4. 「ウェルビーイング」について大学で学ぶことに興味がありますか。

回答	回答数	割合 (%)
興味がある	157	65.1%
興味がない	84	34.9%
合計：	241	100%

↓「興味がある」157人のみ抽出

②興味のある学問分野

5-①-2：「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味

問3. 何かを学ぶとしたら、どのような学問分野に興味がありますか。

文部科学省が示す以下17の学問体系から選んでください。(複数回答可)

回答	回答数	割合 (%)
「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味	76	48.4%
その他	81	51.6%
合計：	157	100%

↓「社会学・社会福祉学関係」のいずれかの学問分野への興味がある76人のみ抽出

③進路希望

5-②：「4年制大学への編入学希望」

問2. あなたは、4年制大学への編入学（途中年次からの入学）を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
希望する	13	17.1%
希望しない	23	30.3%
わからない	34	44.7%
その他	6	7.9%
合計：	76	100%

↓「希望する」13人のみ抽出

④受験意向

5-③：武蔵野大学ウェルビーイング学部受験意向

問5. 武蔵野大学では「ウェルビーイング」について学ぶ「ウェルビーイング学部」を開設予定です。ウェルビーイング学部の編入学受験を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
受験したい	12	92.3%
受験したくない	1	7.7%
合計：	13	100%

↓「受験したい」12人のみ抽出

⑥入学意向

5-④：武蔵野大学ウェルビーイング学部への編入学意向

問6. 問5で「受験したい」と回答した方にお聞きします。武蔵野大学ウェルビーイング学部に合格した場合、編入学を希望しますか。

回答	回答数	割合 (%)
入学したい	10	83.3%
入学したくない（併願校の可否により入学を検討する者も含む）	2	16.7%
合計：	12	100%

↓本学部への編入学志願者数＝10人

※割合（%）は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が100.0%にならない場合がある

(是正事項) ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科

2. 学生の確保の見通し等を記載した書類(本文)の(2)②「イ 企業・関係機関等への採用意向調査」において、「本学部の育成する人材が活用できると考えられる企業・関係機関等の新卒採用人事担当者向け」に行ったアンケートの中で、本学部で育成する人材を「採用したい」と回答した人事担当者17名と「やや採用したい」と回答した人事担当者19名の合計36名が全回答者の100%を占めることをもって、本学部卒業生への採用意向が一定数あることを説明している。しかしながら、これらの「採用したい」及び「やや採用したい」と回答したそれぞれの企業が、本学科の卒業生をどの程度採用するのか不明確であることから、本学科に設定された入学定員80名及び2年次の編入学定員10名を踏まえた人材需要があるとは判断できない。このため、本学科の養成する人材に対する社会的需要が十分にあることについて、改めてアンケート調査を実施することも含め、客観的かつ具体的なデータ等を適切に示した上で、それらの根拠に基づき明確に説明すること。

(対応)

本学部の養成する人材に対する社会的需要が十分にあることについて、追加調査を実施し、根拠に基づく適切な分析を踏まえ、以下のとおり説明する。

令和5年1月～2月に実施した企業・関係機関等への採用意向調査の結果では、本学部で育成する人材を「採用したい」と回答した人事担当者は17人であったことから、令和5年6月～7月に追加のアンケート調査を実施した。ウェルビーイングや健康経営に積極的に取り組む企業、自治体、本学卒業生の就職実績がある企業を中心に回答が得られ、そのうち「採用したい」と回答した人事担当者は253人であり、令和5年1月～2月に実施した調査及び令和5年6月～7月に実施した調査の合計で270人となった。

さらに、年間単位での人材需要を確認するため、令和5年6月～7月に実施した調査では、アンケート項目に「本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で年単位で何人程度採用したいですか。」という設問を新たに追加したところ、「採用したい」と回答した253人から、年間で合計489人の人材需要が見込めることが分かった。

また、本学部で育成する人材が必要とされる地域に関する質問では、「地域は問わない」と回答した人事担当者が、令和5年1月～2月に実施した調査で14人、令和5年6月～7月に実施した調査で171人であり、「東京及び首都圏」と回答した人事担当者が、令和5年1月～2月に実施した調査で3人、令和5年6月～7月に実施した調査で69人であったことから、ウェルビーイングを推進する人材は地域を問わず必要とされているが、特に本学部のキャンパスがある東京及び首都圏でも必要とされていると考えられる。

これらの調査結果により、入学定員80人及び2年次編入学定員10人の合計90人を上回る採用見込みがあり、本学部の養成する人材に対する社会的需要は十分であると考えられる。

以上に基づき、以下のとおり「学生の確保の見通し等を記載した書類」を修正する。

(新旧対照表) 学生の確保の見通し等を記載した書類 (本文) (20～22 ページ)

新	旧
(2) 人材需要の動向等社会の要請 ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 イ 企業・関係機関等への採用意向調査 本学部を卒業した学生の進路は、主に企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体・企業・NPO 法人等の推進担当者、国内外の大学院、研究機関・シンクタンク職員等を想定している。そこで、令和5年1月～2月に本学部の育成する人材が活用できると考えられる企業・関係機関等の新卒採用人事担当者向けにアンケートを実施した【資料34】。ウェルビーイング・健康経営に積極的に取り組む企業や自治体、就職実績がある企業等を中心に122社にアンケートを依頼し、36人から回答を得られた。回答結果によると、本学部の養成する人材像を「評価する」と回答した人事担当者が36人中22人(61.1%)であった。 また、本学部で育成する人材を「採用したい」と回答した人事担当者が36人中17人(47.2%)であった【資料35】。その他、「ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科で育成する人材は、特にどの地域で必要だと考えるか」との質問には、17人中3人(17.6%)が「東京及び首都圏」、14人(82.4%)が「地域は問わない」と回答し	(2) 人材需要の動向等社会の要請 ②上記①が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 イ 企業・関係機関等への採用意向調査 本学部を卒業した学生の進路は、主に企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体・企業・NPO 法人等の推進担当者、国内外の大学院、研究機関・シンクタンク職員等を想定している。そこで、本学部の育成する人材が活用できると考えられる企業・関係機関等の新卒採用人事担当者向けにアンケートを実施した【資料25】。ウェルビーイング・健康経営に積極的に取り組む企業や自治体、就職実績がある企業等を中心に122社にアンケートを依頼し、36人から回答を得られた。回答結果によると、本学部の養成する人材像を「評価する」と回答した人事担当者が36人中22人(61.1%)、「やや評価する」が14人(38.9%)であり、「評価する」「やや評価する」をあわせると100%であった。 また、本学部で育成する人材を「採用したい」と回答した人事担当者が36人中17人(47.2%)、「やや採用したい」が19人(52.8%)であり、「採用したい」「やや採用したい」をあわせると100%であり、本学部卒業生への採用意向は一定数あると考えられる【資料26】。その他、「ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科で育

ている。 上記アンケート結果により、本学部の入学定員 80 人及び 2 年次編入学定員 10 人に対して、「採用したい」と回答した人事担当者が 17 人であったこと、「やや採用したい」と回答した人事担当者 19 人の採用意向がどの程度か不明瞭であったことから、本学部が育成する人材の採用意向を更に把握するために、令和 5 年 6 月～7 月に、本学部の育成する人材が活用できると考えられる企業・関係機関等（令和 5 年 1 月～2 月にアンケートを実施した企業等は除く）の新卒採用人事担当者向けに追加でアンケートを実施した。前回のアンケートでは人材像評価及び採用意向を確認する際の設問で「やや評価する」及び「やや採用したい」といった表現の選択項目があり、人材像評価及び採用意向を明確に確認できるものではなかったため、今回のアンケートでは採用意向を明確に確認できるよう選択項目を修正したうえで調査を実施した【資料 36】。 ウェルビーイング・健康経営に積極的に取り組む企業や自治体、就職実績がある企業等を中心に 578 社にアンケートを依頼し、278 人から回答を得られた。回答結果によると、本学部の養成する人材像を「評価する」と回答した人事担当者が 271 人であった。また、本学部で育成する人材を「採用したい」と回答した人事担当者が 253 人であった【資料 37】。その他、「ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科で育成	成する人材は、特にどの地域で必要だと考えるか」との質問には、36 人中 30 人（83.3%）が「地域は問わない」と回答しており、ウェルビーイングを推進する人材は特定の地域ではなく、広く全国で必要であると考えられる。

する人材は、特にどの地域で必要だと考えるか」との質問には、171 人が「地域は問わない」と回答している。

また、年間単位での本学部卒業生への人材需要を確認するため、令和 5 年 6 月～7 月の調査では、新たにアンケート項目に「本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で年単位で何人程度採用したいですか。」を追加した。「採用したい」と回答した 253 人のうち、「1 人」採用したいと回答した人事担当者が 145 人、「2 人」採用したいと回答した人事担当者が 47 人、「3 人」採用したいと回答した人事担当者が 26 人、「4 人」採用したいと回答した人事担当者が 3 人、「5 人以上」採用したいと回答した人事担当者が 32 人であった。「5 人以上」採用したいと回答した人事担当者については「5 人」採用すると試算した場合【表 9】、年間で合計 489 人の人材需要が見込まれる結果となった【資料 37】。

【表 9】年単位の採用希望人数

年単位の採用希望数	回答数	年単位の採用希望人数計
1 人	145 人	$1 \times 145 = 145$ 人
2 人	47 人	$2 \times 47 = 94$ 人
3 人	26 人	$3 \times 26 = 78$ 人
4 人	3 人	$4 \times 3 = 12$ 人
5 人以上	32 人	$5 \times 32 = 160$ 人
合計	253 人	489 人

以上の調査結果により、「採用したい」と回答した人事担当者が、令和 5 年 1 月～2 月に実施した調査では 17 人、令和 5 年 6 月～7 月に実施した調査では 253 人、合計 270 人となり、本学部の入学定員 80 人

及び2年次編入学定員 10 人を上回る採用意向があると考えられる。

また、本学部で育成する人材が必要となる地域について、「地域は問わない」と回答した人事担当者が、令和5年1月～2月に実施した調査では 17 人中 14 人、令和5年6月～7月に実施した調査では 253 人中 171 人、合計 270 人中 185 人（68.5%）であり、「東京及び首都圏」と回答した人事担当者が、令和5年1月～2月に実施した調査では 17 人中 3 人、令和5年6月～7月に実施した調査では 253 人中 69 人、合計 270 人中 72 人（26.7%）であったことから、ウェルビーイングを推進する人材は地域を問わず必要とされているが、特に本学部のキャンパスがある東京及び首都圏でも必要とされていると考えられる。

武蔵野大学
ウェルビーイング学部
ウェルビーイング学科
2024年4月開設予定（設置構想中）
*概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。



Q:「ウェルビーイング」ってなに？
A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）
ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス
ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする海外大学との連携、短期留学ができる

日本中がキャンパス
全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス
ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① **ウェルビーイング産業デザイナー**
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材
(例) 企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② **ウェルビーイング地域デザイナー**
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材
(例) ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ **ウェルビーイングの専門家**
大学院に進学し、ウェルビーイングの学習研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材
(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学生員・学費

○ **武蔵野キャンパス**（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）
○ **入学生員 80名**
○ **初年度納入金 1,475,000円※**
※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）
※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>
○ 東京大学 福祉社会学部 人間環境デザイン学科（2023年度開設予定）
○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニケーション学科 ○ 明達大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺 三鷹 武蔵境	バス 7～15分	武蔵野 キャンパス
田無	徒歩 15分	

詳細は募集要項をご覧ください。

武蔵野大学
Musashino University

武蔵野大学
ウェルビーイング学部
ウェルビーイング学科
2024年4月開設予定（設置構想中）
*概要・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。



Q:「ウェルビーイング」ってなに？
A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

ウェルビーイング学部の特徴（設置の理念、養成する人材像）
ウェルビーイング学部の最大の特徴は、環境学、経済学、ポジティブ心理学、デザイン工学等を学び、自然、地域、企業、世界での実習を通して一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにできる人材を育成することです。

世界がキャンパス
ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする海外大学との連携、短期留学ができる

日本中がキャンパス
全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス
ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① **ウェルビーイング産業デザイナー**
グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングな世界や産業を創出する人材
(例) 企業（メーカー、商社、医療看護、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② **ウェルビーイング地域デザイナー**
地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかしたウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材
(例) ウェルビーイングな地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ **ウェルビーイングの専門家**
大学院に進学し、ウェルビーイングの学習研究の方法論をさらに学び、ウェルビーイングな世界を総合的にデザインしていく人材
(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学生員・学費

○ **武蔵野キャンパス**（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）
○ **入学生員 80名**
○ **初年度納入金 1,475,000円※**
※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）
※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

<類似する分野の学問を学べる他の大学>
○ 東京大学 福祉社会学部 人間環境デザイン学科（2023年度開設予定）
○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニケーション学科 ○ 明達大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺 三鷹 武蔵境	バス 7～15分	武蔵野 キャンパス
田無	徒歩 15分	

詳細は募集要項をご覧ください。

武蔵野大学
Musashino University

企業等新卒採用担当者向けアンケートの結果

1. 実施時期：令和 5 年 1 月 15 日～令和 5 年 2 月 10 日
2. 対象：企業等新卒採用責任者及び担当者 122 社
3. 回答：企業等新卒採用担当者及び担当者 36 人

4. アンケート結果

問 1. 貴社・貴団体・貴法人についてお聞きます。

①所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	29	80.6%
神奈川県	3	8.3%
埼玉県	1	2.8%
秋田県	1	2.8%
茨城県	1	2.8%
富山県	1	2.8%
合計：	36	100%

② 貴社名・貴団体名・貴法人名
開示せず

問 2. 本学部の養成する人材像について、どのように評価しますか。

回答	回答数	割合 (%)
評価する	22	61.1%
やや評価する	14	38.9%
あまり評価しない	0	0%
評価しない	0	0%
合計：	36	100%

企業等新卒採用担当者向けアンケートの結果

1. 実施時期：令和 5 年 1 月 15 日～令和 5 年 2 月 10 日
2. 対象：企業等新卒採用責任者及び担当者 122 社
3. 回答：企業等新卒採用担当者及び担当者 36 人

4. アンケート結果

問 1. 貴社・貴団体・貴法人についてお聞きます。

①所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	29	80.6%
神奈川県	3	8.3%
埼玉県	1	2.8%
秋田県	1	2.8%
茨城県	1	2.8%
富山県	1	2.8%
合計：	36	100%

② 貴社名・貴団体名・貴法人名
開示せず

問 2. 本学部の養成する人材像について、どのように評価しますか。

回答	回答数	割合 (%)
評価する	22	61.1%
やや評価する	14	38.9%
あまり評価しない	0	0%
評価しない	0	0%
合計：	36	100%

問 3. 本学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
ある	19	52.8%
ややある	16	44.4%
あまりない	1	2.8%
ない	0	0%
合計：	36	100%

問 4. 本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で採用したいとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
採用したい	17	47.2%
やや採用したい	19	52.8%
あまり採用したくない	0	0%
採用したくない	0	0%
合計：	36	100%

問 5. 問 4 で「採用したい」と回答された方に伺います。本学部で育成する人材は、特
どの地域で必要だとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
東京及び首都圏	3	17.6%
首都圏以外の地域	0	0%
地域は問わない	14	82.4%
合計：	17	100%

問 6. 問 4 で「採用したい」または「やや採用したい」と回答された方に伺います。
本学部の学生に卒業までに特に身につけてほしい能力や資格はありますか。
開示せず

※割合 (%) は小数点第 2 位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100.0%にならない場合がある

問 3. 本学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
ある	19	52.8%
ややある	16	44.4%
あまりない	1	2.8%
ない	0	0%
合計：	36	100%

問 4. 本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で採用したいとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
採用したい	17	47.2%
やや採用したい	19	52.8%
あまり採用したくない	0	0%
採用したくない	0	0%
合計：	36	100%

問 5. 問 4 で「採用したい」または「やや採用したい」と回答された方に伺います。
本学部で育成する人材は、特にどの地域で必要だとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
東京及び首都圏	6	16.7%
首都圏以外の地域	0	0%
地域は問わない	30	83.3%
合計：	36	100%

問 6. 問 4 で「採用したい」または「やや採用したい」と回答された方に伺います。
本学部の学生に卒業までに特に身につけてほしい能力や資格はありますか。

学外秘のため、省略する情報

- (1) 出典
学校法人武蔵野大学経営企画部法人企画課所持データ
- (2) その他の説明
本内容は、学外秘であり、省略する。

武蔵野大学ウェルビーイング学部についてのアンケート

武蔵野大学では令和6(2024)年にウェビナー・インタビュー学部の開設を構想しています。
構想の参考とさせていただきます。以下アンケートへの回答にご協力をお願いします。

アンケートの結果としては、集計結果を本学部開設のための参考資料及び文部科学省提出資料にて利用させていただき、それ以外の目的で使用することは一切ございません。社名・団体・法人名及び個人が特定されるような情報として公表されることもございません。

別紙の学部概要をご覧ください。以下で、以下の質問にお答えください。選択肢からあてはまるものに□、または（ ）内に記述してください。

* WEBからもご回答いただけます。お手持ちのスマートフォン等から右のQRコードを読み込んでいただき、アンケートのページにアクセスしてください。

問1. 貴社・貴団体・貴法人についてお聞きます。

①所在地：（都・道・府・県）

②賣社名・賣団体名・賣法人名：()

問2. 本学部の養成する人材像について、どのように評価しますか。

☐評価する ☐評価しない

問3. 本学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

☐ ない ☐ ある

問4. 本学部で育成する人材を、貴社で採用したいとお考えですか。

☐採用したい ☐採用したくない

問5. 問4で「採用したい」と回答された方に伺います。

本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で年単位で何人程度採用したいですか。

☐ 1人 ☐ 2人 ☐ 3人 ☐ 4人 ☐ 5人以上

問6. 問4で「採用したい」と回答された方に伺います。

本学部で育成する人材は、特にどの地域で必要だとお考えですか。

☐ 東京及び首都圏 ☐ 首都圏以外の地域 ☐ 地域は問わない

問7. 問4で「採用したい」と回答された方に伺います。

本学部の学生に卒業までに特に身につけてほしい能力や資格はありますか。

アンケートのご協力、ありがとうございました。

＜お問い合わせ＞ 学校法人武蔵野大学 経営企画部法人企画課
TEL 03-5530-7404 (平日のみ) E-Mail kikaku@musashino-u.ac.jp

武蔵野大学

ウェルビーイング学部

ウェルビーイング学科

2024年4月開設予定（設置構想中）

*概算・計画等は予定であり、今後、変更になる場合があります。

あなたにしか
つくれない、
しあわせがある。

ウェルビーイング学部 設置構想中

Q:「ウェルビーイング」ってなに？

A: 幸せ・生きがい・安心・福祉・健康・平和など、一人一人の
多様な幸せと社会全体の幸せをカタチにしている状態のことです。

世界がキャンパス

ウェルビーイング学・ポジティブ心理学等を得意とする海外大学との連携、短期留学ができる

日本がキャンパス

全国各地域（沖縄から北海道まで）と連携し、自然体験や地域課題解決型実習ができる

企業がキャンパス

ウェルビーイングに関心が高い企業、病院、福祉施設、自治体等で創造的な実習ができる

卒業後のイメージ

① ウェルビーイング産業デザイナー

グローバルな世界をフィールドとして、ウェルビーイングは世界や産業を創出する人材
(例) 企業（メーカー、商社、医療福祉、介護福祉等）や教育現場でのウェルビーイング推進担当者、起業家 等

② ウェルビーイング地域デザイナー

地域をフィールドとして、それぞれの地域の特色をいかにウェルビーイングをデザインし、地域活性化を担う人材
(例) ウェルビーイングは地域の創生を目指す自治体の公務員、企業への就職、NPO諸団体への所属 等

③ ウェルビーイングの専門家

大学院に進学し、ウェルビーイングの学問研究の方法論を学ぶ。ウェルビーイングは世界的にデザインして人材
(例) 海外・国内の大学院進学、研究機関・シンクタンク職員 等

設置場所・入学定員・学費

○武蔵野キャンパス（〒202-8585 東京都西東京市新町一丁目1番20号）

○入学定員 80名

○初年度納入金 1,475,000円※

※入学金、授業料、教育充実費等（諸会費等別途）
※学費は現時点での予定であり、変更になる場合があります。

＜類似する分野の学問を学ぶ他の大学＞

○ 東京大学 福祉社会学部 人間福祉デザイン学科
○ 法政大学 現代福祉学部 福祉コミュニケーション学科
○ 明星大学 人文学部 人間社会学科

吉祥寺
三鷹
武蔵境

バス
7～15分

徒歩
15分

武蔵野
キャンパス

武蔵野大学
Musashino University

審査意見 (7月) (本文) -73

学生確保（資料） -95

企業等新卒採用担当者向けアンケートの結果（追加）

- 1. 実施時期：令和5年6月23日～7月1日
- 2. 対象：企業等新卒採用責任者及び担当者 578 社
- 3. 回答：企業等新卒採用担当者及び担当者 278 人

4. アンケート結果

問 1. 貴社・貴団体・貴法人についてお聞きます。

①所在地

回答	回答数	割合 (%)
東京都	157	56.5%
神奈川県	21	7.6%
埼玉県	6	2.2%
千葉県	7	2.5%
栃木県	3	1.1%
茨城県	4	1.4%
群馬県	1	0.4%
山梨県	1	0.4%
静岡県	2	0.7%
愛知県	8	2.9%
岐阜県	2	0.7%
長野県	4	1.4%
新潟県	2	0.7%
石川県	1	0.4%
福井県	2	0.7%
北海道	4	1.4%
青森県	1	0.4%
岩手県	1	0.4%
山形県	1	0.4%
宮城県	3	1.1%
福島県	1	0.4%
京都府	6	2.2%
大阪府	8	2.9%
奈良県	2	0.7%

和歌山県	1	0.4%
兵庫県	2	0.7%
滋賀県	1	0.4%
岡山県	3	1.1%
島根県	1	0.4%
広島県	5	1.8%
愛媛県	2	0.7%
香川県	1	0.4%
高知県	1	0.4%
徳島県	1	0.4%
福岡県	8	2.9%
宮崎県	2	0.7%
大分県	1	0.4%
鹿児島県	1	0.4%
合計：	278	100%

②貴社名・貴団体名・貴法人名
開示せず

問2. 本学部の養成する人材像について、どのように評価しますか。

回答	回答数	割合 (%)
評価する	271	97.5%
評価しない	7	2.5%
合計：	278	100%

問3. 本学部における学修について、社会的ニーズがあるとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
ある	269	96.8%
ない	9	3.2%
合計：	278	100%

問 4. 本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で採用したいとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
採用したい	253	91.0%
採用したくない	25	9.0%
合計：	278	100%

以下の問5～問7について、問4で「採用したい」と回答された方に伺います。

問 5. 本学部で育成する人材を、貴社・貴団体・貴法人で年単位で何人程度採用したいですか。

回答	回答数	割合 (%)
1人	145	57.3%
2人	47	18.6%
3人	26	10.3%
4人	3	1.2%
5人以上	32	12.6%
合計：	253	100%

問 6. 本学部で育成する人材は、特にとどの地域で必要だとお考えですか。

回答	回答数	割合 (%)
東京及び首都圏	69	27.3%
首都圏以外の地域	13	5.1%
地域は問わない	171	67.6%
合計：	253	100%

問 7. 本学部の学生に卒業までに特に身につけてほしい能力や資格はありますか。
開示せず

※割合 (%) は小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100.0%にならない場合がある